

本山為浙龍巖往長大路舊石壁山又名更山古名
 歐山又亦有認為隱居良山者時說不一今以歸耕
 來此山居田舍與耕隱山為吾國自晉重農之明徵
 今為表示重農起見應將此山定名曰耕山是死緣
 起以吾來茲

味林龍巖項唐識



魏頌唐對於湘湖鄉村建設之商榷

湘湖位於蕭山西鄉風景秀美地方設富全湖周圍八十餘里狹長形如葫蘆東起蕭山西城與縣道汽車站及浙贛鐵路蕭山車站相距甚近西迄聞堰距錢塘江不及二里沿湖居民稀疏類以磚瓦窰業爲生捕魚次之土產以蕪菜楊梅著名環湖邱陵蜿蜒皆宜墾殖湖中定山壓鳥山屹立對峙南岸石岩山有江湖一覽之勝北登古越王城山得以眺望錢江湖岸春風菊山秋色盤迴萬壑水竹分明宛如杭之西湖而樸厚及山澤農林之利咸皆備沃其經濟地位更有勝於西湖（詳拙著湘湖鄉村建設單行本）湘湖原係一山谷盆地在昔地曠人稀築爲澗水之所以備旱荒今則情勢變遷籌議開闢實爲發展地方自治鄉村建設百年大計集思廣益衆志成城所望官民合作共策進行庶幾事業與湖山並垂千秋也

湘湖鄉村建設綱要

- 一、湘湖周圍八十餘里村落五十餘處山林雖曠水土平良爲最適合於改造新農村之基地擬請各界共同發起定爲鄉村建設實驗區
- 二、湘湖農田水利問題務須浚築並施尤當注意於疏浚部份以保存原有水利對於塗地除應浚者廢田還湖外其可墾部份各就產地坐落所在劃作保田撥歸鄉村造產備充各保自治經費
- 三、實驗區組織依照地方自治通則切實推行對於管教養衛四政取得密切聯絡求其平均發展
- 四、湘湖開發宗旨以湖民福利爲前提並逐漸提高普及湖內住民之智識程度
- 五、湘湖古蹟名勝亟應恢復保存如有被人侵佔或盜賣情事當根據歷史依法收回或備價贖還仍歸公有
- 六、湘湖鄉村建設擬採分工合作方式由浙江大學發起主辦以湘湖鄉村師範學校担任教育改進建設廳担任農業推廣其餘地方事業由地方自治機關配合進行以就地取材爲標準
- 七、湘湖鄉建設實施步驟先從確立治安做起就近郊區域擇定一二鄉村試辦以次逐步推進
- 八、建設湘湖新農村端賴集思廣益羣策羣力共同進行以就湘湖之財與湘湖之利取於湘湖用於湘湖爲原則

魏頌唐著

農歷

歷有陰曆陽曆之分陰曆以月爲標準陽曆以日爲標準編者各有其目的均不可以厚非也惟不知者以陰曆爲農曆則錯誤實甚農產物之耕種收藏均應氣候今魏曆按陽曆進行農事竊述周詳確合天時地理人事之宜謂爲農曆誰曰不宜爰作頌曰

於穆農曆 非陰實陽 率時農夫 日就月將 播厥百穀 豐年穰穰
黍稷茂止 千倉萬箱 佛時仔肩 示我周行 騁驛其達 邦家之光

童杭時題



魏頌唐農曆目次

緣起

陽曆是農曆說

民國三十一年至六十年陽曆陰曆節氣日期對照表

民國三十一年至六十年陽曆陰曆逐日對照表

二十四氣七十二候釋義

農業與氣候

各家農事曆

- 一、耕作曆
- 二、果樹曆
- 三、蔬菜曆
- 四、花卉曆
- 五、養畜曆
- 六、養兔曆
- 七、養禽曆
- 八、養蜂曆
- 九、養蠶曆
- 十、森林曆

魏頌唐農曆 目次

一	十一、栽桑曆	九九
二	十二、植棉曆	九九
三	十三、治病害曆	一〇〇
四	十四、治虫害曆	一〇一
五	十五、其他	一〇三
六	王氏農書授時圖說	一〇四
七	農桑輯要歲用雜事	一〇七
八	農桑衣食撮要節本	一〇八
九	沈氏農書逐月事宜	一一九
十	授時通考農事曆	一二二
十一	治家略農事月令	一二五
十二	農事會要農家中行事	一二九
十三	農政全書占候篇	一三四
十四	農業氣候論	一三六
十五	農村歲時雜記	一四一
十六	課農山莊詩文選	一五一
十七	地球繞日圖說	一五一
十八	陽曆與陰曆	一五一
十九	新舊曆之異同	一五五
二十	曆法革命四則	一五五

魏 頌 唐 農 曆 目 次

中國天氣與中國氣候	一五七	農村三戒	一七九
中國氣候概況	一六二	田家二十四氣歌	一八〇
美國司徒測候法	一六三	節氣歌	一八一
紙測天時法	一六三	栽樹歌	一八二
通俗天氣預測法	一六三	種棉歌	一八二
論九穀風土及種時時月	一六四	插秧歌	一八三
農雅釋紀候	一六五	秧田歌	一八三
中秋月	一六六	種稗歌	一八三
論立春為農事上最重要之時節	一六九	題耕織圖詩	一八三
歸田運動	一七二	田家詩	一九一
備荒瑣語	一七六	杜陵叟	一九一
荊州勸農規條	一七七	苦旱行	一九一
于清端公農範	一七七	感事	一九一
朱柏廬格言	一七八	農事成語	一九二

魏頌唐農曆緣起

農曆者。乃舉一年間農業上應行之事。預記於曆以示工作之標準也。於農事之進行。大有補助。否則偶不注意。時間一過。生產將受無形之影響。蓋農事至繁。又極瑣碎。尤與節氣有密切關係。現在一般農民。往往因俗務紛紜。對於各項生產工作。匆促之際。疏忽遺忘。事所恆有。雖老農亦不能免。茲爲促進生產不失農時起見。惟有置備農曆。以便按時進行。又我國農村方面。沿用陰曆。已成習慣。鄉愚無知。每謂陰曆有節氣可以推算。近來坊間出版農曆通書。亦以指陰曆而言。實於曆政農功。兩有妨礙。殊不知節氣係由地球繞日運行而來。故推算節氣。惟根據陽曆。最爲準確。是陽曆實爲真正之農曆。現值改進農業。更應奉行陽曆。爰敘緣起。以正民時。

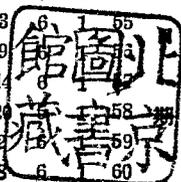
陽曆是農曆說

世界各國。莫不適用陽曆。故陽曆又名爲公曆。我國之用陽曆廢陰曆。始於辛亥革命。以是年十一月十三日爲民國元年元旦。迄今三十七年。時間不可謂不久。然陰曆亦相沿勿替。究其原因。莫不曰陰曆節氣。與農事有關。農事又與民生日用有關。故又有名陰曆爲農曆者。殊不知推算節氣。惟根據陽曆最爲準確。如立春在陽曆爲二月四日或五日。清明四月五日或六日。芒種六月六日或七日。夏至六月二十一日或二十二日。每年節氣即有不同。相差亦祇一日。其餘各種節氣。亦大都皆然。蓋節氣本於太陽之運行。太陽運行黃道上每進十五度即爲一氣。一年三百六十度。合之即爲二十四氣。是陽曆實爲真正之農曆也。我國以農立國。農業最重節氣。乃不以節氣最準確之陽曆爲農曆。而反以有年內春。年外春。一年兩頭春。二月清明。三月清明。四月芒種。五月芒種。夏至端午前。夏至端午後。端午夏至隔得開。節氣不一定之陰曆爲農曆。豈非大謬。今欲復興農村。亟應由國家明定以陽曆爲農曆。頌唐前爲矯正社會觀聽。既於三十二年編輯以陽曆爲起訖之真正農曆。又於三

十三年編輯三三至三五三年通用之真正農曆。更以流俗不免狃於積習。爲促成破除迷信。力求深入民間。復於三十六年將本曆體例重行調整。以陽曆及農事居上。而陰曆之繼成堂通書附註於下。俾農民閱看後。同在一日之中。兩相比較。得以自行辨明孰爲切於實用。打破繼成堂通書舊日吉凶宜忌之說爲荒誕不經。以冀喚起羣衆。一致廢除沿用陰曆通書習慣。一時流傳甚廣。惟每年編刊。勞而且費。茲爲求其經久適用。特將最近三十年間陽曆陰曆節氣作成對照表。並就三十年間陽曆陰曆逐日對照。又列一表。一併附後。依照表內所列。即舉立春節氣爲例。在此三十年中。就陽曆言。立春爲二月四日者共二十二年。二月五日者共八年。始終並未越出二月四五兩日。若根據陰曆。其立春日期相同者。僅辛巳庚子十二月十九日。甲申乙未正月十二日。甲申癸卯十二月二十二日。丙戌乙巳正月三日。己丑戊申正月七日。己丑戊申十二月十八日。庚寅己酉十二月二十八日。庚子辛亥正月九日各二年。其餘各年不但日期參差。即月份前後。亦屬不同。餘可類推。如是則陽曆是農曆之說。更可以歷年節氣經過事實證明之。民國三十七年二月五日於杭州。

表照對期日氣節曆陰曆陽年十六至年一十三國民

魏 頌 唐 農 曆	寒				大				寒				小				節氣 最 近 三 十 年 間 陽 曆 陰 曆
	曆		陰		曆		陽		曆		陰		曆		陽		
	時	日	月	年	時	日	月	年	時	日	月	年	時	日	月	年	
正子	5	12	巳辛	24	21	1	31	初辰	20	11	巳辛	7	6	1	31		
正卯	16	12	午壬	6	21	1	52	初未	1	12	午壬	18	6	1	32		
正午	26	12	未癸	12	21	1	33	初戌	11	12	未癸	19	6	1	33		
正酉	7	12	申甲	18	20	1	34	正子	23	11	申甲	24	6	1	34		
初子	18	12	酉乙	23	20	1	35	正卯	4	12	酉乙	6	6	1	35		
初卯	30	12	戌丙	5	21	1	36	正午	15	12	戌丙	12	6	1	36		
初午	11	12	亥丁	11	21	1	37	正酉	26	11	亥丁	18	6	1	37		
初酉	22	12	子戊	17	20	1	38	正子	8	12	子戊	24	6	1	38		
初子	3	12	丑己	23	20	1	59	初卯	18	11	丑己	5	6	1	39		
正寅	14	12	寅庚	3	21	1	40	初午	29	11	寅庚	11	6	1	40		
正巳	25	12	卯辛	10	21	1	41	初酉	10	12	卯辛	17	6	1	41		
正申	6	12	辰壬	16	20	1	42	初子	20	11	辰壬	23	5	1	42		
正亥	16	12	巳癸	22	20	1	43	初卯	2	12	巳癸	5	6	1	43		
正寅	28	12	午甲	4	21	1	44	初午	13	12	午甲	11	6	1	44		
正巳	9	12	未乙	10	21	1	45	正申	24	11	未乙	16	6	1	45		
初申	20	12	申丙	15	20	1	46	正亥	5	12	申丙	22	5	1	46		
初亥	1	12	酉丁	21	20	1	47	正寅	17	11	酉丁	4	6	1	47		
初寅	13	12	戌戊	3	21	1	48	正巳	27	11	戌戊	10	6	1	48		
初巳	23	12	亥己	9	21	1	49	正申	8	12	亥己	16	6	1	49		
初申	4	12	子庚	15	20	1	50	正亥	19	11	子庚	22	5	1	50		
初亥	15	12	丑辛	21	20	1	51	初寅	1	12	丑辛	3	6	1	51		
正丑	26	12	寅壬	2	21	1	52	初巳	11	12	寅壬	9	6	1	52		
正辰	7	12	卯癸	8	21	1	53	初申	22	11	卯癸	15	6	1	53		
正未	18	12	辰甲	14	20	1	54	初亥	3	12	辰甲	21	5	1	54		
正戌	29	12	巳乙	20	20	1	55	初寅	15	12	巳乙	3	6	1	55		
正丑	11	12	午丙	2	21	1	56	初巳	26	11	午丙	9	6	1	56		
正辰	22	12	未丁	8	21	1	57	正未	7	12	未丁	14	6	1	57		
初未	3	12	申戊	13	20	1	58	正戌	17	11	申戊	20	6	1	58		
初戌	13	12	酉己	19	20	1	59	正丑	29	11	酉己	2	6	1	59		
初丑	25	12	戌庚	1	21	1	60	正辰	10	12	戌庚	8	6	1	60		



表照對期日氣節曆陰曆陽年十六至年一十三國民

水				雨				春				立				節氣																	
曆陰				曆陽				曆陰				曆陽																					
時	日	月	年	時	日	月	年	時	日	月	年	時	日	月	年	最	魏																
正未	5	1	午壬	14	19	2	31	正酉	19	12	巳辛	18	4	2	31	近	唐																
正戌	15	1	未癸	20	19	2	32	正子	1	1	未癸	24	5	2	32			三	農														
正丑	27	1	申甲	2	20	2	33	正卯	12	1	申甲	6	5	2	33					十	年												
正辰	7	1	酉乙	8	19	2	34	正午	22	12	申甲	12	4	2	34							間	曆										
初未	13	1	戌丙	13	19	2	35	正酉	3	1	戌丙	18	4	2	35									四	日								
初戌	29	1	亥丁	19	19	2	36	初子	11	1	亥丁	23	4	2	36											期							
初丑	11	1	子戊	1	20	2	37	初卯	26	12	亥丁	5	5	2	37																		
初辰	22	1	丑己	7	19	2	38	初午	7	1	丑己	11	5	2	38																		
初未	3	1	寅庚	13	19	2	39	初酉	18	12	丑己	17	4	2	39																		
初戌	14	1	卯辛	19	19	2	40	初子	28	12	寅庚	23	5	2	40																		
正子	25	1	辰壬	24	20	2	41	正寅	10	1	辰壬	4	5	2	41																		
正卯	6	1	巳癸	6	19	2	42	正巳	21	12	辰壬	10	4	2	42																		
正午	17	1	午甲	12	19	2	43	正申	2	1	午甲	16	4	2	43																		
正酉	27	1	未乙	18	19	2	44	正亥	12	1	未乙	22	4	2	44																		
正子	9	1	申丙	24	20	2	45	正寅	24	12	未乙	4	5	2	45																		
正卯	20	1	酉丁	6	19	2	46	正巳	5	1	酉丁	10	4	2	46																		
初午	2	1	戌戊	11	19	2	47	初申	16	12	酉丁	15	4	2	47																		
初酉	12	1	亥己	17	19	2	48	初亥	27	12	戌戊	21	4	2	48																		
初子	23	1	子庚	23	19	2	49	初寅	9	1	子庚	3	5	2	49																		
初卯	5	1	丑辛	5	19	2	50	初巳	19	12	子庚	21	4	2	50																		
初午	15	1	寅壬	11	19	2	51	初申	30	12	丑辛	15	4	2	51																		
正申	26	1	卯癸	16	19	2	52	初亥	11	1	卯癸	21	4	2	52																		
正亥	7	1	辰甲	22	19	2	53	正丑	22	12	卯癸	2	5	2	53																		
正寅	18	1	巳乙	4	19	2	54	正辰	3	1	巳乙	8	4	2	54																		
正巳	30	1	午丙	10	19	2	55	正未	15	1	午丙	11	4	2	55																		
正申	11	1	未丁	16	19	2	56	正戌	25	12	午丙	20	4	2	56																		
正亥	21	1	申戊	22	19	2	57	正丑	7	1	申戊	2	5	2	57																		
初寅	3	1	酉己	3	19	2	58	正辰	13	12	申戊	8	4	2	58																		
初巳	14	1	戌庚	9	19	2	59	初未	23	12	酉己	13	4	2	59																		
初申	24	1	亥辛	15	19	2	60	初戌	9	1	亥辛	19	4	2	60																		

表照對期日氣節曆陰曆陽年十六至年一十三國民

魏 頌 唐 農 曆	分				春				蟄				鶯				節氣
	曆		陰		曆		陽		曆		陰		曆		陽		
	時	日	月	年	時	日	月	年	時	日	月	年	時	日	月	年	
五	初未	5	2	午壬	13	21	3	31	正午	20	1	午壬	12	6	3	31	最 近 三 十 年 間 陽 曆 陰 曆 日 期
	初戌	16	2	未癸	19	21	3	32	正酉	1	2	未癸	18	6	3	32	
	初丑	27	2	申甲	1	21	3	33	正子	12	2	申甲	24	6	3	33	
	初辰	8	2	酉乙	7	21	3	34	正卯	22	1	酉乙	6	6	3	34	
	初未	18	2	戌丙	13	21	3	35	正未	3	2	戌丙	14	6	3	35	
	初戌	29	2	亥丁	19	21	3	36	正酉	11	2	亥丁	17	6	3	36	
	正子	11	2	子戊	21	21	3	37	初子	25	1	子戊	23	5	3	37	
	正卯	22	2	丑己	6	21	3	38	初卯	7	2	丑己	5	6	3	38	
	正午	4	2	寅庚	12	21	3	39	初午	18	1	寅庚	11	6	3	39	
	正酉	14	2	卯辛	18	21	3	40	初酉	29	1	卯辛	17	6	3	40	
	正子	26	2	辰壬	24	21	3	41	初子	10	2	辰壬	23	5	3	41	
	初卯	7	2	巳癸	5	21	3	42	正寅	21	1	巳癸	4	6	3	42	
	初午	17	2	午甲	11	21	3	43	正巳	2	2	午甲	10	6	3	43	
	初酉	28	2	未乙	17	21	3	44	正申	13	2	未乙	16	6	3	44	
	初子	9	2	申丙	23	20	3	45	正亥	23	1	申丙	22	5	3	45	
	初卯	20	2	酉丁	5	21	3	46	正寅	5	2	酉丁	4	6	3	46	
	初午	2	2	戌戊	11	21	3	47	正巳	17	1	戌戊	10	6	3	47	
	正申	13	2	亥己	16	21	3	48	初申	27	1	亥己	15	6	3	48	
	正亥	23	2	子庚	22	20	3	49	初亥	8	2	子庚	21	5	3	49	
	正寅	5	2	丑辛	4	21	3	50	初寅	12	1	丑辛	3	6	3	50	
正巳	16	2	寅壬	10	21	3	51	初巳	1	2	寅壬	9	6	3	51		
正申	26	2	卯癸	16	21	3	52	初申	11	2	卯癸	15	6	3	52		
初亥	7	2	辰甲	21	20	3	53	正戌	22	1	辰甲	20	5	3	53		
初寅	19	2	巳乙	3	21	3	54	正丑	4	2	巳乙	2	6	3	54		
初巳	30	2	午丙	9	21	3	55	正辰	15	2	午丙	8	6	3	55		
初申	11	2	未丁	15	21	3	56	正未	26	1	未丁	14	6	3	56		
初亥	22	2	申戊	21	20	3	57	正戌	7	2	申戊	20	5	3	57		
初寅	4	2	酉己	3	21	3	58	正丑	18	1	酉己	2	6	3	58		
正辰	14	2	戌庚	8	21	3	59	初辰	29	1	戌庚	7	6	3	59		
正未	23	2	亥辛	14	21	3	60	初未	10	2	亥辛	31	6	3	60		

表照對期日氣節曆陰曆陽年十六至年一十三國民

雨				霰				明				清				節氣	
曆陰				曆陽				曆陰				曆陽				最	魏
時	日	月	年	時	日	月	年	時	日	月	年	時	日	月	年		
初丑	7	3	午壬	1	21	4	31	正酉	12	2	午壬	18	5	4	31	三 十 年 間 陽 曆 陰 曆 日 期	六
初辰	17	3	未癸	7	21	4	32	初子	1	3	未癸	23	5	4	32		
初未	23	3	申甲	13	20	4	33	初卯	13	3	申甲	5	5	4	33		
初戌	9	3	酉乙	19	20	4	34	初午	23	2	酉乙	11	5	4	34		
正子	20	3	戌丙	24	21	4	35	初酉	4	3	戌丙	15	5	4	35		
正卯	1	3	亥丁	6	21	4	33	初子	14	2	亥丁	23	5	4	33		
正午	12	3	子戊	12	20	4	37	初卯	23	2	子戊	5	5	4	37		
正酉	23	3	丑己	18	20	4	38	正巳	8	3	丑己	10	5	4	38		
正子	5	3	寅庚	24	21	4	39	正申	19	2	寅庚	13	5	4	39		
初卯	16	3	卯辛	5	21	4	40	正亥	29	2	卯辛	22	5	4	40		
初午	23	3	辰壬	11	20	4	41	正寅	11	3	辰壬	4	5	4	41		
初酉	7	3	巳癸	17	20	4	42	正巳	22	2	巳癸	10	5	4	42		
初子	18	3	午甲	23	20	4	43	初申	3	3	午甲	15	5	4	43		
初卯	29	3	未乙	5	21	4	44	初亥	13	3	未乙	21	5	4	44		
正巳	10	3	申丙	10	20	4	45	初寅	25	2	申丙	3	5	4	45		
正申	21	3	酉丁	16	20	4	43	初巳	6	3	酉丁	9	5	4	46		
正亥	2	3	戌戊	22	20	4	47	初申	17	2	戌戊	15	5	4	47		
正寅	14	3	亥己	3	21	4	48	初亥	28	2	亥己	21	5	4	48		
正巳	25	3	子庚	10	20	4	49	正丑	10	3	子庚	2	5	4	49		
正申	6	3	丑辛	13	20	4	50	正辰	20	2	丑辛	8	5	4	50		
初亥	16	3	寅壬	21	20	4	51	正未	1	3	寅壬	14	5	4	51		
初寅	28	3	卯癸	3	21	4	52	正戌	12	3	卯癸	20	5	4	52		
初巳	9	3	辰甲	9	20	4	53	正丑	23	2	辰甲	2	5	4	53		
初申	19	3	巳乙	15	20	4	54	初辰	3	3	巳乙	7	5	4	54		
初亥	30	3	午丙	21	20	4	55	初未	15	3	午丙	13	5	4	55		
正丑	12	3	未丁	2	21	4	56	初戌	25	2	未丁	19	5	4	56		
正辰	23	3	申戊	8	20	4	57	初丑	8	3	申戊	1	5	4	57		
正未	4	3	酉己	14	20	4	58	初辰	19	2	酉己	7	5	4	58		
正戌	15	3	戌庚	20	20	4	59	初未	29	2	戌庚	13	5	4	59		
正丑	23	3	亥辛	2	21	4	60	正酉	10	3	亥辛	18	5	4	60		

表照對期日氣節曆陰曆陽年十六至年一十三國民

魏 頌 唐 農 曆	滿				小				夏				立				節 氣
	陰				陽				陰				陽				
	時	日	月	年	時	日	月	年	時	日	月	年	時	日	月	年	
初丑	8	4	午壬	1	22	5	31	正午	22	3	午壬	12	6	5	31	最 近 三 十 年 間 陽 曆 陰 曆 日 期	
初辰	19	4	未癸	7	22	5	32	初酉	3	4	未癸	17	6	5	32		
正午	29	4	申甲	12	21	5	33	初子	13	4	申甲	23	5	5	33		
正酉	10	4	酉乙	18	21	5	34	初卯	25	3	酉乙	5	6	5	34		
正子	22	4	戌丙	24	22	5	35	初午	6	4	戌丙	11	6	5	35		
正卯	3	4	亥丁	6	22	5	33	初酉	16	3	亥丁	17	6	5	33		
正午	13	4	子戊	12	21	5	37	正亥	27	3	子戊	22	5	5	37		
初酉	24	4	丑己	17	21	5	38	正寅	9	4	丑己	4	6	5	38		
初子	5	4	寅庚	23	21	5	39	正巳	20	3	寅庚	10	6	5	39		
初卯	17	4	卯辛	5	22	5	40	正申	1	4	卯辛	16	6	5	40		
初午	28	4	辰壬	11	21	5	41	初亥	12	4	辰壬	22	5	5	41		
初酉	9	4	巳癸	17	21	5	42	初寅	23	3	巳癸	3	6	5	42		
正亥	19	4	午甲	22	21	5	43	初巳	4	4	午甲	9	6	5	43		
正寅	1	4	未乙	4	22	5	44	初申	15 ^閏	3	未乙	15	6	5	44		
正巳	12	4	申丙	10	21	5	45	初亥	25	3	申丙	21	5	5	45		
正申	22	4	酉丁	13	21	5	43	初寅	7	4	酉丁	3	6	5	43		
正亥	3	4	戌戊	22	21	5	47	初巳	18	3	戌戊	9	6	5	47		
正寅	15	4	亥己	4	22	5	48	正未	29	3	亥己	14	6	5	43		
初巳	26	4	子庚	9	21	5	49	正戌	10	4	子庚	20	5	5	49		
初申	7	4	丑辛	15	21	5	50	正丑	22	3	丑辛	2	6	5	50		
初亥	18	4	寅壬	21	21	5	51	正辰	3	4	寅壬	8	6	5	51		
初寅	29	4	卯癸	3	22	5	52	正未	13	4	卯癸	14	6	5	52		
初巳	10	4	辰甲	9	21	5	53	初戌	24	3	辰甲	19	5	5	53		
初未	21	4	巳乙	14	21	5	54	初丑	6	4	巳乙	1	6	5	54		
正戌	2	4	午丙	20	21	5	55	初辰	16 ^閏	3	午丙	7	6	5	55		
正丑	14	4	未丁	2	22	5	56	初未	27	3	未丁	13	6	5	56		
正辰	25	4	申戊	8	21	5	57	初戌	9	4	申戊	19	5	5	57		
正未	6	4	酉己	14	21	3	58	正子	20	3	酉己	24	6	5	58		
初戌	17	4	戌庚	19	21	3	59	正卯	2	4	戌庚	6	6	5	59		
初丑	28	4	亥辛	1	22	3	60	正午	12	4	亥辛	12	6	5	60		

表照對期日氣節曆陰曆陽年十六至年一十三國民

至				夏				種				芒				節氣	
曆陰				曆陽				曆陰				曆陽					
時	日	月	年	時	日	月	年	時	日	月	年	時	日	月	年		
初巳	9	5	午壬	9	22	6	31	正申	23	4	午壬	13	6	6	31	最	魏
初申	20	5	未癸	15	22	6	32	正亥	4	5	未癸	22	6	6	32	近	頌
初亥	1	5	申甲	21	21	6	33	正寅	16	閏4	申甲	4	6	6	33	唐	農
初寅	13	5	酉乙	3	22	6	34	正巳	26	4	酉乙	10	6	6	34	三	曆
正辰	23	5	戌丙	8	22	6	35	初申	7	5	戌丙	15	6	6	35	十	
正未	4	5	亥丁	14	22	6	36	初亥	18	4	亥丁	21	6	6	36	年	
正戌	15	5	子戊	20	21	6	37	初寅	29	4	子戊	3	6	6	37	間	
正丑	26	5	丑己	3	22	6	38	初巳	17	5	丑己	9	5	6	38	陽	
正辰	8	5	寅庚	8	22	6	39	初申	21	4	寅庚	15	6	6	39	曆	
正未	18	5	卯辛	13	22	6	40	正戌	2	5	卯辛	20	6	6	40	八	
初戌	29	5	辰壬	19	21	6	41	正丑	14	5	辰壬	3	6	6	41	陰	
初丑	12	5	巳癸	1	22	6	42	正辰	25	4	巳癸	8	6	6	42	曆	
初辰	22	5	午甲	7	22	6	43	正未	6	5	午甲	14	6	6	43	日	
初未	3	5	未乙	13	22	6	44	正戌	16	4	未乙	20	6	6	44	期	
正酉	13	5	申丙	18	21	6	45	初丑	28	4	申丙	1	6	6	45		
正子	25	5	酉丁	24	22	6	46	初辰	9	5	酉丁	7	6	6	46		
正卯	6	5	戌戊	6	22	6	47	初未	19	4	戌戊	13	6	6	47		
正午	17	5	亥己	12	22	6	48	初戌	1	5	亥己	19	6	6	48		
正酉	28	5	子庚	16	21	6	49	初丑	13	5	子庚	1	6	6	49		
初子	9	5	丑辛	23	21	6	50	正卯	23	4	丑辛	6	6	6	50		
初卯	21	5	寅壬	5	22	6	51	正午	5	5	寅壬	12	6	6	51		
初午	2	5	卯癸	11	22	6	52	正酉	15	閏4	卯癸	18	6	6	52		
初酉	12	5	辰甲	17	21	6	53	正子	26	4	辰甲	24	6	6	53		
初子	22	5	巳乙	23	21	6	54	正卯	7	5	巳乙	6	6	6	54		
正寅	4	5	午丙	4	22	6	55	初午	18	4	午丙	11	6	6	55		
正巳	15	5	未丁	10	22	6	56	初酉	29	4	未丁	17	6	6	56		
正申	26	5	申戊	16	21	6	57	初子	10	5	申戊	23	5	6	57		
正亥	7	5	酉己	22	21	6	58	初卯	22	4	酉己	5	6	6	58		
正寅	19	5	戌庚	4	22	6	59	初午	3	5	戌庚	11	6	6	59		
初巳	30	5	亥辛	9	22	6	60	初酉	14	5	亥辛	17	6	6	60		

表照對期日氣節曆陰曆陽年十六至年一十三國民

曆	暑				大				暑				小				節氣
	陰				陽				陰				陽				
	時	日	月	年	時	日	月	年	時	日	月	年	時	日	月	年	
魏 頌 唐 農 曆	正戌	11	6	午壬	20	23	7	31	初寅	25	5	午壬	3	8	7	31	最 近 三 十 年 間 陽 曆 陰 曆 日 期
	正丑	23	6	未癸	2	24	7	32	初巳	7	6	未癸	9	8	7	32	
	正辰	4	6	申甲	8	23	7	33	正未	17	5	申甲	14	7	7	33	
	正未	15	6	酉乙	14	23	7	34	正戌	28	5	酉乙	20	7	7	34	
	初戌	25	6	戌丙	19	23	7	35	正丑	10	6	戌丙	2	8	7	35	
	初丑	7	6	亥丁	1	24	7	36	正辰	20	5	亥丁	8	8	7	36	
	初辰	17	6	子戊	7	23	7	37	正未	1	6	子戊	14	1	7	37	
	初未	28	6	丑己	11	23	7	38	初戌	12	6	丑己	19	7	7	38	
	初戌	9	6	寅庚	19	23	7	39	初丑	24	5	寅庚	1	8	7	39	
	正子	12	6	卯辛	24	24	7	40	初辰	5	6	卯辛	7	8	7	40	
	正卯	2	6	辰壬	6	23	7	41	初未	6	閏5	辰壬	13	7	7	41	
	正午	13	6	巳癸	12	23	7	42	初戌	27	5	巳癸	20	7	7	42	
	正酉	24	6	午甲	18	23	7	43	正子	9	6	午甲	24	8	7	43	
	正子	4	6	未乙	24	24	7	44	正卯	19	5	未乙	6	8	7	44	
	初卯	16	6	申丙	5	23	7	45	正午	29	5	申丙	12	7	7	45	
	初午	26	6	酉丁	11	23	7	46	正酉	10	6	酉丁	18	7	7	46	
	初酉	7	6	戌戊	17	23	7	47	正子	22	5	戌戊	24	8	7	47	
	初子	18	6	亥己	23	23	7	48	初卯	3	6	亥己	5	8	7	48	
	初卯	30	6	子庚	5	23	7	49	初午	14	6	子庚	11	7	7	49	
	正巳	11	6	丑辛	22	23	7	50	初酉	25	5	丑辛	17	7	7	50	
正申	22	6	寅壬	16	23	7	51	初子	6	6	寅壬	23	7	7	51		
正亥	3	6	卯癸	22	23	7	52	初卯	18	5	卯癸	5	8	7	52		
正寅	15	6	辰甲	5	23	7	53	正巳	28	5	辰甲	10	7	7	53		
正巳	25	6	巳乙	10	23	7	54	正申	9	6	巳乙	16	7	7	54		
初申	6	6	午丙	15	23	7	55	正亥	19	5	午丙	22	7	7	55		
初亥	16	6	未丁	21	23	7	56	正寅	1	6	未丁	4	8	7	56		
初寅	28	6	申戊	3	23	7	57	正巳	12	6	申戊	10	7	7	57		
初巳	10	6	酉己	9	23	7	58	初申	23	5	酉己	15	7	7	58		
初申	21	6	戌庚	15	23	7	59	初亥	5	6	戌庚	21	7	7	59		
正戌	2	6	亥辛	20	23	7	60	初寅	16	閏5	亥辛	3	8	7	60		

表照對期日氣節曆陰曆陽年十六至年一十三國民

暑				處				秋				立				節氣
曆陰				曆陽				曆陰				曆陽				
時	日	月	年	時	日	月	年	時	日	月	年	時	日	月	年	
初寅	13	7	午壬	3	24	8	31	初未	27	6	午壬	13	8	8	31	最
初巳	24	7	未癸	9	24	8	32	正酉	8	7	未癸	6	8	8	32	近
初申	5	7	申甲	15	23	8	33	正子	20	6	申甲	24	8	8	33	唐
初亥	16	7	酉乙	21	23	8	34	正卯	1	7	酉乙	6	8	8	34	農
初寅	28	7	戌丙	3	24	8	35	正午	12	7	戌丙	12	8	8	35	曆
正辰	9	7	亥丁	8	24	8	36	正酉	20	6	亥丁	18	8	8	36	三
正未	19	7	子戊	14	23	8	37	初子	3	7	子戊	23	7	8	37	十
正戌	29	7	丑己	20	23	8	38	初卯	14	7	丑己	5	8	8	38	年
正丑	11	7	寅庚	2	24	8	39	初午	25	6	寅庚	11	8	8	39	間
正辰	22	7	卯辛	8	24	8	40	初酉	6	7	卯辛	17	8	8	40	陽
初未	4	7	辰壬	13	23	8	41	初子	17	6	辰壬	23	7	8	41	曆
初戌	15	7	巳癸	19	23	8	42	初卯	29	6	巳癸	5	8	8	42	陰
初丑	23	7	午甲	1	24	8	43	正巳	10	7	午甲	10	8	8	43	曆
初辰	7	7	未乙	7	24	8	44	正申	21	6	未乙	16	8	8	44	日
初未	18	7	申丙	13	23	8	45	正亥	2	7	申丙	22	7	8	45	期
正酉	28	7	酉丁	6	23	8	46	正寅	13	7	酉丁	4	8	8	46	
正子	10	7	戌戊	24	24	8	47	正巳	23	6	戌戊	10	8	8	47	
正卯	21	7	亥己	18	24	8	48	初申	5	7	亥己	15	8	8	48	
正午	2	7	子庚	12	23	8	49	初亥	15	閏6	子庚	21	7	8	49	
正酉	13	7	丑辛	18	23	8	50	初寅	27	6	丑辛	3	8	8	50	
初子	24	7	寅壬	23	23	8	51	初巳	9	7	寅壬	9	8	8	51	
初卯	6	7	卯癸	5	24	8	52	初申	19	6	卯癸	15	8	8	52	
初午	16	7	辰甲	11	23	8	53	正戌	30	6	辰甲	21	7	8	53	
初酉	27	7	巳乙	17	23	8	54	正丑	12	7	巳乙	2	8	8	54	
初子	8	7	午丙	23	23	8	55	正辰	23	6	午丙	8	8	8	55	
初卯	19	7	未丁	5	24	8	56	正未	3	7	未丁	14	8	8	56	
正巳	30	7	申戊	10	23	8	57	正戌	14	7	申戊	20	7	8	57	
正申	11	7	酉己	16	23	8	58	初丑	26	6	酉己	1	8	8	58	
正亥	22	7	戌庚	22	23	8	59	初辰	7	7	戌庚	7	8	8	59	
正寅	4	7	亥辛	4	24	8	60	初未	18	6	亥辛	13	8	8	60	

表照對期日氣節曆陰曆陽年十六至年一十三國民

魏 頌 唐 農 曆	分				秋				露				白				節 氣
	陰		陽		陰		陽		陰		陽		陽				
	時	日	月	年	時	日	月	年	時	日	月	年	時	日	月	年	
	初丑	15	8	午壬	1	24	9	31	正申	28	7	午壬	16	8	9	31	最 近 三 十 年 間 陽 曆 陰 曆 日 期
	初辰	25	8	未癸	7	24	9	32	初亥	9	8	未癸	21	8	9	32	
	初未	7	8	申甲	13	23	9	33	初寅	21	7	申甲	3	8	9	33	
	正酉	18	8	酉乙	18	23	9	34	初巳	3	8	酉乙	9	8	9	34	
	正子	29	8	戌丙	24	24	9	35	初申	13	8	戌丙	15	8	9	35	
	正卯	10	8	亥丁	6	24	9	36	初亥	24	7	亥丁	21	8	9	36	
	正午	21	8	子戊	12	23	9	37	正丑	6	8	子戊	2	8	9	37	
	正酉	2	8	丑己	18	23	9	38	正辰	16閏	7	丑己	8	8	9	38	
	初子	12	8	寅庚	23	23	9	39	正未	26	7	寅庚	14	8	9	39	
	初卯	24	8	卯辛	5	24	9	40	正戌	8	8	卯辛	20	8	9	40	
	初午	5	8	辰壬	11	23	9	41	正丑	20	7	辰壬	2	8	9	41	
	初酉	16	8	巳癸	17	23	9	42	初辰	1	8	巳癸	7	8	9	42	
	初子	27	8	午甲	23	23	9	43	初未	20	8	午甲	13	8	9	43	
	正寅	9	8	未乙	4	24	9	44	初戌	22	7	未乙	19	8	9	44	
	正巳	19	8	申丙	10	23	9	45	初丑	4	8	申丙	1	8	9	45	
	正申	30	8	酉丁	16	23	9	46	初辰	15	8	酉丁	7	8	9	46	
	正亥	11	8	戌戊	22	23	9	47	初未	25	7	戌戊	13	8	9	47	
	正寅	22	8	亥己	4	24	9	48	正酉	6	8	亥己	18	8	9	48	
	正巳	3	8	子庚	22	23	9	49	正子	18	7	子庚	24	8	9	49	
	初申	14	8	丑辛	15	23	9	50	正卯	29	7	丑辛	8	8	9	50	
	初亥	25	8	寅壬	21	23	9	51	正午	10	8	寅壬	12	8	9	51	
	初寅	7	8	卯癸	3	24	9	52	正酉	21	7	卯癸	18	8	9	52	
	初巳	18	8	辰甲	9	23	9	53	初子	2	8	辰甲	23	7	9	53	
	初申	28	8	巳乙	15	23	9	54	初卯	13	8	巳乙	5	8	9	54	
	正戌	9	8	午丙	20	23	9	55	初午	24	7	午丙	11	8	9	55	
	正丑	21	8	未丁	1	24	9	56	初酉	5	8	未丁	17	8	9	56	
	正辰	2	8	申戊	8	23	9	57	初子	15閏	7	申戊	23	7	9	57	
	正未	12	8	酉己	14	23	9	58	正寅	27	7	酉己	4	8	9	58	
	正戌	23	8	戌庚	20	23	9	59	正巳	8	8	戌庚	10	8	9	59	
	初丑	6	8	亥辛	1	24	9	60	正申	19	7	亥辛	16	8	9	60	

表照對期日氣節曆陰曆陽年十六至年一十三國民

魏 頌 唐 農 曆	雪				小				冬				立				節氣
	曆		陰		曆		陽		曆		陰		曆		陽		
	時	日	月	年	時	日	月	年	時	日	月	年	時	日	月	年	
	初辰	16	10	午壬	7	23	11	31	正巳	1	10	午壬	10	8	11	31	最 近 三 十 年 間 陽 曆 陰 曆 日 期
	初未	26	10	未癸	13	23	11	32	正申	11	10	未癸	16	8	11	32	
	初戌	7	10	申甲	19	22	11	33	初亥	22	9	申甲	21	7	11	33	
	正子	19	10	酉乙	24	23	11	34	初寅	4	10	酉乙	3	8	11	34	
	正卯	31	10	戌丙	6	23	11	35	初巳	15	10	戌丙	9	8	11	35	
	正午	11	10	亥丁	12	23	11	36	初申	26	9	亥丁	15	8	11	36	
	正酉	22	10	子戊	18	22	11	37	初亥	7	10	子戊	21	7	11	37	
	正子	4	10	丑己	24	23	11	38	初寅	8	9	丑己	3	8	11	38	
	正卯	14	10	寅庚	6	23	11	39	正辰	29	9	寅庚	8	8	11	39	
	初午	25	10	卯辛	11	23	11	40	正未	10	10	卯辛	14	8	11	40	
	初酉	6	10	辰壬	17	22	11	41	正戌	20	9	辰壬	20	7	11	41	
	初子	16	10	巳癸	23	22	11	42	正丑	2	10	巳癸	2	8	11	42	
	初卯	28	10	午甲	5	23	11	43	正辰	13	10	午甲	8	8	11	43	
	初午	10	10	未乙	11	23	11	44	初未	24	9	未乙	13	8	11	44	
	初酉	20	10	申丙	17	22	11	45	初戌	5	10	申丙	19	7	11	45	
	正亥	1	10	酉丁	22	22	11	46	初丑	17	9	酉丁	1	8	11	46	
	正寅	13	10	戌戊	4	23	11	47	初辰	27	9	戌戊	7	8	11	47	
	正巳	23	10	亥己	10	23	11	48	初未	8	10	亥己	13	8	11	48	
	正申	4	10	子庚	16	22	11	49	初戌	19	9	子庚	19	7	11	49	
	正亥	15	10	丑辛	22	22	11	50	正子	1	10	丑辛	24	8	11	50	
	初寅	27	10	寅壬	3	23	11	51	正卯	12	10	寅壬	6	8	11	51	
	初巳	8	10	卯癸	9	23	11	52	正午	23	9	卯癸	12	8	11	52	
	初申	19	10	辰甲	15	22	11	53	正酉	4	10	辰甲	18	7	11	53	
	初亥	30	10	巳乙	21	22	11	54	正子	16	10	巳乙	24	8	11	54	
	初寅	12	10	午丙	3	23	11	55	正卯	26	9	午丙	6	8	11	55	
	初巳	22	10	未丁	9	23	11	56	初午	7	10	未丁	11	8	11	56	
	正未	3	10	申戊	4	22	11	57	初酉	17	9	申戊	17	7	11	57	
	正戌	13	10	酉己	20	22	11	58	初子	28	9	酉己	23	7	11	58	
	正丑	25	10	戌庚	2	23	11	59	初卯	10	10	戌庚	5	8	11	59	
	正辰	6	10	亥辛	8	23	11	60	初午	21	9	亥辛	11	8	11	60	

表照對期日氣節曆陰曆陽年十六至年一十三國民

至				冬				雪				大				節氣	
曆 陰				曆 陽				曆 陰				曆 陽					
時	日	月	年	時	日	月	年	時	日	月	年	時	日	月	年		
正戌	15	11	午壬	20	22	12	31	正丑	1	11	午壬	2	8	12	31	最	魏
正丑	27	11	未癸	2	23	12	32	正辰	12	11	未癸	8	8	12	32	頌	唐
初辰	8	11	申甲	7	22	12	33	正未	22	10	申甲	14	7	12	33	近	唐
初未	18	11	酉乙	13	22	12	34	正戌	3	11	酉乙	20	7	12	34	三	農
初戌	29	11	戌丙	19	22	12	35	初丑	15	11	戌丙	1	8	12	35	曆	
初丑	12	11	亥丁	1	23	12	36	初辰	23	10	亥丁	7	8	12	36	十	
初辰	22	11	子戊	7	22	12	37	初未	7	11	子戊	13	7	12	37	年	
正午	3	11	丑己	12	22	12	38	初戌	18	10	丑己	19	7	12	38	間	
正酉	14	11	寅庚	18	22	12	39	初丑	19	10	寅庚	1	8	12	39	陽	
正子	25	11	卯辛	24	23	12	40	正卯	10	11	卯辛	6	8	12	40	曆	
正卯	6	11	辰壬	6	22	12	41	正午	21	11	辰壬	12	7	12	41	陰	
正午	17	11	巳癸	12	22	12	42	正酉	2	11	巳癸	18	7	12	42	曆	
正酉	28	11	午甲	18	22	12	43	正子	14	11	午甲	24	8	12	43	日	
初子	9	11	未乙	23	22	12	44	正卯	25	10	未乙	6	8	12	44	期	
初卯	21	11	申丙	5	22	12	45	正午	6	11	申丙	12	7	12	45		
初午	2	11	酉丁	11	22	12	46	初酉	16	10	酉丁	17	7	12	46		
初酉	12	11	戌戊	17	22	12	47	初子	27	10	戌戊	23	7	12	47		
初子	23	11	亥己	23	22	12	48	初卯	9	11	亥己	5	8	12	48		
初卯	5	11	子庚	5	22	12	49	初午	19	10	子庚	11	7	12	49		
正巳	15	11	丑辛	10	22	12	50	初酉	30	10	丑辛	17	7	12	50		
正申	26	11	寅壬	16	22	12	51	初子	11	11	寅壬	23	7	12	51		
正亥	7	11	卯癸	22	22	12	52	正寅	23	10	卯癸	3	8	12	52		
正寅	19	11	辰甲	4	22	12	53	正巳	3	11	辰甲	10	7	12	53		
正巳	30	11	巳乙	10	22	12	54	正申	15	11	巳乙	16	7	12	54		
正申	11	11	午丙	16	22	12	55	正亥	26	10	午丙	22	7	12	55		
初亥	21	11	未丁	21	22	12	55	正寅	7	11	未丁	4	8	12	56		
初寅	3	11	申戊	3	22	12	57	正巳	18	10	申戊	10	7	12	57		
初巳	14	11	酉己	9	22	12	58	初申	28	10	酉己	15	7	12	58		
初申	24	11	戌庚	15	22	12	59	初亥	9	11	戌庚	21	7	12	59		
初亥	5	11	亥辛	21	22	12	60	初寅	21	10	亥辛	3	8	12	60		

上表所列三十年中陽曆陰曆節氣日期。對照結果。說明如下。

小寒

照陽曆三十年中寒爲一月六日者共二十五年一月五日者共五年始終並未越出一月五六兩日

若照陰曆三十年中寒節氣月日相同者僅十一月二十日十二月一日十二月十五日十二月二十六日十二月八日十一月二十九日十二月十日各兩年其餘年份節氣日期均各不同

大寒

照陽曆三十年中大寒爲一月二十日者共十四年一月二十一日者共十六年

若照陰曆三十年中大寒節氣月日相同者僅十二月十六日十二月二十六日十二月七日十二月十八日十二月十一日十二月二十二日十二月三日十二月二十五日十二月十三日各兩年其餘年份節氣日期均各不同

立春

照陽曆三十年中立春爲二月四日者共二十二年二月五日者共八年

若照陰曆三十年中立春節氣月日相同者僅十二月十九日一月十二日十二月二十二日一月三日一月七日十二月十八日十二月二十八日一月九日各兩年其餘年份節氣日期均各不同

雨水

照陽曆三十年中雨水爲二月十九日者共二十六年二月二十日者共四年

若照陰曆三十年中雨水節氣月日相同者僅一月五日一月十五日一月二十七日一月七日一月十八日一月十一日一月三日一月十四日各兩年其餘年份節氣日期均各不同

驚蟄

照陽曆三十年中驚蟄爲三月五日者共六年三月六日者共二十四年

若照陰曆三十年中驚蟄節氣月日相同者僅二月一日一月二十二日二月七日一月十八日一月二十九日二月十日各兩年其餘年份節氣日期均各不同

春分

照陽曆三十年中春分爲三月二十一日者共二十六年三月二十日者共四年

若照陰曆三十年中春分節氣月日相同者僅二月五日二月十六日二月十一日二月十四日二月二十六日二月七日二月十六日二

月二十二日各兩年其餘年份節氣日期均各不同

清明

照陽曆三十年中清明爲四月四日者共一年四月五日者共二十九年

若照陰曆三十年中清明節氣月日相同者僅三月一日三月十三日二月二十三日二月二十六日三月八日二月二十九日三月三日三月十日各兩年其餘年份節氣日期均各不同

穀雨

照陽曆三十年中穀雨爲四月二十日者共十九年爲四月二十一日共十一年

若照陰曆三十年中穀雨節氣月日相同者僅三月七日三月二十八日三月九日三月十二日三月二十三日三月十六日三月二十六日各兩年其餘年份節氣日期均各不同

立夏

照陽曆三十年中立夏爲五月五日者共七年爲五月六日者共二十三年

若照陰曆三十年中立夏節氣月日相同者僅三月二十二日四月三日四月十三日三月二十五日四月六日三月十六日三月二十七日四月九日三月二十日四月十二日各兩年其餘年份節氣日期均各不同

小滿

照陽曆三十年中小滿爲五月二十一日者共二十年五月二十二日者共十年

若照陰曆三十年中小滿節氣月日相同者僅四月十九日四月二十九日四月十日四月二十二日四月十七日四月二十八日各兩年其餘年份節氣日期均各不同

芒種

照陽曆三十年中芒種爲六月五日者共二年六月六日者共二十八年

若照陰曆三十年中芒種節氣月日相同者僅四月二十三日四月二十六日五月七日四月十八日四月二十九日五月十四日者各兩年其餘年份節氣日期均各不同

夏至

照陽曆三十年中夏至爲六月二十二日者共二十年爲六月二十一日者共十年

若照陰曆三十年中夏至節氣月日相同者僅五月九日五月十三日五月四日五月二十六日五月二十二日各兩年其餘年份節氣日

期均各不同

小暑 照陽曆三十年中小暑爲七月八日者共十三年七月七日者共十七年

若照陰曆三十年中小暑節氣月日相同者僅五月二十五日五月二十八日六月十日六月一日六月十二日六月五日六月九日五月十九日各兩年其餘年份節氣日期均各不同

大暑 照陽曆三十年中大暑爲七月二十三日者共二十六年七月二十四日者共四年

若照陰曆三十年中大暑節氣月日相同者僅六月十一日六月十五日六月二十五日六月七日六月二十一日六月二日六月十六日各兩年其餘年份節氣日期均各不同

立秋 照陽曆三十年中立秋爲八月七日者共六年八月八日者共二十四年

若照陰曆三十年中立秋節氣月日相同者僅六月二十七日六月二十日七月十二日七月三日七月十四日六月二十三日各兩年其餘年份節氣日期均各不同

處暑 照陽曆三十年中處暑爲八月二十三日者共十七年八月二十四日者共十三年

若照陰曆三十年中處暑節氣月日相同者僅七月二十四日七月十六日七月二十八日七月十九日七月二十一日七月四日各兩年其餘年份節氣日期均各不同

白露 照陽曆三十年中白露爲九月七日者共二年九月八日者共二十八年

若照陰曆三十年中白露節氣月日相同者僅七月二十四日八月六日八月八日各兩年其餘年份節氣日期均各不同

秋分 照陽曆三十年中秋分爲九月二十三日者共二十年九月二十日者共十年
若照陰曆三十年中秋分節氣月日相同者僅八月二十五日八月七日八月十八日八月二十一日八月十二日八月九日各兩年其餘年份節氣日期均各不同

寒露 照陽曆三十年中寒露爲十月八日者共十二年十月九日者共十八年

若照陰曆三十年中寒露節氣月日相同者僅九月十一日八月二十五日九月六日八月十八日八月二十七日各兩年其餘年份節氣日期均各不同

霜降 照陽曆三十年中霜降爲十月二十三日者共八年十月二十四日者共二十二年

若照陰曆三十年中霜降節氣月日相同者僅九月十五日九月二十六日九月十一日九月二十一日各兩年其餘年份節氣日期均各不同

立冬 照陽曆三十年中立冬爲十一月七日者共八年十一月八日者共二十二年

若照陰曆三十年中立冬節氣月日相同者僅十月一日九月廿六日十月七日十月十日各兩年其餘年份節氣日期均各不同

小雪 照陽曆三十年申小雪爲十一月二十二日者共十二年十一月二十三日者共十八年

若照陰曆三十年申小雪節氣月日相同者僅十月十六日十月十九日十月三十日十月二十二日十月四日十月二十五日十月六日十月十三日各兩年其餘年份節氣日期均各不同

大雪 照陽曆三十年中大雪爲十二月七日者共十八年十二月八日者共十二年

若照陰曆三十年中大雪節氣月日相同者僅十一月三日十一月十五日十月二十六日十一月七日十一月九日各兩年其餘年份節氣日期均各不同

冬至 照陽曆三十年中冬至爲十二月二十二日者共二十七年十一月二十三日者共三年

若照陰曆三十年中冬至節氣月日相同者僅十一月十五日十一月十二日十一月三日十一月十四日十一月二十一日十一月五日各兩年其餘年份節氣日期均各不同

民國三十二年陽曆陰曆對照表

月別	日	別	備	考
月一	陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	陰 25 26 27 28 29 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	【陰曆】壬午年十一月十一日 【節氣】六日小寒 十一日大雪 【星期】三日十日十七日廿四日卅一日	
月二	陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	陰 27 28 29 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	【陰曆】壬午年十二月癸未年正月 【節氣】五日立春 十九日雨水 【星期】七日十四日二十一日二十八日	
月三	陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	陰 25 26 27 28 29 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	【陰曆】癸未年正月二月 【節氣】六日驚蟄 二十一日春分 【星期】七日十四日二十一日二十八日	
月四	陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	陰 27 28 29 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	【陰曆】癸未年二月三月 【節氣】五日清明 二十一日穀雨 【星期】四日十一日十八日二十五日	
月五	陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	陰 27 28 29 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	【陰曆】癸未年三月四月 【節氣】六日立夏 二十二日小滿 【星期】二日九日十六日廿三日三十日	
月六	陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	陰 29 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	【陰曆】癸未年四月五月 【節氣】六日芒種 二十二日夏至 【星期】六日十三日二十日二十七日	

魏 頌 唐 農 曆

魏頌唐農曆

民國三十二年陽曆陰曆對照表

月二十		月一十		月十		月九		月八		月七		月別	日	別	備	考
陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽					
5	1	4	1	3	1	2	1	1	1	29	1					
6	2	5	2	4	2	3	2	2	2	1	2					
7	3	6	3	5	3	4	3	3	3	2	3					
8	4	7	4	6	4	5	4	4	4	3	4					
9	5	8	5	7	5	6	5	5	5	4	5					
10	6	9	6	8	6	7	6	6	6	5	6					
11	7	10	7	9	7	8	7	7	7	6	7					
12	8	11	8	10	8	9	8	8	8	7	8					
13	9	12	9	11	9	10	9	9	9	8	9					
14	10	13	10	12	10	11	10	10	10	9	10					
15	11	14	11	13	11	12	11	11	11	10	11					
16	12	15	12	14	12	15	12	12	12	11	12					
17	13	16	13	15	13	16	13	13	13	12	13					
18	14	17	14	16	14	17	14	14	14	13	14					
19	15	18	15	17	15	18	15	15	15	14	15					
20	16	19	16	18	16	19	16	16	16	15	16					
21	17	20	17	19	17	20	17	17	17	16	17					
22	18	21	18	20	18	21	18	18	18	17	18					
23	19	22	19	21	19	22	19	19	19	18	19					
24	20	23	20	22	20	23	20	20	20	19	20					
25	21	24	21	23	21	24	21	21	21	20	21					
26	22	25	22	24	22	25	22	22	22	21	22					
27	23	26	23	25	23	26	23	23	23	22	23					
28	24	27	24	26	24	27	24	24	24	23	24					
29	25	28	25	27	25	28	25	25	25	24	25					
30	26	29	26	28	26	29	26	26	26	25	26					
1	27	1	27	29	27	28	27	27	27	26	27					
2	28	2	28	30	28	29	28	28	28	27	28					
3	29	3	29	1	29	1	29	29	29	28	29					
4	30	4	30	2	30	2	30	30	30	29	30					
5	31			3	31			1	31	30	31					
【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】					
【五】	【八】	【七】	【癸未年十月十四日】	【三】	【九日寒露二十四日霜降】	【五】	【八日白露二十四日秋分】	【一】	【八日立秋二十四日處暑】	【四】	【八日小暑二十四日大暑】					
【日】	【日】	【日】	【日】	【日】	【日】	【日】	【日】	【日】	【日】	【日】	【日】					
【十二】	【二】	【四】	【十一月十三日】	【十】	【七月廿四日】	【十二】	【九月十九日】	【八】	【八月廿二日】	【十一】	【八月二十五日】					
【十九】	【九】	【二】	【十一月十三日】	【七】	【七月廿四日】	【九】	【九月十九日】	【五】	【八月廿二日】	【八】	【八月二十五日】					
【九】	【三】	【一】	【十一月十三日】	【四】	【七月廿四日】	【六】	【九月十九日】	【二】	【八月廿二日】	【五】	【八月二十五日】					
【二十六】	【十】	【八】	【十一月十三日】	【一】	【七月廿四日】	【三】	【九月十九日】	【九】	【八月廿二日】	【二】	【八月二十五日】					

魏頌唐農圖

民國三十三年陽曆陰曆對照表

月二十		月一十		月十		月九		月八		月七		月別	日	別	備	考	
陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽				
16	1	16	1	15	1	14	1	13	1	11	1	陰	1				
17	2	17	2	16	2	15	2	14	2	12	2	陽	2				
18	3	18	3	17	3	16	3	15	3	13	3	陰	3				
19	4	19	4	18	4	17	4	16	4	14	4	陽	4				
20	5	20	5	19	5	18	5	17	5	15	5	陰	5				
21	6	21	6	20	6	19	6	18	6	16	6	陽	6				
22	7	22	7	21	7	20	7	19	7	17	7	陰	7				
23	8	23	8	22	8	21	8	20	8	18	8	陽	8				
24	9	24	9	23	9	22	9	21	9	19	9	陰	9				
25	10	25	10	24	10	23	10	22	10	20	10	陽	10				
26	11	26	11	25	11	24	11	23	11	21	11	陰	11				
27	12	27	12	26	12	25	12	24	12	22	12	陽	12				
28	13	28	13	27	13	26	13	25	13	23	13	陰	13				
29	14	29	14	28	14	27	14	26	14	24	14	陽	14				
1	15	30	15	29	15	28	15	27	15	25	15	陰	15				
2	16	1	16	30	16	29	16	28	16	26	16	陽	16				
3	17	2	17	1	17	1	17	29	17	27	17	陰	17				
4	18	3	18	2	18	2	18	28	18	28	18	陽	18				
5	19	4	19	3	19	3	19	1	19	29	19	陰	19				
6	20	5	20	4	20	4	20	2	20	1	20	陽	20				
7	21	6	21	5	21	5	21	3	21	2	21	陰	21				
8	22	7	22	6	22	6	22	4	22	3	22	陽	22				
9	23	8	23	7	23	7	23	5	23	4	23	陰	23				
10	24	9	24	8	24	8	24	6	24	5	24	陽	24				
11	25	10	25	9	25	9	25	7	25	6	25	陰	25				
12	26	11	26	10	26	10	26	8	26	7	26	陽	26				
13	27	12	27	11	27	11	27	9	27	8	27	陰	27				
14	28	13	28	12	28	12	28	10	28	9	28	陽	28				
15	29	14	29	13	29	13	29	11	29	10	29	陰	29				
16	30	15	30	14	30	14	30	12	30	11	30	陽	30				
17	31			15	31			13	31	12	31	陰	31				
	【節氣】		【節氣】		【節氣】		【節氣】		【節氣】		【節氣】		【節氣】				
	【星期】		【星期】		【星期】		【星期】		【星期】		【星期】		【星期】				
	【陰曆】		【陰曆】		【陰曆】		【陰曆】		【陰曆】		【陰曆】		【陰曆】				
	【甲申年十月十一日】		【甲申年九月十日】		【甲申年八月九日】		【甲申年七月八日】		【甲申年六月七日】		【甲申年五月六日】		【甲申年四月五日】				
	【大暑】		【立冬】		【寒露】		【白露】		【立秋】		【小暑】		【大暑】				
	【廿二日】		【廿二日】		【廿三日】		【廿三日】		【廿三日】		【廿六日】		【廿三日】				
	【廿四日】		【廿六日】		【廿九日】		【廿四日】		【廿七日】		【廿九日】		【三十日】				
	【卅一日】																

民國三十四年陽曆陰曆對照表

月別		日		別		備		考	
月一	陽	1	2						
陰	18	19	20						
月二	陽	1	2						
陰	19	20	21						
月三	陽	1	2						
陰	17	18	19						
月四	陽	1	2						
陰	19	20	21						
月五	陽	1	2						
陰	20	21	22						
月六	陽	1	2						
陰	21	22	23						

魏 頌 唐 農 曆

魏頌唐農曆

民國三十四年陽曆陰曆對照表

月別	日	別	備	考
七月	陽 1	陰 22	【陰曆】乙酉年五月六月	
	陽 2	陰 23	【節氣】七日小暑	
	陽 3	陰 24	【節氣】八日立秋	
	陽 4	陰 25	【節氣】九日白露	
	陽 5	陰 26	【節氣】十日寒露	
	陽 6	陰 27	【節氣】十一日霜降	
	陽 7	陰 28	【節氣】十二日小雪	
	陽 8	陰 29	【節氣】十三日大雪	
	陽 9	陰 30	【節氣】十四日冬至	
	陽 10	陰 1	【節氣】十五日小寒	
	陽 11	陰 2	【節氣】十六日大寒	
	陽 12	陰 3	【節氣】十七日立春	
	陽 13	陰 4	【節氣】十八日雨水	
	陽 14	陰 5	【節氣】十九日驚蟄	
	陽 15	陰 6	【節氣】二十日春分	
	陽 16	陰 7	【節氣】廿一日清明	
	陽 17	陰 8	【節氣】廿二日穀雨	
	陽 18	陰 9	【節氣】廿三日立夏	
	陽 19	陰 10	【節氣】廿四日芒種	
	陽 20	陰 11	【節氣】廿五日夏至	
	陽 21	陰 12	【節氣】廿六日小暑	
	陽 22	陰 13	【節氣】廿七日立秋	
	陽 23	陰 14	【節氣】廿八日白露	
	陽 24	陰 15	【節氣】廿九日寒露	
	陽 25	陰 16	【節氣】三十日霜降	
	陽 26	陰 17	【節氣】三十一日小雪	
	陽 27	陰 18	【節氣】十二月一日大雪	
	陽 28	陰 19	【節氣】十二月二日冬至	
	陽 29	陰 20	【節氣】十二月三日小寒	
	陽 30	陰 21	【節氣】十二月四日大寒	
	陽 1	陰 22	【節氣】十二月五日立春	
	陽 2	陰 23	【節氣】十二月六日雨水	
	陽 3	陰 24	【節氣】十二月七日驚蟄	
	陽 4	陰 25	【節氣】十二月八日春分	
	陽 5	陰 26	【節氣】十二月九日清明	
	陽 6	陰 27	【節氣】十二月十日穀雨	
	陽 7	陰 28	【節氣】十二月十一日立夏	
	陽 8	陰 29	【節氣】十二月十二日芒種	
	陽 9	陰 30	【節氣】十二月十三日夏至	
	陽 10	陰 1	【節氣】十二月十四日小暑	
	陽 11	陰 2	【節氣】十二月十五日立秋	
	陽 12	陰 3	【節氣】十二月十六日白露	
	陽 13	陰 4	【節氣】十二月十七日寒露	
	陽 14	陰 5	【節氣】十二月十八日霜降	
	陽 15	陰 6	【節氣】十二月十九日小雪	
	陽 16	陰 7	【節氣】十二月二十日大雪	
	陽 17	陰 8	【節氣】十二月廿一日冬至	
	陽 18	陰 9	【節氣】十二月廿二日小寒	
	陽 19	陰 10	【節氣】十二月廿三日大寒	
	陽 20	陰 11	【節氣】十二月廿四日立春	
	陽 21	陰 12	【節氣】十二月廿五日雨水	
	陽 22	陰 13	【節氣】十二月廿六日驚蟄	
	陽 23	陰 14	【節氣】十二月廿七日春分	
	陽 24	陰 15	【節氣】十二月廿八日清明	
	陽 25	陰 16	【節氣】十二月廿九日穀雨	
	陽 26	陰 17	【節氣】十二月三十日立夏	
	陽 27	陰 18	【節氣】一月一日芒種	
	陽 28	陰 19	【節氣】一月二日夏至	
	陽 29	陰 20	【節氣】一月三日小暑	
	陽 30	陰 21	【節氣】一月四日立秋	
	陽 1	陰 22	【節氣】一月五日白露	
	陽 2	陰 23	【節氣】一月六日寒露	
	陽 3	陰 24	【節氣】一月七日霜降	
	陽 4	陰 25	【節氣】一月八日小雪	
	陽 5	陰 26	【節氣】一月九日大雪	
	陽 6	陰 27	【節氣】一月十日冬至	
	陽 7	陰 28	【節氣】一月十一日小寒	
	陽 8	陰 29	【節氣】一月十二日大寒	
	陽 9	陰 30	【節氣】一月十三日立春	
	陽 10	陰 1	【節氣】一月十四日雨水	
	陽 11	陰 2	【節氣】一月十五日驚蟄	
	陽 12	陰 3	【節氣】一月十六日春分	
	陽 13	陰 4	【節氣】一月十七日清明	
	陽 14	陰 5	【節氣】一月十八日穀雨	
	陽 15	陰 6	【節氣】一月十九日立夏	
	陽 16	陰 7	【節氣】一月二十日芒種	
	陽 17	陰 8	【節氣】一月廿一日夏至	
	陽 18	陰 9	【節氣】一月廿二日小暑	
	陽 19	陰 10	【節氣】一月廿三日立秋	
	陽 20	陰 11	【節氣】一月廿四日白露	
	陽 21	陰 12	【節氣】一月廿五日寒露	
	陽 22	陰 13	【節氣】一月廿六日霜降	
	陽 23	陰 14	【節氣】一月廿七日小雪	
	陽 24	陰 15	【節氣】一月廿八日大雪	
	陽 25	陰 16	【節氣】一月廿九日冬至	
	陽 26	陰 17	【節氣】一月三十日小寒	
	陽 27	陰 18	【節氣】二月一日大寒	
	陽 28	陰 19	【節氣】二月二日立春	
	陽 29	陰 20	【節氣】二月三日雨水	
	陽 30	陰 21	【節氣】二月四日驚蟄	
	陽 1	陰 22	【節氣】二月五日春分	
	陽 2	陰 23	【節氣】二月六日清明	
	陽 3	陰 24	【節氣】二月七日穀雨	
	陽 4	陰 25	【節氣】二月八日立夏	
	陽 5	陰 26	【節氣】二月九日芒種	
	陽 6	陰 27	【節氣】二月十日夏至	
	陽 7	陰 28	【節氣】二月十一日小暑	
	陽 8	陰 29	【節氣】二月十二日立秋	
	陽 9	陰 30	【節氣】二月十三日白露	
	陽 10	陰 1	【節氣】二月十四日寒露	
	陽 11	陰 2	【節氣】二月十五日霜降	
	陽 12	陰 3	【節氣】二月十六日小雪	
	陽 13	陰 4	【節氣】二月十七日大雪	
	陽 14	陰 5	【節氣】二月十八日冬至	
	陽 15	陰 6	【節氣】二月十九日小寒	
	陽 16	陰 7	【節氣】二月二十日大寒	
	陽 17	陰 8	【節氣】二月廿一日立春	
	陽 18	陰 9	【節氣】二月廿二日雨水	
	陽 19	陰 10	【節氣】二月廿三日驚蟄	
	陽 20	陰 11	【節氣】二月廿四日春分	
	陽 21	陰 12	【節氣】二月廿五日清明	
	陽 22	陰 13	【節氣】二月廿六日穀雨	
	陽 23	陰 14	【節氣】二月廿七日立夏	
	陽 24	陰 15	【節氣】二月廿八日芒種	
	陽 25	陰 16	【節氣】二月廿九日夏至	
	陽 26	陰 17	【節氣】二月三十日小暑	
	陽 27	陰 18	【節氣】三月一日立秋	
	陽 28	陰 19	【節氣】三月二日白露	
	陽 29	陰 20	【節氣】三月三日寒露	
	陽 30	陰 21	【節氣】三月四日霜降	
	陽 1	陰 22	【節氣】三月五日小雪	
	陽 2	陰 23	【節氣】三月六日大雪	
	陽 3	陰 24	【節氣】三月七日冬至	
	陽 4	陰 25	【節氣】三月八日小寒	
	陽 5	陰 26	【節氣】三月九日大寒	
	陽 6	陰 27	【節氣】三月十日立春	
	陽 7	陰 28	【節氣】三月十一日雨水	
	陽 8	陰 29	【節氣】三月十二日驚蟄	
	陽 9	陰 30	【節氣】三月十三日春分	
	陽 10	陰 1	【節氣】三月十四日清明	
	陽 11	陰 2	【節氣】三月十五日穀雨	
	陽 12	陰 3	【節氣】三月十六日立夏	
	陽 13	陰 4	【節氣】三月十七日芒種	
	陽 14	陰 5	【節氣】三月十八日夏至	
	陽 15	陰 6	【節氣】三月十九日小暑	
	陽 16	陰 7	【節氣】三月二十日立秋	
	陽 17	陰 8	【節氣】三月廿一日白露	
	陽 18	陰 9	【節氣】三月廿二日寒露	
	陽 19	陰 10	【節氣】三月廿三日霜降	
	陽 20	陰 11	【節氣】三月廿四日小雪	
	陽 21	陰 12	【節氣】三月廿五日大雪	
	陽 22	陰 13	【節氣】三月廿六日冬至	
	陽 23	陰 14	【節氣】三月廿七日小寒	
	陽 24	陰 15	【節氣】三月廿八日大寒	
	陽 25	陰 16	【節氣】三月廿九日立春	
	陽 26	陰 17	【節氣】三月三十日雨水	
	陽 27	陰 18	【節氣】三月三十一日驚蟄	
	陽 28	陰 19	【節氣】四月一日春分	
	陽 29	陰 20	【節氣】四月二日清明	
	陽 30	陰 21	【節氣】四月三日穀雨	
	陽 1	陰 22	【節氣】四月四日立夏	
	陽 2	陰 23	【節氣】四月五日芒種	
	陽 3	陰 24	【節氣】四月六日夏至	
	陽 4	陰 25	【節氣】四月七日小暑	
	陽 5	陰 26	【節氣】四月八日立秋	
	陽 6	陰 27	【節氣】四月九日白露	
	陽 7	陰 28	【節氣】四月十日寒露	
	陽 8	陰 29	【節氣】四月十一日霜降	
	陽 9	陰 30	【節氣】四月十二日小雪	
	陽 10	陰 1	【節氣】四月十三日大雪	
	陽 11	陰 2	【節氣】四月十四日冬至	
	陽 12	陰 3	【節氣】四月十五日小寒	
	陽 13	陰 4	【節氣】四月十六日大寒	
	陽 14	陰 5	【節氣】四月十七日立春	
	陽 15	陰 6	【節氣】四月十八日雨水	
	陽 16	陰 7	【節氣】四月十九日驚蟄	
	陽 17	陰 8	【節氣】四月二十日春分	
	陽 18	陰 9	【節氣】四月廿一日清明	
	陽 19	陰 10	【節氣】四月廿二日穀雨	
	陽 20	陰 11	【節氣】四月廿三日立夏	
	陽 21	陰 12	【節氣】四月廿四日芒種	
	陽 22	陰 13	【節氣】四月廿五日夏至	
	陽 23	陰 14	【節氣】四月廿六日小暑	
	陽 24	陰 15	【節氣】四月廿七日立秋	
	陽 25	陰 16	【節氣】四月廿八日白露	
	陽 26	陰 17	【節氣】四月廿九日寒露	
	陽 27	陰 18	【節氣】四月三十日霜降	
	陽 28	陰 19	【節氣】五月一日小雪	
	陽 29	陰 20	【節氣】五月二日大雪	
	陽 30	陰 21	【節氣】五月三日冬至	
	陽 1	陰 22	【節氣】五月四日小寒	
	陽 2	陰 23	【節氣】五月五日大寒	
	陽 3	陰 24	【節氣】五月六日立春	
	陽 4	陰 25	【節氣】五月七日雨水	
	陽 5	陰 26	【節氣】五月八日驚蟄	
	陽 6	陰 27	【節氣】五月九日春分	
	陽 7	陰 28	【節氣】五月十日清明	
	陽 8	陰 29	【節氣】五月十一日穀雨	
	陽 9	陰 30	【節氣】五月十二日立夏	
	陽 10	陰 1	【節氣】五月十三日芒種	
	陽 11	陰 2	【節氣】五月十四日夏至	
	陽 12	陰 3	【節氣】五月十五日小暑	
	陽 13	陰 4	【節氣】五月十六日立秋	
	陽 14	陰 5	【節氣】五月十七日白露	
	陽 15	陰 6	【節氣】五月十八日寒露	
	陽 16	陰 7	【節氣】五月十九日霜降	
	陽 17	陰 8	【節氣】五月二十日小雪	
	陽 18	陰 9	【節氣】五月廿一日大雪	
	陽 19	陰 10	【節氣】五月廿二日冬至	
	陽 20	陰 11	【節氣】五月廿三日小寒	
	陽 21	陰 12	【節氣】五月廿四日大寒	
	陽 22	陰 13	【節氣】五月廿五日立春	
	陽 23	陰 14	【節氣】五月廿六日雨水	
	陽 24	陰 15	【節氣】五月廿七日驚蟄	
	陽 25	陰 16	【節氣】五月廿八日春分	
	陽 26	陰 17	【節氣】五月廿九日清明	
	陽 27	陰 18	【節氣】五月三十日穀雨	
	陽 28	陰 19	【節氣】六月一日立夏	
	陽 29	陰 20	【節氣】六月二日芒種	
	陽 30	陰 21	【節氣】六月三日夏至	
	陽 1	陰 22	【節氣】六月四日小暑	
	陽 2	陰 23	【節氣】六月五日立秋	
	陽 3	陰 24	【節氣】六月六日白露	
	陽 4	陰 25	【節氣】六月七日寒露	
	陽 5	陰 26	【節氣】六月八日霜降	
	陽 6	陰 27	【節氣】六月九日小雪	
	陽 7	陰 28	【節氣】六月十日大雪	
	陽 8	陰 29	【節氣】六月十一日冬至	
	陽 9	陰 30	【節氣】六月十二日小寒	
	陽 10	陰 1	【節氣】六月十三日大寒	
	陽 11	陰 2	【節氣】六月十四日立春	
	陽 12	陰 3	【節氣】六月十五日雨水	
	陽 13	陰 4	【節氣】六月十六日驚蟄	
	陽 14	陰 5	【節氣】六月十七日春分	
	陽 15	陰 6	【節氣】六月十八日清明	
	陽 16	陰 7	【節氣】六月十九日穀雨	
	陽 17	陰 8	【節氣】六月二十日立夏	
	陽 18	陰 9	【節氣】六月廿一日芒種	
	陽 19	陰 10	【節氣】六月廿二日夏至	
	陽 20	陰 11	【節氣】六月廿三日小暑	
	陽 21	陰 12	【節氣】六月廿四日立秋	
	陽 22	陰 13	【節氣】六月廿五日白露	
	陽 23	陰 14	【節氣】六月廿六日寒露	
	陽 24	陰 15	【節氣】六月廿七日霜降	
	陽 25	陰 16	【節氣】六月廿八日小雪	
	陽 26	陰 17	【節氣】六月廿九日大雪	
	陽 27	陰 18	【節氣】六月三十日冬至	
	陽 28	陰 19	【節氣】七月一日小寒	
	陽 29	陰 20	【節氣】七月二日大寒	
	陽 30	陰 21	【節氣】七月三日立春	
</				

魏 頌 唐 農 曆

民國三十五年陽曆陰曆對照表

月二		月一		月十		月九		月八		月七		月別	日	別	備	考
陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽					
8	1	8	1	7	1	6	1	5	1	3	1					
9	2	9	2	8	2	7	2	6	2	4	2					
10	3	10	3	9	3	8	3	7	3	5	3					
11	4	11	4	10	4	9	4	8	4	6	4					
12	5	12	5	11	5	10	5	9	5	7	5					
13	6	13	6	12	6	11	6	10	6	8	6					
14	7	14	7	13	7	12	7	11	7	9	7					
15	8	15	8	14	8	13	8	12	8	10	8					
16	9	16	9	15	9	14	9	13	9	11	9					
17	10	17	10	16	10	15	10	14	10	13	10					
18	11	18	11	17	11	16	11	15	11	14	11					
19	12	19	12	18	12	17	12	16	12	15	12					
20	13	20	13	19	13	18	13	17	13	16	13					
21	14	21	14	20	14	19	14	18	14	17	14					
22	15	22	15	21	15	20	15	19	15	18	15					
23	16	23	16	22	16	21	16	20	16	19	16					
24	17	24	17	23	17	22	17	21	17	20	17					
25	18	25	18	24	18	23	18	22	18	21	18					
26	19	26	19	25	19	24	19	23	19	22	19					
27	20	27	20	26	20	25	20	24	20	23	20					
28	21	28	21	27	21	26	21	25	21	24	21					
29	22	29	22	28	22	27	22	26	22	25	22					
1	23	30	23	29	23	28	23	27	23	26	23					
2	24	1	24	30	24	29	24	28	24	27	24					
3	25	2	25	1	25	1	25	29	25	28	25					
4	26	3	26	2	26	2	26	30	26	29	26					
5	27	4	27	3	27	3	27	1	27	30	27					
6	28	5	28	4	28	4	28	2	28	1	28					
7	29	6	29	5	29	5	29	3	29	2	29					
8	30	7	30	6	30	6	30	4	30	3	30					
9	31			7	31			5	31	4	31					
【星期】	【陰曆】	【星期】	【陰曆】	【星期】	【陰曆】	【星期】	【陰曆】	【星期】	【陰曆】	【星期】	【陰曆】					
【節氣】	丙戌年十一月	【節氣】	丙戌年十月	【節氣】	丙戌年九月	【節氣】	丙戌年八月	【節氣】	丙戌年七月	【節氣】	丙戌年六月					
【日期】	八日大雪	【日期】	立冬	【日期】	九日寒露	【日期】	白露	【日期】	立秋	【日期】	小暑					
【日期】	十五日	【日期】	十七日	【日期】	二十日	【日期】	二十五日	【日期】	二十八日	【日期】	二十四日					
【日期】	廿二日	【日期】	二十三日	【日期】	二十四日	【日期】	廿二日	【日期】	廿五日	【日期】	二十三日					
【日期】	廿九日	【日期】	二十四日	【日期】	二十七日	【日期】	廿九日	【日期】	廿八日	【日期】	二十八日					

民國三十六年陽曆陰曆對照表

月六		月五		月四		月三		月二		月一		月別	日	別	備	考	
陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽				
13	1	11	1	10	1	9	1	11	1	10	1	10	1				
14	2	12	2	11	2	10	2	12	2	11	2	11	2				
15	3	13	3	12	3	11	3	13	3	12	3	12	3				
16	4	14	4	13	4	12	4	14	4	13	4	13	4				
17	5	15	5	14	5	13	5	15	5	14	5	14	5				
18	6	16	6	15	6	14	6	16	6	15	6	15	6				
19	7	17	7	16	7	15	7	17	7	16	7	16	7				
20	8	18	8	17	8	16	8	18	8	17	8	17	8				
21	9	19	9	18	9	17	9	19	9	18	9	18	9				
22	10	20	10	19	10	18	10	20	10	19	10	19	10				
23	11	21	11	20	11	19	11	21	11	20	11	20	11				
24	12	22	12	21	12	20	12	22	12	21	12	21	12				
25	13	23	13	22	13	21	13	23	13	22	13	22	13				
26	14	24	14	23	14	22	14	24	14	23	14	23	14				
27	15	25	15	24	15	23	15	25	15	24	15	24	15				
28	16	26	16	25	16	24	16	26	16	25	16	25	16				
29	17	27	17	26	17	25	17	27	17	26	17	26	17				
30	18	28	18	27	18	26	18	28	18	27	18	27	18				
1	19	29	19	28	19	27	19	29	19	28	19	28	19				
2	20	1	20	29	20	28	20	30	20	29	20	29	20				
3	21	2	21	1	21	29	21	1	21	30	21	30	21				
4	22	3	22	2	22	30	22	2	22	2	22	1	22				
5	23	4	23	3	23	1	23	3	23	3	23	2	23				
6	24	5	24	4	24	2	24	4	24	4	24	3	24				
7	25	6	25	5	25	3	25	5	25	5	25	4	25				
8	26	7	26	6	26	4	26	6	26	6	26	5	26				
9	27	8	27	7	27	5	27	7	27	7	27	6	27				
10	28	9	28	8	28	6	28	8	28	8	28	7	28				
11	29	10	29	9	29	7	29	9	29	9	29	8	29				
12	30	11	30	10	30	8	30	10	30	10	30	9	30				
		12	31									10	31				
												11					
												12					
												1					
												2					
												3					
												4					
												5					
												6					
												7					
												8					
												9					
												10					
												11					
												12					
												1					
												2					
												3					
												4					
												5					
												6					
												7					
												8					
												9					
												10					
												11					
												12					
												1					
												2					
												3					
												4					
												5					
												6					
												7					
												8					
												9					
												10					
												11					
												12					
												1					
												2					
												3					
												4					
												5					
												6					
												7					
												8					
												9					
												10					
												11					
												12					
												1					
												2					
												3					
												4					
												5					
												6					
												7					
												8					
												9					
												10					
												11					
												12					
												1					
												2					
												3					
												4					
												5					
												6					
												7					
												8					
												9					
												10					
												11					
												12					
												1					
												2					
												3					
												4					
												5					
												6					
												7					
												8					
												9					
												10					
												11					
												12					
												1					
												2					
</																	

民國三十七年陽曆陰曆對照表

月六		月五		月四		月三		月二		月一		月別
陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	日
24	1	23	1	22	1	21	1	20	1	19	1	
25	2	24	2	23	2	22	2	21	2	20	2	
26	3	25	3	24	3	23	3	22	3	21	3	
27	4	26	4	25	4	24	4	23	4	22	4	
28	5	27	5	26	5	25	5	24	5	23	5	
29	6	28	6	27	6	26	6	25	6	24	6	
1	7	29	7	28	7	27	7	26	7	25	7	
2	8	30	8	29	8	28	8	27	8	26	8	
3	9	1	9	1	9	29	9	30	9	29	9	
4	10	2	10	2	10	30	10	1	10	30	10	
5	11	3	11	3	11	1	11	2	11	1	11	
6	12	4	12	4	12	2	12	3	12	2	12	
7	13	5	13	5	13	3	13	4	13	3	13	
8	14	6	14	6	14	4	14	5	14	4	14	
9	15	7	15	7	15	5	15	6	15	5	15	
10	16	8	16	8	16	6	16	7	16	6	16	
11	17	9	17	9	17	7	17	8	17	7	17	
12	18	10	18	10	18	8	18	9	18	8	18	
13	19	11	19	11	19	9	19	10	19	9	19	
14	20	12	20	12	20	10	20	11	20	10	20	
15	21	13	21	13	21	11	21	12	21	11	21	
16	22	14	22	14	22	12	22	13	22	12	22	
17	23	15	23	15	23	13	23	14	23	13	23	
18	24	16	24	16	24	14	24	15	24	14	24	
19	25	17	25	17	25	15	25	16	25	15	25	
20	26	18	26	18	26	16	26	17	26	16	26	
21	27	19	27	19	27	17	27	18	27	17	27	
22	28	20	28	20	28	18	28	19	28	18	28	
23	29	21	29	21	29	19	29	20	29	19	29	
24	30	22	30	22	30	20	30			20	30	
		23	31			21	31			21	31	
【星期】	【陰曆】	【星期】	【陰曆】	【星期】	【陰曆】	【星期】	【陰曆】	【星期】	【陰曆】	【星期】	【陰曆】	備
六日	戊子年四月	二日	戊子年三月	四日	戊子年二月	七日	戊子年正月	一日	丁亥年十二月	四日	丁亥年十一月	考
十三日	芒種二十一日	九日	立夏二十一日	十一日	清明二十日	十四日	驚蟄二十一日	八日	立春二十日	十一日	小寒二十一日	
二十日	夏至	十六日	小滿	十八日	穀雨	二十一日	春分	十五日	雨水	十八日	大寒	
二十七日		廿三日		二十五日		二十八日		廿二日		二十五日		

魏頌唐農曆

魏頌唐農曆

民國三十七年陽曆陰曆對照表

別 日 別 備 考

月七 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 31
 陰 25 26 27 28 29 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25

月八 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 31
 陰 26 27 28 29 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27

月九 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 30
 陰 28 29 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28

月十 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 31
 陰 29 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29

月十一 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
 陰 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

月十二 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 陰 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

【陰曆】戊子年十一月十二日
 【節氣】七日大雪二十三日冬至
 【星期】五日十九日二十六日

【陰曆】戊子年十月
 【節氣】七日立冬二十二日小雪
 【星期】七日十四日二十一日二十八日

【陰曆】戊子年八月九月
 【節氣】八日寒露二十三日霜降
 【星期】三日十日十七日廿四日卅一日

【陰曆】戊子年七月八月
 【節氣】五日白露二十三日秋分
 【星期】五日十二日十九日二十六日

【陰曆】戊子年六月七月
 【節氣】七日立秋二十三日處暑
 【星期】一日八日十五日廿二日廿九日

魏頌唐農曆

民國三十八年陽曆陰曆對照表

月二		月一		月十		月九		月八		月七		月	別	日	別	備	
陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	別	日	別	備	考	
12	1	11	1	10	1	9	1	8	1	7	1	陰	6	陰	【陰曆】	【陰曆】	
13	2	12	2	11	2	10	2	9	2	8	2	陽	7	陽	【節氣】	【節氣】	
14	3	13	3	12	3	11	3	10	3	9	3	陰	8	陰	【節氣】	【節氣】	
15	4	14	4	13	4	12	4	11	4	10	4	陽	9	陽	【節氣】	【節氣】	
16	5	15	5	14	5	13	5	12	5	11	5	陰	10	陰	【節氣】	【節氣】	
17	6	16	6	15	6	14	6	13	6	12	6	陽	11	陽	【節氣】	【節氣】	
18	7	17	7	16	7	15	7	14	7	13	7	陰	12	陰	【節氣】	【節氣】	
19	8	18	8	17	8	16	8	15	8	14	8	陽	13	陽	【節氣】	【節氣】	
20	9	19	9	18	9	17	9	16	9	15	9	陰	14	陰	【節氣】	【節氣】	
21	10	20	10	19	10	18	10	17	10	16	10	陽	15	陽	【節氣】	【節氣】	
22	11	21	11	20	11	19	11	18	11	17	11	陰	16	陰	【節氣】	【節氣】	
23	12	22	12	21	12	20	12	19	12	18	12	陽	17	陽	【節氣】	【節氣】	
24	13	23	13	22	13	21	13	20	13	19	13	陰	18	陰	【節氣】	【節氣】	
25	14	24	14	23	14	22	14	21	14	20	14	陽	19	陽	【節氣】	【節氣】	
26	15	25	15	24	15	23	15	22	15	21	15	陰	20	陰	【節氣】	【節氣】	
27	16	26	16	25	16	24	16	23	16	22	16	陽	21	陽	【節氣】	【節氣】	
28	17	27	17	26	17	25	17	24	17	23	17	陰	22	陰	【節氣】	【節氣】	
29	18	28	18	27	18	26	18	25	18	24	18	陽	23	陽	【節氣】	【節氣】	
30	19	29	19	28	19	27	19	26	19	25	19	陰	24	陰	【節氣】	【節氣】	
1	20	1	20	29	20	28	20	27	20	26	20	陽	25	陽	【節氣】	【節氣】	
2	21	2	21	30	21	29	21	28	21	27	21	陰	26	陰	【節氣】	【節氣】	
3	22	3	22	1	22	2	23	1	22	28	22	陽	27	陽	【節氣】	【節氣】	
4	23	4	23	2	23	3	24	2	23	29	23	陰	28	陰	【節氣】	【節氣】	
5	24	5	24	3	24	4	25	3	24	1	24	陽	29	陽	【節氣】	【節氣】	
6	25	6	25	4	25	5	26	4	25	2	25	陰	30	陰	【節氣】	【節氣】	
7	26	7	26	5	26	6	27	5	26	3	26	陽	1	陽	【節氣】	【節氣】	
8	27	8	27	6	27	7	28	6	27	4	27	陰	2	陰	【節氣】	【節氣】	
9	28	9	28	7	28	8	29	7	28	5	28	陽	3	陽	【節氣】	【節氣】	
10	29	10	29	8	29	9	30	8	29	6	29	陰	4	陰	【節氣】	【節氣】	
11	30	11	30	9	30	10	31	9	30	7	30	陽	5	陽	【節氣】	【節氣】	
12	31	10	31	10	31	【節氣】	【節氣】	8	31	8	31	陰	6	陰	【節氣】	【節氣】	
【星期】	【陰曆】	【節氣】	【節氣】														
四日	己丑年	六日	己丑年	二日	己丑年	四日	己丑年	七日	己丑年	十日	己丑年	十三日	己丑年	十六日	己丑年	廿三日	己丑年
十一日	十月	十三日	十月	九日	八月	十一日	八月	十四日	七月	十七日	七月	二十日	六月	廿三日	六月	廿六日	六月
十八日	十一月	二十日	十一月	十六日	九月	十八日	九月	廿一日	八月	廿四日	七月	廿七日	七月	三十日	七月	廿三日	七月
二十五日	十二月	二十七日	十二月	廿三日	十月	廿五日	十月	二十八日	九月	卅一日	八月	廿四日	八月	廿七日	八月	卅一日	八月

民國三十九年陽曆陰曆對照表

月六		月五		月四		月三		月二		月一		月別	日	別	備	
陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽			
16	1	15	1	14	1	13	1	12	1	11	1	10	1			
17	2	16	2	15	2	14	2	13	2	12	2	11	2			
18	3	17	3	16	3	15	3	14	3	13	3	12	3			
19	4	18	4	17	4	16	4	15	4	14	4	13	4			
20	5	19	5	18	5	17	5	16	5	15	5	14	5			
21	6	20	6	19	6	18	6	17	6	16	6	15	6			
22	7	21	7	20	7	19	7	18	7	17	7	16	7			
23	8	22	8	21	8	20	8	19	8	18	8	17	8			
24	9	23	9	22	9	21	9	20	9	19	9	18	9			
25	10	24	10	23	10	22	10	21	10	20	10	19	10			
26	11	25	11	24	11	23	11	22	11	21	11	20	11			
27	12	26	12	25	12	24	12	23	12	22	12	21	12			
28	13	27	13	26	13	25	13	24	13	23	13	22	13			
29	14	28	14	27	14	26	14	25	14	24	14	23	14			
1	15	29	15	28	15	27	15	26	15	25	15	24	15			
2	16	30	16	29	16	28	16	27	16	26	16	25	16			
3	17	1	17	1	17	29	17	1	17	29	17	28	17			
4	18	2	18	2	18	1	18	2	18	2	18	29	18			
5	19	3	19	3	19	2	19	3	19	3	19	1	19			
6	20	4	20	4	20	3	20	4	20	4	20	2	20			
7	21	5	21	5	21	4	21	5	21	5	21	3	21			
8	22	6	22	6	22	5	22	6	22	6	22	4	22			
9	23	7	23	7	23	6	23	7	23	7	23	5	23			
10	24	8	24	8	24	7	24	8	24	8	24	6	24			
11	25	9	25	9	25	8	25	9	25	9	25	7	25			
12	26	10	26	10	26	9	26	10	26	10	26	8	26			
13	27	11	27	11	27	10	27	11	27	11	27	9	27			
14	28	12	28	12	28	11	28	12	28	12	28	10	28			
15	29	13	29	13	29	12	29	13	29	13	29	11	29			
16	30	14	30	14	30	13	30	14	30	14	30	12	30			
		15	31			14	31			15	31	13	31			
【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】			
【四日】	【六日】	【七日】	【六日】	【二日】	【五日】	【五日】	【六日】	【五日】	【四日】	【五日】	【六日】	【一日】	【六日】			
【十一日】	【廿一日】	【十四日】	【立夏】	【九日】	【清明】	【十二日】	【驚蟄】	【十二日】	【立春】	【十二日】	【雨水】	【八日】	【小寒】			
【十八日】	【二日】	【二十一日】	【小滿】	【十六日】	【穀雨】	【十九日】	【春分】	【十九日】	【庚寅年正月】	【十九日】	【庚寅年正月】	【十五日】	【大寒】			
【二十五日】		【二十八日】		【三十日】		【十六日】		【十六日】		【十六日】		【廿二日】	【廿九日】			

魏 頌 唐 農 曆

三五

魏頌唐農曆

民國三十九年陽曆陰曆對照表

月二十	月一十	月十	月九	月八	月七	月別	日	別	備
陰	陰	陰	陰	陰	陰				
陽	陽	陽	陽	陽	陽				
1	1	1	1	1	1				
2	2	2	2	2	2				
3	3	3	3	3	3				
4	4	4	4	4	4				
5	5	5	5	5	5				
6	6	6	6	6	6				
7	7	7	7	7	7				
8	8	8	8	8	8				
9	9	9	9	9	9				
10	10	10	10	10	10				
11	11	11	11	11	11				
12	12	12	12	12	12				
13	13	13	13	13	13				
14	14	14	14	14	14				
15	15	15	15	15	15				
16	16	16	16	16	16				
17	17	17	17	17	17				
18	18	18	18	18	18				
19	19	19	19	19	19				
20	20	20	20	20	20				
21	21	21	21	21	21				
22	22	22	22	22	22				
23	23	23	23	23	23				
24	24	24	24	24	24				
25	25	25	25	25	25				
26	26	26	26	26	26				
27	27	27	27	27	27				
28	28	28	28	28	28				
29	29	29	29	29	29				
30	30	30	30	30	30				
31	31	31	31	31	31				
【節氣】	【節氣】	【節氣】	【節氣】	【節氣】	【節氣】				
【陰曆】	【陰曆】	【陰曆】	【陰曆】	【陰曆】	【陰曆】				
【庚寅年】	【庚寅年】	【庚寅年】	【庚寅年】	【庚寅年】	【庚寅年】				
【十月】	【九月】	【八月】	【七月】	【六月】	【五月】				
【十一日】	【十二日】	【十三日】	【十四日】	【十五日】	【十六日】				
【大雪】	【冬至】	【小寒】	【大寒】	【立春】	【雨水】				
【十七日】	【廿二日】	【廿七日】	【正月】	【二月】	【三月】				
【廿四日】	【廿六日】	【廿九日】	【二月】	【三月】	【四月】				
【卅一日】			【二十四日】	【二十五日】	【二十六日】				
			【廿九日】	【三十日】	【三十一日】				

考

魏頌唐農曆

民國四十年陽曆陰曆對照表

月別 日 別 備 考

月七 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29
 陰 27 28 29 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28

月八 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 陰 29 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

月九 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
 陰 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

月十 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
 陰 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

月十一 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
 陰 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

月十二 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
 陰 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

【陰曆】辛卯年五月六月
 【節氣】八日小暑二十四日大暑
 【星期】一日八日十五日廿二日廿九日

【陰曆】辛卯年六月七月
 【節氣】八日立秋二十四日處暑
 【星期】五日十二日十九日二十六日

【陰曆】辛卯年八月
 【節氣】八日白露二十四日秋分
 【星期】二日九日十六日廿三日三十日

【陰曆】辛卯年九月十月
 【節氣】九日寒露二十四日霜降
 【星期】七日十四日二十一日二十八日

【陰曆】辛卯年十一月
 【節氣】八日立冬二十三日小雪
 【星期】四日十一日十八日二十五日

魏頌唐農曆

民國四十一年陽曆陰曆對照表

別 日 別 備 考

月二十	月一十	月十	月九	月八	月七
陽 1	陽 1	陽 1	陽 1	陽 1	陽 1
陰 15	陰 14	陰 13	陰 13	陰 11	陰 10
16 2	15 2	14 2	14 2	12 2	11 2
17 3	16 3	15 3	15 3	13 3	12 3
18 4	17 4	16 4	16 4	14 4	13 4
19 5	18 5	17 5	17 5	15 5	14 5
20 6	19 6	18 6	18 6	16 6	15 6
21 7	20 7	19 7	19 7	17 7	16 7
22 8	21 8	20 8	20 8	18 8	17 8
23 9	22 9	21 9	21 9	19 9	18 9
24 10	23 10	22 10	22 10	20 10	19 10
25 11	24 11	23 11	23 11	21 11	20 11
26 12	25 12	24 12	24 12	22 12	21 12
27 13	26 13	25 13	25 13	23 13	22 13
28 14	27 14	26 14	26 14	24 14	23 14
29 15	28 15	27 15	27 15	25 15	24 15
30 16	29 16	28 16	28 16	26 16	25 16
1 17	1 17	29 17	29 17	27 17	26 17
2 18	2 18	30 18	30 18	28 18	27 18
3 19	3 19	1 19	1 19	29 19	28 19
4 20	4 20	2 20	2 20	1 20	29 20
5 21	5 21	3 21	3 21	2 21	30 21
6 22	6 22	4 22	4 22	3 22	1 22
7 23	7 23	5 23	5 23	4 23	2 23
8 24	8 24	6 24	6 24	5 24	3 24
9 25	9 25	7 25	7 25	6 25	4 25
10 26	10 26	8 26	8 26	7 26	5 26
11 27	11 27	9 27	9 27	8 27	6 27
12 28	12 28	10 28	10 28	9 28	7 28
13 29	13 29	11 29	11 29	10 29	8 29
14 30	14 30	12 30	12 30	11 30	9 30
15 31		13 31		12 31	10 31
【節氣】壬辰年十月十一日冬至	【節氣】壬辰年九月十日小雪	【節氣】壬辰年八月九日霜降	【節氣】壬辰年七月八日秋分	【節氣】壬辰年六月十七日處暑	【節氣】壬辰年閏五月六月六日大暑
【星期】七月十四日二十一日廿八日	【星期】七日九日十六日廿三日三十日	【星期】五日十二日十九日二十六日	【星期】七日十四日二十一日二十八日	【星期】三日十日十七日廿四日卅一日	【星期】六日十三日二十日二十七日

民國四十二年陽曆陰曆對照表

月六		月五		月四		月三		月二		月一		月別	日	別	備	考
陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽					
20	1	18	1	18	1	16	1	18	1	16	1	陰	16			
21	2	19	2	19	2	17	2	19	2	17	2	陽	17			
22	3	20	3	20	3	18	3	20	3	18	3	陰	18			
23	4	21	4	21	4	19	4	21	4	19	4	陽	19			
24	5	22	5	22	5	20	5	22	5	20	5	陰	20			
25	6	23	6	23	6	21	6	23	6	21	6	陽	21			
26	7	24	7	24	7	22	7	24	7	22	7	陰	22			
27	8	25	8	25	8	23	8	25	8	23	8	陽	23			
28	9	26	9	26	9	24	9	26	9	24	9	陰	24			
29	10	27	10	27	10	25	10	27	10	25	10	陽	25			
1	11	28	11	28	11	26	11	28	11	26	11	陰	26			
2	12	29	12	29	12	27	12	29	12	27	12	陽	27			
3	13	1	13	30	13	28	13	30	13	28	13	陰	28			
4	14	2	14	1	14	29	14	1	14	29	14	陽	29			
5	15	3	15	2	15	1	15	2	15	1	15	陰	1			
6	16	4	16	3	16	2	16	3	16	2	16	陽	2			
7	17	5	17	4	17	3	17	4	17	3	17	陰	3			
8	18	6	18	5	18	4	18	5	18	4	18	陽	4			
9	19	7	19	6	19	5	19	6	19	5	19	陰	5			
10	20	8	20	7	20	6	20	7	20	6	20	陽	6			
11	21	9	21	8	21	7	21	8	21	7	21	陰	7			
12	22	10	22	9	22	8	22	9	22	8	22	陽	8			
13	23	11	23	10	23	9	23	10	23	9	23	陰	9			
14	24	12	24	11	24	10	24	11	24	10	24	陽	10			
15	25	13	25	12	25	11	25	12	25	11	25	陰	11			
16	26	14	26	13	26	12	26	13	26	12	26	陽	12			
17	27	15	27	14	27	13	27	14	27	13	27	陰	13			
18	28	16	28	15	28	14	28	15	28	14	28	陽	14			
19	29	17	29	16	29	15	29	16	29	15	29	陰	15			
20	30	18	30	17	30	16	30	17	30	16	30	陽	16			
		19	31			17	31			17	31	陰	17			
【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】
七日	癸巳年四月五日	五日	癸巳年三月十日	五日	癸巳年二月二十日	一日	癸巳年正月八日	四日	壬辰年十二月十五日	四日	壬辰年十一月二十日	四日	壬辰年十月十五日	四日	壬辰年九月二十日	四日
十四日	芒種	十二日	立夏	十二日	清明	八日	驚蟄	八日	立春	八日	小寒	十一日	大雪	十一日	小雪	十一日
二十一日	夏至	十七日	小滿	十九日	穀雨	十五日	雨水	十五日	雨水	十五日	大寒	十八日	冬至	十八日	冬至	十八日
二十八日		廿四日	卅一日	廿六日		廿二日	春分	廿二日	春分	廿二日		十五日		十五日		十五日

魏頌唐農曆

魏頌唐農曆

民國四十三年陽曆陰曆對照表

月別	日	別	備	考
七月	陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	陰 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	【陰曆】甲午年六月七月 【節氣】八日小暑二十三日大暑 【星期】四日十一日十八日二十五日	
八月	陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	陰 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	【陰曆】甲午年七月八月 【節氣】八日立秋二十四日處暑 【星期】一日八日十五日廿二日廿九日	
九月	陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	陰 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	【陰曆】甲午年八月九月 【節氣】八日白露二十三日秋分 【星期】五日十二日十九日二十六日	
十月	陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	陰 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	【陰曆】甲午年九月十月 【節氣】九日寒露二十四日霜降 【星期】三日十日十七日廿四日卅一日	
十一月	陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	陰 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	【陰曆】甲午年十月十一月 【節氣】八日立冬二十三日小雪 【星期】七日十四日二十一日二十八日	
十二月	陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	陰 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	【陰曆】甲午年十一月十二月 【節氣】八日大雪二十三日冬至 【星期】五日十二日十九日二十六日	

民國十四年陽曆陰曆對照表

月別	日	備	考
月一	陰 8	【陰曆】甲午年十二月	
月一	陽 9	【節氣】六日小寒	
月一	陰 10	【節氣】九日大寒	
月一	陽 11	【節氣】十二日冬至	
月一	陰 12	【節氣】十五日小滿	
月一	陽 13	【節氣】十八日芒種	
月一	陰 14	【節氣】廿一日夏至	
月一	陽 15	【節氣】廿四日小暑	
月一	陰 16	【節氣】廿七日立秋	
月一	陽 17	【節氣】三十日處暑	
月一	陰 18	【節氣】九月秋分	
月一	陽 19	【節氣】廿二日霜降	
月一	陰 20	【節氣】廿五日小雪	
月一	陽 21	【節氣】廿八日大雪	
月一	陰 22	【節氣】三十日冬至	
月一	陽 23	【節氣】一月小寒	
月一	陰 24	【節氣】四日大寒	
月一	陽 25	【節氣】七日立春	
月一	陰 26	【節氣】十日雨水	
月一	陽 27	【節氣】十三日驚蟄	
月一	陰 28	【節氣】十六日春分	
月一	陽 29	【節氣】十九日清明	
月一	陰 30	【節氣】廿二日穀雨	
月一	陽 31	【節氣】廿五日立夏	
月二	陰 9	【節氣】廿八日芒種	
月二	陽 10	【節氣】三十一日夏至	
月二	陰 11	【節氣】四日小暑	
月二	陽 12	【節氣】七日立秋	
月二	陰 13	【節氣】十日處暑	
月二	陽 14	【節氣】十三日秋分	
月二	陰 15	【節氣】十六日霜降	
月二	陽 16	【節氣】十九日小雪	
月二	陰 17	【節氣】廿二日大雪	
月二	陽 18	【節氣】廿五日冬至	
月二	陰 19	【節氣】廿八日小寒	
月二	陽 20	【節氣】三十一日大寒	
月二	陰 21	【節氣】四日立春	
月二	陽 22	【節氣】七日雨水	
月二	陰 23	【節氣】十日驚蟄	
月二	陽 24	【節氣】十三日春分	
月二	陰 25	【節氣】十六日清明	
月二	陽 26	【節氣】十九日穀雨	
月二	陰 27	【節氣】廿二日立夏	
月二	陽 28	【節氣】廿五日芒種	
月二	陰 29	【節氣】廿八日夏至	
月二	陽 30	【節氣】三十一日小暑	
月二	陰 31	【節氣】四日立秋	
月三	陰 8	【節氣】七日處暑	
月三	陽 9	【節氣】十日秋分	
月三	陰 10	【節氣】十三日霜降	
月三	陽 11	【節氣】十六日小雪	
月三	陰 12	【節氣】十九日大雪	
月三	陽 13	【節氣】廿二日冬至	
月三	陰 14	【節氣】廿五日小寒	
月三	陽 15	【節氣】廿八日大寒	
月三	陰 16	【節氣】三十一日立春	
月三	陽 17	【節氣】四日雨水	
月三	陰 18	【節氣】七日驚蟄	
月三	陽 19	【節氣】十日春分	
月三	陰 20	【節氣】十三日清明	
月三	陽 21	【節氣】十六日穀雨	
月三	陰 22	【節氣】十九日立夏	
月三	陽 23	【節氣】廿二日芒種	
月三	陰 24	【節氣】廿五日夏至	
月三	陽 25	【節氣】廿八日小暑	
月三	陰 26	【節氣】三十一日立秋	
月三	陽 27	【節氣】四日處暑	
月三	陰 28	【節氣】七日秋分	
月三	陽 29	【節氣】十日霜降	
月三	陰 30	【節氣】十三日小雪	
月三	陽 31	【節氣】十六日大雪	
月四	陰 9	【節氣】十九日冬至	
月四	陽 10	【節氣】廿二日小寒	
月四	陰 11	【節氣】廿五日大寒	
月四	陽 12	【節氣】廿八日立春	
月四	陰 13	【節氣】三十一日雨水	
月四	陽 14	【節氣】四日驚蟄	
月四	陰 15	【節氣】七日春分	
月四	陽 16	【節氣】十日清明	
月四	陰 17	【節氣】十三日穀雨	
月四	陽 18	【節氣】十六日立夏	
月四	陰 19	【節氣】十九日芒種	
月四	陽 20	【節氣】廿二日夏至	
月四	陰 21	【節氣】廿五日小暑	
月四	陽 22	【節氣】廿八日立秋	
月四	陰 23	【節氣】三十一日處暑	
月四	陽 24	【節氣】四日秋分	
月四	陰 25	【節氣】七日霜降	
月四	陽 26	【節氣】十日小雪	
月四	陰 27	【節氣】十三日大雪	
月四	陽 28	【節氣】十六日冬至	
月四	陰 29	【節氣】十九日小寒	
月四	陽 30	【節氣】廿二日大寒	
月五	陰 10	【節氣】廿五日立春	
月五	陽 11	【節氣】廿八日雨水	
月五	陰 12	【節氣】三十一日驚蟄	
月五	陽 13	【節氣】四日春分	
月五	陰 14	【節氣】七日清明	
月五	陽 15	【節氣】十日穀雨	
月五	陰 16	【節氣】十三日立夏	
月五	陽 17	【節氣】十六日芒種	
月五	陰 18	【節氣】十九日夏至	
月五	陽 19	【節氣】廿二日小暑	
月五	陰 20	【節氣】廿五日立秋	
月五	陽 21	【節氣】廿八日處暑	
月五	陰 22	【節氣】三十一日秋分	
月五	陽 23	【節氣】四日霜降	
月五	陰 24	【節氣】七日小雪	
月五	陽 25	【節氣】十日大雪	
月五	陰 26	【節氣】十三日冬至	
月五	陽 27	【節氣】十六日小寒	
月五	陰 28	【節氣】十九日大寒	
月五	陽 29	【節氣】廿二日立春	
月五	陰 30	【節氣】廿五日雨水	
月五	陽 31	【節氣】廿八日驚蟄	
月六	陰 11	【節氣】三十一日春分	
月六	陽 12	【節氣】四日清明	
月六	陰 13	【節氣】七日穀雨	
月六	陽 14	【節氣】十日立夏	
月六	陰 15	【節氣】十三日芒種	
月六	陽 16	【節氣】十六日夏至	
月六	陰 17	【節氣】十九日小暑	
月六	陽 18	【節氣】廿二日立秋	
月六	陰 19	【節氣】廿五日處暑	
月六	陽 20	【節氣】廿八日秋分	
月六	陰 21	【節氣】三十一日霜降	
月六	陽 22	【節氣】四日小雪	
月六	陰 23	【節氣】七日大雪	
月六	陽 24	【節氣】十日冬至	
月六	陰 25	【節氣】十三日小寒	
月六	陽 26	【節氣】十六日大寒	
月六	陰 27	【節氣】十九日立春	
月六	陽 28	【節氣】廿二日雨水	
月六	陰 29	【節氣】廿五日驚蟄	
月六	陽 30	【節氣】廿八日春分	
月六	陰 31	【節氣】三十一日清明	

魏頌唐農曆

魏 頌 唐 農 曆

民國四十四年陽曆陰曆對照表

月別		日		別		備	
月七	陽	1	2	3	4	5	6
陰	12	13	14	15	16	17	18
月八	陽	1	2	3	4	5	6
陰	14	15	16	17	18	19	20
月九	陽	1	2	3	4	5	6
陰	16	17	18	19	20	21	22
月十	陽	1	2	3	4	5	6
陰	17	18	19	20	21	22	23
月十一	陽	1	2	3	4	5	6
陰	18	19	20	21	22	23	24
月十二	陽	1	2	3	4	5	6
陰	19	20	21	22	23	24	25
月十三	陽	1	2	3	4	5	6
陰	20	21	22	23	24	25	26
月十四	陽	1	2	3	4	5	6
陰	21	22	23	24	25	26	27
月十五	陽	1	2	3	4	5	6
陰	22	23	24	25	26	27	28
月十六	陽	1	2	3	4	5	6
陰	23	24	25	26	27	28	29
月十七	陽	1	2	3	4	5	6
陰	24	25	26	27	28	29	30
月十八	陽	1	2	3	4	5	6
陰	25	26	27	28	29	30	31
月十九	陽	1	2	3	4	5	6
陰	26	27	28	29	30	31	
月二十	陽	1	2	3	4	5	6
陰	18	19	20	21	22	23	24
月二十一	陽	1	2	3	4	5	6
陰	19	20	21	22	23	24	25
月二十二	陽	1	2	3	4	5	6
陰	20	21	22	23	24	25	26
月二十三	陽	1	2	3	4	5	6
陰	21	22	23	24	25	26	27
月二十四	陽	1	2	3	4	5	6
陰	22	23	24	25	26	27	28
月二十五	陽	1	2	3	4	5	6
陰	23	24	25	26	27	28	29
月二十六	陽	1	2	3	4	5	6
陰	24	25	26	27	28	29	30
月二十七	陽	1	2	3	4	5	6
陰	25	26	27	28	29	30	31
月二十八	陽	1	2	3	4	5	6
陰	26	27	28	29	30	31	
月二十九	陽	1	2	3	4	5	6
陰	27	28	29	30	31		
月三十	陽	1	2	3	4	5	6
陰	28	29	30	31			
月三十一	陽	1	2	3	4	5	6
陰	29	30	31				
月一	陽	1	2	3	4	5	6
陰	30	31					
月二	陽	1	2	3	4	5	6
陰	31						
月三	陽	1	2	3	4	5	6
陰	1	2	3	4	5	6	7
月四	陽	1	2	3	4	5	6
陰	2	3	4	5	6	7	8
月五	陽	1	2	3	4	5	6
陰	3	4	5	6	7	8	9
月六	陽	1	2	3	4	5	6
陰	4	5	6	7	8	9	10
月七	陽	1	2	3	4	5	6
陰	5	6	7	8	9	10	11
月八	陽	1	2	3	4	5	6
陰	6	7	8	9	10	11	12
月九	陽	1	2	3	4	5	6
陰	7	8	9	10	11	12	13
月十	陽	1	2	3	4	5	6
陰	8	9	10	11	12	13	14
月十一	陽	1	2	3	4	5	6
陰	9	10	11	12	13	14	15
月十二	陽	1	2	3	4	5	6
陰	10	11	12	13	14	15	16
月十三	陽	1	2	3	4	5	6
陰	11	12	13	14	15	16	17
月十四	陽	1	2	3	4	5	6
陰	12	13	14	15	16	17	18
月十五	陽	1	2	3	4	5	6
陰	13	14	15	16	17	18	19
月十六	陽	1	2	3	4	5	6
陰	14	15	16	17	18	19	20
月十七	陽	1	2	3	4	5	6
陰	15	16	17	18	19	20	21
月十八	陽	1	2	3	4	5	6
陰	16	17	18	19	20	21	22
月十九	陽	1	2	3	4	5	6
陰	17	18	19	20	21	22	23
月二十	陽	1	2	3	4	5	6
陰	18	19	20	21	22	23	24
月二十一	陽	1	2	3	4	5	6
陰	19	20	21	22	23	24	25
月二十二	陽	1	2	3	4	5	6
陰	20	21	22	23	24	25	26
月二十三	陽	1	2	3	4	5	6
陰	21	22	23	24	25	26	27
月二十四	陽	1	2	3	4	5	6
陰	22	23	24	25	26	27	28
月二十五	陽	1	2	3	4	5	6
陰	23	24	25	26	27	28	29
月二十六	陽	1	2	3	4	5	6
陰	24	25	26	27	28	29	30
月二十七	陽	1	2	3	4	5	6
陰	25	26	27	28	29	30	31
月二十八	陽	1	2	3	4	5	6
陰	26	27	28	29	30	31	
月二十九	陽	1	2	3	4	5	6
陰	27	28	29	30	31		
月三十	陽	1	2	3	4	5	6
陰	28	29	30	31			
月三十一	陽	1	2	3	4	5	6
陰	29	30	31				
月一	陽	1	2	3	4	5	6
陰	30	31					
月二	陽	1	2	3	4	5	6
陰	31						
月三	陽	1	2	3	4	5	6
陰	1	2	3	4	5	6	7
月四	陽	1	2	3	4	5	6
陰	2	3	4	5	6	7	8
月五	陽	1	2	3	4	5	6
陰	3	4	5	6	7	8	9
月六	陽	1	2	3	4	5	6
陰	4	5	6	7	8	9	10
月七	陽	1	2	3	4	5	6
陰	5	6	7	8	9	10	11
月八	陽	1	2	3	4	5	6
陰	6	7	8	9	10	11	12
月九	陽	1	2	3	4	5	6
陰	7	8	9	10	11	12	13
月十	陽	1	2	3	4	5	6
陰	8	9	10	11	12	13	14
月十一	陽	1	2	3	4	5	6
陰	9	10	11	12	13	14	15
月十二	陽	1	2	3	4	5	6
陰	10	11	12	13	14	15	16
月十三	陽	1	2	3	4	5	6
陰	11	12	13	14	15	16	17
月十四	陽	1	2	3	4	5	6
陰	12	13	14	15	16	17	18
月十五	陽	1	2	3	4	5	6
陰	13	14	15	16	17	18	19
月十六	陽	1	2	3	4	5	6
陰	14	15	16	17	18	19	20
月十七	陽	1	2	3	4	5	6
陰	15	16	17	18	19	20	21
月十八	陽	1	2	3	4	5	6
陰	16	17	18	19	20	21	22
月十九	陽	1	2	3	4	5	6
陰	17	18	19	20	21	22	23
月二十	陽	1	2	3	4	5	6
陰	18	19	20	21	22	23	24
月二十一	陽	1	2	3	4	5	6
陰	19	20	21	22	23	24	25
月二十二	陽	1	2	3	4	5	6
陰	20	21	22	23	24	25	26
月二十三	陽	1	2	3	4	5	6
陰	21	22	23	24	25	26	27
月二十四	陽	1	2	3	4	5	6
陰	22	23	24	25	26	27	28
月二十五	陽	1	2	3	4	5	6
陰	23	24	25	26	27	28	29
月二十六	陽	1	2	3	4	5	6
陰	24	25	26	27	28	29	30
月二十七	陽	1	2	3	4	5	6
陰	25	26	27	28	29	30	31
月二十八	陽	1	2	3	4	5	6
陰	26	27	28	29	30	31	
月二十九	陽	1	2	3	4	5	6
陰	27	28	29	30	31		
月三十	陽	1	2	3	4	5	6
陰	28	29	30	31			
月三十一	陽	1	2	3	4	5	6
陰	29	30	31				
月一	陽	1	2	3	4	5	6
陰	30	31					
月二	陽	1	2	3	4	5	6
陰	31						
月三	陽	1	2	3	4	5	6
陰	1	2	3	4	5	6	7
月四	陽	1	2	3	4	5	6
陰	2	3	4	5	6	7	8
月五	陽	1	2	3	4	5	6
陰	3	4	5	6	7	8	9
月六	陽	1	2	3	4	5	6
陰	4	5	6	7	8	9	10
月七	陽	1	2				

民國四十五年陽曆陰曆對照表

月別	日	別	備	考
一月	陰 19	陽 1	【陰曆】	【節氣】
	20	2	【節氣】	【陰曆】
	21	3	【陰曆】	【節氣】
	22	4	【節氣】	【陰曆】
	23	5	【陰曆】	【節氣】
	24	6	【節氣】	【陰曆】
	25	7	【陰曆】	【節氣】
	26	8	【節氣】	【陰曆】
	27	9	【陰曆】	【節氣】
	28	10	【節氣】	【陰曆】
	29	11	【陰曆】	【節氣】
	30	12	【節氣】	【陰曆】
	1	13	【陰曆】	【節氣】
	2	14	【節氣】	【陰曆】
	3	15	【陰曆】	【節氣】
	4	16	【節氣】	【陰曆】
	5	17	【陰曆】	【節氣】
	6	18	【節氣】	【陰曆】
	7	19	【陰曆】	【節氣】
	8	20	【節氣】	【陰曆】
	9	21	【陰曆】	【節氣】
	10	22	【節氣】	【陰曆】
	11	23	【陰曆】	【節氣】
	12	24	【節氣】	【陰曆】
	13	25	【陰曆】	【節氣】
	14	26	【節氣】	【陰曆】
	15	27	【陰曆】	【節氣】
	16	28	【節氣】	【陰曆】
	17	29	【陰曆】	【節氣】
	18	30	【節氣】	【陰曆】
	19	31	【陰曆】	【節氣】
二月	陰 20	陽 1	【陰曆】	【節氣】
	21	2	【節氣】	【陰曆】
	22	3	【陰曆】	【節氣】
	23	4	【節氣】	【陰曆】
	24	5	【陰曆】	【節氣】
	25	6	【節氣】	【陰曆】
	26	7	【陰曆】	【節氣】
	27	8	【節氣】	【陰曆】
	28	9	【陰曆】	【節氣】
	29	10	【節氣】	【陰曆】
	30	11	【陰曆】	【節氣】
	1	12	【節氣】	【陰曆】
	2	13	【陰曆】	【節氣】
	3	14	【節氣】	【陰曆】
	4	15	【陰曆】	【節氣】
	5	16	【節氣】	【陰曆】
	6	17	【陰曆】	【節氣】
	7	18	【節氣】	【陰曆】
	8	19	【陰曆】	【節氣】
	9	20	【節氣】	【陰曆】
	10	21	【陰曆】	【節氣】
	11	22	【節氣】	【陰曆】
	12	23	【陰曆】	【節氣】
	13	24	【節氣】	【陰曆】
	14	25	【陰曆】	【節氣】
	15	26	【節氣】	【陰曆】
	16	27	【陰曆】	【節氣】
	17	28	【節氣】	【陰曆】
	18	29	【陰曆】	【節氣】
	19	30	【節氣】	【陰曆】
	20	31	【陰曆】	【節氣】
三月	陰 19	陽 1	【陰曆】	【節氣】
	20	2	【節氣】	【陰曆】
	21	3	【陰曆】	【節氣】
	22	4	【節氣】	【陰曆】
	23	5	【陰曆】	【節氣】
	24	6	【節氣】	【陰曆】
	25	7	【陰曆】	【節氣】
	26	8	【節氣】	【陰曆】
	27	9	【陰曆】	【節氣】
	28	10	【節氣】	【陰曆】
	29	11	【陰曆】	【節氣】
	1	12	【節氣】	【陰曆】
	2	13	【陰曆】	【節氣】
	3	14	【節氣】	【陰曆】
	4	15	【陰曆】	【節氣】
	5	16	【節氣】	【陰曆】
	6	17	【陰曆】	【節氣】
	7	18	【節氣】	【陰曆】
	8	19	【陰曆】	【節氣】
	9	20	【節氣】	【陰曆】
	10	21	【陰曆】	【節氣】
	11	22	【節氣】	【陰曆】
	12	23	【陰曆】	【節氣】
	13	24	【節氣】	【陰曆】
	14	25	【陰曆】	【節氣】
	15	26	【節氣】	【陰曆】
	16	27	【陰曆】	【節氣】
	17	28	【節氣】	【陰曆】
	18	29	【陰曆】	【節氣】
	19	30	【節氣】	【陰曆】
	20	31	【陰曆】	【節氣】
四月	陰 21	陽 1	【陰曆】	【節氣】
	22	2	【節氣】	【陰曆】
	23	3	【陰曆】	【節氣】
	24	4	【節氣】	【陰曆】
	25	5	【陰曆】	【節氣】
	26	6	【節氣】	【陰曆】
	27	7	【陰曆】	【節氣】
	28	8	【節氣】	【陰曆】
	29	9	【陰曆】	【節氣】
	30	10	【節氣】	【陰曆】
	1	11	【陰曆】	【節氣】
	2	12	【節氣】	【陰曆】
	3	13	【陰曆】	【節氣】
	4	14	【節氣】	【陰曆】
	5	15	【陰曆】	【節氣】
	6	16	【節氣】	【陰曆】
	7	17	【陰曆】	【節氣】
	8	18	【節氣】	【陰曆】
	9	19	【陰曆】	【節氣】
	10	20	【節氣】	【陰曆】
	11	21	【陰曆】	【節氣】
	12	22	【節氣】	【陰曆】
	13	23	【陰曆】	【節氣】
	14	24	【節氣】	【陰曆】
	15	25	【陰曆】	【節氣】
	16	26	【節氣】	【陰曆】
	17	27	【陰曆】	【節氣】
	18	28	【節氣】	【陰曆】
	19	29	【陰曆】	【節氣】
	20	30	【節氣】	【陰曆】
	21	31	【陰曆】	【節氣】
五月	陰 21	陽 1	【陰曆】	【節氣】
	22	2	【節氣】	【陰曆】
	23	3	【陰曆】	【節氣】
	24	4	【節氣】	【陰曆】
	25	5	【陰曆】	【節氣】
	26	6	【節氣】	【陰曆】
	27	7	【陰曆】	【節氣】
	28	8	【節氣】	【陰曆】
	29	9	【陰曆】	【節氣】
	30	10	【節氣】	【陰曆】
	1	11	【陰曆】	【節氣】
	2	12	【節氣】	【陰曆】
	3	13	【陰曆】	【節氣】
	4	14	【節氣】	【陰曆】
	5	15	【陰曆】	【節氣】
	6	16	【節氣】	【陰曆】
	7	17	【陰曆】	【節氣】
	8	18	【節氣】	【陰曆】
	9	19	【陰曆】	【節氣】
	10	20	【節氣】	【陰曆】
	11	21	【陰曆】	【節氣】
	12	22	【節氣】	【陰曆】
	13	23	【陰曆】	【節氣】
	14	24	【節氣】	【陰曆】
	15	25	【陰曆】	【節氣】
	16	26	【節氣】	【陰曆】
	17	27	【陰曆】	【節氣】
	18	28	【節氣】	【陰曆】
	19	29	【陰曆】	【節氣】
	20	30	【節氣】	【陰曆】
	21	31	【陰曆】	【節氣】
六月	陰 24	陽 1	【陰曆】	【節氣】
	25	2	【節氣】	【陰曆】
	26	3	【陰曆】	【節氣】
	27	4	【節氣】	【陰曆】
	28	5	【陰曆】	【節氣】
	29	6	【節氣】	【陰曆】
	30	7	【陰曆】	【節氣】
	1	8	【節氣】	【陰曆】
	2	9	【陰曆】	【節氣】
	3	10	【節氣】	【陰曆】
	4	11	【陰曆】	【節氣】
	5	12	【節氣】	【陰曆】
	6	13	【陰曆】	【節氣】
	7	14	【節氣】	【陰曆】
	8	15	【陰曆】	【節氣】
	9	16	【節氣】	【陰曆】
	10	17	【陰曆】	【節氣】
	11	18	【節氣】	【陰曆】
	12	19	【陰曆】	【節氣】
	13	20	【節氣】	【陰曆】
	14	21	【陰曆】	【節氣】
	15	22	【節氣】	【陰曆】
	16	23	【陰曆】	【節氣】
	17	24	【節氣】	【陰曆】
	18	25	【陰曆】	【節氣】
	19	26	【節氣】	【陰曆】
	20	27	【陰曆】	【節氣】
	21	28	【節氣】	【陰曆】
	22	29	【陰曆】	【節氣】
	23	30	【節氣】	【陰曆】
	24	31	【陰曆】	【節氣】

魏 頌 唐 農 曆

四七

【陰曆】丙申年四月五日夏至
【節氣】六日芒種十七日夏至
【星期】三日十七日二十四日

【陰曆】丙申年三月四日小滿
【節氣】五日立夏二十一日小滿
【星期】六日十三日二十日二十七日

【陰曆】丙申年二月三日穀雨
【節氣】五日清明二十日穀雨
【星期】一日八日十五日廿二日廿九日

【陰曆】丙申年正月二日春分
【節氣】五日驚蟄二十日春分
【星期】四日十一日十八日二十五日

【陰曆】乙未年十二月丙申年正月
【節氣】五日立春二十日雨水
【星期】五日十二日十九日二十六日

【陰曆】乙未年十一月十二日大寒
【節氣】六日小寒二十一日大寒
【星期】一日八日十五日廿二日廿九日

民國四十六年陽曆陰曆對照表

月六		月五		月四		月三		月二		月一		月別	日	別	備	考	
陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽				
4	1	2	1	3	2	2	1	3	2	2	1	3	2				
5	2	3	2	4	3	3	2	4	3	3	2	4	3				
6	3	4	3	5	4	4	3	5	4	4	3	5	4				
7	4	5	4	6	5	5	4	6	5	5	4	6	5				
8	5	6	5	7	6	6	5	7	6	6	5	7	6				
9	6	7	6	8	7	7	6	8	7	7	6	8	7				
10	7	8	7	9	8	8	7	9	8	8	7	9	8				
11	8	9	8	10	9	9	8	10	9	9	8	10	9				
12	9	10	9	11	10	10	9	11	10	10	9	11	10				
13	10	11	10	12	11	11	10	12	11	11	10	12	11				
14	11	12	11	13	12	12	11	13	12	12	11	13	12				
15	12	13	12	14	13	13	12	14	13	13	12	14	13				
16	13	14	13	15	14	14	13	15	14	14	13	15	14				
17	14	15	14	16	15	15	14	16	15	15	14	16	15				
18	15	16	15	17	16	16	15	17	16	16	15	17	16				
19	16	17	16	18	17	17	16	18	17	17	16	18	17				
20	17	18	17	19	18	18	17	19	18	18	17	19	18				
21	18	19	18	20	19	19	18	20	19	19	18	20	19				
22	19	20	19	21	20	20	19	21	20	20	19	21	20				
23	20	21	20	22	21	21	20	22	21	21	20	22	21				
24	21	22	21	23	22	22	21	23	22	22	21	23	22				
25	22	23	22	24	23	23	22	24	23	23	22	24	23				
26	23	24	23	25	24	24	23	25	24	24	23	25	24				
27	24	25	24	26	25	25	24	26	25	25	24	26	25				
28	25	26	25	27	26	26	25	27	26	26	25	27	26				
29	26	27	26	28	27	27	26	28	27	27	26	28	27				
30	27	28	27	29	28	28	27	29	28	28	27	29	28				
1	28	29	28	30	29	29	28	30	29	29	28	30	29				
2	29	1	29	1	30	2	29	1	30	2	29	1	30				
3	30	2	30	2	31	3	30	2	31	3	30	2	31				
		3	31	3				3				3					
【星期】	【節氣】																
二日	芒種	五日	立夏	七日	清明	十日	穀雨	十三日	春分	十四日	雨水	十六日	小寒				
九日	夏至	十二日	立夏	十四日	清明	十七日	穀雨	二十日	春分	廿一日	雨水	廿三日	小寒				
十六日	夏至	十九日	立夏	廿一日	清明	廿四日	穀雨	廿七日	春分	廿八日	雨水	三十日	小寒				
廿三日	夏至	廿六日	立夏	廿八日	清明	卅一日	穀雨						小寒				
三十日	夏至		立夏		清明		穀雨						小寒				

魏 頌 唐 農 曆

四九

魏頌唐農曆

民國四十六年陽曆陰曆對照表

月別 日 別 備 考

月七 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 陰 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 【節氣】丁酉年六月七月
 【曆】七月小暑二十三日大暑二十四日二十一日二十八日

月八 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 陰 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 【節氣】丁酉年七月八月
 【曆】八月立秋二十三日處暑四日十一日十八日二十五日

月九 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
 陰 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
 【節氣】丁酉年閏八月
 【曆】八月白露二十三日秋分廿九日

月十 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 陰 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 【節氣】丁酉年閏八月九月
 【曆】八月十三日二十四日霜降廿七日

月十一 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
 陰 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
 【節氣】丁酉年九月十月
 【曆】八月立冬二十二日小雪三日十七日二十四日

月十二 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 陰 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 【節氣】丁酉年十一月
 【曆】七月大雪二十一日冬至廿九日

民國四十七年陽曆陰曆對照表

月別 日 別 備 考

一月 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
 陰 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
 【星期】 五日
 【節氣】 丁酉年十一月十二日小寒 十二月十日大雪 十二月二十六日冬至

二月 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11
 陰 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
 【星期】 二日
 【節氣】 丁酉年十二月九日立春 十二月十六日雨水 十二月二十三日

三月 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
 陰 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23
 【星期】 二日
 【節氣】 戊戌年正月二日驚蟄 二月十一日春分 二月三十日

四月 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
 陰 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
 【星期】 六日
 【節氣】 戊戌年二月三日清明 二月二十日穀雨 二月二十七日

五月 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
 陰 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
 【星期】 六日
 【節氣】 戊戌年三月四日立夏 三月二十一日小滿 五月二十五日

六月 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
 陰 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
 【星期】 六日
 【節氣】 戊戌年四月五日芒種 五月十二日夏至 五月廿九日

魏頌唐農曆

五一

魏頌唐農曆

民國四十七年陽曆陰曆對照表

五二

月	日	別	備	考
月七	陰 15	陽 1	【陰曆】	戊戌年五月六日
	16	2	【節氣】	八日小暑
	17	3	【星期】	六日十三日二十日二十七日
	18	4		
	19	5		
	20	6		
	21	7		
	22	8		
	23	9		
	24	10		
	25	11		
	26	12		
	27	13		
	28	14		
	29	15		
	30	16		
	1	17		
	2	18		
	3	19		
	4	20		
	5	21		
	6	22		
	7	23		
	8	24		
	9	25		
	10	26		
	11	27		
	12	28		
	13	29		
	14	30		
	15	31		
月八	陰 16	陽 1	【陰曆】	戊戌年七月八日
	17	2	【節氣】	九日白露
	18	3	【星期】	七日十四日二十一日二十八日
	19	4		
	20	5		
	21	6		
	22	7		
	23	8		
	24	9		
	25	10		
	26	11		
	27	12		
	28	13		
	29	14		
	1	15		
	2	16		
	3	17		
	4	18		
	5	19		
	6	20		
	7	21		
	8	22		
	9	23		
	10	24		
	11	25		
	12	26		
	13	27		
	14	28		
	15	29		
	16	30		
	17	31		
月九	陰 18	陽 1	【陰曆】	戊戌年八月九日
	19	2	【節氣】	九日寒露
	20	3	【星期】	五日十二日十九日二十六日
	21	4		
	22	5		
	23	6		
	24	7		
	25	8		
	26	9		
	27	10		
	28	11		
	29	12		
	1	13		
	2	14		
	3	15		
	4	16		
	5	17		
	6	18		
	7	19		
	8	20		
	9	21		
	10	22		
	11	23		
	12	24		
	13	25		
	14	26		
	15	27		
	16	28		
	17	29		
	18	30		
	19	31		
月十	陰 19	陽 1	【陰曆】	戊戌年九月十日
	20	2	【節氣】	九日霜降
	21	3	【星期】	五日十二日十九日二十六日
	22	4		
	23	5		
	24	6		
	25	7		
	26	8		
	27	9		
	28	10		
	29	11		
	30	12		
	1	13		
	2	14		
	3	15		
	4	16		
	5	17		
	6	18		
	7	19		
	8	20		
	9	21		
	10	22		
	11	23		
	12	24		
	13	25		
	14	26		
	15	27		
	16	28		
	17	29		
	18	30		
	19	31		
月十一	陰 20	陽 1	【陰曆】	戊戌年十月十一日
	21	2	【節氣】	八日立冬
	22	3	【星期】	二日九日十六日廿三日三十日
	23	4		
	24	5		
	25	6		
	26	7		
	27	8		
	28	9		
	29	10		
	1	11		
	2	12		
	3	13		
	4	14		
	5	15		
	6	16		
	7	17		
	8	18		
	9	19		
	10	20		
	11	21		
	12	22		
	13	23		
	14	24		
	15	25		
	16	26		
	17	27		
	18	28		
	19	29		
	20	30		
	21	31		
月十二	陰 21	陽 1	【陰曆】	戊戌年十一月十二日
	22	2	【節氣】	七日立春
	23	3	【星期】	七日十四日二十一日二十八日
	24	4		
	25	5		
	26	6		
	27	7		
	28	8		
	29	9		
	30	10		
	1	11		
	2	12		
	3	13		
	4	14		
	5	15		
	6	16		
	7	17		
	8	18		
	9	19		
	10	20		
	11	21		
	12	22		
	13	23		
	14	24		
	15	25		
	16	26		
	17	27		
	18	28		
	19	29		
	20	30		
	21	31		

民國四十八年陽曆陰曆對照表

月別	日	別	備	考
月一	陰 22	陽 1	【陰曆】	戊戌年十一月
	23	2	【節氣】	小寒十一月十二日
	24	3	【星期】	六日十一月十一日
	25	4	【陰曆】	戊戌年十二月
	26	5	【節氣】	大寒十二月十八日
	27	6	【星期】	六日十二月二十五日
	28	7	【陰曆】	己亥年正月
	29	8	【節氣】	立春十二月二十九日
	30	9	【星期】	四日十二月二十二日
月二	陰 24	陽 1	【陰曆】	己亥年正月
	25	2	【節氣】	雨水正月五日
	26	3	【星期】	四日正月十二日
	27	4	【陰曆】	己亥年二月
	28	5	【節氣】	驚蟄二月二日
	29	6	【星期】	六日二月九日
	30	7	【陰曆】	己亥年正月
	1	8	【節氣】	春分二月二十日
	2	9	【星期】	五日二月廿七日
	3	10	【陰曆】	己亥年正月
	4	11	【節氣】	清明二月八日
	5	12	【星期】	六日二月十五日
	6	13	【陰曆】	己亥年正月
	7	14	【節氣】	穀雨二月廿二日
	8	15	【星期】	五日二月廿九日
	9	16	【陰曆】	己亥年正月
	10	17	【節氣】	立夏三月二日
	11	18	【星期】	六日三月九日
	12	19	【陰曆】	己亥年正月
	13	20	【節氣】	芒種三月二十一日
	14	21	【星期】	四日三月二十八日
	15	22	【陰曆】	己亥年正月
	16	23	【節氣】	夏至三月二十四日
	17	24	【星期】	六日三月三十一日
	18	25	【陰曆】	己亥年正月
	19	26	【節氣】	小滿四月一日
	20	27	【星期】	四日三月廿八日
	21	28	【陰曆】	己亥年正月
	22	29	【節氣】	夏至四月四日
	23	30	【星期】	六日三月三十一日
	24	31	【陰曆】	己亥年正月
月三	陰 22	陽 1	【陰曆】	己亥年正月
	23	2	【節氣】	芒種三月二十一日
	24	3	【星期】	四日三月二十八日
	25	4	【陰曆】	己亥年正月
	26	5	【節氣】	夏至四月四日
	27	6	【星期】	六日三月三十一日
	28	7	【陰曆】	己亥年正月
	29	8	【節氣】	小滿四月一日
	1	9	【星期】	四日三月二十八日
	2	10	【陰曆】	己亥年正月
	3	11	【節氣】	芒種三月二十一日
	4	12	【星期】	六日三月二十八日
	5	13	【陰曆】	己亥年正月
	6	14	【節氣】	夏至四月四日
	7	15	【星期】	四日三月二十八日
	8	16	【陰曆】	己亥年正月
	9	17	【節氣】	小滿四月一日
	10	18	【星期】	六日三月三十一日
	11	19	【陰曆】	己亥年正月
	12	20	【節氣】	芒種三月二十一日
	13	21	【星期】	四日三月二十八日
	14	22	【陰曆】	己亥年正月
	15	23	【節氣】	夏至四月四日
	16	24	【星期】	六日三月三十一日
	17	25	【陰曆】	己亥年正月
	18	26	【節氣】	小滿四月一日
	19	27	【星期】	四日三月二十八日
	20	28	【陰曆】	己亥年正月
	21	29	【節氣】	芒種三月二十一日
	22	30	【星期】	六日三月二十八日
	23	31	【陰曆】	己亥年正月
月四	陰 24	陽 1	【陰曆】	己亥年正月
	25	2	【節氣】	芒種三月二十一日
	26	3	【星期】	四日三月二十八日
	27	4	【陰曆】	己亥年正月
	28	5	【節氣】	夏至四月四日
	29	6	【星期】	六日三月三十一日
	30	7	【陰曆】	己亥年正月
	1	8	【節氣】	小滿四月一日
	2	9	【星期】	四日三月二十八日
	3	10	【陰曆】	己亥年正月
	4	11	【節氣】	芒種三月二十一日
	5	12	【星期】	六日三月二十八日
	6	13	【陰曆】	己亥年正月
	7	14	【節氣】	夏至四月四日
	8	15	【星期】	四日三月二十八日
	9	16	【陰曆】	己亥年正月
	10	17	【節氣】	小滿四月一日
	11	18	【星期】	六日三月三十一日
	12	19	【陰曆】	己亥年正月
	13	20	【節氣】	芒種三月二十一日
	14	21	【星期】	四日三月二十八日
	15	22	【陰曆】	己亥年正月
	16	23	【節氣】	夏至四月四日
	17	24	【星期】	六日三月三十一日
	18	25	【陰曆】	己亥年正月
	19	26	【節氣】	小滿四月一日
	20	27	【星期】	四日三月二十八日
	21	28	【陰曆】	己亥年正月
	22	29	【節氣】	芒種三月二十一日
	23	30	【星期】	六日三月二十八日
	24	31	【陰曆】	己亥年正月
月五	陰 24	陽 1	【陰曆】	己亥年正月
	25	2	【節氣】	芒種三月二十一日
	26	3	【星期】	四日三月二十八日
	27	4	【陰曆】	己亥年正月
	28	5	【節氣】	夏至四月四日
	29	6	【星期】	六日三月三十一日
	30	7	【陰曆】	己亥年正月
	1	8	【節氣】	小滿四月一日
	2	9	【星期】	四日三月二十八日
	3	10	【陰曆】	己亥年正月
	4	11	【節氣】	芒種三月二十一日
	5	12	【星期】	六日三月二十八日
	6	13	【陰曆】	己亥年正月
	7	14	【節氣】	夏至四月四日
	8	15	【星期】	四日三月二十八日
	9	16	【陰曆】	己亥年正月
	10	17	【節氣】	小滿四月一日
	11	18	【星期】	六日三月三十一日
	12	19	【陰曆】	己亥年正月
	13	20	【節氣】	芒種三月二十一日
	14	21	【星期】	四日三月二十八日
	15	22	【陰曆】	己亥年正月
	16	23	【節氣】	夏至四月四日
	17	24	【星期】	六日三月三十一日
	18	25	【陰曆】	己亥年正月
	19	26	【節氣】	小滿四月一日
	20	27	【星期】	四日三月二十八日
	21	28	【陰曆】	己亥年正月
	22	29	【節氣】	芒種三月二十一日
	23	30	【星期】	六日三月二十八日
	24	31	【陰曆】	己亥年正月
月六	陰 25	陽 1	【陰曆】	己亥年正月
	26	2	【節氣】	芒種三月二十一日
	27	3	【星期】	四日三月二十八日
	28	4	【陰曆】	己亥年正月
	29	5	【節氣】	夏至四月四日
	1	6	【星期】	六日三月三十一日
	2	7	【陰曆】	己亥年正月
	3	8	【節氣】	小滿四月一日
	4	9	【星期】	四日三月二十八日
	5	10	【陰曆】	己亥年正月
	6	11	【節氣】	芒種三月二十一日
	7	12	【星期】	六日三月二十八日
	8	13	【陰曆】	己亥年正月
	9	14	【節氣】	夏至四月四日
	10	15	【星期】	四日三月二十八日
	11	16	【陰曆】	己亥年正月
	12	17	【節氣】	小滿四月一日
	13	18	【星期】	六日三月三十一日
	14	19	【陰曆】	己亥年正月
	15	20	【節氣】	芒種三月二十一日
	16	21	【星期】	四日三月二十八日
	17	22	【陰曆】	己亥年正月
	18	23	【節氣】	夏至四月四日
	19	24	【星期】	六日三月三十一日
	20	25	【陰曆】	己亥年正月
	21	26	【節氣】	小滿四月一日
	22	27	【星期】	四日三月二十八日
	23	28	【陰曆】	己亥年正月
	24	29	【節氣】	芒種三月二十一日
	25	30	【星期】	六日三月二十八日

魏 頌 唐 漢 曆

魏頌唐農曆

民國四十八年陽曆陰曆對照表

月二		月一		月十		月九		月八		月七		月別	日	別	備	考
陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰					
1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2					
2	3	2	3	2	3	2	3	2	3	2	3					
3	4	3	4	3	4	3	4	3	4	3	4					
4	5	4	5	4	5	4	5	4	5	4	5					
5	6	5	6	5	6	5	6	5	6	5	6					
6	7	6	7	6	7	6	7	6	7	6	7					
7	8	7	8	7	8	7	8	7	8	7	8					
8	9	8	9	8	9	8	9	8	9	8	9					
9	10	9	10	9	10	9	10	9	10	9	10					
10	11	10	11	10	11	10	11	10	11	10	11					
11	12	11	12	11	12	11	12	10	11	9	10					
12	13	12	13	12	13	12	13	11	12	10	11					
13	14	13	14	13	14	13	14	12	13	11	12					
14	15	14	15	14	15	14	15	13	14	12	13					
15	16	15	16	15	16	15	16	14	15	13	14					
16	17	16	17	16	17	16	17	15	16	14	15					
17	18	17	18	17	18	17	18	16	17	15	16					
18	19	18	19	18	19	18	19	17	18	16	17					
19	20	19	20	19	20	19	20	18	19	17	18					
20	21	20	21	20	21	20	21	19	20	18	19					
21	22	21	22	21	22	21	22	20	21	19	20					
22	23	22	23	22	23	22	23	21	22	20	21					
23	24	23	24	23	24	23	24	22	23	21	22					
24	25	24	25	24	25	24	25	23	24	22	23					
25	26	25	26	25	26	25	26	24	25	23	24					
26	27	26	27	26	27	26	27	25	26	24	25					
27	28	27	28	27	28	27	28	26	27	25	26					
28	29	28	29	28	29	28	29	27	28	26	27					
29	30	29	30	29	30	29	30	28	29	27	28					
30	1	30	1	30	1	30	1	28	29	27	28					
1	2	31	2	31	2	31	2	28	29	28	29					
2	3	31	3	31	3	31	3	28	29	28	29					
3	4	31	4	31	4	31	4	28	29	28	29					
4	5	31	5	31	5	31	5	28	29	28	29					
5	6	31	6	31	6	31	6	28	29	28	29					
6	7	31	7	31	7	31	7	28	29	28	29					
7	8	31	8	31	8	31	8	28	29	28	29					
8	9	31	9	31	9	31	9	28	29	28	29					
9	10	31	10	31	10	31	10	28	29	28	29					
10	11	31	11	31	11	31	11	28	29	28	29					
11	12	31	12	31	12	31	12	28	29	28	29					
12	13	31	13	31	13	31	13	28	29	28	29					
13	14	31	14	31	14	31	14	28	29	28	29					
14	15	31	15	31	15	31	15	28	29	28	29					
15	16	31	16	31	16	31	16	28	29	28	29					
16	17	31	17	31	17	31	17	28	29	28	29					
17	18	31	18	31	18	31	18	28	29	28	29					
18	19	31	19	31	19	31	19	28	29	28	29					
19	20	31	20	31	20	31	20	28	29	28	29					
20	21	31	21	31	21	31	21	28	29	28	29					
21	22	31	22	31	22	31	22	28	29	28	29					
22	23	31	23	31	23	31	23	28	29	28	29					
23	24	31	24	31	24	31	24	28	29	28	29					
24	25	31	25	31	25	31	25	28	29	28	29					
25	26	31	26	31	26	31	26	28	29	28	29					
26	27	31	27	31	27	31	27	28	29	28	29					
27	28	31	28	31	28	31	28	28	29	28	29					
28	29	31	29	31	29	31	29	28	29	28	29					
29	30	31	30	31	30	31	30	28	29	28	29					
30	31	31	31	31	31	31	31	28	29	28	29					
31	1	31	1	31	1	31	1	28	29	28	29					
32	2	31	2	31	2	31	2	28	29	28	29					
33	3	31	3	31	3	31	3	28	29	28	29					
34	4	31	4	31	4	31	4	28	29	28	29					
35	5	31	5	31	5	31	5	28	29	28	29					
36	6	31	6	31	6	31	6	28	29	28	29					
37	7	31	7	31	7	31	7	28	29	28	29					
38	8	31	8	31	8	31	8	28	29	28	29					
39	9	31	9	31	9	31	9	28	29	28	29					
40	10	31	10	31	10	31	10	28	29	28	29					
41	11	31	11	31	11	31	11	28	29	28	29					
42	12	31	12	31	12	31	12	28	29	28	29					
43	13	31	13	31	13	31	13	28	29	28	29					
44	14	31	14	31	14	31	14	28	29	28	29					
45	15	31	15	31	15	31	15	28	29	28	29					
46	16	31	16	31	16	31	16	28	29	28	29					
47	17	31	17	31	17	31	17	28	29	28	29					
48	18	31	18	31	18	31	18	28	29	28	29					
49	19	31	19	31	19	31	19	28	29	28	29					
50	20	31	20	31	20	31	20	28	29	28	29					
51	21	31	21	31	21	31	21	28	29	28	29					
52	22	31	22	31	22	31	22	28	29	28	29					
53	23	31	23	31	23	31	23	28	29	28	29					
54	24	31	24	31	24	31	24	28	29	28	29					
55	25	31	25	31	25	31	25	28	29	28	29					
56	26	31	26	31	26	31	26	28	29	28	29					
57	27	31	27	31	27	31	27	28	29	28	29					
58	28	31	28	31	28	31	28	28	29	28	29					
59	29	31	29	31	29	31	29	28	29	28	29					
60	30	31	30	31	30	31	30	28	29	28	29					
61	31	31	31	31	31	31	31	28	29	28	29					
62	1	31	1	31	1	31	1	28	29	28	29					
63	2	31	2	31	2	31	2	28	29	28	29					
64	3	31	3	31	3	31	3	28	29	28	29					
65	4	31	4	31	4	31	4	28	29	28	29					
66	5	31	5	31	5	31	5	28	29	28	29					
67	6	31	6	31	6	31	6	28	29	28	29					
68	7	31	7	31	7	31	7	28	29	28	29					
69	8	31	8	31	8	31	8	28	29	28	29					
70	9	31	9	31	9	31	9	28	29	28	29					
71	10	31	10	31	10	31	10	28	29	28	29					
72	11	31	11	31	11	31	11	28	29	28	29					
73	12	31	12	31	12	31	12	28	29	28	29					
74	13	31	13	31	13	31	13	28	29	28	29					
75	14	31	14	31	14	31	14	28	29	28	29					
76	15	31	15	31	15	31	15	28	29	28	29					
77	16	31	16	31	16	31	16	28	29	28	29					
78	17	31	17	31	17	31	17	28	29	28	29					
79	18	31	18	31	18	31	18	28	29	28	29					

民國四十九年陽曆陰曆對照表

月一		月二		月三		月四		月五		月六	
陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽
3	1	5	1	4	1	6	1	6	1	8	1
4	2	6	2	5	2	7	2	7	2	9	2
5	3	7	3	6	3	8	3	8	3	10	3
6	4	8	4	7	4	9	4	9	4	11	4
7	5	9	5	8	5	10	5	10	5	12	5
8	6	10	6	9	6	11	6	11	6	13	6
9	7	11	7	10	7	12	7	12	7	14	7
10	8	12	8	11	8	13	8	13	8	15	8
11	9	13	9	12	9	14	9	14	9	16	9
12	10	14	10	13	10	15	10	15	10	17	10
13	11	15	11	14	11	16	11	16	11	18	11
14	12	16	12	15	12	17	12	17	12	19	12
15	13	17	13	16	13	18	13	18	13	20	13
16	14	18	14	17	14	19	14	19	14	21	14
17	15	19	15	18	15	20	15	20	15	22	15
18	16	20	16	19	16	21	16	21	16	23	16
19	17	21	17	20	17	22	17	22	17	24	17
20	18	22	18	21	18	23	18	23	18	25	18
21	19	23	19	22	19	24	19	24	19	26	19
22	20	24	20	23	20	25	20	25	20	27	20
23	21	25	21	24	21	26	21	26	21	28	21
24	22	26	22	25	22	27	22	27	22	29	22
25	23	27	23	26	23	28	23	28	23	30	23
26	24	28	24	27	24	29	24	29	24	1	24
27	25	29	25	28	25	30	25	1	25	2	25
28	26	30	26	29	26	1	26	2	26	3	26
29	27	1	27	2	27	2	27	3	27	4	27
30	28	2	28	3	28	3	28	4	28	5	28
1	29	3	29	4	29	4	29	5	29	6	29
2	30	4	30	5	30	5	30	6	30	7	30
3	31	5	31	6	31	6	31	7	31	7	31

星期	節氣	陰曆	陽曆
【星期日】	【節氣】	【陰曆】	【陽曆】
【六日】	【五日】	【庚子年】	【三月四月】
【十二日】	【十日】	【清明】	【二十日】
【十九日】	【十七日】	【穀雨】	【二十四日】
【二十六日】	【二十四日】	【立夏】	【五月】
	【三十一日】	【小滿】	【五月廿九日】
		【芒種】	【六月六日】
		【夏至】	【六月廿一日】
		【小暑】	【七月七日】
		【立秋】	【七月廿四日】
		【處暑】	【八月一日】
		【白露】	【八月十七日】
		【秋分】	【八月廿三日】
		【寒露】	【八月廿九日】
		【霜降】	【九月五日】
		【立冬】	【九月廿二日】
		【小雪】	【十月八日】
		【大雪】	【十月廿四日】
		【冬至】	【十一月九日】
		【小寒】	【十一月廿五日】
		【大寒】	【十二月十二日】
		【立春】	【十二月廿八日】
		【雨水】	【正月十四日】
		【驚蟄】	【二月七號】
		【春分】	【二月二十日】
		【清明】	【三月七日】

魏 頌 唐 農 曆

五 五

月別 日 別 備 考

魏頌唐農曆

民國四十九年陽曆陰曆對照表

月二		月一		月十		月九		月八		月七		月	日	別	備	考	
陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	別	日	別	備	考	
13	1	13	1	11	1	11	1	9	1	8	1	別					
14	2	14	2	12	2	12	2	10	2	9	2	日					
15	3	15	3	13	3	13	3	11	3	10	3						
16	4	16	4	14	4	14	4	12	4	11	4						
17	5	17	5	15	5	15	5	13	5	12	5						
18	6	18	6	16	6	16	6	14	6	13	6						
19	7	19	7	17	7	17	7	15	7	14	7						
20	8	20	8	18	8	18	8	16	8	15	8						
21	9	21	9	19	9	19	9	17	9	16	9						
22	10	22	10	20	10	20	10	18	10	17	10						
23	11	23	11	21	11	21	11	19	11	18	11						
24	12	24	12	22	12	22	12	20	12	19	12						
25	13	25	13	23	13	23	13	21	13	20	13						
26	14	26	14	24	14	24	14	22	14	21	14						
27	15	27	15	25	15	25	15	23	15	22	15						
28	16	28	16	26	16	26	16	24	16	23	16						
29	17	29	17	27	17	27	17	25	17	24	17						
1	18	30	18	28	18	28	18	26	18	25	18						
2	19	1	19	29	19	29	19	27	19	26	19						
3	20	2	20	1	20	1	20	28	20	27	20						
4	21	3	21	2	21	2	21	29	21	28	21						
5	22	4	22	3	22	3	22	1	22	29	22						
6	23	5	23	4	23	4	23	2	23	30	23						
7	24	6	24	5	24	5	24	3	24	1	24						
8	25	7	25	6	25	6	25	4	25	2	25						
9	26	8	26	7	26	7	26	5	26	3	26						
10	27	9	27	8	27	8	27	6	27	4	27						
11	28	10	28	9	28	9	28	7	28	5	28						
12	29	11	29	10	29	10	29	8	29	6	29						
13	30	12	30	11	30	11	30	9	30	7	30						
14	31			12	31			10	31	8	31						
【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】	【星期】	【節氣】
四日	庚子年七月十一日	六日	庚子年九月十三日	二日	庚子年八月九日	四日	庚子年七月十一日	七日	庚子年閏六月十四日	三日	庚子年六月十七日	四日	庚子年六月廿四日	卅一日	庚子年六月廿四日	卅一日	庚子年六月廿四日
十一日	大雪	二十日	立冬	十六日	寒露	十八日	白露	二十一日	立秋	十七日	小暑	廿四日	大暑	卅一日	大暑	卅一日	大暑
十八日	冬至	二十七日	小雪	廿三日	霜降	二十五日	秋分	二十八日	處暑	卅一日	立秋	卅一日	立秋	卅一日	立秋	卅一日	立秋

民國五十年陽曆陰曆對照表

月別	日	別	備	考
月一	陽 1	陰 15	【節氣】	【陰曆】
	2	16	【星氣】	【庚子年十一月十二日】
	3	17	【節氣】	【庚子年十一月廿二日】
	4	18	【星氣】	【庚子年十一月廿九日】
	5	19	【節氣】	【庚子年十二月一日】
	6	20	【星氣】	【庚子年十二月八日】
	7	21	【節氣】	【庚子年十二月十五日】
	8	22	【星氣】	【庚子年十二月廿二日】
	9	23	【節氣】	【庚子年十二月廿九日】
	10	24	【星氣】	【庚子年正月六日】
	11	25	【節氣】	【庚子年正月十三日】
	12	26	【星氣】	【庚子年正月二十日】
	13	27	【節氣】	【庚子年正月廿七日】
	14	28	【星氣】	【庚子年二月三日】
	15	29	【節氣】	【庚子年二月十日】
	16	30	【星氣】	【庚子年二月十七日】
	17	1	【節氣】	【庚子年二月廿四日】
	18	2	【星氣】	【庚子年三月二日】
	19	3	【節氣】	【庚子年三月九日】
	20	4	【星氣】	【庚子年三月十六日】
	21	5	【節氣】	【庚子年三月廿三日】
	22	6	【星氣】	【庚子年三月三十日】
	23	7	【節氣】	【庚子年四月六日】
	24	8	【星氣】	【庚子年四月十三日】
	25	9	【節氣】	【庚子年四月二十日】
	26	10	【星氣】	【庚子年四月廿七日】
	27	11	【節氣】	【庚子年五月四日】
	28	12	【星氣】	【庚子年五月十一日】
	29	13	【節氣】	【庚子年五月十八日】
	30	14	【星氣】	【庚子年五月廿五日】
	1	15	【節氣】	【庚子年六月一日】
	2	16	【星氣】	【庚子年六月八日】
	3	17	【節氣】	【庚子年六月十五日】
	4	18	【星氣】	【庚子年六月廿二日】
	5	19	【節氣】	【庚子年六月廿九日】
	6	20	【星氣】	【庚子年七月六日】
	7	21	【節氣】	【庚子年七月十三日】
	8	22	【星氣】	【庚子年七月二十日】
	9	23	【節氣】	【庚子年七月廿七日】
	10	24	【星氣】	【庚子年八月三日】
	11	25	【節氣】	【庚子年八月十日】
	12	26	【星氣】	【庚子年八月十七日】
	13	27	【節氣】	【庚子年八月廿四日】
	14	28	【星氣】	【庚子年八月三十一日】
	15	29	【節氣】	【庚子年九月七日】
	16	30	【星氣】	【庚子年九月十四日】
	17	31	【節氣】	【庚子年九月廿一日】
	18	1	【星氣】	【庚子年九月廿八日】
	19	2	【節氣】	【庚子年十月五日】
	20	3	【星氣】	【庚子年十月十二日】
	21	4	【節氣】	【庚子年十月十九日】
	22	5	【星氣】	【庚子年十月廿六日】
	23	6	【節氣】	【庚子年十一月二日】
	24	7	【星氣】	【庚子年十一月九日】
	25	8	【節氣】	【庚子年十一月十六日】
	26	9	【星氣】	【庚子年十一月廿三日】
	27	10	【節氣】	【庚子年十一月三十日】
	28	11	【星氣】	【庚子年十二月七日】
	29	12	【節氣】	【庚子年十二月十四日】
	30	13	【星氣】	【庚子年十二月廿一日】
	1	14	【節氣】	【庚子年十二月廿八日】
	2	15	【星氣】	【庚子年十二月三十一日】
	3	16	【節氣】	【庚子年一月四日】
	4	17	【星氣】	【庚子年一月十一日】
	5	18	【節氣】	【庚子年一月十八日】
	6	19	【星氣】	【庚子年一月廿五日】
	7	20	【節氣】	【庚子年二月一日】
	8	21	【星氣】	【庚子年二月八日】
	9	22	【節氣】	【庚子年二月十五日】
	10	23	【星氣】	【庚子年二月廿二日】
	11	24	【節氣】	【庚子年二月廿九日】
	12	25	【星氣】	【庚子年三月六日】
	13	26	【節氣】	【庚子年三月十三日】
	14	27	【星氣】	【庚子年三月二十日】
	15	28	【節氣】	【庚子年三月廿七日】
	16	29	【星氣】	【庚子年四月三日】
	17	30	【節氣】	【庚子年四月十日】
	18	31	【星氣】	【庚子年四月十七日】

魏 頌 唐 農 曆

魏頌唐農曆

民國五十年陽曆陰曆對照表

月別	日	別	備	考
月七	陰 19	陽 1	【陰曆】	辛丑年五月六日
	20	2	【節氣】	七日小暑
	21	3	【星期】	九日十六日廿三日大暑
	22	4		廿三日三十日
	23	5		
	24	6		
	25	7		
	26	8		
	27	9		
	28	10		
	29	11		
	30	12		
月八	陰 20	陽 1	【陰曆】	辛丑年六月七日
	21	2	【節氣】	八日立秋
	22	3	【星期】	十三日二十日二十七日
	23	4		
	24	5		
	25	6		
	26	7		
	27	8		
	28	9		
	29	10		
	30	11		
	31	12		
月九	陰 22	陽 1	【陰曆】	辛丑年七月八日
	23	2	【節氣】	八日白露
	24	3	【星期】	十日十七日二十四日
	25	4		
	26	5		
	27	6		
	28	7		
	29	8		
	30	9		
	31	10		
	1	11		
	2	12		
	3	1		
	4	2		
	5	3		
	6	4		
	7	5		
	8	6		
	9	7		
	10	8		
	11	9		
	12	10		
	13	11		
	14	12		
	15	1		
	16	2		
	17	3		
	18	4		
	19	5		
	20	6		
	21	7		
	22	8		
	23	9		
	24	10		
	25	11		
	26	12		
	27	1		
	28	2		
	29	3		
	30	4		
	31	5		
月十	陰 22	陽 1	【陰曆】	辛丑年八月九日
	23	2	【節氣】	八日寒露
	24	3	【星期】	十五日廿二日廿九日
	25	4		
	26	5		
	27	6		
	28	7		
	29	8		
	30	9		
	31	10		
	1	11		
	2	12		
	3	1		
	4	2		
	5	3		
	6	4		
	7	5		
	8	6		
	9	7		
	10	8		
	11	9		
	12	10		
	13	11		
	14	12		
	15	1		
	16	2		
	17	3		
	18	4		
	19	5		
	20	6		
	21	7		
	22	8		
	23	9		
	24	10		
	25	11		
	26	12		
	27	1		
	28	2		
	29	3		
	30	4		
	31	5		
月十一	陰 23	陽 1	【陰曆】	辛丑年九月十日
	24	2	【節氣】	八日立冬
	25	3	【星期】	十二日十九日二十日小雪
	26	4		
	27	5		
	28	6		
	29	7		
	30	8		
	31	9		
	1	10		
	2	11		
	3	12		
	4	1		
	5	2		
	6	3		
	7	4		
	8	5		
	9	6		
	10	7		
	11	8		
	12	9		
	13	10		
	14	11		
	15	12		
	16	1		
	17	2		
	18	3		
	19	4		
	20	5		
	21	6		
	22	7		
	23	8		
	24	9		
	25	10		
	26	11		
	27	12		
	28	1		
	29	2		
	30	3		
	31	4		
月十二	陰 24	陽 1	【陰曆】	辛丑年十月十一日
	25	2	【節氣】	七日大雪
	26	3	【星期】	十日十七日廿四日卅一日
	27	4		
	28	5		
	29	6		
	30	7		
	31	8		
	1	9		
	2	10		
	3	11		
	4	12		
	5	1		
	6	2		
	7	3		
	8	4		
	9	5		
	10	6		
	11	7		
	12	8		
	13	9		
	14	10		
	15	11		
	16	12		
	17	1		
	18	2		
	19	3		
	20	4		
	21	5		
	22	6		
	23	7		
	24	8		
	25	9		
	26	10		
	27	11		
	28	12		
	29	1		
	30	2		
	31	3		

民國五十一年陽曆陰曆對照表

月別 日 別 備 考

月一 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 30 31
 陰 26 27 28 29 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
 【節氣】辛丑年十一月十二日大寒
 【星期】七日十月十四日二十一日二十八日

月二 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 28
 陰 27 28 29 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
 【節氣】辛丑年十二月壬寅年正月
 【星期】四日十一月十八日二十五日

月三 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 29 30 31
 陰 25 26 27 28 29 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
 【節氣】壬寅年正月二月
 【星期】四日十一月十八日二十五日

月四 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 30
 陰 28 29 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26
 【節氣】壬寅年二月三月
 【星期】五日清明日十五日穀雨
 廿二日廿九日

月五 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 31
 陰 27 28 29 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28
 【節氣】壬寅年三月四月
 【星期】六日立夏日二十一日小滿
 廿七日

月六 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
 陰 29 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29
 【節氣】壬寅年四月五月
 【星期】六日芒種日十七日二十四日

魏 頌 唐 農 曆

五 九

民國五十二年陽曆陰曆對照表

月別	日	別	備	考
月一	陽 1	陰 6	【陰曆】	壬寅年十二月
	陽 2	陰 7	【節氣】	六日小寒
	陽 3	陰 8	【星期】	六日十三日二十日二十七日
	陽 4	陰 9		【陰曆】
	陽 5	陰 10		壬寅年十二月
	陽 6	陰 11		【節氣】
	陽 7	陰 12		六日小寒
	陽 8	陰 13		【星期】
	陽 9	陰 14		六日十三日二十日二十七日
	陽 10	陰 15		【陰曆】
	陽 11	陰 16		壬寅年十二月
	陽 12	陰 17		【節氣】
	陽 13	陰 18		六日小寒
	陽 14	陰 19		【星期】
	陽 15	陰 20		六日十三日二十日二十七日
	陽 16	陰 21		【陰曆】
	陽 17	陰 22		壬寅年十二月
	陽 18	陰 23		【節氣】
	陽 19	陰 24		六日小寒
	陽 20	陰 25		【星期】
	陽 21	陰 26		六日十三日二十日二十七日
	陽 22	陰 27		【陰曆】
	陽 23	陰 28		壬寅年十二月
	陽 24	陰 29		【節氣】
	陽 25	陰 30		六日小寒
	陽 26	陰 1		【星期】
	陽 27	陰 2		六日十三日二十日二十七日
	陽 28	陰 3		【陰曆】
	陽 29	陰 4		壬寅年十二月
	陽 30	陰 5		【節氣】
	陽 31	陰 6		六日小寒
月二	陽 1	陰 7	【陰曆】	癸卯年正月
	陽 2	陰 8	【節氣】	四日立春
	陽 3	陰 9	【星期】	四日十日十七日二十四日
	陽 4	陰 10		【陰曆】
	陽 5	陰 11		癸卯年正月
	陽 6	陰 12		【節氣】
	陽 7	陰 13		四日立春
	陽 8	陰 14		【星期】
	陽 9	陰 15		四日十日十七日二十四日
	陽 10	陰 16		【陰曆】
	陽 11	陰 17		癸卯年正月
	陽 12	陰 18		【節氣】
	陽 13	陰 19		四日立春
	陽 14	陰 20		【星期】
	陽 15	陰 21		四日十日十七日二十四日
	陽 16	陰 22		【陰曆】
	陽 17	陰 23		癸卯年正月
	陽 18	陰 24		【節氣】
	陽 19	陰 25		四日立春
	陽 20	陰 26		【星期】
	陽 21	陰 27		四日十日十七日二十四日
	陽 22	陰 28		【陰曆】
	陽 23	陰 29		癸卯年正月
	陽 24	陰 30		【節氣】
	陽 25	陰 1		四日立春
	陽 26	陰 2		【星期】
	陽 27	陰 3		四日十日十七日二十四日
	陽 28	陰 4		【陰曆】
	陽 29	陰 5		癸卯年正月
	陽 30	陰 6		【節氣】
	陽 31	陰 7		四日立春
月三	陽 1	陰 8	【陰曆】	癸卯年二月
	陽 2	陰 9	【節氣】	六日驚蟄
	陽 3	陰 10	【星期】	六日十日十七日廿四日卅一日
	陽 4	陰 11		【陰曆】
	陽 5	陰 12		癸卯年二月
	陽 6	陰 13		【節氣】
	陽 7	陰 14		六日驚蟄
	陽 8	陰 15		【星期】
	陽 9	陰 16		六日十日十七日廿四日卅一日
	陽 10	陰 17		【陰曆】
	陽 11	陰 18		癸卯年二月
	陽 12	陰 19		【節氣】
	陽 13	陰 20		六日驚蟄
	陽 14	陰 21		【星期】
	陽 15	陰 22		六日十日十七日廿四日卅一日
	陽 16	陰 23		【陰曆】
	陽 17	陰 24		癸卯年二月
	陽 18	陰 25		【節氣】
	陽 19	陰 26		六日驚蟄
	陽 20	陰 27		【星期】
	陽 21	陰 28		六日十日十七日廿四日卅一日
	陽 22	陰 29		【陰曆】
	陽 23	陰 30		癸卯年二月
	陽 24	陰 1		【節氣】
	陽 25	陰 2		六日驚蟄
	陽 26	陰 3		【星期】
	陽 27	陰 4		六日十日十七日廿四日卅一日
	陽 28	陰 5		【陰曆】
	陽 29	陰 6		癸卯年二月
	陽 30	陰 7		【節氣】
	陽 31	陰 8		六日驚蟄
月四	陽 1	陰 9	【陰曆】	癸卯年三月
	陽 2	陰 10	【節氣】	五日清明
	陽 3	陰 11	【星期】	七日十四日二十一日二十八日
	陽 4	陰 12		【陰曆】
	陽 5	陰 13		癸卯年三月
	陽 6	陰 14		【節氣】
	陽 7	陰 15		五日清明
	陽 8	陰 16		【星期】
	陽 9	陰 17		七日十四日二十一日二十八日
	陽 10	陰 18		【陰曆】
	陽 11	陰 19		癸卯年三月
	陽 12	陰 20		【節氣】
	陽 13	陰 21		五日清明
	陽 14	陰 22		【星期】
	陽 15	陰 23		七日十四日二十一日二十八日
	陽 16	陰 24		【陰曆】
	陽 17	陰 25		癸卯年三月
	陽 18	陰 26		【節氣】
	陽 19	陰 27		五日清明
	陽 20	陰 28		【星期】
	陽 21	陰 29		七日十四日二十一日二十八日
	陽 22	陰 30		【陰曆】
	陽 23	陰 1		癸卯年三月
	陽 24	陰 2		【節氣】
	陽 25	陰 3		五日清明
	陽 26	陰 4		【星期】
	陽 27	陰 5		七日十四日二十一日二十八日
	陽 28	陰 6		【陰曆】
	陽 29	陰 7		癸卯年三月
	陽 30	陰 8		【節氣】
	陽 31	陰 9		五日清明
月五	陽 1	陰 10	【陰曆】	癸卯年四月
	陽 2	陰 11	【節氣】	六日立夏
	陽 3	陰 12	【星期】	五日十二日十九日二十六日
	陽 4	陰 13		【陰曆】
	陽 5	陰 14		癸卯年四月
	陽 6	陰 15		【節氣】
	陽 7	陰 16		六日立夏
	陽 8	陰 17		【星期】
	陽 9	陰 18		五日十二日十九日二十六日
	陽 10	陰 19		【陰曆】
	陽 11	陰 20		癸卯年四月
	陽 12	陰 21		【節氣】
	陽 13	陰 22		六日立夏
	陽 14	陰 23		【星期】
	陽 15	陰 24		五日十二日十九日二十六日
	陽 16	陰 25		【陰曆】
	陽 17	陰 26		癸卯年四月
	陽 18	陰 27		【節氣】
	陽 19	陰 28		六日立夏
	陽 20	陰 29		【星期】
	陽 21	陰 30		五日十二日十九日二十六日
	陽 22	陰 1		【陰曆】
	陽 23	陰 2		癸卯年四月
	陽 24	陰 3		【節氣】
	陽 25	陰 4		六日立夏
	陽 26	陰 5		【星期】
	陽 27	陰 6		五日十二日十九日二十六日
	陽 28	陰 7		【陰曆】
	陽 29	陰 8		癸卯年四月
	陽 30	陰 9		【節氣】
	陽 31	陰 10		六日立夏
月六	陽 1	陰 11	【陰曆】	癸卯年五月
	陽 2	陰 12	【節氣】	六日芒種
	陽 3	陰 13	【星期】	二日九日十六日廿三日三十日
	陽 4	陰 14		【陰曆】
	陽 5	陰 15		癸卯年五月
	陽 6	陰 16		【節氣】
	陽 7	陰 17		六日芒種
	陽 8	陰 18		【星期】
	陽 9	陰 19		二日九日十六日廿三日三十日
	陽 10	陰 20		【陰曆】
	陽 11	陰 21		癸卯年五月
	陽 12	陰 22		【節氣】
	陽 13	陰 23		六日芒種
	陽 14	陰 24		【星期】
	陽 15	陰 25		二日九日十六日廿三日三十日
	陽 16	陰 26		【陰曆】
	陽 17	陰 27		癸卯年五月
	陽 18	陰 28		【節氣】
	陽 19	陰 29		六日芒種
	陽 20	陰 30		【星期】
	陽 21	陰 1		二日九日十六日廿三日三十日
	陽 22	陰 2		【陰曆】
	陽 23	陰 3		癸卯年五月
	陽 24	陰 4		【節氣】
	陽 25	陰 5		六日芒種
	陽 26	陰 6		【星期】
	陽 27	陰 7		二日九日十六日廿三日三十日
	陽 28	陰 8		【陰曆】
	陽 29	陰 9		癸卯年五月
	陽 30	陰 10		【節氣】
	陽 31	陰 11		六日芒種

魏頌唐農曆

魏頌唐農曆

民國五十二年陽曆陰曆對照表

月別		日		別		備		考	
月二十	月一十	月十	月九	月八	月七	月七	月七	月七	月七
陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽
16	1	16	1	14	1	11	1	11	1
17	2	17	2	15	2	12	2	12	2
18	3	18	3	16	3	13	3	13	3
19	4	19	4	17	4	14	4	14	4
20	5	20	5	18	5	15	5	15	5
21	6	21	6	19	6	16	6	16	6
22	7	22	7	20	7	17	7	17	7
23	8	23	8	21	8	18	8	18	8
24	9	24	9	22	9	19	9	19	9
25	10	25	10	23	10	20	10	20	10
26	11	26	11	24	11	21	11	21	11
27	12	27	12	25	12	22	12	22	12
28	13	28	13	26	13	23	13	23	13
29	14	29	14	27	14	24	14	24	14
30	15	30	15	28	15	25	15	25	15
1	16	1	16	29	16	26	16	26	16
2	17	2	17	1	17	27	17	27	17
3	18	3	18	2	18	28	18	28	18
4	19	4	19	3	19	29	19	29	19
5	20	5	20	4	20	1	20	30	20
6	21	6	21	5	21	3	21	1	21
7	22	7	22	6	22	4	22	2	22
8	23	8	23	7	23	5	23	3	23
9	24	9	24	8	24	6	24	4	24
10	25	10	25	9	25	7	25	5	25
11	26	11	26	10	26	8	26	6	26
12	27	12	27	11	27	9	27	7	27
13	28	13	28	12	28	10	28	8	28
14	29	14	29	13	29	11	29	9	29
15	30	15	30	14	30	12	30	10	30
16	31	15	31	15	31	13	31	11	31
【節氣】	【節氣】	【節氣】	【節氣】	【節氣】	【節氣】	【節氣】	【節氣】	【節氣】	【節氣】
【陰曆】	【陰曆】	【陰曆】	【陰曆】	【陰曆】	【陰曆】	【陰曆】	【陰曆】	【陰曆】	【陰曆】
【星期】	【星期】	【星期】	【星期】	【星期】	【星期】	【星期】	【星期】	【星期】	【星期】
【癸卯年】	【癸卯年】	【癸卯年】	【癸卯年】	【癸卯年】	【癸卯年】	【癸卯年】	【癸卯年】	【癸卯年】	【癸卯年】
【大寒】	【立冬】	【寒露】	【白露】	【秋分】	【立秋】	【處暑】	【小暑】	【大暑】	【小暑】
【八月八日】	【八月十七日】	【八月二十四日】	【八月二十五日】	【八月廿二日】	【八月十八日】	【八月二十五日】	【八月十四日】	【八月二十三日】	【八月二十一日】
【十一月十五日】	【十一月廿二日】	【十一月廿七日】	【十一月廿九日】	【十二月九日】	【十二月八日】	【十二月十五日】	【十二月十四日】	【十二月十三日】	【十二月二十八日】
【冬至】	【小雪】	【霜降】	【霜降】	【霜降】	【霜降】	【霜降】	【霜降】	【霜降】	【霜降】

民國五十三年陽曆陰曆對照表

月別 日 別 備 考

月一 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 31
 陰 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
 【陰曆】癸卯年十一月十二日
 【節氣】六日小寒二十一日大寒
 【星期】五日十二月十九日二十六日

月二 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17
 陰 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29
 【陰曆】癸卯年十二月甲辰年正月
 【節氣】五日立春十九日雨水
 【星期】二日九日十六日二十三日

月三 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 31
 陰 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
 【陰曆】甲辰年正月二月
 【節氣】一日八日十七日廿二日廿九日
 【星期】一日八日十七日廿二日廿九日

月四 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 30
 陰 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29
 【陰曆】甲辰年二月三月
 【節氣】五日清明二十日穀雨
 【星期】五日十二月十九日二十六日

月五 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 31
 陰 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
 【陰曆】甲辰年三月四月
 【節氣】三日立夏二十一日小滿
 【星期】三日十日十七日廿四卅一日

月六 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 30
 陰 21 22 23 24 25 26 27 28 29
 【陰曆】甲辰年四月五月
 【節氣】六日芒種二十一日夏至
 【星期】七日十四日二十一日二十八日

魏 頌 唐 農 曆

魏頌唐農曆

民國五十三年陽曆陰曆對照表

月別	日	別	備	考
月七	陽 1	陰 22	【陰曆】甲辰年五月六日	
	陽 2	陰 23	【節氣】七日小暑	
	陽 3	陰 24	【節氣】十二日立秋	
	陽 4	陰 25	【節氣】十五日處暑	
	陽 5	陰 26	【節氣】二十日白露	
	陽 6	陰 27	【節氣】廿三日秋分	
	陽 7	陰 28	【節氣】廿六日寒露	
	陽 8	陰 29	【節氣】廿九日霜降	
	陽 9	陰 1	【節氣】十一月一日小雪	
	陽 10	陰 2	【節氣】廿二日大雪	
	陽 11	陰 3	【節氣】廿五日冬至	
	陽 12	陰 4	【節氣】廿七日小寒	
	陽 13	陰 5	【節氣】三十日大寒	
	陽 14	陰 6	【節氣】一月二日立春	
	陽 15	陰 7	【節氣】五日雨水	
	陽 16	陰 8	【節氣】八日驚蟄	
	陽 17	陰 9	【節氣】十一日春分	
	陽 18	陰 10	【節氣】十四日清明	
	陽 19	陰 11	【節氣】十七日穀雨	
	陽 20	陰 12	【節氣】二十日立夏	
	陽 21	陰 13	【節氣】廿三日芒種	
	陽 22	陰 14	【節氣】廿六日夏至	
	陽 23	陰 15	【節氣】廿九日小暑	
	陽 24	陰 16	【節氣】三十一日立秋	
	陽 25	陰 17	【節氣】九月一日處暑	
	陽 26	陰 18	【節氣】四日白露	
	陽 27	陰 19	【節氣】七日秋分	
	陽 28	陰 20	【節氣】十日寒露	
	陽 29	陰 21	【節氣】十三日霜降	
	陽 30	陰 22	【節氣】十六日小雪	
	陽 31	陰 23	【節氣】十九日大雪	
	陽 1	陰 24	【節氣】廿二日冬至	
	陽 2	陰 25	【節氣】廿五日小寒	
	陽 3	陰 26	【節氣】廿八日大寒	
	陽 4	陰 27	【節氣】一月一日立春	
	陽 5	陰 28	【節氣】四日雨水	
	陽 6	陰 29	【節氣】七日驚蟄	
	陽 7	陰 30	【節氣】十日春分	
	陽 8	陰 31	【節氣】十三日清明	
	陽 9	陰 1	【節氣】十六日穀雨	
	陽 10	陰 2	【節氣】十九日立夏	
	陽 11	陰 3	【節氣】廿二日芒種	
	陽 12	陰 4	【節氣】廿五日夏至	
	陽 13	陰 5	【節氣】廿八日小暑	
	陽 14	陰 6	【節氣】三十一日立秋	
	陽 15	陰 7	【節氣】九月一日處暑	
	陽 16	陰 8	【節氣】四日白露	
	陽 17	陰 9	【節氣】七日秋分	
	陽 18	陰 10	【節氣】十日寒露	
	陽 19	陰 11	【節氣】十三日霜降	
	陽 20	陰 12	【節氣】十六日小雪	
	陽 21	陰 13	【節氣】十九日大雪	
	陽 22	陰 14	【節氣】廿二日冬至	
	陽 23	陰 15	【節氣】廿五日小寒	
	陽 24	陰 16	【節氣】廿八日大寒	
	陽 25	陰 17	【節氣】一月一日立春	
	陽 26	陰 18	【節氣】四日雨水	
	陽 27	陰 19	【節氣】七日驚蟄	
	陽 28	陰 20	【節氣】十日春分	
	陽 29	陰 21	【節氣】十三日清明	
	陽 30	陰 22	【節氣】十六日穀雨	
	陽 31	陰 23	【節氣】十九日立夏	

民國五十四年陽曆陰曆對照表

月別	日	別	備
月一	陽 1		【陰曆】甲辰年十一月十二日
	陰 29		【節氣】五日小寒二十日大寒
	30		【星期】三日十日十七日廿四日卅一日
月二	陽 1		【陰曆】甲辰年十二月乙巳年正月
	陰 30		【節氣】四日立春十九日雨水
	1		【星期】七日十四日二十一日二十八日
月三	陽 1		【陰曆】乙巳年正月二月
	陰 28		【節氣】六日驚蟄二十一日春分
	29		【星期】七日十四日二十一日二十八日
月四	陽 1		【陰曆】乙巳年二月三月
	陰 30		【節氣】五日清明二十日穀雨
	1		【星期】四日十一日十八日二十五日
月五	陽 1		【陰曆】乙巳年四月五月
	陰 1		【節氣】六日立夏二十一日小滿
	2		【星期】二日九日十六日廿三日三十日
月六	陽 1		【陰曆】乙巳年五月六月
	陰 2		【節氣】六日芒種二十一日夏至
	3		【星期】六日十三日二十日二十七日

魏頌唐農曆

魏頌唐農曆

民國五十四年陽曆陰曆對照表

月別 日 別 備 考

七月 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 陰 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 【陰曆】乙巳年六月七月
 【節氣】七日小暑二十三日大暑
 【星期】四日十一日十八日二十五日

八月 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 陰 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 【陰曆】乙巳年七月八月
 【節氣】八日立秋二十三日處暑
 【星期】一日八日十五日廿二日廿九日

九月 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
 陰 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
 【陰曆】乙巳年八月九月
 【節氣】八日白露二十三日秋分
 【星期】五日十二日十九日二十六日

十月 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 陰 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 【陰曆】乙巳年九月十月
 【節氣】八日寒露二十四日霜降
 【星期】三日十日十七日廿四日卅一日

十一月 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
 陰 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
 【陰曆】乙巳年十月十一月
 【節氣】八日立冬二十二日小雪
 【星期】七日十四日二十一日二十八日

十二月 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 陰 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 【陰曆】乙巳年十一月十二月
 【節氣】七日大雪二十日冬至
 【星期】五日十二日十九日二十六日

民國五十五年陽曆陰曆對照表

月別	日	別	備	考
月一	陽 1		【陰曆】乙巳年十二月	
	陰 10		【節氣】六日小寒	
	11	2	【節氣】九日大雪	
	12	3	【節氣】十六日冬至	
	13	4	【節氣】廿三日大寒	
	14	5	【節氣】三十日立春	
	15	6	【節氣】初六日雨水	
	16	7	【節氣】十三日驚蟄	
	17	8	【節氣】二十日春分	
	18	9	【節氣】廿七日清明	
	19	10	【節氣】四月立夏	
	20	11	【節氣】十一日芒種	
	21	12	【節氣】十八日夏至	
	22	13	【節氣】廿五日小暑	
	23	14	【節氣】廿二日立秋	
	24	15	【節氣】廿九日處暑	
	25	16	【節氣】廿六日白露	
	26	17	【節氣】廿三日秋分	
	27	18	【節氣】二十日寒露	
	28	19	【節氣】廿七日霜降	
	29	20	【節氣】廿四日小雪	
	30	21	【節氣】廿一日大雪	
	1	22	【節氣】廿八日冬至	
	2	23	【節氣】廿五日小寒	
	3	24	【節氣】廿二日大寒	
	4	25	【節氣】廿九日立春	
	5	26	【節氣】廿六日雨水	
	6	27	【節氣】廿三日驚蟄	
	7	28	【節氣】二十日春分	
	8	29	【節氣】廿七日清明	
	9	30	【節氣】四月立夏	
	10	31	【節氣】十一日芒種	
月二	陽 1		【陰曆】丙午年正月	
	陰 12		【節氣】四日立春	
	13	2	【節氣】十一日雨水	
	14	3	【節氣】十八日驚蟄	
	15	4	【節氣】廿五日春分	
	16	5	【節氣】廿二日清明	
	17	6	【節氣】廿九日立夏	
	18	7	【節氣】廿六日芒種	
	19	8	【節氣】廿三日夏至	
	20	9	【節氣】三十日小暑	
	21	10	【節氣】廿七日立秋	
	22	11	【節氣】廿四日處暑	
	23	12	【節氣】廿一日白露	
	24	13	【節氣】十八日秋分	
	25	14	【節氣】廿五日寒露	
	26	15	【節氣】廿二日霜降	
	27	16	【節氣】廿九日小雪	
	28	17	【節氣】廿六日大雪	
	29	18	【節氣】廿三日冬至	
	30	19	【節氣】三十日小寒	
	1	20	【節氣】廿七日大寒	
	2	21	【節氣】廿四日立春	
	3	22	【節氣】廿一日雨水	
	4	23	【節氣】十八日驚蟄	
	5	24	【節氣】廿五日春分	
	6	25	【節氣】廿二日清明	
	7	26	【節氣】廿九日立夏	
	8	27	【節氣】廿六日芒種	
	9	28	【節氣】廿三日夏至	
	10	29	【節氣】三十日小暑	
	11	30	【節氣】廿七日立秋	
	12	31	【節氣】廿四日處暑	
月三	陽 1		【陰曆】丙午年二月	
	陰 10		【節氣】六日立春	
	11	2	【節氣】十三日雨水	
	12	3	【節氣】二十日驚蟄	
	13	4	【節氣】廿七日春分	
	14	5	【節氣】廿四日清明	
	15	6	【節氣】廿一日立夏	
	16	7	【節氣】十八日芒種	
	17	8	【節氣】十五日夏至	
	18	9	【節氣】廿二日小暑	
	19	10	【節氣】十九日立秋	
	20	11	【節氣】十六日處暑	
	21	12	【節氣】廿三日白露	
	22	13	【節氣】廿日秋分	
	23	14	【節氣】廿七日寒露	
	24	15	【節氣】廿四日霜降	
	25	16	【節氣】廿一日小雪	
	26	17	【節氣】十八日大雪	
	27	18	【節氣】十五日冬至	
	28	19	【節氣】廿二日小寒	
	29	20	【節氣】十九日大寒	
	30	21	【節氣】十六日立春	
	1	22	【節氣】廿三日雨水	
	2	23	【節氣】廿日驚蟄	
	3	24	【節氣】廿七日春分	
	4	25	【節氣】廿四日清明	
	5	26	【節氣】廿一日立夏	
	6	27	【節氣】十八日芒種	
	7	28	【節氣】十五日夏至	
	8	29	【節氣】廿二日小暑	
	9	30	【節氣】十九日立秋	
	10	31	【節氣】十六日處暑	
月四	陽 1		【陰曆】丙午年三月	
	陰 11		【節氣】六日立春	
	12	2	【節氣】十三日雨水	
	13	3	【節氣】二十日驚蟄	
	14	4	【節氣】廿七日春分	
	15	5	【節氣】廿四日清明	
	16	6	【節氣】廿一日立夏	
	17	7	【節氣】十八日芒種	
	18	8	【節氣】十五日夏至	
	19	9	【節氣】廿二日小暑	
	20	10	【節氣】十九日立秋	
	21	11	【節氣】十六日處暑	
	22	12	【節氣】廿三日白露	
	23	13	【節氣】廿日秋分	
	24	14	【節氣】廿七日寒露	
	25	15	【節氣】廿四日霜降	
	26	16	【節氣】廿一日小雪	
	27	17	【節氣】十八日大雪	
	28	18	【節氣】十五日冬至	
	29	19	【節氣】廿二日小寒	
	30	20	【節氣】十九日大寒	
	1	21	【節氣】十六日立春	
	2	22	【節氣】廿三日雨水	
	3	23	【節氣】廿日驚蟄	
	4	24	【節氣】廿七日春分	
	5	25	【節氣】廿四日清明	
	6	26	【節氣】廿一日立夏	
	7	27	【節氣】十八日芒種	
	8	28	【節氣】十五日夏至	
	9	29	【節氣】廿二日小暑	
	10	30	【節氣】十九日立秋	
	11	31	【節氣】十六日處暑	
月五	陽 1		【陰曆】丙午年四月	
	陰 11		【節氣】六日立春	
	12	2	【節氣】十三日雨水	
	13	3	【節氣】二十日驚蟄	
	14	4	【節氣】廿七日春分	
	15	5	【節氣】廿四日清明	
	16	6	【節氣】廿一日立夏	
	17	7	【節氣】十八日芒種	
	18	8	【節氣】十五日夏至	
	19	9	【節氣】廿二日小暑	
	20	10	【節氣】十九日立秋	
	21	11	【節氣】十六日處暑	
	22	12	【節氣】廿三日白露	
	23	13	【節氣】廿日秋分	
	24	14	【節氣】廿七日寒露	
	25	15	【節氣】廿四日霜降	
	26	16	【節氣】廿一日小雪	
	27	17	【節氣】十八日大雪	
	28	18	【節氣】十五日冬至	
	29	19	【節氣】廿二日小寒	
	30	20	【節氣】十九日大寒	
	1	21	【節氣】十六日立春	
	2	22	【節氣】廿三日雨水	
	3	23	【節氣】廿日驚蟄	
	4	24	【節氣】廿七日春分	
	5	25	【節氣】廿四日清明	
	6	26	【節氣】廿一日立夏	
	7	27	【節氣】十八日芒種	
	8	28	【節氣】十五日夏至	
	9	29	【節氣】廿二日小暑	
	10	30	【節氣】十九日立秋	
	11	31	【節氣】十六日處暑	
月六	陽 1		【陰曆】丙午年五月	
	陰 13		【節氣】六日立春	
	14	2	【節氣】十三日雨水	
	15	3	【節氣】二十日驚蟄	
	16	4	【節氣】廿七日春分	
	17	5	【節氣】廿四日清明	
	18	6	【節氣】廿一日立夏	
	19	7	【節氣】十八日芒種	
	20	8	【節氣】十五日夏至	
	21	9	【節氣】廿二日小暑	
	22	10	【節氣】十九日立秋	
	23	11	【節氣】十六日處暑	
	24	12	【節氣】廿三日白露	
	25	13	【節氣】廿日秋分	
	26	14	【節氣】廿七日寒露	
	27	15	【節氣】廿四日霜降	
	28	16	【節氣】廿一日小雪	
	29	17	【節氣】十八日大雪	
	30	18	【節氣】十五日冬至	
	1	19	【節氣】廿二日小寒	
	2	20	【節氣】十九日大寒	
	3	21	【節氣】十六日立春	
	4	22	【節氣】廿三日雨水	
	5	23	【節氣】廿日驚蟄	
	6	24	【節氣】廿七日春分	
	7	25	【節氣】廿四日清明	
	8	26	【節氣】廿一日立夏	
	9	27	【節氣】十八日芒種	
	10	28	【節氣】十五日夏至	
	11	29	【節氣】廿二日小暑	
	12	30	【節氣】十九日立秋	
	1	31	【節氣】十六日處暑	

魏頌唐農曆

魏頌唐農曆

民國五十五年陽曆陰曆對照表

月別	日	別	備	考
月七	陽 1	陰 13	【星期】	【陰曆】
	2	14	【節氣】	【丙午年五月六月】
	3	15	【節氣】	【丙午年五月六月】
	4	16	【節氣】	【丙午年五月六月】
	5	17	【節氣】	【丙午年五月六月】
	6	18	【節氣】	【丙午年五月六月】
	7	19	【節氣】	【丙午年五月六月】
	8	20	【節氣】	【丙午年五月六月】
	9	21	【節氣】	【丙午年五月六月】
	10	22	【節氣】	【丙午年五月六月】
	11	23	【節氣】	【丙午年五月六月】
	12	24	【節氣】	【丙午年五月六月】
	13	25	【節氣】	【丙午年五月六月】
	14	26	【節氣】	【丙午年五月六月】
	15	27	【節氣】	【丙午年五月六月】
	16	28	【節氣】	【丙午年五月六月】
	17	29	【節氣】	【丙午年五月六月】
	18	30	【節氣】	【丙午年五月六月】
	19	31	【節氣】	【丙午年五月六月】
月八	陽 1	陰 15	【星期】	【陰曆】
	2	16	【節氣】	【丙午年六月七月】
	3	17	【節氣】	【丙午年六月七月】
	4	18	【節氣】	【丙午年六月七月】
	5	19	【節氣】	【丙午年六月七月】
	6	20	【節氣】	【丙午年六月七月】
	7	21	【節氣】	【丙午年六月七月】
	8	22	【節氣】	【丙午年六月七月】
	9	23	【節氣】	【丙午年六月七月】
	10	24	【節氣】	【丙午年六月七月】
	11	25	【節氣】	【丙午年六月七月】
	12	26	【節氣】	【丙午年六月七月】
	13	27	【節氣】	【丙午年六月七月】
	14	28	【節氣】	【丙午年六月七月】
	15	29	【節氣】	【丙午年六月七月】
	16	30	【節氣】	【丙午年六月七月】
	17	31	【節氣】	【丙午年六月七月】
月九	陽 1	陰 17	【星期】	【陰曆】
	2	18	【節氣】	【丙午年七月八月】
	3	19	【節氣】	【丙午年七月八月】
	4	20	【節氣】	【丙午年七月八月】
	5	21	【節氣】	【丙午年七月八月】
	6	22	【節氣】	【丙午年七月八月】
	7	23	【節氣】	【丙午年七月八月】
	8	24	【節氣】	【丙午年七月八月】
	9	25	【節氣】	【丙午年七月八月】
	10	26	【節氣】	【丙午年七月八月】
	11	27	【節氣】	【丙午年七月八月】
	12	28	【節氣】	【丙午年七月八月】
	13	29	【節氣】	【丙午年七月八月】
	14	30	【節氣】	【丙午年七月八月】
	15	31	【節氣】	【丙午年七月八月】
月十	陽 1	陰 17	【星期】	【陰曆】
	2	18	【節氣】	【丙午年八月九月】
	3	19	【節氣】	【丙午年八月九月】
	4	20	【節氣】	【丙午年八月九月】
	5	21	【節氣】	【丙午年八月九月】
	6	22	【節氣】	【丙午年八月九月】
	7	23	【節氣】	【丙午年八月九月】
	8	24	【節氣】	【丙午年八月九月】
	9	25	【節氣】	【丙午年八月九月】
	10	26	【節氣】	【丙午年八月九月】
	11	27	【節氣】	【丙午年八月九月】
	12	28	【節氣】	【丙午年八月九月】
	13	29	【節氣】	【丙午年八月九月】
	14	30	【節氣】	【丙午年八月九月】
	15	31	【節氣】	【丙午年八月九月】
月十一	陽 1	陰 19	【星期】	【陰曆】
	2	20	【節氣】	【丙午年九月十月】
	3	21	【節氣】	【丙午年九月十月】
	4	22	【節氣】	【丙午年九月十月】
	5	23	【節氣】	【丙午年九月十月】
	6	24	【節氣】	【丙午年九月十月】
	7	25	【節氣】	【丙午年九月十月】
	8	26	【節氣】	【丙午年九月十月】
	9	27	【節氣】	【丙午年九月十月】
	10	28	【節氣】	【丙午年九月十月】
	11	29	【節氣】	【丙午年九月十月】
	12	30	【節氣】	【丙午年九月十月】
	13	31	【節氣】	【丙午年九月十月】
月十二	陽 1	陰 21	【星期】	【陰曆】
	2	22	【節氣】	【丙午年十月十一月】
	3	23	【節氣】	【丙午年十月十一月】
	4	24	【節氣】	【丙午年十月十一月】
	5	25	【節氣】	【丙午年十月十一月】
	6	26	【節氣】	【丙午年十月十一月】
	7	27	【節氣】	【丙午年十月十一月】
	8	28	【節氣】	【丙午年十月十一月】
	9	29	【節氣】	【丙午年十月十一月】
	10	30	【節氣】	【丙午年十月十一月】
	11	31	【節氣】	【丙午年十月十一月】
	12	32	【節氣】	【丙午年十月十一月】

民國五十六年陽曆陰曆對照表

月六		月五		月四		月三		月二		月一		月別	日	別	備	考	
陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽				
24	1	22	1	22	1	21	1	22	1	21	1	21	1				
25	2	23	2	23	2	22	2	23	2	22	2	22	2				
26	3	24	3	24	3	23	3	24	3	23	3	23	3				
27	4	25	4	25	4	24	4	25	4	24	4	24	4				
28	5	26	5	26	5	25	5	26	5	25	5	25	5				
29	6	27	6	27	6	26	6	27	6	26	6	26	6				
30	7	28	7	28	7	27	7	28	7	27	7	27	7				
1	8	29	8	29	8	28	8	29	8	28	8	28	8				
2	9	1	9	30	9	29	9	1	9	29	9	29	9				
3	10	2	10	1	10	30	10	2	10	30	10	30	10				
4	11	3	11	2	11	1	11	3	11	2	11	31	11				
5	12	4	12	3	12	2	12	4	12	3	12	2	12				
6	13	5	13	4	13	3	13	5	13	4	13	3	13				
7	14	6	14	5	14	4	14	6	14	5	14	4	14				
8	15	7	15	6	15	5	15	7	15	6	15	5	15				
9	16	8	16	7	16	6	16	8	16	7	16	6	16				
10	17	9	17	8	17	7	17	9	17	8	17	7	17				
11	18	10	18	9	18	8	18	10	18	9	18	8	18				
12	19	11	19	10	19	9	19	11	19	10	19	9	19				
13	20	12	20	11	20	10	20	12	20	11	20	10	20				
14	21	13	21	12	21	11	21	13	21	12	21	11	21				
15	22	14	22	13	22	12	22	14	22	13	22	12	22				
16	23	15	23	14	23	13	23	15	23	14	23	13	23				
17	24	16	24	15	24	14	24	16	24	15	24	14	24				
18	25	17	25	16	25	15	25	17	25	16	25	15	25				
19	26	18	26	17	26	16	26	18	26	17	26	16	26				
20	27	19	27	18	27	17	27	19	27	18	27	17	27				
21	28	20	28	19	28	18	28	20	28	19	28	18	28				
22	29	21	29	20	29	19	29	21	29	20	29	19	29				
23	30	22	30	21	30	20	30	22	30	21	30	20	30				
		23	31			21	31					21	31				
【節氣】	【陰曆】	【節氣】	【陰曆】	【節氣】	【陰曆】	【節氣】	【陰曆】	【節氣】	【陰曆】	【節氣】	【陰曆】	【節氣】	【陰曆】				
【四日】	【未年】	【七日】	【未年】	【九日】	【未年】	【五日】	【未年】	【五日】	【未年】	【五日】	【未年】	【八日】	【未年】				
【十一日】	【芒種】	【十四日】	【立夏】	【十六日】	【清明】	【十二日】	【驚蟄】	【十二日】	【春分】	【十九日】	【雨水】	【十五日】	【小寒】				
【十八日】	【夏至】	【二十一日】	【小滿】	【廿三日】	【穀雨】	【十九日】	【春分】	【十九日】	【春分】	【十九日】	【雨水】	【廿一日】	【大寒】				
【二十五日】		【二十八日】		【三十日】		【二十六日】		【二十六日】		【二十六日】		【廿九日】					

魏頌唐農曆

魏頌唐農曆

民國五十六年陽曆陰曆對照表

月別 日 別 備 考

月	日	別	備	考																													
七月	陽 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	【陰曆】 【節氣】 【星期】	丁未年五月六月 八日小暑二十三日大暑 二日九日十六日廿三日三十日
八月	陽 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	【陰曆】 【節氣】 【星期】	丁未年六月七月 八日立秋二十四日處暑 六日十三日二十日二十七日
九月	陽 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	【陰曆】 【節氣】 【星期】	丁未年七月八月 八日白露十七日秋分 三日十日十七日二十四日	
十月	陽 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	【陰曆】 【節氣】 【星期】	丁未年八月九月 九日寒露二十四日霜降 一日八日十五日廿二日廿九日
十一月	陽 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	【陰曆】 【節氣】 【星期】	丁未年九月十月 八日立冬二十三日小雪 五日十二日十九日二十六日	
十二月	陽 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	【陰曆】 【節氣】 【星期】	丁未年十月十一月 八日大雪二十二日冬至 三日十日十七日廿四日卅一日

民國五十八年陽曆陰曆對照表

月六		月五		月四		月三		月二		月一		別	日	別	備
陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽				
17	1	15	1	15	1	13	1	15	1	13	1				
18	2	16	2	16	2	14	2	16	2	14	2				
19	3	17	3	17	3	15	3	17	3	15	3				
20	4	18	4	18	4	16	4	18	4	16	4				
21	5	19	5	19	5	17	5	19	5	17	5				
22	6	20	6	20	6	18	6	20	6	18	6				
23	7	21	7	21	7	19	7	21	7	19	7				
24	8	22	8	22	8	20	8	22	8	20	8				
25	9	23	9	23	9	21	9	23	9	21	9				
26	10	24	10	24	10	22	10	24	10	22	10				
27	11	25	11	25	11	23	11	25	11	23	11				
28	12	26	12	26	12	24	12	26	12	24	12				
29	13	27	13	27	13	25	13	27	13	25	13				
30	14	28	14	28	14	26	14	28	14	26	14				
1	15	29	15	29	15	27	15	29	15	27	15				
2	16	1	16	30	16	28	16	30	16	28	16				
3	17	2	17	1	17	29	17	1	17	29	17				
4	18	3	18	2	18	1	18	2	18	1	18				
5	19	4	19	3	19	2	19	3	19	2	19				
6	20	5	20	4	20	3	20	4	20	3	20				
7	21	6	21	5	21	4	21	5	21	4	21				
8	22	7	22	6	22	5	22	6	22	5	22				
9	23	8	23	7	23	6	23	7	23	6	23				
10	24	9	24	8	24	7	24	8	24	7	24				
11	25	10	25	9	25	8	25	9	25	8	25				
12	26	11	26	10	26	9	26	10	26	9	26				
13	27	12	27	11	27	10	27	11	27	10	27				
14	28	13	28	12	28	11	28	12	28	11	28				
15	29	14	29	13	29	12	29	13	29	12	29				
16	30	15	30	14	30	13	30	14	30	13	30				
		16	31			14	31			14	31				
【節氣】	【陰曆】														
【星期】	【日芒種】	【星期】	【日立夏】	【星期】	【日清明】	【星期】	【日驚蟄】	【星期】	【日立春】	【星期】	【日雨水】	【星期】	【日小寒】	【星期】	【日大寒】
【一】	【六】	【一】	【四】	【六】	【九】	【二】	【五】	【四】	【九】	【二】	【六】	【五】	【十二】	【五】	【十二】
【八】	【一】	【八】	【十一】	【十三】	【二十】	【九】	【十六】	【四】	【十一】	【九】	【十六】	【十二】	【十九】	【十二】	【十九】
【五】	【二】	【五】	【十八】	【二十】	【廿七】	【十六】	【廿三】	【六】	【十三】	【十】	【十七】	【十四】	【廿一】	【十八】	【廿五】
【日】	【廿九】	【日】	【廿五】	【日】	【廿七】	【日】	【三十】	【日】	【廿六】	【日】	【廿三】	【日】	【廿九】	【日】	【廿六】

魏 頌 唐 農 曆

魏頌唐農曆

民國五十八年陽曆陰曆對照表

月別		日		別		節氣		考	
月	日	月	日	月	日	月	日	月	日
陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽	陰	陽
22	1	22	1	20	1	20	1	19	1
23	2	23	2	21	2	21	2	18	2
24	3	24	3	22	3	22	3	19	3
25	4	25	4	23	4	23	4	20	4
26	5	26	5	24	5	24	5	21	5
27	6	27	6	25	6	25	6	22	6
28	7	28	7	26	7	26	7	23	7
29	8	29	8	27	8	27	8	24	8
1	9	30	9	28	9	28	9	25	9
2	10	1	10	29	10	29	10	26	10
3	11	2	11	1	11	30	11	27	11
4	12	3	12	2	12	1	12	28	12
5	13	4	13	3	13	2	13	29	13
6	14	5	14	4	14	3	14	1	14
7	15	6	15	5	15	4	15	2	15
8	16	7	16	6	16	5	16	3	16
9	17	8	17	7	17	6	17	4	17
10	18	9	18	8	18	7	18	5	18
11	19	10	19	9	19	8	19	6	19
12	20	11	20	10	20	9	20	7	20
13	21	12	21	11	21	10	21	8	21
14	22	13	22	12	22	11	22	9	22
15	23	14	23	13	23	12	23	10	23
16	24	15	24	14	24	13	24	11	24
17	25	16	25	15	25	14	25	12	25
18	26	17	26	16	26	15	26	13	26
19	27	18	27	17	27	16	27	14	27
20	28	19	28	18	28	17	28	15	28
21	29	20	29	19	29	18	29	16	29
22	30	21	30	20	30	19	30	17	30
23	31			21	31	19	31	18	31
【陰曆】	【節氣】	【陰曆】	【節氣】	【陰曆】	【節氣】	【陰曆】	【節氣】	【陰曆】	【節氣】
【己酉年十月十四日大雪二十一日冬至二十八日	【己酉年九月十日小雪二十三日	【己酉年九月十日小雪二十三日	【己酉年八月九日霜降	【己酉年七月八日白露二十四日秋分二十八日	【己酉年六月六日小暑二十三日大暑	【己酉年六月六日小暑二十三日大暑	【己酉年五月六月	【己酉年五月六月	【己酉年五月六月

民國五十九年陽曆陰曆對照表

月別 日 別 備 考

月一 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 陰 24 25 26 27 28 29 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

月二 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 陰 25 26 27 28 29 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

月三 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 陰 24 25 26 27 28 29 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

月四 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 陰 25 26 27 28 29 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

月五 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 陰 26 27 28 29 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

月六 陽 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
 陰 28 29 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

【陰曆】庚戌年四月五日夏至
 【節氣】六日芒種二十日夏至二十八日

魏 頌 唐 農 曆

七五

民國六十年陽曆陰曆對照表

月別	日	陰	陽	月一	月二	月三	月四	月五	月六
		5	1	5	6	5	6	7	9
		6	2	6	7	6	7	8	10
		7	3	7	8	7	8	9	11
		8	4	8	9	8	9	10	12
		9	5	9	10	9	10	11	13
		10	6	10	11	10	11	12	14
		11	7	11	12	11	12	13	15
		12	8	12	13	12	13	14	16
		13	9	13	14	13	14	15	17
		14	10	14	15	14	15	16	18
		15	11	15	16	15	16	17	19
		16	12	16	17	16	17	18	20
		17	13	17	18	17	18	19	21
		18	14	18	19	18	19	20	22
		19	15	19	20	19	20	21	23
		20	16	20	21	20	21	22	24
		21	17	21	22	21	22	23	25
		22	18	22	23	22	23	24	26
		23	19	23	24	23	24	25	27
		24	20	24	25	24	25	26	28
		25	21	25	26	25	26	27	29
		26	22	26	27	26	27	28	30
		27	23	27	28	27	28	29	1
		28	24	28	29	28	29	30	2
		29	25	29	30	29	30	1	3
		30	26	30	1	30	1	2	4
		1	27	1	2	31	2	3	5
		2	28	2	3	1	3	4	6
		3	29	3	4	2	4	5	7
		4	30	4	5	3	5	6	8
		5	31	5	6	4	6	7	9
		6	1	6	7	5	7	8	10
		7	2	7	8	6	8	9	11
		8	3	8	9	7	9	10	12
		9	4	9	10	8	10	11	13
		10	5	10	11	9	11	12	14
		11	6	11	12	10	12	1	15
		12	7	12	1	11	1	2	16
		1	8	1	2	12	2	3	17
		2	9	2	3	1	3	4	18
		3	10	3	4	2	4	5	19
		4	11	4	5	3	5	6	20
		5	12	5	6	4	6	7	21
		6	1	6	7	5	7	8	22
		7	2	7	8	6	8	9	23
		8	3	8	9	7	9	10	24
		9	4	9	10	8	10	11	25
		10	5	10	11	9	11	12	26
		11	6	11	12	10	12	1	27
		12	7	12	1	11	1	2	28
		1	8	1	2	12	2	3	29
		2	9	2	3	1	3	4	30
		3	10	3	4	2	4	5	1
		4	11	4	5	3	5	6	2
		5	12	5	6	4	6	7	3
		6	1	6	7	5	7	8	4
		7	2	7	8	6	8	9	5
		8	3	8	9	7	9	10	6
		9	4	9	10	8	10	11	7
		10	5	10	11	9	11	12	8
		11	6	11	12	10	12	1	9
		12	7	12	1	11	1	2	10
		1	8	1	2	12	2	3	11
		2	9	2	3	1	3	4	12
		3	10	3	4	2	4	5	1
		4	11	4	5	3	5	6	2
		5	12	5	6	4	6	7	3
		6	1	6	7	5	7	8	4
		7	2	7	8	6	8	9	5
		8	3	8	9	7	9	10	6
		9	4	9	10	8	10	11	7
		10	5	10	11	9	11	12	8
		11	6	11	12	10	12	1	9
		12	7	12	1	11	1	2	10
		1	8	1	2	12	2	3	11
		2	9	2	3	1	3	4	12
		3	10	3	4	2	4	5	1
		4	11	4	5	3	5	6	2
		5	12	5	6	4	6	7	3
		6	1	6	7	5	7	8	4
		7	2	7	8	6	8	9	5
		8	3	8	9	7	9	10	6
		9	4	9	10	8	10	11	7
		10	5	10	11	9	11	12	8
		11	6	11	12	10	12	1	9
		12	7	12	1	11	1	2	10
		1	8	1	2	12	2	3	11
		2	9	2	3	1	3	4	12
		3	10	3	4	2	4	5	1
		4	11	4	5	3	5	6	2
		5	12	5	6	4	6	7	3
		6	1	6	7	5	7	8	4
		7	2	7	8	6	8	9	5
		8	3	8	9	7	9	10	6
		9	4	9	10	8	10	11	7
		10	5	10	11	9	11	12	8
		11	6	11	12	10	12	1	9
		12	7	12	1	11	1	2	10
		1	8	1	2	12	2	3	11
		2	9	2	3	1	3	4	12
		3	10	3	4	2	4	5	1
		4	11	4	5	3	5	6	2
		5	12	5	6	4	6	7	3
		6	1	6	7	5	7	8	4
		7	2	7	8	6	8	9	5
		8	3	8	9	7	9	10	6
		9	4	9	10	8	10	11	7
		10	5	10	11	9	11	12	8
		11	6	11	12	10	12	1	9
		12	7	12	1	11	1	2	10
		1	8	1	2	12	2	3	11
		2	9	2	3	1	3	4	12
		3	10	3	4	2	4	5	1
		4	11	4	5	3	5	6	2
		5	12	5	6	4	6	7	3
		6	1	6	7	5	7	8	4
		7	2	7	8	6	8	9	5
		8	3	8	9	7	9	10	6
		9	4	9	10	8	10	11	7
		10	5	10	11	9	11	12	8
		11	6	11	12	10	12	1	9
		12	7	12	1	11	1	2	10
		1	8	1	2	12	2	3	11
		2	9	2	3	1	3	4	12
		3	10	3	4	2	4	5	1
		4	11	4	5	3	5	6	2
		5	12	5	6	4	6	7	3
		6	1	6	7	5	7	8	4
		7	2	7	8	6	8	9	5
		8	3	8	9	7	9	10	6
		9	4	9	10	8	10	11	7
		10	5	10	11	9	11	12	8
		11	6	11	12	10	12	1	9
		12	7	12	1	11	1	2	10
		1	8	1	2	12	2	3	11
		2	9	2	3	1	3	4	12
		3	10	3	4	2	4	5	1
		4	11	4	5	3	5	6	2
		5	12	5	6	4	6	7	3
		6	1	6	7	5	7	8	4
		7	2	7	8	6	8	9	5
		8	3	8	9	7	9	10	6
		9	4	9	10	8	10	11	7
		10	5	10	11	9	11	12	8
		11	6	11	12	10	12	1	9
		12	7	12	1	11	1	2	10
		1	8	1	2	12	2	3	11
		2	9	2	3	1	3	4	12
		3	10	3	4	2	4	5	1
		4	11	4	5	3	5	6	2
		5	12	5	6	4	6	7	3
		6	1	6	7	5	7	8	4
		7	2	7	8	6	8	9	5
		8	3	8	9	7	9	10	6
		9	4	9	10	8	10	11	7
		10	5	10	11	9	11	12	8
		11	6	11	12	10	12	1	9
		12	7	12	1	11	1	2	10
		1	8	1	2	12	2	3	11
		2	9	2	3	1	3	4	12
		3	10	3	4	2	4	5	1

二十四氣七十二候 釋義

農業問題。天工人事各居其半。所謂天工者。春生夏長秋收冬藏是也。諺云。人事補天工。故四時氣候之推移。與農業生產之關係至爲重要。中國以農立國。當茲復興農村之際。凡吾農民應如何致力生產。不違農時。則二十四氣七十二候之意義。不可不使之家喻戶曉。蓋氣候乃由地球繞日運行而來。周天共分三百六十度。每進十五度爲一氣。一年卽爲二十四氣。每一氣節更三分之一。各予以名稱。是爲一候。合之卽爲七十二候。今一加以詮釋如左：

甲、二十四氣

(一) 立春：春爲四時之首。春風和煦。萬物有欣欣向榮之象。立春爲二月三日或五日。斯時日行三一五度。春氣始至。卽爲春季所自始。書傳。冬寒無事。並入室處。春事既起。丁壯就功。管子。地氣發。戒春事。黃庭堅詩。田園恰恰值春忙。謂方春農耕時也。一年之計在於春。故立春爲農事上最重要之時節。立春節起及雨水節二氣。稱曰孟春之月。

(二) 雨水：雨水爲二月十八日或二十日。斯時

日行三三〇度。水爲氫氧化合物之一種。又在常溫中能徐徐蒸發。故空氣中恆含有蒸氣。此空氣中之水蒸氣。若遇冷而凝爲細點。益積益重。則下降於地面爲雨。自東風解凍。冰雪皆散而爲水。化而成雨。故名。春雨連綿。將從此開始。雨水爲孟春之月中。天一生水。春始屬木。然生木者水也。

(三) 驚蟄：驚蟄爲三月五日或六日。斯時日行三四五度。驚。震動也。蟄。蟲類伏藏也。驚蟄者。謂伏藏之蟄類震動也。驚蟄節起及春分節二氣。稱曰仲春之月。

(四) 春分：春分爲三月二十日或前一日或後一日。日行周天至是恰滿三百六十度。太陽自南向北正射赤道。南北兩半球晝夜平分。分。半也。春分謂春季之半也。爲仲春之月中。太陽循黃道由南而北時。經過黃赤道之交點。曰春分點。

(五) 清明：清明爲四月五日或六日。斯時日行方十五度。清。澄也。潔也。明。光明也。清明者。謂天氣以此時最爲澄潔光明也。清明節起及穀雨節二氣。稱曰季春之月。

(六) 穀雨：穀雨爲四月二十日或二十一日。斯時日行三〇度。穀。植物之可供民食者。書。百穀用成。今俗以稻。黍。稷。麥。粟爲五穀。春忙需雨甚切。此時之雨。曰穀雨。言雨生百穀也。爲季春之月中。

(七) 立夏：立夏爲五月五日或六日。

斯時日行四五度。凡物之滋長壯大者。謂之夏。立夏爲夏季所自始。立夏節起及小滿節二氣。稱曰孟夏之月。
(八)小滿：小滿爲五月二十一日或二十二日。斯時日行六〇度。滿。盈溢也。小。少也。小滿者謂滿池塘有少量之盈溢也。又一說小滿者言物於此小得滿盈也。更有謂琴之氣至此方小滿而未熟也。小滿爲孟夏之月中。

(九)芒種：芒種爲六月五日或六日。斯時日行七五度。種。藝植也。布也。芒。草端也。芒種者。謂藝植禾苗也。又一說指稻麥也。謂麥至是而始可收。稻過是而不可種也。芒種節起及夏至節二氣。稱曰仲夏之月。
(十)夏至：夏至爲六月二十一日或後一二日。斯時日行九十度。至。達也。夏至。謂日躔達於極北處也。即太陽經過夏至點之日。陽極之至陰氣始生。是日北半球晝最長。夜最短。南半球則反是。夏至爲仲夏之月中。

(十一)小暑：小暑爲七月六日或八日。斯時日行一〇五度。暑。熱也。盛夏曰暑。小。輕也。微也。時雖盛暑。炎熱尙未達於極度。小暑節起及大暑節二氣。稱曰季夏之月。
(十二)大暑：大暑爲七月二十二日或二十三日。斯時日行一二〇度。大。小之對。盛作之意。大暑謂溽暑達於極盛時期也。爲季夏之月中。

(十三)立秋：秋爲四時之一。立秋爲八月七日或八日。

斯時日行一三五度。秋氣嚴肅。至秋則萬物凋零。而有收斂之象。穀熟曰秋。禮麥秋至。書乃亦有秋。立秋爲秋季所自始。立秋節起及處暑節二氣。稱曰孟秋之月。
(十四)處暑：處暑爲八月二十二日或二十三日或二十四日。斯時日行一五〇度。處。居也。止於其所也。處暑者。謂暑氣仍循舊燠。酷熱未退也。處暑爲孟秋之月中。

(十五)白露：白露爲九月七日或八日。斯時日行一六〇度。秋屬金。金色白。陰氣漸重。露凝而白也。白露節起及秋分節二氣。稱曰仲秋之月。
(十六)秋分：秋分爲九月二十二日或二十四日。斯時日行一八〇度。秋分者秋季之半。爲仲秋之月中。太陽循黃道由北而南時。經過黃赤道之交點。曰秋分點。南北兩半球晝夜均分。

(十七)寒露：寒露爲十月七日或八日或九日。斯時日行一九五度。寒。冷也。暑之對。寒露者。謂露之凝結。乃係因寒而促成也。寒露節起及霜降節二氣。稱曰季秋之月。
(十八)霜降：霜降爲十月二十三日或二十四日。斯時日行二一〇度。水氣凝結。其地之溫度在冰度下。則結成微細顆粒而爲霜。詩白露爲霜。霜降者。即降霜也。霜降爲季秋之月中。

(十九)立冬：冬爲四時之一。立冬爲十一月七日或八日。

日。斯時日行二二五度。冬者終也。立冬之時萬物終成。立冬爲冬季所自始。立冬節起及小雪節二氣。稱曰孟冬之月。

(二十) 小雪：小雪爲十一月二十二日或二十三日。斯時日行二四〇度。空中水氣受強寒結成六角晶體而下墮則爲雪。小者。細也。小雪者。雪之細者也。天地積陰。寒未深而雪未大。雪。花也。凡草木花多五出。雪花獨六出。小雪爲孟冬之月中。

(二十一) 大雪：大雪爲十二月六日或八日。斯時日行二五五度。大者。小之對。大雪者。雪之大者也。積陰爲雪。至此凜冽而大。大雪節起及冬至節二氣。稱曰仲冬之月。

(二十二) 冬至：冬至爲十二月二十一日或後一二日。斯時日行二七〇度。陰極之至。陽氣始生。冬至爲日躔達於極南處也。即太陽經過冬至點之日。是日南半球晝最長。夜最短。北半球則反是。冬至爲仲冬之月中。

(二十三) 小寒：小寒爲一月五日六日或七日。斯時日行二八五度。冷之甚者曰寒。小。輕也。小寒者。寒之尙未達於極度也。小寒節起及大寒節二氣。稱曰季冬之月。

(二十四) 大寒：大寒爲一月二十日或二十一日。斯時日行三〇〇度。天氣凜冽已極。甚冬那寒。大寒者。即那寒之謂也。爲季冬之月中。

乙、七十二候

(一) 東風解凍：凍。冰也。謂水因冷凝結也。東風即條風也。淮南子。距冬至四十五日。條風至。時屆立春。陽氣既轉。液體因冷凝結者。可漸次融解矣。

(二) 蟄蟲始振：蟲。昆蟲也。蟲之伏藏於土中者。謂之蟄蟲。振。動也。蟄蟲始振者。蟄蟲得陽氣開始振動。至季春乃大驚而出。故云始動。

(三) 魚上冰：魚。水族之屬。脊椎動物中種類最繁者。魚當盛寒之時。伏於水下以逐溫暖。立春後陽氣既上。魚游於水上。近於冰。故曰魚上冰也。

(四) 獺祭魚：獺。獸名。有水獺。海獺。旱獺三種。水獺伏居河岸池沼之旁。夜出食魚。獺祭魚。謂獺將食魚捕而陳之。如陳物而祭也。

(五) 雁候北：雁水鳥名。狀似鷺。鳴聲嘹亮。飛時自成行列。秋來春去。故謂之候鳥。雁候北謂雁自南方來。將北返其居也。仲秋之鴻雁來。季秋之鴻雁來賓。皆自北而南。孟春則自南而北。

(六) 草木萌動：草木。植物之通稱。萌。芽也。凡草木始生。皆謂之萌。發端曰動。草木萌動者。植物萌芽此時始動也。

以上爲孟春之六候。
(七) 桃始華：桃爲落葉喬木。高丈餘。葉橢圓而長。

春時開花。色有紅有白。果夏熟。甘酸。始。初也。又中裂之而不四析曰華。即半破之意。桃始華者。桃華半破。正在開放之初也。

(八)倉庚鳴：倉庚。鳥名。即鶯。亦名黃鸝。雌雄常雙飛。詩倉庚于飛。初春始鳴。鳴聲宛轉清脆。俗又稱曰黃鶯。

(九)鷹化爲鳩：鷹。鷲鳥也。一名鷓鳩。爪勁有力。眼甚銳敏。盤旋空中。無微不覷。鳩。亦鳥名。古人於鳥類多以鳩名之。鷹化爲鳩。謂其啄正直不鷲擊也。

(十)玄鳥至：玄鳥。燕也。詩天命玄鳥。燕喜雙棲。體小翼大。喙短口闊。背黑腹白。尾甚長。每年春分前自北南來。巢於人家屋椽。秋分復北去。

(十一)雷乃發聲：雷者。電氣激激空氣所發之大聲也。雨時空中陰陽二電互相吸引衝破空氣發電光。同時有大聲爲雷。冬陰閉固。陽伏於下。春分陽升。雷始發聲。春雷之始發聲者謂之蟄雷。言發聲啓蟄也。

(十二)始電：電者。萬物所具之一種感應力也。當物體靜止時。陰陽二電互得其均勢。故不外顯。一失其均勢。則起現象。能發極烈之光熱。此所謂電。即指實際之天然發電。

以上爲仲春之六候。

(十三)桐始華：桐爲落葉喬木。皮色粗白。葉圓大。掌狀分裂。春暮開唇形花。色白或紫。成大圓錐花序。

萼黃褐色。細別之。花白而葉光滑者爲白桐。花紫而葉上密生黏毛者爲紫桐。桐始華。桐華初放也。

(十四)田鼠化爲鴽：田鼠。鼠之屬。爲嚙鼠類。性與家鼠略同。穴居田野。喜食蔬菜之根。甚爲農家之害。鴽形如鷄雛。棲息於茅蕪之間。捕食小蟲魚。季春之日。田鼠化爲鴽。蓋反歸舊形也。

(十五)虹始見：虹者。太陽光線與水氣相映現於天空之彩暈也。形如半環。雨後新霽時常見之。因空氣內尙含細水點。光線反射折光以成。故方向常與太陽相對。

(十六)萍始生：萍爲水面浮生之小植物。葉狀體扁平而小。面背俱青。有一鬚根下垂。一名水萍亦稱浮萍。始。初也。生。產也。

(十七)鳴鳩拂其羽：鳴鳩。鳥名。即布穀鳥。穀雨後始鳴。夏至後乃止。亦謂之鳴鳩。其聲如呼割麥插禾。故名布穀。好食毛蟲。有益於森林。爲益鳥。拂。振也。羽。鳥毛也。

(十八)戴勝降於桑：戴勝。鳥名。狀似鵲。頭有冠如方勝。故名。羽有文彩。春暮常棲於田野。降。下也。桑。落葉喬木。葉爲卵形。肥大以飼蠶。一說戴勝織紙之鳥。是時恆在桑。

以上爲季春之六候。

(十九)蜩蟪鳴：蜩蟪。蛙之別名。水陸兩棲之脊椎動物也。喜居於陰溼地。雄者大都能鳴。種類甚多。皆捕

食害蟲。於農家有益。其子即蜉蝣。鳴。發聲也。

(二十) 蚯蚓出：蚯蚓。蠕形動物。亦名曲蟮。體圓而細長。常吞食泥土。穿地爲穴。故能使地中空氣流通。植物易於成長。出。入之反。自內而至外也。蚯蚓得陰氣之多者。故至是始出。

(二十一) 王瓜生：王瓜多年生蔓草。一名土瓜。葉如掌狀淺裂。夏開白花。實橢圓而長。似瓜。皮亦粗澀。根味如薯蕷可食。並可作洗粉。生。產也。

(二十二) 苦菜秀：苦菜。茶也。一名茶草。蕘類植物。道旁荒地到處產生。嫩茶葉可食。秀。吐華也。凡草花皆曰秀。苦菜生於寒秋。經冬歷春。得夏乃成。

(廿三) 靡草死：靡草。薺葶藶之屬。以其枝葉麤細。故云靡草。死。失其生命之謂。凡物感陽而生者強而立。感陰而生者柔而靡。靡草至陰所生。故不勝至陽而死。

(二十四) 麥秋至：麥爲重要作物。子多粉。大麥子可爲飯。製饅餅。小麥製麵及餅餌醬油之屬。穀熟曰秋。至。到也。凡物生於春。長於夏。成於秋。而麥獨成於夏。故言麥秋。以於麥爲秋也。

以上爲孟夏之六候。

(二十五) 螳螂生：螳螂益蟲名。體頗長。有棘刺便於捕獲他蟲。有益於農事。秋季產卵。簇聚成房。

(二十六) 鵙始鳴：鵙。鳥名。即伯勞。體大於雀。性猛。捕昆蟲小鳥等爲食。好以其物貫於棘枝之上而食之。

。鳴。發聲也。

(二十七) 反舌無聲：反舌。鳴禽。即百舌。能反覆其舌而爲百鳥語。其鳴也感陽中而作。故微陰而無聲。又春則鳴。夏則無聲。亦名呼春。

(二十八) 鹿角解：鹿。獸名。四肢細長。雄者生有枝之角。每年脫換。年增一枝。既老則否。雌者無角。鹿是山獸。夏至得陰氣而角解。鹿又爲陽獸。情淫而遊山。夏至得陰而角解。從陽退之象。

(二十九) 蜩始鳴：蜩。蟬之總名。有馬蜩。茅蜩。糖蜩。寒蜩數種。蟲之善鳴者。生於夏秋。鼓翼始鳴。有發聲器。收縮振動。以發高聲。

(三十) 半夏生：半夏多年生草。平野自生。地下之塊莖。皮黃肉白。可入藥。一說半夏苗生於春。仲夏生者根也。藥亦用其根。不用其苗。

以上爲仲夏之六候。

(三十一) 溫風至：溫風。即八風中景風也。景風至於夏至。而於季夏始言至。陽儀之意。仲夏雖熱而未盛。是月之節氣爲小暑。故曰溫風至。

(三十二) 蟋蟀居壁：蟋蟀蟲名。亦名促織。長六七分。全體黑色。有剛強之發聲器。秋夜鳴聲甚厲。此物生於土中。至季夏羽翼稍成。未能遠飛。但居於壁。

(二十三) 鷹始鷺：鷹爲鷺鳥。二陰既起。鷹感陰氣。乃有殺心。始發動攫搏之事。

(三十四) 腐草爲螢：螢益蟲。長三分許。形如蛆。雌雄皆有發光器。發光頗美麗。夏間就水草產卵。亦發微光。十餘日爲成蟲。成蟲與其幼蟲皆食種種害蟲。於農事有益。

(三十五) 土潤溽暑：諺云。大暑逢庚起初伏。是月入三伏節。暑熱極盛。故土蒸溼而溽潤。土潤溽則背澤易行也。

(三十六) 大雨時行：空氣中之水蒸氣遇冷而凝爲細點。益積益重。則下降於地爲雨。大雨時行者。爲大雨應時而下也。

以上爲季夏之六候。

(三十七) 涼風至：涼。薄寒也。詩。北風其涼。爾雅以北風謂之涼風。淮南子以西南曰涼風。又一說。孟秋言涼風。記時候也。

(三十八) 白露降：近地水氣。夜著於草木等易散熱之體。因冷而凝結如珠者。謂之露。又春露則生。秋露則殺。以其殺。故言白。蓋白爲秋之正色故也。一說陰氣盛而露重。故色白。

(三十九) 寒蟬鳴：寒蟬者。蟬之一種。秋季鳴於日暮。其聲幽抑。一說寒蟬應陰而鳴。鳴則天涼。故謂之寒蟬。

(四十) 鷹乃祭鳥：是月鷹感金氣之肅。擊鳥於大澤中。四面陳之。世謂之祭鳥。

(四十一) 天地始肅：肅者。嚴厲而不懈弛之意。秋氣既臨。天地間卽具有搖落肅殺之象。

(四十二) 禾乃登：禾。嘉穀也。穀未去葉謂之禾。詩。十月納禾稼。登。進也。與禮農乃登穀之義同。

以上爲孟秋之六候。

(四十三) 鴻雁來：鴻雁鳥名。候時之雁。是月從北漢中來。不言南鄉非其居也。

(四十四) 玄鳥歸：玄鳥。燕也。北方之鳥。春分而來。秋分而去。歸者歸其所也。

(四十五) 羣鳥養羞：羞。食也。不盡食曰養。羣鳥養羞。言鳥類蓄其所食之物。以待冬寒無可取食之時而食之。寒氣將至。羣鳥養進其毛羽禦寒也。

(四十六) 雷始收聲：雷。春分發聲。秋分乃收。雷始收聲。自此時起藏其聲不發也。

(四十七) 蟄蟲坯戶：坯。益也。戶。謂穴也。以土增益穴之四畔。使通明處稍小。以陰氣將至。是以坯之。稍小以時氣尙溫。猶須出入。十月寒甚。乃閉之也。

(四十八) 水始涸：國語云。辰角見而雨畢。天根見而水涸。又曰雨畢而除道。水涸而成梁。除道成梁。以利農也。

以上爲仲秋之六候。

(四十九) 鴻雁來賓：來賓者。雁以北爲鄉。孰歸塞北。寒來江南。其在中土也。若來爲賓客然。孟秋言來鴻。

雁方自北而來。過去不停也。季秋言來賓者。鴻雁客止未去。如賓客之旅寓遷流於外也。

(五十) 雀入大水爲蛤。雀。小鳥名。古通。俗呼麻雀。大水海也。蛤有二說。一介屬。一蛙類。寒風嚴肅。飛物化爲溼物也。

(五十一) 鞠有黃花。菊。花名。古名鞠。春由宿根生。夏至後分植。深秋開花。種類至繁。以色黃氣香味甘者爲最佳。季秋名菊月。草木皆華於陽。獨菊華於陰。其色正應季秋土旺之時。

(五十二) 豺乃祭獸。凡四足全體被毛之動物。總稱曰獸。豺亦獸名。狀如犬而身瘦。毛黃褐色。殘猛與狼同。豺於是月殺獸。四圍陳之。世謂之祭獸。

(五十三) 草木黃落。草木爲植物之總稱。黃落者。謂草木之葉變黃色而落也。

(五十四) 蟄蟲咸俯。俯。垂頭也。前月但藏而坯戶。至此氣候既寒。殺氣益盛。而陽氣在下。故蟄蟲咸俯其首。垂頭而下。以隨陽氣也。

以上爲季秋之六候。

(五十五) 水始冰。水遇寒在攝氏零度以下而凝結者曰冰。無色透明。有光澤。其密度比水略小。故浮於水面。

(五十六) 地始凍。凍。冰也。初凝曰冰。冰壯曰凍。又於水曰冰。於他物曰凍。地始凍者。謂地氣因冷凝結

而冰凍也。

(五十七) 雉入大水爲蜃。雉。鳥名。形狀習性與雞相類。棲息山野。食穀類嫩葉及蟲。侵及禾稼。故爲害鳥。大水。淮也。蜃。蛤類之總稱。水屬。雉。火屬。雉入大水爲蜃。言陽不勝陰也。

(五十八) 虹藏不見。虹。陰陽交氣也。是月陰壯。故藏不見。

(五十九) 天氣上騰地氣下降。騰。升也。凡上升皆曰騰。降。伏也。萬物皆受天地之氣以生。自夏至地氣上騰。至立冬地氣下降。陰氣下連於地故云下降。

(六十) 閉塞而成冬。冬。四時盡也。時屆冬令。天氣上騰。地氣下降。天地不通。門戶可閉閉之。窗牖可塞塞之。是之謂閉塞而成冬。

以上爲孟冬之六候。

(六十一) 鶡且鳴。鶡且。求旦之鳥。今謂之寒號虫。山鳥陽物也。是月陰盛。故不鳴。

(六十二) 虎始交。虎。猛獸名。形似貓。性凶殘猛悍。交。猶合也。虎乃陽中之陰。陰氣盛以類發也。

(六十三) 荔挺生。荔挺名。似蒲而小。根可作刷。挺生。特然而出也。

(六十四) 蚯蚓結。結。猶屈也。蚯蚓在穴。屈首下饜。陽氣動則宛而上首。故結而屈也。

(六十五) 麋角解。麋是澤獸。冬至得陽氣而角解。麋

又爲陰獸。情淫而游澤。冬至陰方退故角解。從陰退之象。

(六十六) 水泉動：水爲輕氣養氣化合之液體。善溶解諸物質。泉。水源也。易。山下出泉。動。靜之反。凡物體轉移其地位曰動。水泉動者。謂泉水伏行地層中隨陽而動於下也。

以上爲仲冬之六候。

(六十七) 雁北鄉：鄉。向導之義。二陽之候。雁將避熱而同。今鄉北飛。至立春後皆歸矣。禽鳥得氣之先。此時自南方來。將過北至北極之沙漠也。

(六十八) 鵲始巢：鵲。鳥名。尾長六七寸。與身相等。背黑有光澤。嘴脚皆黑。亦稱喜鵲。性最惡濕。始。初也。巢。鳥居木上也。詩維鵲有巢。鵲始巢者。鵲爲陽鳥。順陽而動。始爲巢也。

(六十九) 雉始雊：雉。鳥名。形狀習性。與雞相類。棲息山野。食穀類嫩葉及蟲。侵及禾稼。故爲害鳥。雊。雉鳴也。是月雷應陽氣始發擊於地中。雊聞之而雊。(七十) 雞始乳：款冬華：雞。家禽名。乳。卵也。凡雞產卵。必雌鳴而雄應之。款冬。多年生草。花莖別有小葉。長卵形。春初莖端開黃花。百草中此最先春。雖冰雪下亦生芽。故有此稱。

(七十一) 征鳥厲疾：征鳥。題肩也。齊人謂之擊征。或名曰鷹。厲。嚴猛也。疾。捷速也。此時殺氣盛極。故鷹隼之屬。取鳥捷疾猛厲也。

(七十二) 水澤腹堅：水。流水也。澤。聚水也。腹謂水之深處。言其在水之中。若人之腹然。水之冰由上以漸及於下。至是月而水澤之腹。皆凝結而堅固也。

以上爲季冬之六候。

農業與氣候

氣候者。即各地之溫度濕氣風等平日之狀態及變化也。凡植物之發育。動物之生活。皆與氣候有密切關係。且各種農業如土質肥瘠。種子良否。皆可以人力使之改進。惟氣候則不然。若寒暖燥濕。風雨霜雪。對於農業上各種影響。絕非人力所能操縱。農業與氣候。其關係之重要如此。故從事農業者。對於氣候問題。不可不特別注意也。

一、陽光 氣候中以陽光最為重要。陽光對於植物。具有扶助同化作用。其次使植物組織堅韌。種實生產豐富。倘使陽光不足。只有溫熱。植物生長離速。極為柔弱。且易倒伏。陽光更能變換植物生長與運動的方向。因葉常向光。花亦朝開夜閉。陽光並能促進花芽發生。如梨蘋果桃等明年結實良與不良。全視本年夏季花芽生成時陽光充足不充足。稻作豐歉。亦以八月中陽光多少為標準。陽光愈多。植物生產愈豐。品質亦愈優。惟各種植物所需光量多少不同。因之有喜陽與喜陰之別。不可不加注意。利用條播方法。決定作條方向。可使作物多得陽光照射。夏季作條南北向。受光為多。冬季作條東西向。受光為多。

二、溫度 植物抽葉開花生長結果與種子發芽。都有一

魏頌唐農曆

定溫度。溫度因時期不同而發生變遷。一年中二月最低。七八月最高。更因地位發生差異。陸地易暖亦易寒。海洋上變化較小。又地勢愈高溫度愈低。春季溫度上升。植物開始發芽。夏季溫度最高。生長最盛。秋季溫度下降。結實收穫。冬季溫度最低。入於休眠狀態。因溫熱能促植物呼吸作用。運行體內液汁。且為細胞生活發育原動力。所以植物生長等等。全受溫度之支配。至一百二十度以上之高溫。可使植物枯死。三十二度以下之溫度。又可使植物凍死。在六十度至八十五度中間是為生長最適溫度。動物毛之疏密及養蠶。亦與溫度有關。三、濕度 水濕為植物體中最重要之成分。能使一切養分流通於植物體中。故缺乏水濕。則其他養分無論如何充足。光熱無論如何適宜。植物斷難生活。但空中濕氣過多。亦有礙於植物之長大強固。一遇旱災或暴風。即易萎倒。又濕氣能養殖黴菌。故多濕之氣中。植物常罹病害。又如濕氣過少。亦屬難於發育。又作物成熟時宜於乾燥。至收穫後尤須十分乾燥。方能久藏不變。若未乾或既乾之後。又復受濕。則未有不遭損壞者。動物中之家畜及飼蠶室內。以百分之六十為適當之濕度。惟馬羊等。則宜育於乾燥地方。方能皮薄毛美。體格活潑。若在百分之八十以上濕地。即有皮厚毛粗體格重鈍之病。

四、雨 水為植物最需要之物質。而供給植物水量者雨

也。植物所需雨量。生長期中必須充足。則莖葉可以繁茂。發育可以旺盛。成熟期中必須乾燥。傳粉容易。生產物之品質方能優良。貯藏後不致腐敗。惟冬季為植物休眠期。則無須多量雨水耳。

五、雪 冬雪雖有損折枝幹之害。但在地上可以防止土壤中熱量發散。保護植物根部。且能吸收空氣中硝酸使土地肥沃。在降雨後土地堅硬。失去耕鋤的功效。植物根部不易發展。所以雨後宜於耕鋤。但降雪甚緩。質量亦輕。仍能保持土壤鬆軟狀態。

六、風 風者可以高低空氣之溫度且能變其乾溼者也。微風能促進水分蒸發傳遞花粉。但暴風亦易拔木折枝。吹落果實。飛散花粉。為害甚烈。預防方法。當種防風林或設立支柱與根部壅土等。

七、雲 雲之作用。在夏季能遮蔽陽光。減輕暑熱。並因其形狀與移動方向。可以推測風雨晴陰之變化。

八、霜 霜於植物。為害最烈。凡植物生活力強及水分多者易罹霜害。霜柱尤甚。晚霜較早霜更有害於植物。栽培法所以必令表土堅固或行疏水法。即為防止霜害起見。又預防霜害。於地上燃燒落葉或雞糞鋸屑等。發為

濃烟。使霜不致凝結。名燻烟法。最為相宜。又冬季及初春。勤鋤雜草。亦為減輕霜害之一法。融霜太急。為害植物。甚於結霜。尤為可畏。覆蓋蘆草以蔽陽光直射。是又一法。

綜上以觀。變換氣候。既不可能。則如何適應氣候以期保護植物。實為必要。其法以培植森林為最。森林能止雨水不使急流。又能令夏涼冬暖。有調和氣候之功用。法以松杉等常綠樹向烈風吹來之方植之曰防風林。能使其地溫暖。土塵不多飛散。且可減少暴風。又於溫地施行排水法以除過分之水氣。俾使地氣溫暖。又夏月灌溉。可解地面之炎熱。此外尚有種種方法。如早春播種。欲其成苗。則取厩肥等發熱物與土壤相堆積。用木板或稻草置於四周。除暖日外。更蓋以玻璃及草蓆。所謂溫床者是也。又或越年植物。恐遭霜雪。則於秋末蓋以稻草。或春日有晚霜。恐害桑茶嫩芽。則於夜間以烟燻之。又或冀春雪早融。則以煤炭等物撒布其上。以上諸法。總以昇高溫度為主。無非為適應氣候。以保護植物而已。

各家農事曆

一、耕作曆

一月

暖地豆麥尙可下種。大小麥蠶豆油菜茶等作物中耕施肥培土。紫雲英豆類等田撒灰開溝。

二月

大小麥中耕施肥。蓼藍烟草藥用人參等可下種。三種棉糴茶等施寒肥。紫雲英苜蓿等綠肥作物施肥。

三月

早稻本月下旬可選種浸種。玉蜀黍甘藷可播種於溫床。烟草白芷紫蘇附子黃芩苧麻大麻亦可下種。薄荷苧麻可行分植。甘蔗行埋植。桑茶施肥。預備秧田。

四月

中晚稻可浸種。陸稻玉蜀黍春蜀黍蕪荳大小豆大麻苧麻落花生大黃除虫菊均可下種。留意秧田之灌水排水等。油菜摘芯。薄荷分栽。甘蔗埋植。摘茶開始。每採葉一次即施肥一次。

五月

水稻下種布秧。陸稻玉蜀黍蕪荳蕪荳大小豆甘藷落花生胡麻草棉亞麻苧麻蘆粟甜菜等均可下種。蓼藍烟草等可移植。山藍薄荷等可分株或定植。前數日播種之農作物

。可間拔除草中耕施肥。

六月

玉蜀黍夏蕎麥黍秋粟秋大豆小豆苧麻桑蕪荳等均可播種。稻苗甘藷烟草均可移植。稻田宜除草灌溉。採茶。勤除病蟲害。

七月

稷粟馬鈴薯夏蕎麥均可播種。烟草棉等可摘心。甘藷翻藤。甘蔗行去孽。稻田須除草灌溉施肥。本月中下旬稻之分孽最盛。需水量亦多。故灌水宜深。但氣溫過高時。稻作有稻熱之象。又宜減少田水。

八月

粟秋蕎麥馬鈴薯紫雲英除蟲菊等可下種。稻田加意除草。陸稻粟胡麻等中耕除草。早稻玉蜀黍蕪荳黍蕪荳荳大小豆甘藷烟草(下中葉)草棉亞麻大麻苧藍藍苧蘭苗漆液等均可採收。稻自抽穗至開花需多量之水。故田水宜深至穗下垂時則可排去之。甘蔗宜培土灌水。甘藷宜翻藤鬆土。烟草草棉宜摘芽摘心。藍株蘭苗宜施肥。其他各種作物。宜中耕除草施肥間拔。

九月

本月爲燕麥黑麥油菜綠肥用作物等下種之適期。稻之黃熟者可刈取。早生陸稻豆類粟黍蜀黍蕪荳胡麻草棉黃麻生薑蓼藍烟草等亦可收穫。除蟲菊可下種。漆薄荷等宜移植。七八月播種之作物可行第二三次間拔。及第四次

中耕施肥。蕎麥馬鈴薯可下種。苗圃可除蔽日之具。

十月

本月中旬可刈中稻。下旬可刈晚稻。大小麥燕麥裸麥油菜豌豆蠶豆紫雲英苜蓿等均可下種。晚陸稻蜀黍荳苳大豆小豆甘藷馬鈴薯草棉楮蘆粟落花生甘藍黃連薄荷糖用甜菜等均可收穫。秋蕎麥應中耕培土。

十一月

已收穫之稻田。若不再種他物。可深耕越冬使土壤受風化作用。行冬作者可播種麥類油菜蠶豆豌豆及綠肥作物紫雲英苜蓿等於田中。油菜蘭楮杞椰等可移植。馬鈴薯甘藷晚蕎麥晚稻小豆玉蜀黍粟荳苳甘蔗棉落花生糧稻三極杞柳漆質茶質等均可收穫。前月播種之麥豆行第一次中耕。

十二月

溫暖地方整理耕地。可移植油菜大黃。定植後之各種作物可行第一次施肥。十一月播種之大小麥裸麥蠶豆豌豆等可行第一次中耕施肥及鎮壓。綠肥用作物。施草木灰或過磷酸石灰等。除蟲菊紫雲英等宜敷切葉以防寒。收穫甘藷三極杞柳甘蔗等。

二、果樹曆

一月

梅可嫁接。播種枳殼柚子以備作柑橘類之砧木。梨柿蘋果

果桃葡萄等均可施寒肥。剪伐柑橘類之冗枝。並以菜子油塗其切口。

二月

溫梓桃栗可播種。梅葡萄石榴無花果佛手柑等扦插。櫻桃移植。梨蘋果梅桃李等剪除冗枝。

三月

柿楊梅桃栗胡桃梅櫻桃蘋果梨等均可播種。柿油桃郁李葡萄蘋果水蜜桃栗銀杏棗石榴木瓜等均可移植。櫻桃胡桃溫梓葡萄柿栗杏李蘋果梨楊梅枇杷木瓜柑橘類均可接木。柿蘋果無花果銀杏梨葡萄可移植。果樹剪定整枝。

四月

各種砧木用之果樹可下種。楊梅枇杷柑橘類均可移植及插植。柑橘類且可壓條。柿溫梓枇杷無花果柑橘類等可行嫁接。各種實生果樹應間拔及施肥。

五月

石榴楊梅可接木。梅桃李橘等可壓條。梨桃等宜摘花摘果。蘋果花腐病。梨之赤星病。及樹上之各種害蟲。本月最易繁殖。宜竭力預防之。

六月

果樹行適當摘果。及梨桃等之套袋。修剪冗枝。園內除草施肥並驅除害蟲。

七月

櫻桃梨等可行芽接法。柿及其他果樹宜培肥。果樹行夏季之剪定。並極力防治病蟲害。

八月

梨柿胡桃蘋果葡萄無花果等可收穫。無花果木莓適於插木。梨梅櫻桃桃等適於接芽。

九月

杏李梅桃可播種。桃梨李櫻桃杏等可芽接。葡萄可插木。果實將至成熟者於二週日前可去袋。使曝日光。李桃葡萄梨蘋果柿石榴栗胡桃等均可採收。七八月所芽接者宜解結束施液肥。已採收之果樹宜行秋季施肥。

十月

柿石榴梨梅柑橘等可移植。蘋果梨柑橘胡桃檸檬柿栗葡萄等果實可採收。本月幼苗芽甚軟弱。易罹霜害。不可施肥。

十一月

春季繁殖之苗木可掘取及搬運或假植。暖地果樹可行剪定。果園行淺耕施寒肥。掃除落葉作防寒設備。葡萄下架覆土等。

十二月

枳殼柚等可播種。石榴無花果蘋果櫻桃胡桃桃等可移植。溫暖地方。果樹適於剪定。各種果樹宜注意防寒。並行柿及柑橘之培肥。驅除害蟲。毋令越冬。柑橘類可採收。

魏頌唐農曆

三、蔬菜曆

一月

十月播種之甘藍類行第二次移植。玉葱中耕施肥。京菜慈菜蕪菜塘蒿土當歸洋芹水芹等均可採取。若設溫床行促成栽培者。如茄子蕃茄菜豆胡瓜菜瓜等可以下種。除去各種蔬菜之腐葉。以免蟲害發生。

二月

雞毛菜下種。韭可分栽。薑言塘蒿芹菜胡蘿蔔牛蒡葱等可下種。甘藍花椰菜胡瓜等可移植。早茄子早胡瓜甘藷苦瓜蕃茄南瓜可播種於溫床。

三月

春菜蕪石刁柏花椰菜山藥蕃椒扁豆刀豆蕃茄南瓜東瓜茄子馬鈴薯等均下種。碗豆蠶豆等施肥。一般蔬菜類須培土。

四月

南瓜西瓜胡瓜越瓜甜瓜扁蒲茄刀豆鵲豆菜豆豇豆葱甘藍石刁柏韭菜土當歸牛蒡夏蕪青慈菇芋山藥生姜等均宜下種。甘藷適於移植。蓮藕芹莧可行分栽。山藥馬鈴薯橘芽殺除芽虫及各種害虫之卵子。

五月

西瓜南瓜甜瓜胡瓜越瓜苦瓜菜瓜刀豆豇豆茄子韭菜花椰菜土當歸慈菇均可下種。荸薺茭白可移植。上月播種之

九一

瓜類宜摘芯。馬鈴薯宜除芽。注意各種蔬菜之害虫。本月上旬移植者下旬應中耕施肥。

六月

早芹菜澤瀉胡蘿蔔牛蒡野蜀葵菲甘藍均可播種。甘藷玉葱塘蒿韭菜花椰菜等均可移植。百合摘花蕃茄馬鈴薯摘芽。瓜類摘心並中耕施肥。瓜豆等可立支柱。注意澆水並勤除病虫害。

七月

越瓜甜瓜等可摘梢。百合可摘心。葱韭及春播甘藍可移植。馬鈴薯胡蘿蔔秋扁豆牛蒡萊服等可播種。天氣乾燥注意澆水。瓜類與甘藷之莖。翻後填糞。以免著土。

八月

菘菜類胡蘿蔔牛蒡甘藍蘿蔔胡葱蕪菁菠蔴薯蓮等可播種。西瓜甜瓜南瓜越瓜苦瓜冬瓜扁扁茄菜豆刀豆鵲豆葱芋蕃茄等均可採收。各種蔬菜宜中耕除草施肥間拔。

九月

白菜甘藍花椰菜蕪菁菜葱玉葱蘿蔔蕪菁油菜野蜀葵等可播種。草蓴花椰菜早蔴漬菜類苘蒿菠蔴等可移植。蘿蔔蕪菁甘藍生薑絲瓜茄蕃茄山藥里芋蕃椒等可收穫。上旬下種之菜類至中下旬須行間拔施肥。

十月

蠶豆豌豆牛蒡玉葱夏葱漬菜類苘蒿菠蔴菜芥菜菘菜白菜菜蕪甘藍等均可下種。早蔴甘藍及漬菜蕪菁苘蒿菠蔴菜

葱苗等均可移植。秋播蘿蔔漬菜類行第三次補肥。前月下種之作物行第一次間拔中耕施肥。馬鈴薯胡蘿蔔芋牛蒡花椰菜藕莖秋蔴萊服蕪菁茄子蕃茄蕃椒冬瓜甘藍塘蒿蕪菁等可漸次收穫。

十一月

蘿蔔菘菜豌豆油菜高苣等尚可下種。八月蔴之甘藍花椰菜應行定植。十月播種之豌豆蠶豆可行第一次中耕。漬菜類應行培土。結球白菜等之葉應行結束。牛蒡胡蘿蔔蕪菁里芋山藥蕪菁蓮葱漬菜類水芹蕃椒莖菲菠蔴菜等均可收穫。

十二月

蘿蔔蕪菁白菜甘藍菠蔴葱苘蒿苣蒿胡蘿蔔牛蒡山藥等均

四、花卉曆

一月

牡丹可行根接法。並墾馬糞以防寒。薑椒藤條。各種盆栽花卉亦應設法防寒。

二月

金蓮花紫羅蘭可播種。海棠映山紅棠棣石竹等可移植。蠟梅瑞香木瓜桔梗可接木。各種庭樹及宿根草類可施液肥。

三月

各種春播草花如鳳仙雞冠含羞草芸香白芷午時花之類均可播種。巴蕉迎春夾竹桃等可移植。萱菊可分根。海棠繡球山茶瑞香月季等可接木。

四月

秋菊翠菊牽牛花及其他三月份未種之種子均可下種。石南冬青玉蘭木犀黃楊鳳尾竹鬱金扁柏側柏等均可移植。菊月季梔子杜鵑木杏代代玉蘭石楠百日紅等。可以插植。驅除苗床及花壇之害虫。並行間拔除草澆水施肥等事。

五月

木香鐵線花茉莉杜鵑山茶薔薇金雀花月季萬年春牡丹石竹紫陽花等均可扦插。木犀繡球山茶梔子等可壓條。天燭牡丹美女櫻雞頭石楠等可移植。

六月

瑞香迎春花月季花薔薇花茶麻烏藥石竹等均可扦插。菊可劈接。開花者宜注意於澆水施肥及驅除害虫。

七月

芍藥木犀木槿木芙蓉百日紅金絲桃等可移植。肉桂茉莉石楠花桔柳菊等可扦插。午時花月見草可播種。注意澆水培肥除蟲。

八月

牡丹可分根。繡薇可插木。木蕙類適於芽插。金盞花虞

魏頌唐農曆

美人木犀草等可下種。迎春花瑞香夷木藍海棠荷花牡丹木瓜金魚草除蟲菊紫陽花天人菊玉簪花等均可移植。菊施支柱及摘芽。驅除害虫。

九月

宿根性之強壯草花如漏斗菜石竹類櫻草桔梗美女櫻雞菊蜀葵金魚草金盞花等可播種。牡丹芍藥百合蘭類石竹類水仙類荻類花菖蒲夏菊等可分根移植。對於落花之宿根性花草宜施澆肥。

十月

梅石榴山茶石楠黃楊櫻牡丹等可移植。宿根性花卉類可分植。庭園中之喬木及灌木類。本月亦為移植之適期。採收各種花草之種實貯入袋中。藏諸倉庫。

十一月

球根類之花卉可播種。行露地栽培者根邊宜厚覆切葉藪殼等。園內樹木。宜設防雪處置。石刁柏土當歸。覆土後。即撒布堆肥人糞尿等。

十二月

蘇鐵竹棕櫚等宜注意防寒。木瓜金蓮花莖胡椒雪柳等宜置諸溫室。但須毋使軟化。觀賞用之植物可施薄肥。其料以油粕為宜。本月開花者有水仙寒菊等。

五、養畜曆

一月

修理畜舍以免家畜受寒。飲水宜清潔微溫。飼料以乾草及根菜類爲主。晴天常令作舍外運動。積雪過久仔畜易發軟骨病。飼料中宜混以少量磷酸石灰或石灰。

二月

上年十二月交尾之羊及十一月交尾之山羊。本年四月約可分娩。至下旬宜與羊羣隔離。畜舍內宜敷多量之糞。并使稍暗。飼料宜與以易消化之麩皮油粕。牛益近分娩。管理尤宜注意。

三月

上年六月交配之牛及十一月交配之羊。本月皆可分娩。馬之妊娠期約三百四十日。上年五月交配者。本月亦可分娩。宜給以富有滋養飼料。預備牧場。

四月

本月家畜盛行分娩。所生幼畜須隨時保護。注意豕羊之發情期。幼畜行去勢斷尾等。畜舍內宜行消毒法。刈取未開花之牧草晒乾貯藏。

五月

牧草繁茂宜放牧。馬及豚均適於交配。仔畜適於去勢。牛之去勢時期。肉用種宜生後二月。役用種宜生後七月。羊則生後四週至八週間爲適期。仔畜斷乳宜給以易消化之飼料。

六月

羊可剪毛。牛可交配。飼料應以放牧吃野草爲主。驅除

蚊蠅等害蟲。並於畜舍內時常消毒。

七月

畜類應給與清涼之綠草及多汁之飼料。設法驅除害蟲如蚊蠅等。牛若已經交配。來年四月末即可分娩。

八月

四月間妊娠之豚。本月約可分娩。母豚宜與羣豚隔離。施以特別管理。家畜須常令洗浴。若放舍外時。宜處於蔭處。

九月

仔畜之不供繁殖用者。生後之十日內可行去勢。清潔畜舍以防害蟲發生。

十月

家畜舍飼。製造乾草以備冬令之用。飼料宜用漸次改變法。作防寒及其他之準備。本月爲山羊交配之適期。

十一月

家畜全行舍飼。宜多給乾草及菜根等。豬羊適於交配。淘汰幼豬。準備冬季飼料。修理畜舍。

十二月

積雪多之地。仔畜運動不足。易罹軟骨病。宜和過磷酸石灰於飼料中以堅其骨。

六、養兔曆

一月

冬季日短夜長。喂飼時間應爲晨午晚三次。本月適於割

取兔皮。皮剝下後。用清水沖洗。以鋼絨拉張器掛於透風處涼乾。毛用兔用拉毛法採毛。以免受寒。

二月

兔羣享受自然界優越環境。日就彌壯。惟綠物飼料若無相當限制。亦慮發生腸病。

三月

本月爲兔之繁殖期。不但幼兔發育迅速。且死亡率亦極低。如野草不夠供給。應自種阿爾反反甘藍等。

四月

毛用兔可開始剪毛。如爲種兔。腹下之毛。應留刺勿剪。以便分娩時得拉毛營窠。兔籠之保溫設備可以除去。

五月

種兔尙可交配。

六月

停止交配。箱內空氣務使流通。糞盤應每日洗滌。毛用兔比皮肉用兔畏熱。應先剪去胸部之毛。

七月

穀類食物。如大麥片及麩皮等。應常晒以免霉腐。脂肪質之飼料。如豆餅黃豆玉蜀黍等應少給。

八月

盡量預貯乾飼料以備冬春兩季之用。秋季爲家兔換毛時期。體質虧耗。交配後往往不受精。

九月

本月氣溫變化甚大。家兔易受傷風及鼻加答兒等病。又初離乳之幼兔易發生腸瀉。並特別播種紫雲英種子以作飼料。

十月

本月兔適於交配。今春三月間所生之仔兔可供繁殖。

十一月

準備冬季飼料。如播種菜類調製乾草等。兔舍作防寒設備可置於陽光充足之地。適於交配並施行種兔的淘汰。

十二月

幼兔宜充分享受陽光。食料除蒲公英外。須增加黃豆或豆餅等分量。毛用兔勿過度剪毛。肉用兔皮用兔均可屠殺。

七、養禽曆

一月

本月爲家雞繁殖良好時節。飼料應擇富於滋養者。晚餐宜給多量之生骨粉虫等動物質。卵之作種用者不可使受冷。

二月

上月不能孵化雞雛者。本月可孵化之。本月產卵漸多。當飼以富於滋養料之食物。飼雛之青菜宜每月下種。俾可隨時收割喂養。當此時亦可育卵。

三月

氣候漸暖。防寒設備可除去。孵化猶未為晚。雞舍時洒石灰粉和肥皂水以禦羽蟲。雞雖須注意其冷熱。

四月

雞已孵化宜注意其食餌。並驅散牠雞之巢。消除舍內及雞身之羽蟲。

五月

本月因逢梅雨季節。養雞最為困難。第一應使雞不蒙雨濕障礙。第二雞之罹下痢病者宜設法治療之。第三使雞雞脫離母雞關係注意害蟲之發生。

六月

本月牝雞連續產卵。飼料應以產卵所必需之石灰質為主體。天氣已熱。並須用木炭末混合於飼料中以防下痢。

七月

本月雞羽蘊發生甚盛。雞舍內宜清潔。並用生石灰撒布之。刈貯多量青草備殘冬食料。

八月

本月禽之飼料最多。養禽者宜貯藏秋蕎玉蜀黍黍粟馬鈴薯甘藷等之乾物。以備冬春兩季之食料。鷺在幼稚時給予柔軟飼料須比雞為多。且使游泳水中以爲水棲之練習

九月

家禽換羽宜多給飼料。舍內保持清潔。撤布除蟲菊粉。鷺漸成長。可給以雜魚田螺等。促其發育

十月

天氣漸寒。宜除去運動場之日覆。雞舍作防寒設備。換羽後之雞。宜給濃厚飼料。促其肥碩。

十一月

雞舍西北宜築避風牆。播種冬令用綠飼料之菜類。

十二月

雞須遲出早入。充分防寒。並給與多量動物質飼料以保持體溫。

八、養蜂曆

一月

巢箱須有防寒設備。巢內以隔離板區劃蜂羣。使其區域縮小。空閒塞以舊棉紙條。本月爲養蜂最閑散之時。可製造及修繕巢箱捕蜂器。蜂室容器。王籠。並其他養蜂器具。

二月

在貯藏室內越冬之蜂可移置原位。檢查巢箱將空巢脾用硫磺薰蒸。修繕及置備養蜂必要之器具。

三月

蜜源植物如梅杏芸苔黃瑞香豌豆櫻桃楊梅蒲公英鉤樟忍冬紫荊等次第開花。蜂羣均出發勞動。蜂王產卵數大增。幼虫之成育亦盛。

四月

本月主要蜜源植物。如草黃瑞香芸苔紫雲英百合荔枝胡桃等正值盛花。蜜蜂活動繁忙。蜂勢亦隨之強大。強羣可以分封。且有可收蜜者。

五月

注意蜂之分封。本月為養蜂收穫期。各羣情形不同。管理者宜相機應付。

六月

注意分封以造成新蜂羣。如蜂王已失。宜將已交尾之蜂王誘入。若新蜂王皆已交尾。則可驅殺雄蜂。梅雨期並嚴防盜蜂。

七月

夏季蜜源植物既少。又值炎暑。蜂羣須貯越冬之蜜。巢內宜清潔並防暑氣侵入。

八月

巢箱宜為遮蔭之設備。如遇熱度增高可用噴霧器撒水。夏期弱羣須常常給蜜以免飢餓。

九月

本月為越冬用新工蜂之產卵期。若有不良蜂王及老王之蜂羣。即以新生蜂王交換之。

十月

獎勵給蜜使蜂王增加產卵。至越冬裝置時而止。以後蜂羣不宜搬運。合併小羣及不良王之蜂羣。

十一月

本月須講求越冬之準備及越冬裝置方法。天冷蜂羣密集宜取出空巢脾保存之。

十二月

禁止巢內檢查。亦不可移動巢箱。但仍須注意蜂羣動靜。為來春工作之準備。

九、養蠶曆

一月

蠶種行寒水浸法。以除去卵面之蛾尿鱗毛及其他塵芥等。並消滅其不良之卵。織蠶箔。

二月

修理蠶室蠶具。梳理稻草。洗篩。懸襪。

三月

掃除蠶室。洗滌蠶具。布置催青室。

四月

春蠶上旬催青。下旬初收蠶飼育。

五月

春蠶飼育上簇。採繭。

六月

春蠶製種殺蛹貯繭。檢查夏蠶種。蠶室蠶具洗滌消毒。

夏蠶收蠶飼育。

七月

上旬夏蠶飼育上簇。中旬採繭製種。檢查三化種。蠶室蠶具洗滌消毒。下旬三化蠶收蟻飼育。製絲。暇則提前行之。

八月

製絲。三化蠶飼育上簇。採繭製種。檢查四化種。蠶室蠶具洗滌消毒。

九月

製絲。四化蠶收蟻飼育。四化蠶下旬上簇。不育四化蠶者。整理蠶室蠶具並消毒。

十月

四化蠶採繭。檢查蠶種。製絲。

十一月

檢查並洗滌蠶種。

十二月

注意蠶種貯藏。

十、森林曆

一月

榨油桐樹等宜增肥。可伐木伐竹。適於製造薪炭。保護苗圃。行間伐及打枝。適於林木移植。

二月

杉扁柏檜松柏烏桕樺漆等均可播種。松榿樅淡竹檉槐

榛棟等均可移植。柳椿等可行插植。適於伐木。

三月

本月為造林之最適期。不間新植補植皆可行之。儲樟樺桐白栴椴棕櫚均可播種。樹葉漸運行下旬後不宜採伐。

四月

移植儲樺樟樺杉側柏等。注意防止山林間之野火。努力驅除害蟲。苦竹筍棟錢。棕櫚剝皮。

五月

杉扁柏花柏樅檜等發芽達七八成時。宜設覆遮物。椿可接換。栗胡桃等可移植。苗圃除草施肥。適於間拔。注意驅除害蟲。

六月

常綠灌木樹等。可以插木。林中之草可刈取為堆肥原料。梅雨時注意驅除害蟲。苗圃內須勤除雜草及灌溉。

七月

天氣亢旱。苗床宜用日覆並不時灌水。樹苗施補肥。採取林中下草。驅除害蟲。

八月

杉可插木。苗圃宜灌水除草施肥。林下之草可以刈取。適於採收製澁之澁柿。驅除害蟲。

九月

除去苗圃覆遮物。行秋季換床。本月多暴風。宜注意保護。

十月

本月中旬後爲秋植之好季節。本月起至來年一月適於伐竹。扁柏花柏杉榿等類子可採收。

十一月

中旬適於培樹。並剪伐冗枝。採集各種子實妥爲儲藏。春季使用之苗圃地。須舉行深耕。驅除松毛蟲。

十二月

注意苗圃之風雪。舉行間伐。採伐用材及薪炭材來春可採伐之木。宜於本月調查其主伐及間伐。

十一、栽桑曆

一月

桑樹行整枝法。行春切法。施寒肥。

二月

桑樹行第一次耕耘。並施芽肥。解除結束。本月爲行壓條之適期。

三月

栽種桑秧。搜除桑樹害蟲。

四月

桑地除草。桑樹行接木法及壓條法。桑葉開始採摘。每採葉一次即施肥一次。

五月

採取種子行間拔法。桑地第二次耕耘及施肥。

六月

桑行清潔法。刪除繁枝以飼夏蠶。桑園間作綠肥。

七月

桑地割草除蟲。

八月

桑樹刪除繁枝。以飼秋蠶。

九月

春季育成之接木苗及壓條苗可掘取應用。搜除害蟲。預備桑園冬作。

十月

耕鋤桑園。整理桑枝。

十一月

冬季無積雪之地。應行秋耕。以促風化而滅害蟲。新設桑園上旬尙可栽種。

十二月

桑地行第四次耕鋤。第三次施肥。搬運苗木。貯藏苗木。(行假植法)

十二、植棉曆

一月

軋取淨棉。隨行包裝。

二月

揀選本年所用棉種。破碎土塊。堆積糞肥使其醱酵。

三月

反轉糞肥再行堆積。春耕兼耙耩。開浚棉地周圍水溝。

四月

整地破土塊使勻細。點穴。播種。施基肥。

五月

檢查棉子發芽狀況。及有無切根蟲丁種蟲蠅蟻等害蟲發生。行第一次勻苗。並第一次中耕除草。

六月

棉田行第二第三次勻苗。第二第三次第四次中耕及除草。施用補肥。調查蚜蟲捲葉蟲等肆害狀況。並驅除之。

七月

棉行第五次中耕除草。剪徒長枝。檢查分枝數。隨行摘心檢查幹枝花葉等生長狀況。並記載其發育時期。

八月

摘除旁芽。剪斷枝梢以定蒴數。檢查各株結蒴之數。檢查食質蟲之肆虐狀況。將被害之蒴摘歸燒燬。

九月

摘除晚花。第一第二次子棉收穫。在棉地中選留翌年自用之棉種。

十月

第三第四次子棉收穫。記載每斤子棉蒴數。檢查各種棉

蒴房數。採收棉株及棉蒴標本。採製棉膠及纖維標本。

十一月

第五次子棉收穫。摘回未開棉蒴。剝取棉絮。拔葉桿。利用廢料調製堆肥。着手秋耕兼施耙耩。

十二月

軋取淨棉。隨行包裝。購進次年需用肥料。統計子棉之總收量及每畝之收量。修理農具。

十二、治虫害曆

一月

一稻熱病。凡收穫後之有病葉桿切勿留存散置。務必儘先充薪材燒完以免傳染。二稻胡麻葉枯病。收穫後之有病葉桿應從速燒完。否則充作家畜飼料或用作厩肥。使其充分發酵腐敗。

二月

治蠶莖白微病方法。在發病前撒布七十二公升式波爾多液以預防之。並應拔除焚燬罹病作物。切勿漏落菜園。

三月

桑紫紋羽病。桑白紋羽病。桑管藥病。雨期及初夏最盛。輕者應將患部剝除。並塗抹石灰乳或柏油。茶餅病烟草赤星病。應撒布七十二公升式波爾多液。

四月

作物病害各種不同。一稻熱病。二稻胡麻葉枯病。三稻惡苗病。四稻苗腐敗病。五麥類黃銹病。六大麥及裸麥之裸黑穗病。七大麥及裸麥之堅黑穗病。八小麥裸黑穗病。九棉炭疽病。十棉角點病。防治方法第一選用無病種子。第二應用鹽水選種。第三注意施肥。第四種子消毒。第五拔除有病植物。

五月

作物病害各種不同。一小麥褐色銹病。二玉蜀黍黑穗病。三蜀黍粒黑穗病。四蠶藻菌核病。五落花生黑澀病。防治方法。第一選栽培抵抗性強之品種。第二種子消毒。第三撒布藥劑。第四拔除有病植物。第五實行輪栽。

六月

作物病害各種不同。一稻熱病。二稻胡麻葉枯病。三稻惡苗病。四稻苗腐敗病。五粟白髮病。六粟黑穗病。七大豆露菌病。八大豆炭疽病。防治方法注意選種施肥拔除有病植物。實行輪栽。

七月

見有稻熱病發生。應撒布七十二公升式波爾多液。又麥類黃銹病及小麥褐色銹病等之患病稻桿。在穗後務必儘先充耕材燒完。

八月

作物病害各種不同。一稻熱病。二麥銹病類。三玉蜀黍黑穗病。四大豆炭疽病。防治方法。一撒布藥劑。二被

害部份作物從速拔除。三燒燬有病麥稈。

九月

作物病害各種不同。一麥銹病。二玉蜀黍黑穗病。三茶餅病。四蠶藻菌核病。防治法注意選種實行輪栽。及撒布藥劑或焚燒被害植物麥稈。

十月

作物病害各種不同。一小麥裸黑穗病。二大麥及裸麥之裸黑穗病。又堅黑穗病。又斑葉病。三麥類赤澀病。防治法注意選種及實行輪栽。

十一月

作物病害各種不同。一小麥褐色銹病。二麥類黃銹病。三麥類白澀病。治法除選栽培抵抗性強之品種外。並注意施肥及播種期。

十二月

將稻熱病及稻胡麻葉枯病麥稈悉數焚燬。或用作堆肥充分發酵腐敗。以免傳染。

十四、治虫害曆

一月

一防治稻二化螟虫方法。甲儘先燒完麥稈。乙掘燬遺株。丙埋沒遺株。丁堆積糞塗。二稻三化螟虫刈稻後大都殘留於遺株中。故處理遺株更爲重要。三毀象常自陳米中傳播而來。倉庫應掃除清潔。方可儲入新米。四防除

桑尺蠖方法。將葉桿縛於桑枝。至翌年三月解除焚燬即可將幼虫殺死。

二月

防治稻二化螟虫及三化螟虫方法仍照一月份辦理。

三月

防治虫害辦法同前。惟桑尺蠖將縛於桑枝之葉桿。一一解除焚燬撲滅。

四月

本月氣候轉暖。二化螟虫已屆化蛹時期。上年稻草務於清明節以前燒完。或將葉堆所伏幼虫與蛹打落收燬。至防治麥叩頭蟲方法可用甘藷蘿蔔等物切片淺埋土中誘殺。又對於桑尺蠖可捕殺幼虫及保護寄生蜂。

五月

本月份稻二化螟虫開始化蛾。稻三化螟虫開始羽化。治法誘殺螟蛾。採除螟卵。保護卵寄生蜂及其他如青蛙燕子等有益動物。又稻浮塵子類及稻盛類可用網捕及注油滅除。稻螟蛉用燈誘殺。對於豌豆象虫應密閉容器。以防其飛出產卵。

六月

稻田採卵捕蛾。插秧後仍有螟蛾產卵。故須繼續採捕。如有枯折之稻即被螟害所致。應從速拔除。又穀象麥蛾。粟夜盜虫。桑螟。烟草螟蛉等害虫。並應設法捕殺。及散布毒劑以防治之。

七月

小暑後第二化之蛾又產卵於稻葉上端。必須覓得採去。並可用燈捕蛾。田間雜草刈除宜勤。以免螟虫潛匿其中。又有稻黑椿象。稻椿象。稻苞虫。麥蛾。大豆蚜金龜子。豌豆象虫。棉金剛等虫。防治方法一注油滅除。二散布烟草木灰混合劑。三撲殺幼蟲及卵子。

八月

採螟卵拔白穗。八九月之間稻正抽穗。倘受螟害即變白秀。宜乘早拔去。此時第三化之蛾又出產卵。仍宜兼行採卵捕蛾。又粟螟蠱豆莢青桑天牛茶枝尺蠖治法分別用撒布毒劑。採除卵子。焚燬葉桿。及清除雜草。

九月

稻至此時已屆收穫。改良刈割方法。將留地根株縮短。即低刈法。但對於溼田亦可用高刈法。將下部潮濕稻莖留待日後再刈。候其腐敗充作肥料。

十月

稻收穫後根株中匿蟲甚多。應即掘燬稻根。又桑尺蠖可用藥桿縛於桑株誘殺之。

十一月

掘燬遺株。

十二月

將發現蟲害稻田。用冬期灌水法浸沒遺株。時間至少在

四十日以上。對於桑介殼蟲可用藥劑防治之。

十五、其他

一月

確立一年中農事計劃。修葺道路及房屋。調製食糧選別種子。冬耕製肥料。修理農具。掘取河泥壅田。製造農產物。

二月

整理園圃溝渠道路等。製繩索草鞋及各種農用物。採薪燒炭。製造堆肥。行客土燒土法。

三月

來月需用肥料甚多。堆肥人糞灰等。須預爲設備。修理田岸及河堤。

四月

結束促成栽培各事。調製堆肥下肥。整理牆垣修浚溝渠。耕鋤苗田及施肥作畦。除草間拔等。鯉魚約來月上旬產卵。在本月下旬應放種鯉於南面溫暖之產卵地。

五月

鯉在本月上旬產卵最盛。產卵終時應移卵之附着物於孵化池。水田耕鋤施肥作畦。收穫麥類。調製油菜製茶驅除各作物之害蟲。

六月

採集螟卵焚燬之。製秋用堆肥調製麥與油菜。裝製各種果實之繭詰。整畦。並排除田地間滯水。

七月

本月稻田害蟲甚多。宜努力驅除。又刈取青草投入畜舍內。任牛馬踐踏。以作肥料。製造除蟲菊大麥麥藍等。

八月

蘆薈蕪菁牛蒡及禾穀類。豆菽類。蕪果類等之種子均宜選定。竹可採伐。稻田宜除害鳥並刈野草。製造堆肥調製蕎麥薄荷及各種果物等。

九月

刈取野草製造堆肥。以葉肉厚而多葉闊大柔軟腐敗迅速者爲最優。前月所收穀實。宜於本月內晒乾。山野諸草可以採收。

十月

製造堆肥。調製米穀。從事狩獵。注意作物之霜害。

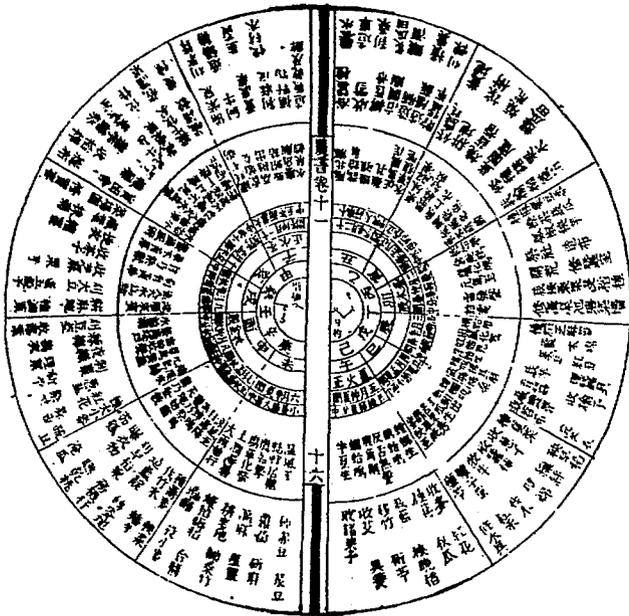
十一月

養鯉自本月起可放飼於水深之池中以越年。蔬菜類宜行寒中貯藏準備溫床及軟化室。開墾耕地整理排水灌水等溝之設備。耕作空地。葛根蕨根等採集製粉。

十二月

整理種子。修繕農具。貯藏穀類。調製收穫物。翻轉堆肥。製紙。燒炭。製糖。結草鞋。草繩。修葺屋用。

王氏農書授時圖說



授時圖示民耕桑時候之圖諺云
 雖有鐵基不如待時務農之家當
 家置一本考曆推圖以定種藝如
 指諸掌故亦名曰授時指掌活法
 之圖

詩云天地始一氣施生本相資用道以分利所貴在
 適時時既有盈縮氣因為盛衰盛氣忽已及頃刻不
 可遺奈何幽且遠彼庶難具知圖成僅盈尺備悉踰
 渾儀經星若循環四仲猶旋規人事自外明斗杓由
 中持昏且無爽度早晚有常期天人交際間表裏洞
 不疑作事誠有的厚生此其基活法非自古造妙誰
 管領字民當有要欲救寒與飢勿恣足規訓勸授無
 疑遲參贊得實用化育不吾欺千歲日可致灼灼如
 龜著領踏歸一圖總授為農師悠悠衣食原歉足皆
 由茲願言常諸蕃千里始壘蠶毋為自安者情棄徒
 傷悲

授時之說。始於堯典。自古有天文之官。重黎以上。其詳不可得聞。堯命羲和。歷象日月星辰。考四方之中星。定四時之仲月。南方朱鳥。七星之中殷仲春。則厥民析而東作之事起矣。以東方大火房星之中正仲夏。則厥民因而南訛之事興矣。以西方虛星之中殷仲秋。則厥民夷而西成之事舉矣。以北方昴星之中正仲冬。則厥民隤而朔易之事定矣。然所謂歷象之法。猶未詳也。舜在璿璣玉衡以齊七政。說者以爲天文器。後世言天之象。如落下闔鮮於妄人輩。述其遺制。營之度之。而作渾天儀。歷家推步。無越此器。然而未有圖也。蓋二十八宿。周天之度。十二辰。日月之會。二十四氣之推移。七十二候之遷變。如環之循。如輪之轉。農桑之節。以此占之。四時各有其務。十二月各有其宜。先時而種。則失之太早而不生。後時而蒞。則失之太晚而不成。故曰雖有智者。不能冬種而春收。農書天時之宜篇云。萬物因時授氣。因氣發生。時至氣至。生理因之。今人雷同。以正月爲始春。四月爲始夏。不知陰陽有消長。氣候有盈縮。冒昧以作事。其克有成者。幸而已矣。此圖之作。以交立春節爲正月。交立夏節爲四月。交立秋節爲七月。交立冬節爲十月。農事早晚。各疏於每月之下。星辰干支。別爲圖。使可運轉。北斗旋於中以爲準則。

魏頌唐農曆

每歲立春。斗杓建於寅方。日月會於鶯室。東井昏見於午。建星晨正於南。由此以往。積十日而爲旬。積三旬而爲月。積三月而爲時。積四時而成歲。一歲之中。月建相次。周而復始。氣候推遷。與日歷相爲體用。所以授民時而節農事。卽謂用天之道也。夫授時歷每歲一新。授時圖常行不易。非歷無以起圖。非圖無以行歷。表裏相參。轉運無停。渾天之儀。粲然具在是矣。然按月授時。特取天地南北之中氣。立作標準。以示中道。非膠柱鼓瑟之謂。若夫遠近寒暖之漸殊。正閏常變之或異。又當推測晷度。斟酌先後。庶幾人與天合。物乘風至。則生養之節不至差謬。此又圖之體用餘致也。不可不知。務農之家。當家置一本。考歷推圖以定種蒞。如指諸掌。故亦名曰授時指掌活法之圖。所有每月農事。分列於左。

正月 孟春陽曆二月立春節雨水

修農具糞地。耕地。嫁樹。燒苜蓿苗。燒荒。葺園廬。鰾瓜田。修種諸果子。栽檉柳。織箔。

二月 仲春陽曆三月鶯鶯節春分

種麻粟豆黍稷茶蔬瓜瓠椒秧手。祭社。造布。閉荒。修蠶室。栽接桑果。浸稻種。修溝渠池塘。築牆。

三月 季春陽曆四月清明節穀雨中

種稻。芝麻。麻。藍。木。棉。紅。豆。綠。豆。栽。芋。理。蠶。具。育。蠶。
收。榆。子。藏。藍。薺。栽。苕。苳。浣。冬。衣。犁。秧。田。

四月 孟夏陽曆五月立夏節小滿中

種夏菜秧早稻。收蔥子。練絲。收蠶種。繫綿。牧牛。
伐木斫竹擊子葦。耘瓜。種芋。修木具。移茄。包
梨。

五月 仲夏陽曆六月芒種節夏至中

收麥紅花。種蕪秋瓜。栽藍秧晚稻。移竹。研苧。收
艾。具蕪。收諸菜子。

六月 季夏陽曆七月小暑節大暑中

種赤豆綠豆蘆筍。研麻漚麻。壅葦。耕麥地。鋤桑竹。
燻稻蕪稻。合醬。造醋。獻小麥。

七月 孟秋陽曆八月立秋節處暑中

種蕎麥秧菜。(菜疑蒿字之譌)。伐竹木。蟠芋。造藍
靛。轉麥地。刈早稻粟。務機杼。曝衣物。曝乾桃茄
瓠。澆瓜。分蘗。刈草作澆。

八月 仲秋陽曆九月白露節秋分中

種大小麥豌豆紅花蒜薤葱韭。祭社。剝棗。斫芋。夜

織。理絮練棉搗衣。刈豆莢。收落葉。

九月 季秋陽曆十月寒露節霜降中

耕麻地。種油菜。刈大豆。選五穀子。收芝麻粟芋茶
子。授衣。糟葦。藏藥。採菊。築場圃。修蠶室。

十月 孟冬陽曆十一月立冬節小雪中

塞困倉。緝布。織履。收稻稈。壅。蠶。祭。泥
牛屋。糞蜜室。栽桑果。夜作。縱牛牧豕。藏諸果。
藏諸穀。種葦。糞膠。收炭。

十一月 仲冬陽曆十二月大雪節冬至中

備柴炭。刈茅葦。飼牛。造餛飩。糞葦菜韭黃。剝麻
皮。伐材木。捕野物。做酒藥。接雜木。夾包羅。食
芙蓉條。鋤油菜。

十二月 季冬陽曆一月小寒節大寒中

浴蠶種擊冰收雪。造車。縛苕蓆。剝桑。治園圃。食
瓜田。造脯。釀酒。造屠蘇。積葦。貯蠶草。刈棘。
造具。舂米。浸燈心。壓果木。添桑泥。噉牡丹土。
合臘藥。

農桑輯要歲用雜事

正月 陽曆二月

豎籬落。麥田。開荒。修蠶屋。織蠶箔。造桑機。造麻鞋。春米(此月人間)。築橋。

二月 陽曆三月

栽柳。舒蒲桃上架。解栗裹縛。去石榴裹縛。採桑蠶蛹。造醬(是月合爲中時)。收柴炭。造布。浣冬衣。

三月 陽曆四月

利溝瀆。葺垣牆。治屋室以待霖雨。脫擊移茄子。造酪(是月牛羊飽草好造也)。

四月 陽曆五月

收蔓菁芥蘿蔔等子。收乾棗子。鋤葱。收乾筍藏筍。此月伐木不蛀。修提防開水竅。整屋漏以備暴雨。

五月 陽曆六月

灰藏毛羽物。麀須人臥不臥則曬。箒掃。收蠶。種豌豆蜀芥胡葵子。

六月 陽曆七月

命女工織紉絹。收芥子(中秋後種)。收花藥子(便種)。收苜蓿。收槐花(曝乾)。研竹(此月及八月不蛀)。

漚麻。晒氈褥書裘。種小蒜(同七月)。蘿葡。

七月 陽曆八月

收梢子。浣故衣制新衣作夾衣以備始涼。刈蒿草。種蜀芥。分蘗瀝晚麻。耕菜地。收荷葉陰乾。拭漆器五。

月至此月盡經。雨後漆器圖畫箱篋須晒乾則不損。收瓜蒂。收葵子(同八月)。

八月 陽曆九月

收葱苳。收角蒿。收韭花。收胡桃。收棗開蜜。下旬造油衣。收油麻秫江豆。備冬衣。刈莞葦。

九月 陽曆十月

收豕(同十月)。收皂角。貯麻子油。採菊花。收木瓜。備冬藏凡蔓菁花蓼非翠脆美而不耐停。若旱園菜稍硬得停至二月。

十月 陽曆十一月

築垣牆墻北戶。縛薦。遮掩牛馬屋。收槐實梓實。收牛膝地黃。造牛衣。盤整蒲桃。包裹栗樹石榴樹不萌即凍死。收諸般穀種大小豆種。

十一月 陽曆十二月

貨薪柴薪絮。伐木取竹筒。造什物農具。折麻放麻。刈蒿棘。貯年支草於隙地至六月及秋霖時俱利倍。

十二月 陽曆一月

造車。貯雪水。收臘糟。糞地。刈棘屯牆。造農器。收羔種。收牛糞。

農桑衣食撮要節本

正月 陽曆二月

教牛 牛者。農之本。須當心提調。每日水草。不可失時。水牛夏間下水坑。不可觸熱。冬間要溫暖。切忌霜雪凍飢。家有一牛可代七人力。切宜愛惜保養。

嫁樹 以刀斧斑駁敲打樹身。則結實此謂之嫁樹。

移栽諸色果木樹 古人云移樹無時。莫教樹知。多留宿土記取南枝。宜寬深開掘。用少糞水和之。成泥漿。根無宿土者。栽於淤泥中候水吃定次日方用土覆蓋。根無得活。三四日後。方可用水澆灌。上半月移栽則多實。宜愛護。勿令搖動。

驕諸色果木樹 樹芽未生之時。於根旁掘土。須要寬深。尋纂心釘地根截去。留四邊亂根勿動。却用土覆蓋。築令實。則結果肥大勝插接者謂之驕樹。

栽桑樹 耕地宜熟。移栽時。行須用寬橫行闊八步長行相離四步。對栽桑行中間。可用牛耕。故田不廢桑不致荒二月內移栽亦可。臘月亦得。

移栽諸樹 自朔暨晦。可移松柏槐榆等樹二三月亦得。修桑 削去枝枯及低小亂枝條。根旁開掘。用糞土培壅與臘月同。此月不修理則葉生遲而薄。

種麻 古人云。十耕蘿蔔九耕麻。地要肥熟以灰拌種或

撒子。以灰土和糞草蓋密則細。疎則粗。布葉則剛。耘宜帶露。撒灰耘糞三兩次。二三月皆可種之。宜早不宜遲。

種茄匏冬瓜葫蘆黃瓜菜瓜 此月預先以糞和灰土以瓦盆盛。或桶盛貯。候發熱過。以瓜茄子插於灰中常以水澆之。日間朝日景夜間收於窰側暖處。候生甲時分種於肥地常以少糞水澆灌。土用低棚蓋之。待長茂帶土移栽則易活。社後亦可種之。

芋秧 先將園地鋤過一遍。又以新黃土覆在鋤過地上。即將芋芽向上密排種之。用草覆蓋候發出三四葉。約四五寸高於三月間移栽之。

修諸色果木樹 削去低小亂枝條。勿令分力結果自然肥大。

栽葱韭蘆 去冗鬚微曬乾疎行密排栽之宜雞糞培壅。種苦蕒蒿荳生菜芥 二三月皆可移種宜用愈過熟灰糞培壅之。

合小豆醬 小豆蒸爛冷定。團成餅。窰出黃衣穿掛當風處。至三四月內用黑豆或黃豆炒過。磨去皮。篩淨。黃熟。撈出。每小豆黃子一斗。熟豆一石。用鹽四十餘斤。拌勻搗爛入甕。每日攪動。曬過七日後。便可食用。合醬時斟酌豆黃用之。

修農具 築牆圍

開溝渠

修露屋

整屋漏

多栽諸般花草

織蠶箔

二月 陽曆三月

種舊種 宜熟耕地。打成畦。以舊糞撒於畦中。常用水澆灌候芽出時如法愛護。冬間附地割去。其窠用柴草薄蓋。以走火燒過。火大則傷根。糞草蓋至春。耙耨去糞草。用水澆灌。每一窠出芽數枝。留好者一枝。餘枝削去。至秋長五六尺。來春可移於熟地內。相對作大行寬栽之。

籤諸色果木 揀好嫩枝條籤於芋頭或蘿蔔頭上。栽易活。腦上用箬葉包之。若籤諸般花枝移頭亦可。

種黍稷 新開葦田爲上。一畝用子四升。春分前後宜用灰土和子種。頻鋤。三五窠作一叢。書曰黍心未生。雨灌其心。心傷無實。黍心初生。畏天寒。次日早用籬麻散塗長繩上令兩人對持於黍上牽拽抹去其露。則不傷黍。刈稔欲早黍欲晚。諺曰。稔青喉黍折頭。黍稔熟時炊飯。又可釀酒。搗碎蒸糕以備日用。春。後皆可種。

種椒 擇溼潤平地。深耕耙勻。取上年原埋地中椒子種之。用灰糞和細土覆蓋則易生來年依時分開。每株約離七八尺。地用麻和灰糞栽之。忌水浸根。三年後。換嫩

枝方結實。辟蛇。吃椒宜種香白芷或以髮纏樹根種生菜亦得。

種茶 宜斜坡陰地走水處。用糞與焦土種。每一園可用六七十粒。覆土厚一寸出時不要耘草。早以米泔澆常以小便糞水或蠶沙澆之。水浸根必死。三年後可採茶。相離二尺種一叢。

種西瓜 宜肥地種。掘地作坑如斗大。每坑納瓜子四枚多種則漫撒苗出後。根下壅作土盆。多鋤則饑子不鋤則無實。餘蔓花掐去。則瓜肥大。

種葫蘆黃瓜菜瓜冬瓜茄子 宜晴明日中種之。每日早。以少糞水澆灌。此月下旬栽。五月中旬結實。若三月種之已遲。

種藕蓮 取藕接頭時。就用帶草溼泥包裹却於池塘中栽之。或用糞酒餅頭上泥栽種。當年開花。種蓮子用堅黑者。於磚石上磨蓮子頭令皮薄則易生。取壅土作泥包裹蓮子在內。蓮子頭上作尖樣。約三指大。長二寸。底下務要平重。候泥乾時擲於池中。重頭沉下。自然周正。

摘茶 略蒸色小變。攤開攪氣。通用手揉。以竹箬燒烟。火氣焙乾。以箬葉收。諺云茶是草箬是實。

種蘿蔔菘菜 上旬撒種。三月中旬可食。宜肥地以熟糞澆。種蜀葵 院內路旁。牆畔種之。候花開盡。帶青宜收其

楷勿令枯槁水中瀝一二日。取皮作繩索用度。

插芙蓉 候芙蓉花開盡。青楷瀝過取皮可代麻纜。

種大神豆 宜疎種。用灰蓋。地要肥。頻澆灌。芽出。鋤去草。

壓桑條 溼土壓則條爛不生根。燥土壓之則易生根。

種紅花 種時欲雨。或漫撒或耬耨如種麻法。至五月收子便種。晚花。秋間八月種亦得。臘月亦可。

種豌豆 社前大麥根邊種之。以窸過灰糞勻蓋頻鋤。

種苕苔(即獨掃) 屋側路旁皆可種。嫩芽可做菜食。以草食以草繩束腰九月間刈取。以石壓匾收之。三月亦可種。

種銀杏 於肥地內用灰糞種之。候長成小樹。次年移栽時連土用草包。或麻繩束栽之。則易活。

種紫蘇 於瓜畦邊成行撒子。每叢長高。可以得兩利。種蘇子 於五穀地邊近道處種。收子打油燃燈甚明。

種蒲萄 預先於去年冬間截取藤枝旺者。約長三尺埋窖於熟糞內。候春間樹木萌芽發時取出。看其芽生。以藤籠蘿窩內。栽之。埋二尺在土中。則生根。留三五寸在土外。候苗長牽藤上架。根邊常以糞肉肥汁。放冷澆灌。

三日後以清水解之天色乾早輕鋤根邊土澆之。冬月用草包護。防霜凍損。二三月間。皆可插栽。

接諸般果木 熟地內打畦成行。用山桃子種芽出長成小樹。次年。分開相離二步栽一株。候二年。樹枝削去梢。

將桃李諸般果木接頭。削尖似馬耳尖樣。兩枝樹皮相合着。就用本色樹皮一片。長尺餘闊三分。纏所接樹枝用桑皮裹縛。以泥封之。輕攀枝梢埋於地內。用木鈎釘之。土培接頭上。用草標記以刺棘遮護。則易活。

腰接 驗其樹身大者。離地一尺。截作木砧。小者離地七八寸。截時須用細齒鋸截鋸。齒粗則傷樹皮。於砧相對側劈開。令深一寸每砧對接二枝。俱用兩樹皮相合。以黃泥封之。候活。待發出葉去一枝弱者。若接梨或林擒。宜杜樹砧上接之。若接栗子宜於。樸樹砧上插接之。

根接 附地截去劈開。接頭削尖插之。黃泥封固用糞壅以草標記。勿令他物動搖。頻澆水即活。

三月 陽曆四月

種大豆 宜上旬種。杏花盛。桑椹赤。夏至後二十日皆可種。肥地則宜疎。瘦地則宜密。纔出便耘。莢亦莢著則收。

犁秧田 其田須犁耙三四遍。用青草厚鋪於內。窸爛打平。方可撒種。爛草與灰糞一同則秧肥旺。

浸稻種 早稻清明節前浸。晚稻穀雨前後浸。其浸用稻草包裹每個每包一斗或斗五。投於池塘水內浸不用長流水。難得生芽。浸三四日。微見白芽。如鐵尖大。然後取出。担歸家。於陰處陰乾密撒於秧田內候八九日秧青。放水浸之。糯稻出芽較遲。可浸八九日。如前微見白

芽出時方可種。或於缸壺內用水浸數日。撈出以草蓋生芽。依前法撒種。候芒種前後插秧。

種粟穀 浸穀用臘雪水浸過。耐旱辟蟲傷。春種欲深夏種欲淺。凡種穀遇小雨。宜趁溼種大雨鋤一遍然後播種。鋤不厭頻。多鋤則不祧細而結實。熱則宜速刈。乾則宜速積。過熱則拋費。

種山藥 預先鋤地成坑壟。以芝麻糞鋪填。揀山藥上有白粒芒刺者。用竹刀切下一二寸。作一段相挨排臥種覆土五寸。早則澆。忌人糞。宜牛糞麻籽苗鋤耘。以竹木扶架。霜降後收子。種亦得立冬後。根邊四圍寬。掘深取則不碎。一名黃獨其味與山藥同。以茶豆殼麻糞腐草。或小便草鞋包種之。四畔用灰。則無蟲傷。

種香菜 常以洗魚水澆之。則香而茂。澆泥米泔尤佳。種芋子 宜近水肥地種。每窠根邊用盞過菘豆殼壅之。或用麻灰糞牛羊踏過爛草壅其周圍。則易長大。有草宜頻鋤之。早以水澆灌。人家園邊水側。皆可種。忽值飢年可接糧食用。

種籽麻 此月內於肥地內撒之。以草蓋。用盞沙壅。二年後移。疎行密栽。用灰糠拌之。寒露後收子。十月以後。用牛馬糞勻蓋其根。則免致凍死。

種林黍 種宜下地春月早種。收多。其子可食。糞穉可夾籬築。又作柴燒。城郭間——貨賣——得濟益也。

種藍 將平地耕熟下種。用鐵耙勻土用荻籬蓋之。每日早用水灑至生苗。去荻籬長至四寸高以熟肥地成畦打溝成行。每五寸地栽一窠。每日用水澆如地瘦則用薄糞水澆一三次。至七月間收割。揉藍取汁之方開載七月。

種靛 此月宜下種。比及種時。先於年前八九月間耕地一遍耙平。臘月間復耕地一遍。臨種時又耕一次。撒種後橫豎復耙三四次。生四五葉時即鋤後有草再鋤。至五月間收割刈打靛。

種菘 清明後三日封菘。立夏後蠶大食時出芽。未可移種。先用糞沙麻糞灰盞糞熟過。以大麥地上做壟。則四畔泥不流下每壟闊三尺。揀有芽者。一尺一窠斜種。坑內用灰糞蓋厚三寸。上用土一寸。以腐草蓋之。六月棚蓋或插蘆蔽日。東西爲坑。坑口種芋頭以遮日色。

種甜瓜 鹽水洗子。用盞過糞土種之。仍將洗子鹽水澆灌。候施秧時。搯去苦心。再用糞土壓根實。種莢筍苾菰 先掘地深用蘆席鋪填。排苾菰於上用泥覆水浸之。種莢筍不用蘆席止於水邊深栽之。

種紅豇豆白豇豆 穀雨前後種。六月收子便種。再生八月又收子。種芝麻 宜肥地內種。此月爲上時。每畝用子二升。上半月種者莢多。頻鋤草淨收刈。束欲小大則難乾。以五六束爲一束。斜倚之則不被風雨所倒。候口開抖下。依舊裝倚之。三日一次敲打。白者油多。四五月間亦可種之。

。又云胡麻。

種黑豆 種時熟耕起地平內握豆半抄行一步一撒。苗旺便鋤草淨爲佳。四月亦可種。其豆可作醬及馬料。稻稈可以作柴城郭中貨賣得濟。

種木綿 先將種子用水浸灰拌勻。候生芽。於糞地內每尺作一穴。種五七粒。候芽出時。稠者間去。止存旺苗二三稜。勤鋤。當時掐去苗尖。勿要苗長高若苗旺者則不結。至八月間收棉。

種茴香 收子陰乾。向陽掘地糞土和子種之。種麻一窠以遮日色。十月碾去枯梢。以糞土壅其根。

移茄子 帶花移易活。梅雨時插嫩枝。易生根葉鋤淨。鋤蒜 候苗高尺餘。頻鋤澆灌。拔去蒜。則結實肥大。

種枸杞 鋤肥熟地作平畦。紐草稈如臂大。(按原本作細草稈如臂大稈字無考博問錄載種枸杞法紐草稈如臂大說文稈東稈也今並據改正)鋪填於畦中以泥塗稈上然後種子用細土及半糞覆令勻。苗出頻澆之春間嫩芽莖可作菜食。

移石榴 葉未生時。用肥土於嫩枝條上以席草包裹束縛用水頻沃自然生。根葉全截下栽之。用石骨之類覆蓋則易活。或於盆器內栽亦得。

四月 陽曆五月

防露傷麥 但有沙霧。用縶麻散塗長繩上侵晨令兩人對持其繩。於麥上牽拽抹去沙霧則不傷麥。

斫梢皮 非此月而斫者。多致枯死。十二月斫者亦可。做筍乾 筍肉一百斤。用鹽五升。水一小桶候沸湧。拗取汁候乾。旋添汁煮熟。撈出壓之。或用手揉。在鍋隔夜則黑。熟曬則枯。一日曬乾則硬。不揉則不軟。臨食時取浸筍汁煮筍則有味。

煮新筍 以沸湯煮則易熟而脆味尤美。若舊者少入薄荷同煮。則不苦。與豬羊肉同煮不用薄荷。

收諸色菜子 斫倒就地曬打收之。用餅籠盛貯標記名號蟲不蛀皮貨 用堯花末搽之不蛀或以艾捲於皮貨內。放於藥中泥封其窠。或用花椒在內捲收亦得。

蟲不蛀氈毛物 用堯花末搽之或用角黃又名黃蒿。五月收角曬乾布撒。或毛物氈內。捲收之。則不蛀。

收杏子 杏熟時。收核。至秋冬間。敲取仁。揀去山杏仁及雙仁有毒者。去尖皮。惟取極細。收貯食用。

造醋 罨子半勺鍋內炒過後。傾餘罨。熬數十沸。盛於罐中。候溫用舊醋少許於罨子內攪勻。以紙封罐口冬月暖處夏月涼處晒放則成醋。

五月 陽曆六月

嫁寮 用斧於樹上斑駁敲打遍。則結實肥大味美。插稻秧 芒種前後插之拔秧時輕手拔出。就水洗根去泥。

。約八九十根作一小束。却於壅熟水田內插栽。每四五根爲一叢。約離五六寸插一叢。脚不宜頻那。舒手只插六叢。却那一遍再插六叢。再那一遍逐旋插去。務要窠

行整直。

斫桑 斫桑不可留犄角。比及夏至開幅根下可用糞或蠶沙壅壅。此時不斫則枝條來春不旺。

收權 棧子熟時摘取以水淘過。略晒乾便種同二月法。或畦種之便生。即時多收棧子以待來春種尤佳。收貯勿近溼壁牆邊則過損不生。

權桃李梅核 宜和肉肥地內種。來年成小樹帶土移栽。移竹 可用馬糞或糞泥做漿栽之。切忌用脚踏推打。則次年便出筍。

刈紵麻 看根赤便刈。刈畢宜用蠶沙麻糞糞或糞壅之盛旺。於此月刈一鎌。六月半刈一鎌。八月半刈一鎌。隨即用竹刀從梢分批開剝。下皮以刀割去。白麩浮上。粗皮自然脫去。縛作小束。搭於房上。夜間得露水露之。則麻潔白。

收小麥 麥半黃時趁天晴着緊收刈。過熟則拋費。每日至晚載上場堆積。農家忙併。無似蠶麥。若遲慢遇雨。多爲災傷又秋田苗稼亦誤鋤治。

收紅花 侵晨採花微擣細去黃汁。用青蒿覆蓋一宿。捻成薄餅子。曬乾收之。勿近溼牆壁則過損。

種夏蘿蔔紫菜 上旬撒子。用灰糞蓋頻澆灌。六月中旬可食。

壅田 以青草踏於泥內則地肥秧窠旺。與灰糞同。收豌豆 諸豆之中豌豆耐陳。收多熟早如近城郭摘豆角

質先可變物。舊時農莊往往獻此豆以爲嘗新。蓋一歲之中。實其先也。

刈靛 夏至前後看葉上有皺紋。方可收刈。每五十斤用石灰一斤。於大缸內水浸。次日變黃色。去梗用水耙打轉。粉青色變過至紫變花色然後取清水成靛。種靛之方。先於三月中共載。

造酥酒 以甯盛於桶內或甕中。安置近屋柱邊。可將竹篾或桑條作二小圈。或用二小木板別作一木。鑽下釘圓板。一半放置桶中。一半套於上下圈內。却於兩圈中間木鑽上。以皮條或繩子纏兩遭。爾手牽拽鑽之。令轉生沫。傾於涼水中凝定。候緊得多却於慢火燒過。去浮上焦沫即成好酥。

晒乾酪 將好酪於鍋內慢火熬令稠。去其潛水。攤於板上。晒成小塊。候極乾收貯。切忌生水溼器。

六月 陽曆七月

合醬法 用豆一石炒熟磨去皮。糞軟撈出。用白麵六十斤就熟搜麵勻於案上。以箸葉鋪攤開。約二指厚。候冷用楮葉盛。蒼耳葉搭蓋發出黃衣爲度。去葉涼一日。次日晒乾籜淨擗碎。約量用鹽四十斤。無根水二担。或稀者用白麵炒熟。候冷和於醬內。若稠者用甘草同鹽煎水。候冷添之。加蒔蘿茴香香草葱椒物件其味香美。做麥醋 大麥一石。或三五斗。炒過取一半細碎取一半完全。先以細碎者浸一宿。次日蒸成飯。用楮葉蓋蓋成

黃子。七日後以完全者浸一宿。炊成飯。以炊湯半錢候溫。將黃子同釀密封。蓋如不密封則生蟲。過七日後則成醋廿七日後出頭鍋。醋煮過收貯。二糟有味再釀之。做老米醋 將陳倉杭米三斗或五斗淘淨。水浸七日每日換水一遍。七日後蒸熟候飯冷。於席箔上攤開。以稻草蓋復發黃衣遍。晒乾臨下時簸淨。每黃子用一斗水斗。入甕內又用紅麴一合。溫水泡下。將甕口封閉二十日看一遍。候白衣面墜下或白衣不下澄以味酸爲度。去白衣將醋鍋內熬一沸。又炒鹽少許候冷。用潔淨餅甕收貯。以泥封之。可留一二年。

做米醋 用剃穀三斗每日換水。浸七日蒸熟。攤開盒成黃子。曝晒乾極。三伏內以糲糯米一斗五升。水略浸蒸熟。候冷以穀糲搗碎拌和蒸熟糯米。缸底先用麥子數莖。然後入缸內用水五升。上又用麥子數莖以米糠蓋之。密糊封閉一月。然後取出用烏梅數個。鹽少許同內餅內。糞數沸泥封收貯。切忌生水濕器盛頓。

做蓮花醋 白麵一斤。蓮花三朵搗細。水和成團。用紙包裹掛於當風處。一月後取出。以糲米一斗水浸一宿。蒸熟。用水一斗釀之。用紙七層密封定。每層寫七日子。遇七日揭去一層。至四十九日然後開封取出。煎數沸收貯。如二糟有味用濃水再釀。儘有日用。忌生水濕收貯。

做豆豉 大黑豆淘淨煮熟。瀝出篩麵拌勻。攤於席上。

放冷用榨葉盒成黃子候黃衣上遍。曝乾用瓜茄切片。二件每一斤用淨鹽一兩。人生薑橘皮紫蘇葶蘿小椒甘草切碎。同拌一宿。次日將豆黃簾去黃衣同入甕內用原汁勻拌上用箬葉蓋覆。甕石壓定紙泥密封。曬半月後可開取豆。瓜茄晒乾略蒸氣透再晒收貯。

造豉豆 麥麩不限多少以水勻拌熱蒸出。放溫蒿艾盒出黃衣晒乾以水勻拌帶潤却入缸甕實捺定倒合庭中地上。以少灰圍之。七日外去出攤晒若顏色未深又拌。依前法色好爲度。色黑又添入鹽。捺入泥封至冬取食溫暖。醫腫瓜茄 新摘瓜茄鹽醃二三日。於醬內醃之。則肥美。

耕麥地 此月初旬四五更時。乘露水未乾陽氣在下宜耕之。牛得其涼。耕過地內。種種菜豆侯七月間墾翻豆秧入地勝如用糞則麥苗易茂。

收椒 中伏後遇天色晴明。帶露收。陰一日之後。晒三日。則紅而裂。遇雨薄攤當風處頻翻。若愈則黑又不香。仍收椒子。用乾土和拌攪勻埋於避雨水地內。約深一尺勿令之水浸。生芽至來年二月內取出。於肥深耕依前法種之。

種菜豆 立秋前宜刈了。麻地上種太旱不生角。

刈麻 麻稈上生白霜（按稈字無考羣芳譜引此條云麻桿上去白膩時使刈此霜字應作膩字）時即刈攤宜薄東宜小澆宜清水。生熟要浸。宜帶骨麻一斤可取皮四兩。

耘稻 稻苗旺時放去水乾將亂草用脚踏入泥中。則四畔潔淨用灰糞麻札相和。撒入田內晒四五日土氣乾時放水淺浸稻秧謂之厚田。此月正宜加力。六月一次七月一次依上耘。

晒小麥 宜三伏日晒極乾。方收。用蒼耳辣蓼同收之。種蘿蔔 宜肥地撒種沙地尤效瘦地用糞作壟種。帶露耙地。則生虫鋤不厭頻苗稠則小拔令稀則肥大霜降後或醃或藏窖皆可。

七月 陽曆八月

種胡蘿蔔 宜於伏內畦種。或肥地浸種頻澆灌則肥大。種晚瓜 諸般瓜子。於肥地內種則瓜肥大。可以糟藏。收紫草 用火燒其根陰乾。用草包收掛之。則葉不落。種菠菜 用水拌子。浸二三日看殼軟撈出捏乾。就地以盆合蓋。候生芽宜肥地虛土內種之則茂。做葫蘆茄乾 茄切片。葫蘆茄子削條。晒乾收。依做乾菜法。取漆 以斧砍破其皮。用竹管承之。滴下則成漆。

八月 陽曆九月

種大麥小麥 田宜熟耕犁。古人云。無灰不種麥。以灰糞勻拌密種之。防霧傷種 穢熟着霧則多損。用麻散懸於樹枝上則可辟霧氣。或用稻稈於樹上四散紮縛亦得。糟菴 社前取蘆。用布擦去皮。每一斤。用鹽一兩。購

糟一升醃藏。用乾淨罈盛頓。忌生水罈器。

種葱子 上旬治畦。用灰糞勻細撒子。來年三月移栽。分韭菜 韭根多年交結。則不茂。別作畦分栽摘去老根。微留嫩根栽之。用雞糞壅。或乾豬糞亦可。

種雞頭 秋間子熟時收取壁子。散於袍內。來年自生。種菱 秋間菱角黑時。收取撒在池中則自然生之。種蒜 宜熟地耕三次以耨耨成溝。二寸一葉。種之。候苗出時。不厭頻。常令根旁潔淨須要鋤地令虛。以糞水澆灌。則瓣肥大。不然則瘦小。

放芋根 此月芋苗正旺。鋤開根邊土。却上別泥及罈稈葉則力回。芋頭與子肥大。不然苗盛芋小。

栽木瓜 秋社前後移栽之。次年便結子。勝如春間栽。壓枝亦生。栽種與桃李法同。霜降後摘取。收柿漆 每柿子一升搗碎用水半升。釀四五時。榨取漆令乾。漆水再取亦得。可以供做蠟者用度。鋤竹園 以稻糠或麥糠壅。不可雜用。或添河泥蓋之。收鴨鴨蛋 水鄉居者宜養之。雌鴨無雄。若足其豆麥肥飽則生卵。可以供廚。甚濟食用。又可以醃藏。

九月 陽曆十月

寒露收茶子 絞麻子。熟時收子晒乾。以溼沙拌勻。篋內盛貯。用草蓋覆。凍損則不生。候來年二月間。依法種之。栽諸般冬菜 栽時每窠根下。須用熟糞移栽並在寒露前

刈紫草 子熟即刈之。晒乾打子。濕則沤。耙糞要整理。收草宜速遇雨則損每一小束茅草束之。當日斬齊一頓一倒。十層堆塚平地上。以板石莊令區於屋下陰涼處。棚上頓放。勿令烟熏。

收芝麻桿 芝麻桿收入米倉內。則米不蛀。乾晒可點火。

收粟粟 和穀收。內沙釘內盛。額種時揀大粟埋屋簷下用糖沙蓋。石壓之二月。移以芽向下栽之。

收茄種 熟時摘取擊破水淘子取沉者。晒令乾收之。

收諸色豆桿 冬間可喂牛馬。損爛者留以種芋頭山藥。收五穀種 揀擇好穗刈之。晒乾打下簸去浮秕。以穰草裹收勿貯器中。亦不得近牆壁濕及恐過損。

種油菜 宜肥地種之以水頻澆灌。十月種則無根脚。種芥菜 取紫青白芥菜。切細。於沸湯內灼過帶湯撈於盆內與生蒿荳同。熟油芥花或芝麻白鹽約量拌勻按於甕內熟則攪動按下待二三日變黃色可食至春間味不變十月亦可種。

醃藏諸般菜 葱韭胡荽冬瓜茄子胡蘿蔔。等菜可依時候醃藏忌生水濕器收貯。

收雞種 霜降時收者為良。形小毛淺脚細。短者佳小雞出時宜餵乾飯若餵溼飯則臍生濃而死燒柳柴其烟損雞大者盲目小者多死。餵小麥飯則大有病滋青油則愈勿令失

其時。

十月 陽曆十一月

醃蘿蔔 蘿蔔不論多少削去根鬚淨。先以鹽擦之。放於甕內。醃五六日下水時復攪勻一月後可食。用一二醬梨則香脆。春間有食不盡者就以鹵水將蘿蔔煮透捏乾。入醬或切作細條晒乾收起。候臨食之時熱湯浸透炒食味美。

醃鹽菜 白菜削去根及黃老葉洗淨晒乾。每菜十斤鹽十兩。用甘草數莖放在潔淨甕盛。將鹽撒入菜內。排頓甕中。入蔞蘿少許以手實捺。至半甕再入甘草數莖。候滿甕用磚石壓定。醃三日後將菜倒過拋出鹵水。於乾淨器內另放。將鹵水澆菜內。候七日依前法再倒。用新汲水滄浸。仍用磚石壓之。其菜味美香脆。若至春間食不盡者於沸湯內灼過晒乾收貯。夏間將菜溫水浸過壓水盡。入香油勻拌以鹽極盛頓飯上蒸之。其味尤美。

收若蓮菜 此月地將凍。宜於暖處藏窖。來春可栽種。收冬瓜 宜地面高燥處安頓忌鹽醋掃帚貓犬帶彎曲貼肉是醃者可做種來年春間依法種之。

醃收諸色果子 以新瓦甕和沙拌密封蓋收之。或芝麻亦得。

糞貯麻 宜用牛馬糞或厩泥糞糞之類免致凍死根。耘麥 麥地內有草鋤去尤佳。不耘鋤者其麥少收。包裹木瓜石榴諸般等樹 以穀草或稻草將樹身包裹。用

草繩或纒麻給定泥封。以糞肥培壟其根。免致霜雪凍損。

割蜜 天氣漸寒百花已盡。宜開蜂窠後門。用艾燒烟微熏。其蜂自然飛向前去。若怕蜜蜂蜇。用薄花葉嚼細塗在手面上。其蜂自然不蜇。或用紗帛蒙頭及身上截。或用皮五指套手尤妙。約量存蜜自冬至吞其蜂食之餘者。揀大蜜脾。用利刀割下却封其窠。將蜜脾用新生布紐淨。不見火者爲白沙蜜。見火者爲紫蜜。入甕盛頓。却將紐下蜜粗入鍋內慢火煎熬。候融化拗出粗再熬。預先安排錫鏟或盆瓦各盛冷水。次傾蠟汁在內。擬定自成黃蠟。以粗內蠟盡爲度。要知其年收蜜多寡則看當年雨水如何。若雨水調勻。花木茂盛其蜜必多。若雨水少花木稀。其蜜必少或蜜不敷蜜蜂食用宜以草鷄或一隻或二隻。退毛不用肚腸。懸掛窠內。其蜂自然食之又力倍常。至來春二月間。開其封視之止存鷄骨而已。

收豬糞 取短喙無柔毛者良。(喙音穢。俗稱芥)一廂有三牙者難留難肥。小時餵糟不長。豬瘧病灌以蛋梔。或斷牛尖啖。以水草菘豆。或灌米泔。或灌鹽水即愈。造牛衣 將篋草間蘆花。如織篋衣法上用篋草結綫。則利水下用蘆花結綫。則溫暖。相連織成四方一片。遇極寒鼻流涕腰酸無力。將篋衣搭在牛脊背。用麻繩綫繫可以蔽寒。免致凍損。

泥飾牛馬屋 天色晴明。修補屋漏。又泥飾牆壁。預備

魏頌唐農曆

雨雪。

十一月 陽曆十二月

壅椒 宜用焦土乾糞培壅。與草蓋。免致凍死。類以水澆灌。北物乃陽中之樹。所以不耐寒凍也。

種松杉檜柏等樹 自冬至後至春社前。皆可種之。則易得生活。

鋤油菜 鋤淨加糞壅其根。此月不培壅來年無根脚。試穀種 冬至日平量五穀。種各一升。用布囊盛頓於北牆陰下埋之。於冬至後十五日又云四十九日取出。平量

息最多者來歲好收。宜多種之。

鹽鴨子 自冬至清明前。每一百個用鹽十兩灰三升。米飯調成團。收乾甕內可留至夏間食。

收牛糞 多收堆聚。春暖踏成整壞於蠶房內燒宜蠶。修池塘 宜於農隙之時填補壩岸令高。中間要挑掘令深。則聚水寬廣可以防備乾旱。澆灌田禾。

十二月 陽曆一月

栽桑 掘坑深闊約二小尺。却於坑畔取土糞和或泥漿將桑根埋定。再用糞土培壅。微將桑栽。向上提起則根舒暢。復用土壅與地平。次日築實。切不可動搖。其桑加倍榮壯勝如春栽。

修桑 削去小枝葉。則枝條茂盛去其枯枝則不荒。

種蒜麻 宜壅熟肥地與正二月種者同。

伐竹木 此月伐竹木則不蛀而堅。與七月間砍者同。

收露水 雪者天地之氣五爻之精。浸諸色種子。耐旱不生蟲。淋猪清治小兒癩疹。調蛤粉治癩子。

造油 臘月所榨清油。收貯蠶房內點燈諸蟲不入。熬膏

藥大有神效。婦人搽頭黑光。更無齒巖。

收臘醪渾頭(醉音教) 乾糟用鹽水拌捺實泥封。則香。

帶酒則酸不香。醪不渾頭晒乾爲細末。用淨鹽拌勻。捺

入甕中晒旬日間。自然成醬。其味甘美。並無蠅蟲。

收豬肪脂 背陰處懸掛。能治諸般瘡疥。敷湯火瘡。及

六畜瘡疥。去蛆蠅熟諸般皮條不爛。加倍壯韌。

臘肉 肉一斤。鹽一兩半擦之。擦參入鹽。壓五六日入酒糟或濁酒翻轉。再壓五日。背陰處亮乾。若生白霉。以泥封一宿。竟如故黑豆中藏可過夏月。

收羊種 臘月生者良。正月亦好。春夏早放早收。若收映遇熱必汗出有塵土入毛內。卽生瘡疥。秋冬晚放。若放早吃露水草口內生瘡。又鼻生膿久在泥中則生癩蹄。性好鹽。常以鹽啖爲妙。若有疥便宜間去。則免致相染。

沈氏農書逐月事宜

正月立春雨水 陽曆二月

天晴 墾田。種桑秧。理菜麥溝。倒芋芳田。倒地。下地壅。簍泥。修桑。澆菜麥。刮蠟。

陰雨 修桑。刮蠟。簍泥。簍田泥。撒蠶沙。載壅。劈柴。編蠶簾蠶簀。秧界繩。

雜作 治畦坂。修路。

置備 打鐵扒拗頭桑剪。買糞。買柴炭。買囊衣箬帽杖蒲。買糖燒酒。豆泥角直糶。

二月驚蟄春分 陽曆三月

天晴 倒地。刮蠟。下菜壅。倒田。澆桑秧。揪溝。簍泥。利溝。倒秧田。

陰雨 修桑。刮蠟。修圩岸。劈柴。椿地攤。作勝修淡。揪溝。澆泥。載糞。鋤車屎。簍田泥。捆桑繩。架山繩。撒柴。

雜作 接桑樹果樹。看出厝蛙。下荀子瓜子。下麥種沉蠟子。取足修船之用。

置備 喚剪桑工。修筐簍。換炭。買芥菜鹽。買糊箔紙。買小鴨。繅蠶蠟入池。雇忙月。

三月清明穀雨 陽曆四月

魏頌唐農曆

天晴 刮地。沈梅豆。倒田排芋種。澆桑秧。墾花草田。簍泥。

陰雨 窆花草。作秧田。刮二蠟。載壅劈柴。簍田泥。把桑繩。鋤車屎。

雜作 雇匠作車屏鶴膝。前此日短以後工忙。雇匠修蠶具。絲車車伏。修釘麥芋菱。種種菱。種瓜豆荀秧。捉蛀蟲。浸穀種。

置備 買茶葉。醃芥菜。買水杭。

四月立夏小滿 陽曆五月

天晴 刮地。謝桑。砍菜麥。種茄秧。倒地。倒花草田。壓桑秧。刮豆板。沈晚頭。載桑澆桑秧。看三蠟。帶露種芋苧。剪桑。

陰雨 看三蠟。窆蠶沙梗。窆梅豆梅。割麥。折麥輪。下田。雨後看地溝桑秧。

雜作 架瓜豆棚。澆瓜茄豆荀秧。沈赤豆。置備 買糞謝桑。買牛壅。潯陰溝過蠶修路。買蒜苗。醃青菜。買繭黃。捉漏過蠶。買蠶蟻入地。

五月芒種夏至 陽曆六月

天晴 刮地。澆桑秧。澆瓜豆茄秧。

陰雨 拔地草。挑草泥。砍地攤膝脚。下田。雜作 打菜油。拔桑附枝。置備 買蒜。醋蒜。買麻布。繅大麥。熏楊梅。醃梅子。

六月小暑大暑 陽曆七月

天晴 刮地。拔梅豆。伏內倒種菜地。鋤田。捏頭煨。

陰雨 下田。

雜作 種晚豆。收藏蠶豆梅豆並大小麥種。砍黃麻。

置備 發枯葉定錢。買勒魚入槽。作瓜茄乾。合醬油。

七月立秋處暑 陽曆八月

天晴 刮地。盪田。芸田。修桑。捏二墳。把桑。

陰雨 下田。修桑。把桑。捏墳。載糞。

雜作 下接力。下麥種。下紅蘿茄子早菜秧。合蠶殼。

種葱。

置備 上路買羊草。

八月白露秋分 陽曆九月

天晴 刮地。作泥磚。種菜。撒菜秧。備泥。翻紅蘿葡

。刮河泥。倒地。下白蘿茄子。下地壅。

陰雨 備地壅泥。絞篙竿。押簾繩。糞桶細研地攤蘆草

雜作 捉蛙蟲。修船。抹車油。翻千年之根。治地攤蠶

豆。線鷄。撒花草子。接桃樹。

置備 繙桂花。買篙竿稻扛。合酒麴。醃菱毋。買辣火

。買稻缺鋒刀篩匾。買菜鹽。

九月寒露霜降 陽曆十月

天晴 墾地。收早種。勸葉。治蠶豆。備泥。墾麥埆。

陰雨 備泥作稻地。挑泥磚到家。打稻把載糞押林糞繩

索。

雜作 捉蛙蟲。修竹。鋤竹地。伏蠶蛋。作絮挑稻稈泥

置備 買菜莢。買絮骨。買牛糞。備白。糟茄莖。烘青

豆。

十月立冬小雪 陽曆十一月

天晴 砸稻。墾麥埆。墾地。晒穀。澆菜葡。治麥澆麥

。陰雨 禮稻。備泥。砸蘆。作米。縛圃。繩索。

雜作 拔晚豆赤荳。種青菜芥菜。藏芋種。採麥收種。

起魚殼。

置備 買牛糞。買枯葉。作十月白酒。山裏買草柴。各

鎮訪租審。作蘿葡菜乾。

十一月大雪冬至 陽曆十二月

天晴 墾地。墾菜埆種菜。晒穀。提麥溝菜溝。備泥。

種大小麥秧。

陰雨 提溝。種菜。備泥。斫羊竿。刮頭煨。截桑傀儡

。作米。打米。載糞。繩索。縛圃。

雜作 收藏種殼。載羊葉。挑稻稈泥。

置備 繙籬穰。買香橙。繙穰。作風魚火腿。繙白菜。

訪租審。踏鹽齋菜。買蟹。糖醬。

十二月小寒大寒 陽曆一月

天晴 下地墾。墾板田。澆菜。鑄泥。刮頭嶺。墾了田
菜麥田中剩下者。
陰雨 鑄泥。刮嶺修桑。載墾。打米。繩索。鑄泥羊竿
埤。

雜作 備斫樹枝。削地攤腿脚候春另作。編籬笆。車地
潭。
置備 買榆樹。買鹽。買好酒。換糞。作醋。買鹽柴
。買過地久秧。買鹽豬油。

授時通考農事曆

一月

栽種 宜橘松花樹麥。宜臘日臘麻。

收藏 宜臘米臘水臘酒臘肉臘葱。風魚肺。臘臘糟豬脂

冰。

雜事 宜造農具春粉浸米可止瀉痢。浸燈心。剝桑。壓

果木。添桑泥。墩牡丹土。合臘藥掃以豬脂。嚼馬腦

水作麵糊裱背。不蛀。伐竹木。

二月

下子 宜茄瓜葱苡諸般花子葫蘆匏。

扦插 宜楊柳石榴梔子。

栽種 宜松桑榆柳葦葱葵菲麻胡桃榛子松子杏子椒牛蒡

子菠菜竹雜樹木木棉花苦蕒山藥冬瓜王瓜葛苣生菜四

月芥苳芋。

接換 宜梨子林擒葡萄栗梅桃李。(以上並雨後)

澆培 宜石榴梨子海棠栗棗柿梅桃李林擒胡桃。(以上

並下旬)

收藏 宜無灰臘糟。蒸臘酒。合小豆醬。

雜事 宜接諸般花木果樹。移諸般花木果樹。墾瓜地。

修諸色果木。修接桑樹。關諸色樹木。(關與嫁同)

三月

下子 宜麻子紅花山藥白扁豆桑種。

扦插 宜蒲桃石榴。

栽種 宜槐穀楮栗松銀杏棗皂莢菊茶種木瓜桐樹決明百

合胡麻畫精木槿茨菰甘蔗雜菜藕芋(宜雨多)竹茄瓜

寬枸杞葦草蒼朮莖蕉葛薯紫蘇烏豆豌豆菜荳蕒夏蘿菊

苳帶大葫蘆慈菜大婢豆。

壓條 宜桑條。

接換 宜柑橘柿棗橙柚杏栗桃梅梨李胡桃銀杏楊梅枇杷

沙柑石榴紫丁香。(以上春分前後皆可)

澆培 宜柑橘橙柚蒲萄。

收藏 宜百合曲槐牙皂角新茶。

雜事 宜移諸般花果。(忌南風)理蠶事。春耕宜遲。

恐陽氣未透。插諸色樹木。解樹上裏縛。

四月

栽種 宜菜豆茶粟穀大豆秫秫榴松百合山藥黃瓜紫草紅

花甘蔗麥早芝麻雞頭絲瓜兒菱菜蕓香菜早稻地黃梔子

藍紫蘇葵白芋棉花香瓠子菠菜葫蘆菜藕菜種紵麻。

收藏 宜芥菜桐花清明醋次茶。

移植 宜桐茄秋枸杞苗百合柚橘橙柑蒲。

接換 宜楊梅橙柑棗栗枇杷柿。

雜事 宜墾秧田。梅上接杏。杏上接梅。收菌開溝。修

牆防雨。浸穀種。

五月

下子 宜芝麻。

扦插 宜桐子。

栽種 宜桐松大豆紫蘇麻晚黃瓜葵蓮菜豆白苧荷根柘子批杷。

收藏 宜絲棉大麥乾菘蒿芥鹽春菜蘿蔔子筍乾芋魁蠶豆甜菜乾晚菜乾。

雜事 宜晒白菜。移茄。包梨。鋤葱芋。斫竹。

六月

下子 宜夏菘菜夏蘿蔔。

栽種 宜插稻秧晚大豆晚紅花香菜。

收藏 宜豆醬烏梅鹹豆木棉菜子蠶種豌豆紅花白酒芝麻

槐花小麥大蒜藍青椹子蘿蔔子。

雜事 宜斫芋埋桃杏李梅核在半蔕內。尖向上易出。浸蠶種。斫桑。芒種後壬日入梅。梅日種草無不活者。

七月

扦插 宜楊柳。

栽種 宜小蒜冬葱油麻(宜上旬)白蠶秋葵葵菜林擒(

蘋果) 蘿蔔菜豆胡蘿蔔晚瓜蔓菁。

收藏 宜米麥醋。三黃醋。豆豉。醬瓜。瓜乾。割藤紫

草綿絲蘿蔔栝實白朮雨衣麻皮糖(宜伏中)七寶瓜酒

藥魚槐花二麥椒。

雜事 宜洗甘蔗。鋤竹園地。染水藍。培灌橙橘。斫柴

做冰梅。打炭壘。打蔴壘。耕麥地。耘稻鋤芋。是月

飯不饒法。用生寬菜薄鋪在上。蓋之過夜則不致饒壞

八月

栽種 宜蕎麥蒿菜葱首宿蘿蔔菠菜赤豆莖菜莖菁早菜冬

菜芥菜。

收藏 宜採松子。割藍。米醋。鹹豉茄。乾瓜。乾瓜種

瓜帶紫蘇地黃角蒿花桐荆芥松柏子。糟茄糟瓜。醬瓜

。荷葉楮子。芙蓉葉。治腫。

雜事 宜斫伐竹木。分蘗剝棗。刈草作澱。耕菜地。秋

耕宜早。恐霜後掩入陰氣。收黃葵花(治湯火傷)晒

九月

栽種 宜大蒜寒豆苦蕒芋麻蔓菁諸般菜葱子大麥牡丹芍

藥分韭根芥子麗春小麥葵壘芋根木瓜花椒。

移植 宜早梅橙橘枇杷牡丹。

收藏 宜醋灌茄醬茄乾糟茄蕪子醃韭晚黃瓜地黃酒芝麻

栗子柿子韭花柿漆斫竹。

雜事 宜踏麩。鋤竹園地。是月防霧傷棗。棗熟着霧則

多損。蠶麻散給於樹枝上。則可辟霧氣。或用糞穉於

樹上四散給縛亦得。

十月

栽種 宜椒菊菜黃地黃蠶豆牡丹水仙柿蒜薑草芥菜宿麥

芍藥諸般冬菜。

分栽 宜櫻桃桃梅。

移植 宜枇杷橙雜果木。

收藏 宜粟諸色豆稈五穀種油麻甘蔗梔子紫蘇木瓜韭子

牛蒡子冬瓜子菘豆茄種茶子枸杞榧子皂角黃菊槐子蟹

殼（治產後兒枕痛）紫草子。

雜事 宜掘蓬出土。草包石榴。橘粟葡萄。採菊築牆圍

。斫竹木。斫芋。收雞種。

十一月

栽種 宜大小豆春菜生薑蘿蔔。

移植 宜橙柑橘。

收藏 宜地黃薯蓬菜天蘿子茶子橘皮天豆粟子蕙苒椒冬

瓜子芙蓉條石橘蘿蔔山藥枸杞皂角芋。

雜事 宜移葵。接花果。澆灌花木。穫稻納禾稼。開磚

窠膠。收炭。造牛衣。修飭牛馬屋。塞北戶。收二桑

葉。曬苧麻。耘麥地。收豬種。壓桑泥。

十二月

栽種 宜小麥油菜葛苴桑。

移植 宜松柏檜。

澆培 宜石榴榧橘橙柚梨栗棗柿。

收藏 宜鹽水蘿蔔牛蒡子豆餅水果子鹽菜。

雜事 宜做酒藥。接雜木。造農具。夾笆籬。澆菜。伐

木斫竹。打豆油。置碎草牛脚下。春糞田。盆芙蓉條

。試穀種。鋤油菜。

治家略農事月令

正月 孟春陽曆二月

修田器。(如竹簞耒耜及茶籬蠶箔之類)苦盞醬垣。(雨水將至須及時治之)築塘堰開溝渠。(乘春初農隙宜備)栽樹。(農書栽樹以正月爲上時凡菓上半年栽者多結子又不論何月俱忌南風)收買柴炭。(過此農忙人無採賣者)修果木。(去低小亂枝勿令分力)是月也。東風解凍。草木萌動。凡宜播者。茄。瓜。天蘿子。蕙苳仁。苦賣。烟子。諸般花子。宜種者。葱韭山藥葵麻。牛旁子。椒。松。桑。楸。棗。竹。宜扞者。楊柳。木香。薔薇。石榴。梔子。杉。以磚石放李樹歧枝。多結子。造紅鹽豆。先將鹽霜梅一箇。安在鍋底下。淘淨大粒青豆蓋梅。又將豆中作一窩。下鹽在內。用蘇木煎水。入白礬少許。沿鍋四邊澆下。平豆爲度。用火燒乾。豆熟而紅。

二月 仲春陽曆三月

蜂採花成蜜。(人家能養甚有利)理諸樹條。(或壓或接或扞易活)是月也。桃始華。雷乃發聲始電。凡宜播者。豆(種類極多二月至四月七月十月皆有子可下)寬。韭。蘆。蘆稈。茶子。宜種者。茄。山藥玉瓜。冬瓜。葫蘆。芋。葵。甘蔗。落花生。決明。百合。萱花

魏頌唐農曆

。蒿。菰。茨菰。鳳仙。芭蕉。枸杞。木瓜。桐樹。槐楮。宜移者。玉簪。石菊。山茶。山丹。桃李。梅。棗。柑。橘。柿。梨。櫻桃。宜扞者。芙蓉。石榴。木槿。凡宜收者。桑。蠶。鱉。鱉。以石灰搗門牆壁下。辟蟲蟻。採嫩柏葉。綫繫挂垂大甕中。紙糊其口。經月取用。如未乾更閉之。至乾。取爲粗末。如嫩草色。可以代茶。夜話飲之。尤醒睡。茶多損人。飲此有益無損。一云密室中藏之亦可。但見風則黃。又云新採即洗淨點之亦妙。凡鴨蛋過清明。則中不滿殼。宜於是月曬之。

三月 季春陽曆四月

浸稻種。(早稻清明前晚稻穀雨後農書以雪水浸種倍收且不生蟲)抱蠶種。治蠶。(蠶爲衣之本家家當養)治屋室以待霖雨。是月也。桐始華。虹始見。萍始生。凡宜播者。棉花(棉花以濟絲麻之不足爲利至廣於穀雨前後拌灰下種)菜豆。宜種者。蔬。芋。山藥。甜瓜。玉瓜。絲瓜。茄。刀豆。豇豆。扁豆。蒲。荸薺。菱。菊。靛青。紫蘇。烟草。宜移者。椒芍藥。百合。枸杞。紫荊。郁李。宜收者。茶(穀雨前採者可療病隨採隨炒焙不變色)薺菜花。

春蠶。採松花和白糖或蜜作餅。不惟香味清甘。且有益於人。黃蒿將老。以沸湯淪過。浸於漿水則成蠶。如以清水或石灰水藥水拔之。去其猛氣晒乾。可留製食。尤爲救荒急需。鹹菜嫩者。蒸熟晒乾。用時以湯浸軟。曬

入葷素。

四月 孟夏陽曆五月

插秧。(芒種前後三時內俱插)修防堤。開水澆。正屋漏以備暴雨。緯夏衣。代木。(此月伐木不蛀)是月也。王瓜生。苦菜秀。靡草死。麥秋至。凡宜種者。大豆菘菜。夏蘿蔔。晚玉瓜。葵菜。荷根。麻。枇杷。宜扞者。茶藨木香。梔子。茉莉。凡宜收者。芥子。(子以榨油爲用甚廣)麥(大小二種諺云收麥如救火遲恐遇雨即傷)蘿蔔子。蠶豆。葱子。薏苡子。芥子。乾菘子。楮皮。是月梅雨將發。宜高閣收藏罽毼。其中入樟腦或山礬花辟蠶。又毛皮毼貨。晒乾收藏。以黃芩或艾或川椒或樟腦之類同收辟蛀。楊花飛沾。毛即生蟲。切宜慎之。燒鰓魚骨辟蚊。鯊骨尤佳。若搗末和蚊烟。勝於信石。梅實青者以鹽漬之。日晒夜漬十晝夜。爲鹽梅。調鼎和蔬及蜜煎糖藏皆可。半黃者。籠盛於突上蒸乾爲烏梅入藥。熟者榨汁晒收爲梅醬。可調冰水。薔薇花不拘家野所生。於此月將花折下陰乾。如遇秋後發瘴者。以之拌茶煎服即愈。桑椹紫黑時。振落晒乾。可當菓食。且可備荒。

五月 仲夏陽曆六月

浴蠶種。(繭成七日蛾生揀端好同時出者生子既足至十八日後汲水浴之浸去蛾之便溺毒氣排於風涼房內至十月捲收)是月也。鷓始鳴。反舌無聲。鹿角解。半夏生。凡宜種者。晚大豆。晚小豆。香菜葛蒲竹。凡宜收者。麥。菜子大蒜豌豆。蘿蔔子麻苧。(五月頭苧七月二苧九月三苧)胡葵子。紅花。槐花靛青。蒼耳。薺草。早蕪草。蜜葛。夏至後宜浚井改水。或用貫衆貯井中以去瘟疫。是月桃李梅核。去皮淨肉。雖縫中亦須刷淨。則花艷而肉離核。收杏去核。自朝蒸至午至。以微火烘之。少加糖霜。收貯食之。注顏色。夏至日取菊爲灰。止麥蠶。取浮萍陰乾。一云晒乾爲末雄黃少些(一云樟腦)拌勻。丸如彈子。燒烟去蚊。一法取好醋浸浮萍一宿。陰乾薰之。

六月 季夏陽曆七月

晒皮衣書籍及藥物。(太平廣記六月曝諸物取太陽之光盡日而止晒過俟冷定然後收藏不可乘熱致氣蒸壞物)三伏日造酒麴。(頭伏造尤勝)罽醬黃。(造醬不生蟲)晒麥種。(烈日中晒極乾帶熱收攤內)鋤竹園地。(或八月亦可)鋤芋麻地。斫竹。(此月及八月不蛀)立秋後刈稻。(種類不一收亦有先後)是月也。溫風至。土潤溽暑。大雨時行。凡宜播者。粟。(有數種宜沙土不宜濕田各隨風土而植)芝蔴。(黑白黃三種即巨勝子油爲香油)早蘿葡。宜種者。小蒜。冬葱。葫蘆。晚越瓜。夏菘菜。凡宜收者。豆。(俗名六月豆)芥子藺苳子。苜蓿。櫻槐花。紫蘇。宜食苦黃。益心氣。猪肉入魚鱗同魚乾。留半月不壞。剩飯用萹菜蓋之。過夜不餿。西瓜性溫。熟者可食以解

薯。名白虎湯。醬黃。每豆一百觔。(去壳若做醬油則三分內止去壳一分麥粉可稍減十數觔)多用水煮熟。(水多則豆汁多而醬甜)撈起俟冷定。然後用小麥粉八十觔。拌勻攤篋席上。(約厚八九分)上用麥稽蓋之取花。(暖處不蓋亦可)至六七日鏟起。即用水四百觔。(并前豆汁在內)曬八十觔。(內先取數十觔入前豆汁中方不壞)下缸晒成醬。(如未即下將醬黃晒極燥貯用)酒麴暖處十數日。去紙晒極燥。每糯米一石。用麴約十觔。看時月冷煖增減。白麴。白麵一石。糯米粉一斗水拌勻。踏成餅。紙包挂當風處五十日取下。日晒夜露。每米一斗。用麴十兩。大麥醋。麥仁二斗。內以一斗炒黃色。水浸一宿炊熟。用白麵六觔。拌和罨七日。黃衣上。晒乾。又將一斗炒黃浸一宿炊熟攤濕同入缸內。以水六斗攪勻。密蓋三七日熟。小麥醋。小麥淘淨。清水浸三日。捏乾蒸熟。攤篋席上。榨葉蓋三五日。黃衣上取晒乾。篋淨入缸水浸透三寸封固。四十九日熟。

七月 孟秋陽曆八月

治倉虞藏稻。(收稻先後風土異宜隨時地爲備)耕菜地。(時將播種諸菜)是月也。涼風至。白露降。天地始肅。禾乃登。凡宜播者。蘿蔔。(生熟可啖用菑宏亦最久)早菜。蕎麥。菠菜。芥菜。蒿菜。宜種者。小蒜。葱。凡宜收者。芋。楮子。紫蘇。芙蓉。葉荷葉。葵藜。藤非

魏頌唐農曆

花。取半結子者去蒂梗。每觔用鹽三兩同搗爛。收磁器中或就其中醃小瓜茄。(另用鹽醃去水待一二日入此拌勻收貯瓶底用銅錢尤妙)糟茄。秋間採嫩者去蒂用沸湯焯候冷。每茄一觔。用甜糟一觔。鹽四兩。拌和入搗封固。

八月 仲秋陽曆九月

刈菁草。(芽屬積之爲薪)繕冬衣。是月也。雷始收聲。水始涸。凡宜播者。早麥。(大小二種北人漫撒南人撮撒)芥菜。(有數種八九月下子十月移栽)菠菜。寒豆苦蕒。蒴葵。萵苣。紅花。石菊。曼倩花。及諸色菜子。宜種者。蒜。(春食苗夏食薹五月食根)非根。葱子。牡丹。芍藥。椒。宜移者早梅。木犀。椿。橙。橘。枇杷。木香及諸色花菓。凡宜收者。芝麻。黍。豇豆。葛子。韭花。薤苳。角蒿。棗子。胡桃梧子。蜜。是月採百合花。晒乾蒸食之益氣力。採桂花。灑以甘草水。和米香粉作糕。清香滿頰。醬佛手柑不去穢。醬梨子帶皮。入醬缸。久而不壞。香嫩去穢醬皮。新橘皮石花麵筋皆可醬食。其味更佳。糟菹揀嫩者。每菹一觔。糟一觔鹽五兩。不要見水不可損壞菹皮。用乾布揩去泥。晒半乾後。糟鹽拌之入甕。上加砂糖一塊。箸葉扎口泥封。七日可食。

九月 季秋陽曆十月

刈晚稻。治籬落。釀酒。(南方黃酒以多釀爲佳北方燒酒則不論時)。斬蒿棘。(積之爲薪)。是月也。

菊有黃花。螿蟲成俯。凡宜播者。麥。蠶豆豌豆。(二
豆于百穀之中最為先登極救農家之急)。宜種者。芥菜
。蒜。椒。建蘭地黃。柿。宜移者。山茶。蠟梅。及雜
果木。凡宜收者。芋。菊花。皂角。木瓜。茱萸。薤苳。
是月以枸杞子浸酒飲之。耐老。黑豆實以鹽煮熟常食。
大補腎。菊花浸作枕。枕至頭痛。不可救藥。取白朮蒸
晒九次。晒乾為末。日服三次不飢。酒醅初成。微覺味
有不正。即將赤小豆炒焦。看醅多少。以袋盛豆入之則
解。即酸酒亦可用此法。(醋鋪杯切晉杯酒未灑者)又
黃酒翻生。成白花者。如燒酒法燒之。(即以翻黃酒作
料不用他物)二餉壤酒。可得好燒酒一餉。

十月 孟冬陽曆十一月

葺牆垣。墟北戶。遮掩牛馬屋。接花果。澆花木。定來
歲工人(整年工人須於此月雇定)。是月也。水始冰。
地始凍。虹藏不見。天氣上升。地氣下降。閉塞而成冬。
。凡宜播者。晚麥。大小蠶豆。宜種者。油菜。白菜。
及諸色菜。凡宜收者。稻實。(油燻所出為利至廣)粟
(有二種一作飯一釀酒)小豆。茶子。山藥子。芋。冬
瓜。桑葉。槐實。枳實。牛膝。地黃。蜜。養藥酒。用
五加皮地榆刮去粗皮。各一餉。袋盛入無灰好酒二斗。
入罈封面。放大鍋內文武火煮。罈上安米一合。米熟為
度。撥起坐水缸內三日。去火毒。其袋內藥渣。取出晒
乾碾末。米糊為丸。每服五十丸。藥酒送下。能去風溼

。順氣化痰。壯筋補髓。久服延年。精蘿蔔。每一餉。
鹽三兩。蘿蔔忌見水。揩淨帶根鬚晒略乾。糟與鹽拌過
。次入蘿蔔。又拌過。入罈內月餘可食。

十一月 仲冬陽曆十二月

造什物農具。挑溝塘。伐竹木。(此月堅成)栽桑。接
木。是月也。鰲角解。水泉動。凡宜種者。油菜。菘。苳。
蘿蔔種。宜移者。松柏枹。凡宜收者。學躄。是月耕秧田
。凍晒過冬。則土蘇而肥。又宜燒荒。挑塘溝。澆。即
以其泥晒翻之。或以糞穰織水調澆和畜。至來春糞田。
栽花種蔬皆可。宜醃豬肉。每餉用炒鹽一兩揉透。二三
日翻一度。半月後出甕。懸淨室通風處。諸肉同此法。
取霜投醬中可治醬味之不正。

冬至日驗種粒。將各樣穀及菓菜等種。各平量一升盛
以小囊。埋土內陰處。至立春後取出。仍用前升量之。
驗其比前多者。則知來歲所宜。如少於前則無收。又冬
至日採樹上桑葉。煎湯洗眼。保無目疾。醃雞鴨蛋。自
冬至起至清明前。皆可醃藏。(過清明則蛋殼不滿)。
每百枚。用鹽十兩灰三升。以蛋蘸米湯滾收。乾入甕中
。難消炭。以竈燒木柴。取出罈閉成炭。不拘多少搗為
末用石炭和勻。水調做成炭餅。晒乾燒用。終日不消。

十二月 季冬陽曆一月

貯雪水。收臘糟。添桑土。(以肥泥培其根)掃舍宇。(示更新之象)。是月也。雉雊雞乳。水澤復堅。凡栽種

者。桑竹李花紅。及壓諸果樹。是月以極淨麴。多收
雪水。埋土中高平處。覆以草薦。勿令風吹及雨水滋滲
。功用甚大。以之浸五穀百果花蔬種子。則茂實不生蟲
。且耐旱。并治六畜瘡疫皆效。拌葷菜香頭。用沙糖一
觔。大蒜頭三箇。切開。帶根葱白七莖。生薑七片。麴

香如豆大一粒。先置各件於瓶底。次置糖在上。以箬葉
扎之。又以油紙封好。重湯內煮週時。經年不壞。臨用
取少許入茶便香。拌素菜油料。用麻油入花椒將椒油熬
一二滾。俟冷。每油一觔入醬油醋各半觔。白糖三錢。
甘草一錢。調和收貯。凡物用油拌者。卽酌量拌食甚妙

農事會要農家中

行事

經營農業。必須預定各種植物之播種以及整地中耕收穫等時期。方無錯誤。故不違農時。古有明訓。惟各處風土習慣不同。關於農業上一年中之行事。不可不酌中定一標準。以便各地農民根據此項標準而再各自酌定年中之行事。茲將應行注意事項分述如左。

四季

春夏秋冬。

八節

立春二月四日 春分三月二十一日 立夏五月六日 夏至六月二十一日 立秋八月八日 秋分九月二十三日 立冬十一月七日 冬至十二月二十一日

十六節

雨水二月十九日 驚蟄三月六日 清明四月五日 穀雨四月二十一日 小滿五月二十一日 芒種六月六日 小暑七月七日 大暑七月二十三日 處暑八月二十三日 白露九月八日 寒露十月八日 霜降十二月二十三日 小雪十一月二十三日 大雪十二月七日 小寒一月五日 大寒一月二十一日

雜節

土用 春四月十七日 夏七月二十日 秋十月二十一日 冬一月十七日

節分二月三日 八十八夜五月二日（謂立春後之第八十日夜） 入梅六月十一日迄七月十日

半夏生七月二日 二百十日九月一日（謂立春後第二百十日蓋此時暴風將起損害稻花也） 彼岸三月十八日

九月二十日 社日三月二十三日 九月十九日 右列時日。因每四年有一閏月。故生一日之差。

一月

上旬 堆積肥料。及調製貯蓄池諸種肥料。移植囊蕨於本田。培茶及果木。

中旬 培植楮、葦、茶、桑。及他果木。自此至下旬時。耕耘培養大麥、小麥、稈麥等。掘採慈姑。施肥於蕪菁。

下旬 接梅。鎮壓因霜雪所浮上之麥類。令冢交合。自此至三月。收去年所種花椰菜之花蓓。

二月

上旬 因去年收穫物調整畢。他事業亦略完。稍暇。故繕修農具。道路。整備苗床。播種早生胡瓜。早生茄子等於苗床。培土當歸款冬等。

中旬 蒔柑類、桃、榴、椗、栗、巴旦杏、櫚等種。移植桑果木等。又行果木之刈條插木等。

犁苗田。近下旬時。採收早出之莓。

下旬 自中旬繼續移植桃李杏及他果木。

又宜爲接木刈條之事。收穫土當歸。掘採薯蕷而移植之。可蒔胡瓜之早者。播種夏時採收之甘藍。蒔冬瓜於苗床。自此至三月。採蒲公英。

三月

上旬 自此至中旬。播種豌豆菠菜菜瓜春菜酸模石刁柏烟草等於苗床。移植床蒔之胡瓜及柿櫻油桃等。立萬莖等自此至六月上旬頃。漸次撒播於床。又植蛇麻草苗。出楮於本圃。作南瓜床。於桑行接木壓條。肥培之。且培茶。又自此至四月上旬頃。蒔牡丹於床。宜接木。

中旬 播赤色及黃色葱頭亞麻百合冬瓜菠蔞菜豆蒲公英蒔茄甘藷茶藨菜桑及他果之種。尚芹至七月頃。每三四週日播種之。

播種夏秋可採收之甘藍。分植蕤荷根。西洋胡蘿蔔。至十一月頃。時時播種之。施肥於南瓜床。移植葡萄桃李蘋果等。

宜葡萄柿杏梅梨李等接木及插木。自此至四月。採收去年所播種之木本牡丹。採收花球。迄四月上旬。種姬甘藍。浸麻種於水五六日。收穫去年五月所播種之二年子萊服。

下旬 浸早稻之種。播種冬瓜南瓜粟稷黍茄子絲瓜籃扁豆甜瓜紫蘇亞麻麻百合茜西洋南瓜蒿蒿夏熟小豆菠蔞

魏 頌 唐 農 曆

蕃茄葱。及夏秋可收之甘藍。自此迄四月上旬。可播種木本牡丹。及植九面芋薯蕷天門冬等。麥類耕耘畢。採收野蜀葵。植柚夏橙金柑。及他柑類。分薄荷山藍根。出蒔蕪於穴室。迄四月。宜接木。如椿山茶花等。耕勸苗田而灌水。植楮苗。

四月

上旬 播種薺苳早大豆綠豆亞麻藍刀豆春蕎麥木立豇豆蕃茄卷椒玉蜀黍苦瓜胡蘿蔔花瓠越瓜亞米利加防風等。培馬鈴薯蕪蕪甘蔗蛇麻草。種植豌豆蠶豆茶桑椿山茶等。爲小麥之終耕。分夏葱蓮根蕪根。自三月中旬。時時刪播種之西洋胡蘿蔔苗。

中旬 播種蘆粟早稻芋菜菜夏菜蕪蕪大麻西瓜洋芹葱頭越瓜菊牛房婆羅門參落花生塘蒿韭葱蔓生豇豆等。植馬鈴薯。移植甘蔗胡蘿蔔。床蒔冬瓜苗等。自此迄五月中旬。宜播棉。浸中稻種。耕中稻苗田。塗其畔。截甜瓜之梢。採收亞麻種。出牡丹於田圃。

下旬 蒔菜瓜越瓜甜瓜洋芹西瓜花椰菜落花生大黃青豆晚生玉蜀黍巴豆藍小豆中稻等。自此迄五月中旬。宜蒔陸稻。正月交之家。於此時分晚。收穫蠶。洩苗田水。除麻烟草。培籃烟。移植蒲公英苦瓜等於別床。浸晚稻種。

五月

上旬 蒔草棉粟夏蕎麥胡麻晚稻早大豆蜀黍菜豆綠豆等

一三一

。八十八夜之頭。大麥出穗。自八十八夜。落田水而耕之。塗其畔。後爲第一次耙。移植茄子烟草瓜類及塘灣。自此迄六月。採收大黃蠶。

中甸 摘頭茶。時赤小豆。及秋時採收之甘藍。移植冬瓜南瓜於本圃。亞米利加防風菊牛房及婆羅門參苗等

。以時肥培之。採收三月播種之渡後菜芥子菜等。椿山茶等行接木術。移植洋芹。移三月中旬所播種之藍於本圃。自此至冬月。採收西洋胡蘆荷。

下甸 於晚稻之田。爲第二次耙移。植蕃椒於別床。順次收穫蠶豆早時菜瓜芥子菜稈麥之成熟者。移甘藷苦瓜等於本圃。培茶。耕培棉期。是時於蔗畑行除草及肥培。至月末。翻培晚稻田且再耙之。

六月

上甸 收穫早生胡蘿荷早生粟稈麥大麥等。移植早稻苗。時胡麻。摘二茶。移植蕃椒甘藷之蔓。及三四月所蒔之葱頭於本圃。採收蕪蕪芥子菜菜蕪及紫蘇等。

中甸 植中稻苗於田。移植柑類。採收蕪蕪種及大麥小麥春麥。三月所蒔之黍。枇杷胡瓜菜豆牡丹早生茄子等。稻田除草。採婆羅門參之嫩種。製蠶種紙。採收前年所蒔之漬菜類種子。移蒲公英於本圃。

下甸 播種夏麥晚生大豆秋小豆胡蘿荷等。移植晚稻苗及洋芹。第一次刈藍。除稻田草。收穫小麥越瓜早大豆。收胡蘆荷種。自此至七月中旬。收蒿苳。

七月

上甸 蒔菜蕪小豆秋扁豆木本豇豆等。移植冬葱。耕耘培養諸植物。收四月所蒔木本豇豆蠶豆越瓜胡瓜茄子紫蘇蕃椒甜瓜桃李等。注意灌漑稻田。時晚粟。自此迄九月。撒播縮繭蒿苳於苗床。

中甸 注意諸植物之耕耘培養。播種小蕪苳。自此至九月。採收胡瓜越瓜茄子。收早生南瓜無莖豇豆夏麥夏菜蕪等。稻田除草。自此迄八月。採收酸模。

下甸 培養諸植物。採收梨杏李梅南瓜甜瓜西瓜等。播種蕪蕪。爲粟畑之中耕。

八月

上甸 自此迄九月。採收南瓜西瓜甜瓜蕃茄。收穫烟草菜豆(西洋種)玉蜀黍夏種大豆等。始移植麥百合春葱。二次刈藍。

中甸 採收玉蜀黍馬鈴薯梨等瓜類。播種秋麥。爲粟畑之中耕。迄九月上旬。採收葱頭。

下甸 播種甘藍秋菜蕪高苳胡蘿荷渡後葱頭山東菜體菜等。收柿菜豆大豆棉花青芋六月蒔之綠豆早稻胡麻等。稻田除草爲中陸稻之中耕。移葱於本圃。自此至九月十月。收婆羅門參菊牛房。

九月

上甸 蒔水菜葡菜山東菜野蒿苳秋菜蕪三葉甘藍漬菜等。自此迄中旬。撒播花椰菜之種於床。收穫早稻棉花

胡麻夏蕎麥等。

中旬 播種自冬至春初。供食用之萵苣及立萵苣。自此

頃順此播之。播種白菜二年子菜。自此至十月頃。

採收亞美利加防風。收卷丹葱頭芋類蘆粟等。桃梨

牡丹。行接木術

下旬 收裨九日菜服菜瓠葫蒜葱頭等。蒔芥子菜早薑

苔半房。本月上旬所撒播之花椰菜。漸次至十月上旬

。移植之於別床。採收蛇麻草之莢而焙乾之。體菜自

此至十月。每五日或十日播種之。

十月

上旬 植土當歸。收獲刀豆葡萄芋類中陸稻。蒔採種用

之亞麻菜芥子菜。

中旬 收獲中稻甘藷芋類粟向日葵柿菜等。蒔小麥菠

稜。移植採種用之蕪菁。

下旬 蒔小麥大麥稗麥碗豆蠶苔。收晚稻蕎麥蕪菁胡蘿

蔔秋菜蕪菁小蕪菁等。

十一月

上旬 蒔大麥小麥稗麥蠶豆豌豆。收落花生大豆牛房晚

稻蕪菁秋蕎麥等。刪山東菜薊菜苗。自此頃。因作麩

藥物。整備穴室。

中旬 蒔夏菜服蠶豆豌豆。移植梨桑等。耕麥畦。自此

頃採收體菜二十日菜服白菜等。移植甘藍。

下旬 移植石刁柏甘藍等。刈葡萄及他果木植之。宜掘

取桑及果木苗採收柑類漬菜山東菜薊菜等。因採種植

二十日菜服。自此至翌年三月。採收韭葱。

十二月

上旬 收菜服葱蕪菁等。移植蠶苔。自此至一月。採收

縮緬高苔塘蒿。移四月下旬所蒔之大黃於本圃。

中旬 植梨蘋果。培菠稜豌豆蠶豆韭早播之麥類。麥類

於晴天。繼續稍中耕之。自此迄翌年一月。採收姬甘

藍野高苣。

下旬 肥茶庭木柑類等。

農政全書占候篇

占日 日晷則雨。月晷主風。日晷主雨。日脚占晴。

雨諺云。朝又天暮又地主晴。反此則雨。日沒後起清。白光敷道。下狹上闊。直起亘天。此特夏秋間有之。

俗呼青白路。主來日酷熱。

占月 月晷主風。何方有闕。卽此方風來。新月下有黑雲橫殺。主來日雨。

占星 諺云。一個星。保夜晴。此言雨後天陰。但見一兩星。此夜必晴。星光閃爍不定。主有風。夏夜見星密。

主熱。諺云。明星照爛地。來朝依舊雨。言久雨正當黃昏。忽見雨住。滿天星斗。豈但明日有雨。當夜亦未必晴。黃昏上雲半夜消。黃昏消雲半夜澆。若半夜後雨止雲開。星月朗然。則必晴無疑。

占風 夏秋之交大風及有海沙雲起。俗呼風潮。古人名颶風。言其具四方之風。有此風必有霖淫大雨同作。甚則拔木偃禾壞房屋。決隄堰。其先必有如斷虹之狀者見。名曰颶母。航海之人見此。則又名破帆風。春初夏末。天氣暴暄。凡庭柱與板壁之類。溫潤如流汗。

主有陣頭雨至。

占雨 凡久雨至午少止。謂之遺霰。在正午遺或可晴。午前遺則午後雨不可勝。灶灰帶溫作塊。天將變作雨。

占雲霧 雲行占晴雨諺云。雲行東。雨無蹤。車馬通。雲行西。馬澆泥。水沒犁。雲行南。雨潺潺。水漲潭。雲行北。雨便足。好田穀。又露霧占風雨。凡重霧三日主有風。若無風必主雨。

占霞 暮霞若有火焰形而乾紅者。非但主晴。必主久旱之兆。朝霞雨後乍有。定雨無疑。或是晴天。隔夜雖無。今朝忽有。則要看顏色斷之。

占虹 虹俗呼曰鬚。東鬚晴。西鬚雨。對日鬚不到雲主雨。言西鬚也。若鬚下便雨。還主晴。

占雷電 凡雷聲響烈者。雨陣雖大而易過。雷聲殷殷然響者。卒不晴。夏秋之間。夜晴而見遠電。俗謂之熱閃。在南主久晴。在北主便雨。

占冰霜 冰後水長。名長冰水。主來年水。冰後水退。名退水冰主旱。若冰堅可履亦主水。每年初下霜只一朝。謂之孤霜。主來年歉。連得兩朝以上主熱。春霜多主旱。毛頭霜主明年風雨。

占雪 雪下後霽而不消。名曰等伴。主再有雪。久經日照而不消。亦是來年多水之兆。

占山 遠山之色。清朗明爽。主晴。嵐氣昏暗主作雨。起雲主雨。收雲主晴。尋常不會出雲。小山忽然雲起。

占大雨。久雨在半山之上。山水暴發。一月則主小崩。却非尋常之水。

占兆。雨怕天亮。是天明時忽雨。此日不得晴也。

占雲霧 雲行占晴雨諺云。雲行東。雨無蹤。車馬通。雲行西。馬澆泥。水沒犁。雲行南。雨潺潺。水漲潭。雲行北。雨便足。好田穀。又露霧占風雨。凡重霧三日主有風。若無風必主雨。

占霞 暮霞若有火焰形而乾紅者。非但主晴。必主久旱之兆。朝霞雨後乍有。定雨無疑。或是晴天。隔夜雖無。今朝忽有。則要看顏色斷之。

占虹 虹俗呼曰鬚。東鬚晴。西鬚雨。對日鬚不到雲主雨。言西鬚也。若鬚下便雨。還主晴。

占雷電 凡雷聲響烈者。雨陣雖大而易過。雷聲殷殷然響者。卒不晴。夏秋之間。夜晴而見遠電。俗謂之熱閃。在南主久晴。在北主便雨。

占地 地面濕潤。甚者水珠出如流汗。主暴雨。若得酉北風解散無雨。石礫水流亦然。四野鬱蒸亦然。

占水 夏初水中生苔。主有暴雨。諺云。水底起青苔。

卒逢大水來。水際生靛青主有風雨諺云。水面生青靛。

天公又作變。又云。大水無過周時。言天道久雨。

山澤發洪。大水橫流。江河隄漲之易也。

占潮 每半月逐日候潮時有詩訣云。午未未申申。寅寅卯卯辰。辰巳巳午午。半月一遭輪。夜潮相對起。仔細與君論。十三二十七。名曰水起。是爲大汛。各七日。二十初五。名曰下岸。是爲小汛。亦各七日。諺曰。初一月半午時潮。又云。初五二十夜岸潮。天亮

自遙遙。

占草 草得氣之先者。菲蕩內春初雨過菌生。俗呼爲雷

蠶。多則主旱。無則主水。

占花木 禾生於棗或楊。大麥生於杏。小麥生於桃。稻

生於柳或楊。黍生於榆。大豆生於槐。小豆生於李。

麻生於楊或荊。

占禽獸 鵲巢低主水高主旱。海燕忽成羣而來主風雨。

獾窟近水主旱。登岸主水。圍牆上野鼠爬泥。主有水

。必到所爬處方止。狗爬地主陰雨。狗咬青草吃主晴

少。

占魚 魚躍離水面謂之秤水。主水漲。高多少。增水多

少。

占雜蟲 水蛇蟠在蘆青高處主水。高若干漲若干。春暮

暴暖。屋木中出飛蟻主風雨。平地蟻窠作亦然。田角

小螺兒浮於水面。主有風雨。石蛤蝦蟆之屬。叫得

響亮成通主晴。田雞噴水叫主雨。蚯蚓朝出晴暮出

雨。

農業氣候論

一、論季節

凡一年有四時之季節。四季者春夏秋冬是也。春暖夏暑秋冷冬寒。相爲推移。二三四月爲春。五六七月爲夏。八九十月爲秋。十一十二正月爲冬。正月下旬最寒。謂之大寒節。七月下旬最暑。謂之大暑節。或夏之土用。土用前多霖雨。謂之梅雨節。每年頒曆示月日。記季節。曆有太陽曆有太陰曆。太陰曆每年季節不一。農家必按曆而考季節。太陽曆則每年季節一定而不變。故農家不必按曆考節。頗爲便易也。

按春分爲春之中央。夏至爲夏之中央。秋分爲秋之中央。冬至爲冬之中央。春秋即晝夜平分之時。約在三月二十日前後。春分又稱彼岸中日。連其前後七日稱彼岸日。夏至在六月二十日前後。在一年中。晝最長夜最短之時也。秋分在九月二十日前後。即晝夜平分之時也。連秋分前後七日。爲秋之彼岸日。一同春彼岸。冬至在十二月二十日前後。在一年中晝最短夜最長之時。冬終於節分。節分一稱寒明。約在二月三日前後。其明日爲春初。名之曰立春。自立春起八十八日。稱八十八夜。又二百一十日稱二百十日。春分秋

分。因爲有平年(三百六十五日)閏年(三百六十六日)之別。或有差一二日。

二、論天氣

大空無雲曰晴天。有雲蔽日曰曇天。降雨曰雨天。久旱曰旱魃。夫天之與農家。關係不小。故以豫知天候最爲切要。老農從事稼穡。必先察天氣何如。如有疑於此。則當爲旱潦之備。不可徒恃有測晴雨表。而不豫爲綢繆計也。

按寒暖燥濕風雨之多寡各因地而異。是曰氣候。動植物蕃殖生育之理。每與氣候相關。概言之則植物喜溫濕。動物喜燥暖。其大較也。亦或有非寒冷不能生育之動物。又或有不畏乾燥之植物。故農家必察其性質以適其所喜之氣候。或考一處之氣候。以與他處相比例。亦農家最要之事。然非精儀器不能精其事。故各地必設置測候所。常派專門技術家。稽查登報。俾世之業農者。有所考焉。

三、論方位

東西南北曰四方。其間位曰東北西北東南西南。用磁針器(又曰指南針)察知方位。知太陽出於東而沒於西。若考其詳。則夏日出於東北而入於西北。冬日出於東南而入於西南。人立地面。日光不直射人顛頂。而稍偏

於南方。故太陽光熱。自南至北。南方較北方溫暖。蓋由此理也。又試於日午觀人影。影皆在北。亦可知太陽偏南也。風從北至曰北風。自南至曰南風。南風暖而挾濕氣。北風冷而乾燥。

地面高低。冷熱因之而異。偏於南方之地則溫暖。偏於西南於東南之地次之。西向東向又次之。偏於北方之地極寒冷。偏於東北於西北之地次寒冷。北風之寒。為風自北方冷地來也。南風之暖。為風自南方熱地來也。南方空氣溫暖。故多含水氣。北方寒冷。故甚乾燥。東風似南風。西風似北風。此風位及其性質之大概也。然氣候寒暖。又與山岳樹林江海等相關係。隨處不同。故不能一如所說。要隨宜細考耳。又方位分配十二支。北方曰子。北東曰丑寅。東方曰卯。東南曰辰巳。南方曰午。南西曰未申。西方曰酉。西北曰戌亥。

四、論暴風

風者。空氣搖動而發也。其搖蕩遲緩稱和風。急激稱強風。亦稱暴風。和風能助花之交接。暴風則奪花之蒂蕊。故農家以二百十日為惡厄日。蓋此季節多暴風。稻之著花。正在此時。農家所憂。暴風能傷害稻花。使不多實也。

暴風之害。不但傷花蕊。又或騰起沙土。吹倒禾穀。甚

魏頌唐農曆

則折木飛瓦。其猛可畏。最為農家之害。暴風飄騰。拔樹偃禾。非人力所能制。然未必無稍減其害之法。減害之法如何。在厚培作物之根。又置扶欄于樹木之旁。以保護之而已。或栽植樹木於田地附近。亦可輕減暴風之害。所謂防風林是也。

暴風之來。必有方位。又有一定季節。其方位既有定。當先事預防。何處宜作防風林。何方位宜造倉廩農舍。並可按風來之方位。而後建造。又作小畦之方位。亦須準此法。

暴風雖極害農家。而微風則必不可少。夫家畜之牛馬。作物之禾穀。久在不通空氣處。必遭損害及發腐敗。蓋在屋外則常受微風。至屋內及作物繁茂之地。則空氣不易疏通。以致作物枯死。往往而然。然則屋宇中宜多開窗戶。令風易入。又各種植物。不可密植閉塞風道。亦農家所宜曉也。

五、論洪水

農田不可一日無水。如溢而為洪水。則害亦非渺。洪水者。江河泛溢。漫決地上。破壞田地。流亡人畜。為人生至慘之境也。洪水之起。多因濫伐山林。蓋木植於山。根入土中。蟠結如網。又落葉堆積。苔蘚滋生。密封根際。雖有淫霖。而樹木能吸收其水於地中。不令驟流入於江河。以致汎溢也。若林木伐盡。則不能吸收雨水

。一旦大雨。山溪之水。一時暴注於江河。江河不能容積。遂有洪水之厄矣。且山林者。不止能防洪水之患。又能防旱災。以能含蓄水澤。不易乾燥也。故此種山林。稱涵養水源林。

森林或可伐或不可伐。如涵養水源林。不但不許濫伐。且宜保護此種之林。稱保護林。防風林者。即保護林之一。

防洪水氾濫。須作隄防。作堤防之法。以土石材木。築造堅牢。所費不貲。殆不可以一人一家之私財辦也。當合衆力爲之。則事易舉。此外農家當合力與辦之事甚多。如驅除蟲害及一切預防病害之事。若一人從事。得效必微。何則。病毒之傳播。蟲害之蔓延。假使一人竭力。衆夫袖手。則盃水車薪。將何以濟。何如連合各村之農夫。訂利害與共之約。而通力合作之爲愈乎。他如購農具種苗肥料。賣農產物等。苟能合力從事。獲益必多也。

六、論雪及霜

水氣至高空。爲寒所結而下降。是爲雪。水氣距地不甚高。觸冷而凝物上。是爲霜。秋早之霜曰初霜。春晚之霜曰晚霜。晚霜最害植物。如桑茶等嫩芽。往往遭害。惟雪不害作物。如冬日之麥。賴雪之保護爲多也。結霜多在天晴無風之夜。及黎明時候。故當春季植物萌

芽之際。宜注意於天候之如何。如有霜意。即當預防。預防之法。於圃間數處。燒草揚烟。烟氣上騰。蒙蒙圃土。可防作物寒冷結凍之虞。此法最宜行焉。

雪過多亦有害。樹枝積雪。不勝壓力。致遭折損。稱曰雪折。又積於山腹之雪。墮落損物稱曰雪額。禦之法。宜植樹木以防之。此外又有雹害霜柱害。(霜在地結爲柱立也)雹害多在夏日。乃水氣在高寒處凝結成冰。重而下墜。擊植物之莖葉而傷害之。霜柱害多在濕潤而鬆鬆之土壤。乃水氣在土中。遇冬夜寒冷。凍結成爲柱形。墳起土上。冬日作物。如麥豆之類。其根爲此上浮而出地。如不鎮踐其根。必至枯槁也。

七、論寒暖

春暖於冬。而較夏爲涼。秋涼於夏。而較冬爲暖。爲寒爲暖。有器驗之。曰檢溫器。又曰寒暑表。檢溫器度數之高低。可驗天氣之寒冷。凡動植物各有一定之溫度。方能生育。若度數或過高。或過低。則不能遂其生育也。檢溫器之用。最爲要緊。農家首當備置此器也。

世人常云。泉水夏寒而冬溫。蓋誤也。冬日人體冷。故覺泉水暖。實非水溫也。夏日人體熱。故覺泉水寒。實非水寒也。蓋人感覺於物。亦隨天時而異。故計溫度當依據寒暑表爲定焉。

氣候之寒暖。因地而異。一關於距赤道之遠近。二關於距海面之高低。三關於洋流之冷熱。四關於距洋海之遠邇。赤道者。假畫一綫。周而於地球中腰。自南北兩極同距離也。距赤道愈遠愈寒。愈近愈熱。日本位赤道之北。故南方氣溫。北方氣寒也。又高地冷於低地。故高山之顛。雖夏日尙見積雪也。洋流者。在大洋之中。常有一定方向流行者是也。如稱黑潮者。即洋流之分派。自赤道來者。稱赤道流。自南極或北極來者。稱極流。近於北流之地多寒。近於赤道流之地多暖。是爲常也。又近大洋海岸地方。雖冬亦暖而夏則清爽。遠於海岸地方。則冬所寒而夏炎熱也。

八、論日光

太陽發光與熱。以化育動植物。最爲要緊。而光尤要。若有熱無光。則植物不能生長也。試觀生於陰濕處之草類。多係蒼瘦。即此可知其一斑矣。故栽植一切作物。須選多受陽光之地而疏植之。不得密植。密植之則不易繁茂。推原其故。固由土中所資養分不足。與不通空氣。然實亦由於受日光太少也。受日光多之植物。其質必強硬。少受日光之植物。質必軟弱。故往往一種樹木。而或堅或脆。實由於向陽背陽之分也。又密植之稻麥等。易爲風偃折。蓋少受日力。其稈軟弱也。又樹木中有能生長陰地者。此種樹木稱陰樹。如扁柏。

花栢。羅漢松樅等是。又有非陽光之地不能生長者。其樹稱陽樹。如松杉檉落葉松等是。至如榆赤楊樅樺檉等。則在兩者之間也。此理亦農家所宜曉。

植物之根。吸收土中種種養分。以構成其形體。前所說肥料中之三要質是也。又空氣中有要質。名炭酸瓦斯。植物之葉。吸收此質。葉面有氣孔。猶人之有口也。植物之吸收炭酸瓦斯。有機能。能分析炭素及酸素二者。吸炭酸以資構成形體。而呼出酸素。凡此分析之作用。實藉日光之力。使非日光。則無此作用。日光之關係植物如此。

日光雖本有分解炭酸瓦斯之力。而爲此作用。不得不藉植物體中之器官。何爲植物器官。曰葉綠粒是也。日光中有比葉綠粒。始有分解之作用也。何爲葉綠粒。曰。在植物莖葉中綠色粒子是也。作物生此綠色粒子。亦實藉日光之力也。故植物生陰暗之處。則其色黃而不綠。日光關於植物又如此。

九、論年中行事

農家之業。四時各有其宜。須相其宜而行焉。然方土既異。氣候相殊。所記歲時。不能無異同。今姑誌其大要爾。(時月皆用太陽曆)。

正月。寒氣最烈。無事於田畝。於此時稽查農事。繕補農具。作麻繩草鞋馬杓蠶簇等。及預作肥料。

二月。踏麥芽。施肥於果樹。此月寒尙在。農圃亦尙閒。故或燒木作炭。及採薪條。爲各種製造之事。

三月。施肥於麥類。而爲耕培。又播甘薯胡瓜等種。浚深水溝。

四月。春暖。草木發萌。此時當耕田畝。從事種植。及施肥於桑園茶園。

五月。所謂八十八夜。爲此月之初。農事漸繁。播種水田。飼蠶。初刈麥。摘茶及製茶。

六月。爲農家最忙之時。插秧既畢。則注意於灌溉及耘草。蠶上簇。刈麥。

七月。稻田耘草。種大豆及藍等。爲中耕。初穫胡瓜茄子。此月下旬爲大暑季節。汗流如雨。農家勿厭其苦。

八月。諸種瓜類及減類。多成熟於此月。既收穫此等後

。宜播蕎麥萊菔等之種子。

九月。氣候漸涼。播鹽菜類之種。又落稻田之水。至月之下旬。播小麥種。

十月。刈稻及蕎麥等。播大麥等。蠶豆莖苜蓿等。又於是時。移植樹木。

十一月。施肥於桑茶。收穫蕪菁鹽菜類。爲禦冬之計。十二月。束稻去殼納之於俵（盛米器）歲告終。農事亦告終。

農家須於冬期暇時。定一歲所事之次第。按而行之。欲定次第。又須按前年所錄之日記。以資參考。不僅一歲所爲之事當如此。雖一日之事。亦須商量預定。乃佳。如忽作此事。又作彼事。既無端際。亂雜必多。如此則徒消時刻。並生損耗也。

農村歲時雜記

一月

【元旦】一月一日爲元旦。一名元日。書經。月正元日。蓋數之始。善之長。亦曰元。易。大哉乾元。元者善之長也。故元旦實含有三義。是日爲歲之朝。月之朝。日之朝。古稱三朝。授時之說。始於堯典。四時各有其務。十二月各有其宜。元旦爲一年中之第一日。並爲中華民國開國紀念。

【季冬】季冬以小寒當月之初。首五日雁北鄉。次五日鵲始巢。後五日雉始雊。以大寒當月之中。首五日雞始乳。歡冬華。次五日征鳥厲疾。後五日水澤腹堅。此爲季冬之二氣六候。若季冬行秋令。則白露早降。介虫爲妖。四鄙入保。行春令則胎夭多傷。國多困疾。命之曰逆。行夏令則水潦敗國。時雪不降。冰凍消釋。

【農諺】小寒大寒。冷成水團。大寒三白定豐年。大寒三白。極宜菜麥。大寒須守火。無事不出門。

【田家五行】以本月謂之大禁月。忽有一日稍暖。卽是大寒之候。

【梁元帝雜要】以本月曰季冬。曰暮冬。曰冬杪。

【紀歷撮要】冰結後水落。主來年旱。冰結後水漲。名上水冰主水。若堅厚。來年大水。

【本草綱目】臘雪密封陰處。數千年亦不壞。用水浸五穀種。則耐旱不性蟲。

【梅花茶】收梅花點茶法。臘月梅將開時。清且摘半開花頭蒂置瓶內。每一兩重。用炒鹽醃之。不可用手觸壞。以厚紙數重密封。置陰處。次年取時。先置蜜於盞內。後取花二三朵。滾湯一泡。花頭自開香美。

二月

【閏日與閏年】以地球繞太陽一周爲一年者謂之陽曆。以三百六十五日爲一年。惟地球繞太陽一周實須三百六十五日又四分日之一。故有奇零。因之每四年閏一日。一三五七八十十二各月皆三十一日、四六九十一各月皆三十日。二月則平年二十八日遇閏二十九日。陽曆積四年所得奇零數以成一日。加之於二月中謂之閏日。凡陽曆有閏之年曰閏年。無閏之年曰平年。

【孟春】孟春以立春當月之初。首五日東風解凍。次五日蟄蟲始振。後五日魚上冰。以雨水當月之中。首五日獺祭魚。次五日雁候北。次五日草木萌動。若孟春行夏令則雨水不時。草木蚤落。國時有恐。行秋令則其民大疫。飄風暴雨總至。藜莠蓬蒿並興。行冬令則水潦爲敗。霜雪大繁首種不入。

【農諺】立春晴。好收成。立春三日。百草排芽。立春好栽樹。雨水種落水。

【農民節】民國三十年第一次全國農林行政會議議決。

以立春日爲農節。

【梅花信】本民俗謂之梅花信。一年二十番花信風。梅信最早。春梅之開放時間。因氣候及地土關係各地不同。大率立春後始盛開。紅英綠萼。相間萬重。不啻香國。雖頗有人主張中國應採用梅花爲國花者。

【咬春】我國北方立春食蘿蔔最盛行。謂可解春困。即立春後亦然。城北集詩注稱。燕俗立春後競食生蘿蔔。名曰咬春。半夜中街市猶有賣者。高呼曰賽過鹽梨。彭蘿章幽州土風吟咬春詞云。蘿蔔辛。名咬春。此是古人菜根意。可愧一食萬錢人。食萬錢。恣遊戲。笙歌叢裏朝朝醉。不到山村水邊去。九十韶光睡夢中。春人誰識春滋味。

【迎春】禮記月令。天子親率三公九卿諸侯大夫以迎春於東郊。後世因之。地方官亦有迎春典禮。皆於立春前一日行之。又迎春亦云迎歲。淮南子以迎歲於東郊。

三月

【仲春】以鶯螿當月之初。首五日桃始華。次五日倉庚鳴。後五日鷹化爲鳩。以春分當月之中。首五日玄鳥至。次五日雷乃發聲。後五日始電。此爲仲春之二氣六候。若仲春行秋令則其國大水。寒氣總至。寇戎來征。行冬令則陽氣不勝。麥乃不熟。民多相掠。行夏令則國乃大旱。暖氣早來。蟲螟爲害。

【農諺】鶯螿開雷。小滿發水。鶯螿開雷。米麵如泥。

鶯螿前雷。四十九日雲霧不開。鶯螿有雨並開雷。麥積場中如土堆。鶯螿吹起一撮土。到冷四十五。鶯螿寒。秧成團。鶯螿暖。秧成桿。鶯螿割蜜。春分晝夜平。春分秋分。晝夜平分。春分有雨家家忙。春分落雨到清明。

【陶朱公書】鶯螿前後有雷謂之發蟄。雷聲初起從乾方來。主人民災。坎方來。主水。艮方來。主米賤。震方來。主歲稔。巽方來。主蝗蟲。離方來。主旱。兌方來。主五金長價。又春分雨人有災。諺云。春分無雨病人稀。又春分日西風麥貴。南風先水後旱。北風米貴。

【二分二至】二分春分秋分也。按此二節曰分者。以當此之時全地球無論何處晝夜均平分爲十二小時也。二至冬至夏至也。冬至夜最長。夏至日最長。古人將周天分爲三百六十度。自春分起算。春分爲零度。夏至九十度。秋分一百八十度。冬至二百七十度。更進而至春分合爲三百六十度。即復於零度。其間每相距之九十度。各六分之共得二十四節氣。含二十四節氣爲四時。合四時而成歲。以便人人憑此準則力求適合環境。

一歲二十四節氣中。以二至二分最爲重要。

【花朝】花朝俗稱百花生日。一名花節。其時各地習慣不同。山東曹縣以春分爲花朝。最爲適當。按花朝月夕。世所諺稱。仲春時節。春序正中。百花競放。當作

爲提倡園藝之節。以鼓勵人對於園藝之興趣。養成其欣賞自然界之意識。

【春社】古者二十五家爲里。里各立社。書其社之人名於籍。里以下十家五家共爲社者曰私社。以供鄰里鄉黨謀公共之事。社之組織既遍。乃更演進而爲人民結合遊息之所。飲食宴樂之資。始由宗教性政治性而充分具有社會性矣。春社者仲春祀土穀神以祈農祥也。近世以立春後五戊（取戊屬土之義）爲春社。約當春分前後。爲便於記憶起見。當以春分日舉行春社。最爲相宜。因是時天氣漸暖。又適當農事將興之候也。

【植樹節】民國初年原定清明爲植樹節。然氣候寒溫各地不一。北方較寒尙屬適宜。南方斯時已在草木萌動樹液上升之際。一經移植有礙植物營養。常致成活不易。是以其後改定三月十二日爲植樹節。

【桃花節】日本風俗。以三月三日爲傀儡節。凡家中有女孩者。是日必飾傀儡。供以糕餅。時值桃花正放。故亦名桃花節。

【桃花汛】三四月間冰泮雨積。黃河等處。潮流順漲。謂之桃花汛。簡稱桃汛。又稱桃花水。亦稱春汛。桃汛後至立秋前。亦有大汛。謂之伏汛。立秋後至霜降節爲秋汛。三汛最爲河防緊要之時。

四月

【季春】季春以清明當月之初。首五日桐始華。次五日

魏頌唐農曆

田鼠化爲鴛。後五日虹始見。穀雨當月之中。首五日萍始生。次五日鴈鳩拂其羽。後五日戴勝降於桑。此爲季春之二氣六候。若季春行冬令。則寒氣時發。草木皆蕭。國有大恐。行夏令則民多疾疫。時雨不降。山林不收。行秋令則天多沉陰。淫雨早降。兵革並起。

【農諺】清明前。去撒棉。清明前後。種瓜點豆。清明晴。魚子上高坪。清明時節雨紛紛。清明要晴。穀雨要雨。清明無雨早黃梅。清明吹南風。一定收成豐。清明斷雪。穀雨斷霜。清明種菜。強似放債。清明高粱穀雨穀。清明浸種。穀雨播秧。穀雨三朝蠶白頭。穀雨有雨棉花肥。穀雨蠶生牛出屋。穀雨筍頭齊。穀雨山頭烏紫棠。穀雨黍挑旗。

【社疑說】農家以霜降前一日見霜。則清明前一日霜止。霜降後一日見霜。則清明後一日霜止。五日十日而往前後同占。欲出秧苗。必待霜止。每歲推驗若合符節。【杏花雨】清明時節。往往有微雨。唐杜牧詩。清明時節雨紛紛。路上行人欲斷魂。古人謂之杏花雨。因杏花開時。正值清明前後。必有雨故有此稱。

【穀雨茶】茶喜高溫溼潤之氣候。我國產茶區域。率在北緯二十三度與三十二度之間。因天時地土關係。品質之佳爲世界之冠。向於穀雨前後採之。茶疏云。清明穀雨摘茶之候也。清明太早。立夏太遲。穀雨前後其時適中。茶譜亦稱穀雨前後收者最佳。粗細皆可用。今俗於

穀雨日採茗名穀雨茶。

【桃花粥】金門歲節謂洛陽人家。寒食裝百花輿。煮桃花粥。陳樵寒食詞。綿上火攻山鬼哭。蠻華夜入桃花粥。

【松花餅】松至清明節前後。以杖叩其枝。則花粉紛紛墜落。俗以調蜜作餅。道人曰松花餅。

【甜酒醪】酒醪盛行於浙西各縣。一名酒醪。亦稱甜酒醪。肩挑担販。在春時。清明尤多。人咸嗜之。其製法先以糯米浸水中約一週時。取出淘之使淨。然後蒸熟鋪

之待冷。卽置鉢中。撒以酒藥。四周緊貼中空作一圓形。三日後卽釀成可食。味甘色白。敷以玫瑰。氣更芬芳。

【寒食】寒食一名冷節。北人謂之禁烟節。起源甚古。至周始行禁火之制。寒食大抵多用春日。因其時氣已暖。冷食較宜。可無流弊。惟日期至不一律。如荆楚歲時

記以清明前一日爲寒食。熙朝樂事以清明前二日爲寒食。乾淳歲時記以清明前三日爲寒食。癸辛雜誌及燕京歲

時記又復以清明爲寒食。但古人稱寒食爲百五之辰。清明爲百六之辰。則寒食當在清明前一日。普通以其相接

。故止稱清明。不言寒食也。

【踏青】節屆清明。桃蕊吐豔。柳線垂金。正春光最妍麗之時。故古人於清明前後類多提倡社會公共娛樂。如上已修禊。寒食戲鞦韆。清明踏青等皆是。尤以清明如

值昇平。遊宴極盛。唐於是日新進士開宴集於曲江亭。

既撤饌則移樂泛舟。又有月燈開打球之會。

五月

【孟夏】孟夏以立夏當月之初。首五日蟻蟬鳴。次五日蚯蚓出。次五日玉瓜生。以小滿當月之中。首五日苦菜秀。次五日靡草死。次五日麥秋至。此爲孟夏之二氣六

候。若孟夏行秋令則苦雨數來。五穀不滋。四鄙入保。行冬令則草木早枯。後乃大水。敗其城郭。行春令則蝗

蟲爲災。暴風來格。秀草不實。

【農諺】立夏三朝鋤田。立夏不下高掛犁耜。立夏不起塵起塵好收成。立夏晴。簑衣笠帽滿田。立夏落。簑衣笠帽掛簷下。立夏浸種。小滿飄秧。立夏見三新。

小滿動三車。小滿不滿。芒種不管。小滿不滿。乾斷田坎。小滿不下。犁耜高掛。小滿溝不滿。爲何不種早。

小滿蠶麥熟。小滿麥滿倉。

【齊民要術】凡夏種欲淺。直置自生。因夏氣熱而生速也。

【青紗障】我國東三省山東皖北蘇北等處。每當五六月至七八月高粱秀茂時。盜匪出沒最爲猖獗。以其易於隱匿而難破獲也。土語謂其時曰青紗障。

【賣時新】立夏時物最夥。蔬果鮮魚諸品應候選出。鄉人担賣不絕於市。吳俗號爲賣時新。有立夏見三新或八

新。及櫻桃尤熟之說。三新者青梅櫻桃穠麥也。八新謂櫻杏麥蠶豆菜飯鱖魚石首魚也。九熟者指櫻桃青梅新

茶麥蠶豆玫瑰花象筍松花穀餅也。

【麥秀寒】本月以清和天氣爲正。必作寒數日謂之麥秀寒。卽月令麥秋至之候。

【勞動節】勞動節或稱五一節。卽五月一日國際勞動界三八運動成功之紀念日也。我國亦規定是日各工人休業一日。以資紀念。

【和平日】一九三二年維也納萬國和平會議決定。以每年五月十八日爲和平紀念日。

六月

【仲夏】仲夏以芒種當月之初。首五日螳螂生。次五日鵙始鳴。後五日反舌無聲。以夏至當月之中。首五日鹿角解。次五日蜩始鳴。後五日半夏生。此爲仲夏之二氣六候。若仲夏行冬令則霜凍傷穀。道路不通。暴兵來至。行春令則五穀晚熟。百廢時起。其國乃飢。行秋令則草木零落。果實早成。民殃於疫。

【農諺】芒種忙忙種。芒種無雨空種田。芒種一聲雷。時中三日雨。芒種種黍稷。芒種逢壬入羣。夏至逢庚出羣。芒種落秧不爲早。夏至落秧不爲遲。芒種芝麻夏至豆。芒種見麥種。芒種一半刈。夏至一陰生。夏至落雨做重羣。夏至有日三伏熱。

【黃梅雨】本月東南濱海之區。因季候風方向由西北改爲東南。寒暖燥濕不同之二種空氣相遇合。水蒸氣多而地面尚冷。故常濕潤多雨。適當梅熟之候。色黃將落。俗因稱其時曰黃梅。淫雨霖霖連日不開。謂之黃梅雨。

魏頌唐農曆

【梅水】吳俗居民於初交梅時列缸於庭。收蓄雨水以供烹茶之需。名曰梅水。

【發黃梅】夏至前芒種後。田家初插秧。謂之發黃梅。七月

【季夏】季夏以小暑當月之初。首五日溫風至。次五日蟋蟀居壁。後五日鷹始擊。以大暑當月之中。首五日腐草爲螢。次五日土潤溽暑。後五日大雨時行。此爲季夏之二氣六候。若季夏行春令則穀實鮮落。國多風款。民乃遷徙。行秋令則邱隰水潦。禾稼不熟。乃多女災。行冬令則風寒不時。鷹隼早擊。四鄙入保。

【農諺】小暑一聲雷。翻轉做重梅。小暑大暑。有食懶。大暑熱處外。處暑熱處內。大暑過三朝。種豆不瀝。大暑弗澆苗。到老無好稻。

【三伏】夏有三伏。俗以夏至後第三庚爲初伏。第四庚爲中伏。立秋後初庚爲末伏。所謂伏日卽金氣伏藏之日。四時代謝皆以相生。立秋以金代火。而金畏火。庚日爲金故值庚日必伏。斯時地面之上氣候炎熱。而地下較爲涼爽。立秋後則反是。古本無三伏之名。至秦始有之。

【棉花生日】棉花爲禦寒要品。近因科學昌明爲用尤廣。棉絮除紡紗織布外。並可爲製造火藥及人造絲之原料。棉子可以飼畜。蠶皮可以造紙。棉油可供食品。在醫藥上棉花常用以敷治創口。揩拭液汗。草棉及其子實又可入藥。吳俗以七月二十日爲棉花生日。載歲時瑣事。

允宜加以提倡宣傳。藉以引起社會上之注意。

【糯稻天】老農云。三伏中糯稻天氣。又當下糶時。最要晴。晴則熟故也。

【雙花茶】金銀花一名忍冬花。性甘寒除熱解毒。能和薺術。以之代茶足以辟瘴疫穢惡濁邪。昔人並用以釀酒熬膏皆妙。菊花生於春。長於夏。秀於秋。得天地之清芳。稟金精之正氣。味甘涼能祛風清利頭目。盛夏俗用以泡茶。取其能入肺腎兩種。疏風熱安腸胃防眩暈也。肝胆火旺者尤宜常飲。伏天茶坊類多以金銀花菊花點湯。吳俗謂之雙花。

【伏醬】三伏日光最烈。且天氣乾燥。蒸晒之效力極大。故凡製造醬醋等物者。必以伏日味亦最美。謂伏日造醬醋不生蟲。有伏醬六月紅之目。鄉間一度造之藏取給焉。夏日瓜蔬最夥。而造醬又適在斯時。故凡黃瓜茄子蘿蔔萹苣蕓菹之類皆可醬藏。醃以供日後下饌之需。

【伏油】江南俗於小滿後開始動油車。其於伏中榨之者名曰伏油。蓋斯時菜子方告收下而又值盛熱。其子中油之發揮性甚濃。榨之量可多而又甚易。

【抹桐油】桐油係用油桐子壓榨而成。有白黑兩種。凡油紙油布雨衣紙燈之屬皆用之。又可以製假漆防腐。及油輪原料等。盛夏天燥。俗多用以繫飾房屋靴鞋船艇及各種木器傢具。取其堅凝可以防腐止漏。鄉間門窗之不措油漆者。均用桐油代之。謂之抹桐油。

【孟秋】孟秋以立秋當月之初。首五日涼風至。次五日白露降。後五日寒蟬鳴。以處暑當月之中。首五日鷹乃祭鳥。次五日天地始肅。後五日禾乃登。此為孟秋之二氣六候。若孟秋行冬令則陰氣大勝。介蟲敗殺。戎兵乃來。行春令則其國乃旱。陽氣復還。五穀無實。行夏令則國多火災。寒熱不節。民多癘疾。

【農諺】立了秋搗鋤鉤。立秋至時梧葉落。立秋三天遍地紅。立秋落雨廿日旱。廿日之後爛稻桿。處暑十天正割穀。處暑勿澆苗。到老無好稻。處暑難得十日陰。處暑斷犁耙。處暑見新花。

【韓氏直說】凡地除種麥外。並宜秋耕。秋耕之地。荒草自少。極省鋤工。

【呂氏春秋】秋之德雨。雨不信。其穀不堅。穀不堅則五種不成。

【秋老虎】立秋後往往有數日炎暑逼人。無異盛夏者。江浙一帶俗稱曰秋老虎。蓋喻其凶猛可畏有如虎也。

【攔稻】稻田立秋後不添水。晒十餘日謂之攔稻。

【損稻風】月內有西南風主生蟲損稻。秋前損根可再抽苗。秋後損者不復抽矣。諺云。秋前生蟲。損一窠發一窠。秋後生蟲。損了一窠。無了一窠。

【仲秋】 仲秋以白露當月之初。首五日鴻雁來。次五日玄鳥歸。後五日羣鳥養羞。以秋分當月之中。首五日雷始收聲。次五日蟄蟲坯戶。後五日水始涸。此爲仲秋之二氣六候。若仲秋行春令則秋雨不降。草木生榮。國乃有恐。行夏令則其國乃旱。蟄蟲不藏。五穀復生。行冬令則風災數起。收雷先行。草木早死。

【農諺】 白露日晴稻有收成。白露難得十日晴。白露身不露。白露不出頭。割倒喂老牛。白露三朝花上行。白露割穀子。白露日雨爲苦雨。稻禾沾之多秕。蔬菜沾之多苦味。秋分白雲多。處處好田禾。秋分蟄夜平。秋分麥入土。秋分見麥苗。秋分種麥。前十天不早。後十天不晚。秋分種菜小雪醜。

【農政全書】 種麥白露節後種。須揀成實者。棉子油拌過則無蟲而耐旱。

【中秋】 中秋謂居三秋之中。我國之歲時令節。以中秋產生爲最晚。唐以前世俗尙無中秋。江南俗呼中秋曰八月半。民國以爲秋節。十四年改以陽曆秋分前後之望日。最早九月九日最遲十月七日爲中秋。通常的當九月中。余以秋分爲秋之中。似應以秋分日爲中秋。

【桂花蒸】 中秋前後。常有數日盛熱而不可耐者。俗稱之曰桂花蒸又謂之木犀蒸。清嘉錄謂俗呼嚴桂爲木犀。有早晚二種。在秋分節開者曰早桂。寒露節開者曰晚桂。將花之時必有數日盛熱如溽暑。謂之木犀蒸。言蒸鬱

而始花也。猶八月之秋老虎。十一月之小陽春。同爲形容斯時氣候之諺語。

【桂酒桂漿】 桂花性辛溫。能化痰生津潤髮辟臭美顏色治風蟲牙痛。古調味與菴並稱。亦用以入酒漿謂之桂酒桂漿。桂酒採桂置酒中也。桂漿一名糖桂花。其製法先將桂花用已冷之淡鹽水洗過。俟濾乾以白礬拌勻置碗內。再加白糖緊壓之。嫩蕊亦可切片拌入。或加以酸梅。務使糖滴浮在桂花面上約半寸許。約一星期即成漿。其味甘酸而微辛。頗堪適口。可作櫨子圓子之餡心。及貼於年糕上之用。

【錢江湖汐】 潮係海水定時漲落之通稱。乃由日月吸引地體與吸引海水之力較差而成。當朔望之時日月同經或正相對。其吸力合而厚故潮汐大。上下兩弦日月距離九十度。其吸力分而薄故潮汐小。我國東南沿海。巖壁割露。河流突出。潮汐吞吐。輒成偉觀。杭州灣以南。概爲高峻海岸。山巖陰沉。海灣深入。河流入海均在海灣之中。而成喇叭口。錢塘江怒潮。其高達三丈爲全國第一大潮。即由地形構造使然。方其遠出海門僅如銀線。既而漸近則亘如山巖。聲若雷鼓。有白馬銀山之觀。吞天浴日之勢。至海寧而極盛。宛若銀城雪嶺千軍萬騎簇擁而來。不可卒退。宋蘇軾有八月十八潮。壯觀天下無之句。秋日金風蕭爽。丹桂飄香。對景行樂最足怡情。故自西漢時國人卽有觀潮之舉。今則八月十八日海寧觀

潮已成浙中習俗。

【秋社】古人立社本爲春日祈農之祭。其後倡爲春祈秋報之說。乃設秋社。蓋春日田事將興祀之以祈農祥。秋日田事既畢故爲祭賽以報。秋社日期各地不一。今爲便於計算起見。以秋分日爲秋社。最爲適當。斯時早稻大都已登。晚禾亦已結穗。歲之豐歉一望而知。

【豆腐發明家紀念日】豆腐一名黎祁。相傳爲西漢淮南王劉安所發明。凡黑豆黃豆白豆泥豆豌豆綠豆之類皆可造之。我國產豆占世界十分之八爲第一之大豆生產國。夙以製造豆類食品著名。如豆乳豆油豆餅豆漿醬油油腐豆腐乾等。豆腐卽其中之一。法用水浸燈碎濾去滓煎成。以鹽滷汁或山藥葉或酸醬醋澱就釜中收之。又有傾入缸內以煨石符末收之者。大抵其漿得鹹苦酸辛之物皆可收斂。性甘鹹食之能清熱散血寬中益氣和脾胃消脹滿下大腸濁氣。所含營養物質甚多。其中水分約占百分之八八。七九。脂肪百分之二。九五。二。灰分百分之〇。六四。蛋白質百分之六。五五。纖維百分之一。〇七。比較上蛋白質之量實屬多數。且消化良好價格低廉堪推富於滋養之平民化食品。至豆腐皮之能養胃滑胎解毒。豆腐糝之能開胃消滯逐積。豆腐渣之療一切惡瘡無名腫毒。豆腐乳之養胃調中等猶其餘事。豆腐漿係製豆腐時將黃豆浸胖磨出之汁。煮熟成漿而尙未點化成腐者。其中含水量八九。二五。蛋白質三。一六。脂肪三。一〇。

糖分三。〇二。灰分〇。四五。其他一。〇二。食之能清咽去膩解鹽滿毒。瀉熱下氣利便通腸富於滋養作用。又止淋濁。五更沖鷄蛋白糖點服寧嗽補血。俗以每年九月十五日淮南王誕辰爲豆腐發明家紀念日。

十月

【季秋】季秋以寒露當月之初。首五日鴻雁來賓。次五日雀入大水爲蛤。後五日菊有黃華。以霜降當月之中。首五日豺乃祭獸。次五日草木黃落。後五日整蟲成蟄。此爲季秋之二氣六候。若季秋行春令則其國大水。冬藏殃敗。民多嗟飢。行冬令則國多盜賊。邊境不寧。土地分裂。行春令則暖風來至。民氣解惰。師與不居。

【農諺】寒露到。割秋稻。霜降到。割糶稻。寒露不算冷。霜降變了天。寒露百草枯。寒露無青稻。霜降一齊倒。寒露開花不結子。寒露前後看早麥。霜降拔葱不拔就空。霜降見霜米爛陳倉。霜降水痕收。霜降殺百草。霜降麥秀齊。

【國慶日】國慶日。國有大慶之日也。中華民國以陽曆十月十日爲國慶日。卽民國紀元前一年武昌起事之日。正式政府亦於民國二年十月十日成立。又稱雙十節。本月禾稼大都已登。兩成事畢。爲一歲耕種之結束。正是農家宴饗慶成佳日。如詩經爾風所述。十月獲稻。爲此春酒。以介眉壽。又十月納禾稼黍稷重穰禾麻菽麥。又十月滌腸。朋酒斯饗。日殺羔羊。躋彼公堂。稱彼兕觥。

。萬壽無疆。其涵義至爲重大。

【小春】歲時事要謂。十月天時和暖如春。花木重花。故曰小春。爾雅釋天。十月爲陽。因又曰小陽春。

【寒露酒】本草綱目謂。寒露日取井水宜浸造滋補丹丸。並糞穢藥酒與雪水同功。故鄉人率多利用新收穀物於本日開始釀各種新酒。齊民要術載有冬米明酒及酃酒之製法。其釀造時期皆在陰曆九月。即陽曆十月也。菊花酒能愈頭風明目。製法甚多。本月菊已盛開。故凡製菊者可採以釀酒。

【二月花】楓冒霜葉紅。顏色鮮明。望若錦繡。昔人有霜葉紅於二月花之句。國內若蘇州之天平江寧之棲霞諸山皆以楓葉著稱。每當夕陽西下。紅葉參錯。縱目眺望。粲麗珊瑚灼海。

【霜信】北方白雁。似雁而小色白。秋深乃來。白雁至則霜降。河北人謂之霜信。杜甫詩云。故國霜前白雁來。謂此。

【霜降信】霜降前後起西北風。謂之霜降信。有雨謂之濕信。未風先雨謂之料信雨。霜降前來信易過善。後來信必嚴毒。此信乾濕後來必如之。諺云。霜降了。布衾着得。言已有暴寒之色。

十一月

【孟冬】以立冬當月之初。首五日水始冰。次五日地始凍。後五日雉入大水爲蜃。以小雪當月之中。首五日虹

藏不見。次五天天氣騰地氣降。後五日閉塞而成冬。此爲孟冬之二氣六候。若孟冬行春令則凍閉不密地氣上泄。民多流亡。行夏令則國多暴風。方冬不寒。蟄蟲復出。行秋令則雪霜不時。小兵時起。土地侵削。

【農諺】立冬先封地。立冬白菜肥。立冬不拔菜。一定受霜害。立冬不出洞。到老一根蕪。立冬出葱。立冬晴一冬晴。立冬無雨一冬晴。小雪弗見雪到老無英結。小雪雪滿天。來歲必豐年。小雪封地。小雪不種地。

【立冬信】田家雜占。立冬前後起西北風。謂之立冬信【冬桑葉】桑葉性苦甘寒。能祛風清熱涼血明目。以老而經霜者爲佳。是時經秋入冬已得嚴肅之令。兼能泄降肝胆之鬱熱。俗以立冬日採收者效力較大。名冬桑葉。

【小雪酒】造酒遠在夏代。詩經國風十月穫稻。爲此春酒。以介眉壽。釀酒多在冬季。取其農事已畢。作物方登。而歲終祭祀報賽。酒之爲用亦較廣也。俗以小雪後造酒名小雪酒。色清味冽。蓋斯時水極澄清。足與雪水同功。今凡收成較遲者。多於此時爲之。

【雪裏紅】蔬菜有清血生精調和腸胃之功。經霜後菜正肥。味甚美。如青菜雪菜等。俗皆鹽藏於缸甕爲禦冬之用。極富滋養。江南之雪裏紅英國人尤嘆賞呼之爲生命菜。

十二月

【仲冬】仲冬以大雪當月之初。首五日鶡且鳴。次五

日虎始交。後五日荔挺生。以冬至當月之中。首五日蚯蚓結。次五日蟻角解。後五日水泉動。此爲仲冬之二氣六氣。若仲冬行夏令則其國乃旱。霧霧冥冥。雷乃發聲。行秋令則天時雨汁。瓜瓠不成。國有大兵。行冬令則蝗蟲爲敗。水泉咸竭。民多疥癩。

【農諺】大雪不出土。大雪不行船。大雪封河。大雪無雲是荒年。冬至一陽生。冬至不過不寒。冬至日子短。冬至前後酒水不流。冬至天氣晴來年果木成。冬至遇大雪來年果了結。冬至無雨一冬晴。

【暢月】禮仲冬之月。地氣沮泄。命之曰暢月。注暢充也。此月爲充實之月。當使萬物充實也。

【唐花】冬末春初。花肆往往利用窖藏以發非時之花。如牡丹芍藥碧桃玉蘭等至是咸可裝置盆景。開始出售。以供居民新年點綴之用。俗稱曰唐花。蓋入冬土中氣暖。窖中養花亦人工栽培法之一種也。

【冬節】冬至日也。齊書。武陵昭王曄傳。冬節問訊。諸王皆先。曄獨後來。民國亦定冬至爲冬節。

【冬春米】計一歲食米若干石。並力春白。盡臘中畢事。藏至次年。蒸過開食。終歲不壞。北方呼爲臘米。南

大謂之冬春米。食之最益脾胃。因多月米堅。折耗少。故必於冬時春之。若立春後則蒸氣動。粟碎而質不堅矣。

【除夕】十二月晦日爲除夕。謂革除舊曆至新歲也。禮記月令。日窮於次。月窮於紀。星回於天。數將幾終。歲將更始。俗稱大年夜。亦謂之大盡或大節夜。歲中人事至是始告結束。

【年關】有無相通。人情之常。惟除夕前則概須清償不能再事拖欠。故俗稱年底曰年關。以其有如關隘之不可飛越也。

【鐵門限】歲中稱貸俱於此日索償。俗稱曰鐵門限。貿易場中。自昏達旦。絡繹於途。凡積欠年賬宿逋。最遲至除夕必須設法清償之。

【分歲】謂新舊之歲自此分也。風土記除夜祭其先。竣事。長幼聚飲。祝頌而散。謂之分歲。

【別歲】北京歲華記。先除夕一日曰小除。人家置酒宴。往來交謁曰別歲。

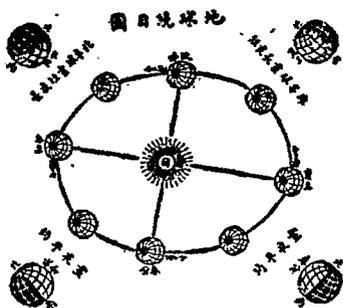
【迎年】荆楚歲時記。歲暮家家具肴菽。詣宿歲之位以迎新年。相聚酣飲。陳帥遜詩。迎年遽得春。

課農山莊詩文選

地球繞日圖說

見國民曆

地球繞太陽運行之軌道爲橢圓形。太陽在其二焦點之一。其軌道平面在大球上投影。謂之黃道。其與赤道之平面相交。成二十三度半之角。故太陽出入於赤道南北。太陽在赤道南最低之處爲冬至。在赤道北最高之處爲夏至。



至。適在赤道時則爲春分秋分。自春分起算。循黃道東行。將周天分爲三百六十度。每十五度爲一節。則一年共得二十四節氣。其次序爲春分。清明。穀雨。立夏。小滿。芒種。夏至。小暑。大暑。立秋。處暑。白露。秋分。寒露。霜降。立冬。小雪。大雪。冬至。

小寒。大寒。立春。雨水。驚蟄。地球繞太陽一周。需日三百六十有五又約四分日之一。

是爲一年。惟因軌道非正圓。故在天之視行有盈縮。自春分至秋分歷百八十六日有餘。自秋分至春分歷百七十九日不足。因而節氣相距爲日亦各不同。計最近者爲冬至至小寒僅十四日又四分日之三。最遠者爲夏至至小暑則十六日欠四分之一。

陽曆與陰曆

竺可楨

『陽曆與陰曆』這題目實在可說已是老生常談。我今天所以要提出這個題目來講的原因。是因為一般人仍有許多錯誤的觀念。第一有的人以爲陽曆來自外國。這是不對的。我們從甲骨文上可以看出中國三千年前有十三月的名稱。已經是陰陽曆並用。書經堯典『棊三百有六旬有六日以閏月定四時成歲』。所謂三百有六旬六日就是陽曆年。以閏月定四時成歲乃是陰陽曆並用。西洋在希臘羅馬時代也夾用陰陽兩曆和中國原是一樣。第二有的人認爲西洋古代曆法較我國曆法精密。這也不對。要曉得我們中國古代曆法是相當進步的。孟子離婁章說道『天之高也星辰之遠也。苟求其故。千歲之日至可坐而致也。』這就表示戰國時代測定陽曆年的長短已極有把握了。自漢武帝陽朔元年開始辦太學。到前漢末年太學生增加到三千人。他們學習科目雖是注重讀經。但是天算自故爲六藝之一。太學裏亦列科目。東漢的著名天算大

家張衡和王充統是太學學生。到了唐朝太學改稱國子監。律算列爲太學四門功課之一。所以中國古代曆法之有相當進步不是偶然的。

說明以上這兩點。我們再說陽曆和陰曆的不同。所謂陰曆是完全依據月亮的行動。陽曆則完全依據太陽的周期。中國古曆所謂農曆並非全用陽曆。也並非全用陰曆。是陰陽曆並用的。

陽曆和陰曆爲什麼不能調和起來呢。根本是兩個週期不能相合。月亮繞地球一週所需時間爲二九·五三〇五九天。就是二九天十二小時四四分三秒。地球繞太陽一週所需時間爲三六五·二四二二一六天。即三百六十五天五小時四八分四六秒。兩個週期的小數都很另碎不能相互除盡。所以要把他合起來是非常困難的。中國古代農曆把陰陽二曆調和到相當成功。陰曆月大卅天月小廿九天。一年十二個月只三百五十四天。要比陽曆年少十一天有餘。每隔三年若插入一個閏月却尚多了幾天。但若十九個陰曆年加了七個閏月和十九個陽曆年幾乎相等。所差不過兩小時九分卅六秒。我國在春秋時代已知道十九年七閏的方法。要比希臘人梅冬 Meton 發明這個週期時間上早一百六七十年。

二十四節氣也是中國曆的特點。節氣是完全跟太陽走的。可稱陽曆的一部份。地球繞日因爲晝夜長短太陽高低的不同所以一年才會有春夏秋四季。日子最長的那一

天稱爲夏至。日子最短的那一天稱爲冬至。夾在中間晝夜平分各十二小時的二天稱爲春分秋分。二至二分在春秋時就已經知道了。其餘廿個節氣到漢初才完備。西洋只有春分夏至秋分冬至四個節氣。並不像我們中國有立春雨水驚蟄等等。我國的廿四節氣中。十二個爲氣。十二個爲節。節應在月初氣應在月中。所以氣又名中氣。譬如立春爲陰曆正月之節。雨水乃正月之氣。驚蟄爲二月之節。春分乃二月之氣等等。廿四節氣一個循環即是從立春到立春冬至到冬至。有三百六十五天又四分之一天。一節一氣平均卅天有餘。而陰曆一個月只有廿九天有餘。過了若干時必會有月份單有節而無氣。或有氣而無節。這有節無氣的月份就叫這閏月。

以上所講是中國農曆對於陰陽曆的安排。中國農曆的好處是陰陽兩曆的週期統顧到了。維持了一個月月中晦朔弦望和一年中的春夏秋冬。他的缺點是年度長短不同。平年只三百五十四天。閏年多一個月就是三百八十四天。此于計算極不方便。

其次我們要講西洋的曆法。西洋的曆法自從羅馬傳統下來的。在儒略該撒做皇帝以前的時代即是前漢元帝以前的時期。羅馬也是陰陽兩曆並用。一年三百五十四天每隔二、三年插一個閏月。可是到儒略該撒的時候羅馬曆法非常紛亂。該撒從了天文學家索雪琴的話。大事更張釐定一年平均爲三百六十五天又四分之一。年十二個

。大小月相間。月大卅一天月小卅天。惟二月只廿九天。每隔四年一閏。閏年二月份多一天爲卅天。這曆于西曆紀元前四十五年開始應用。名爲儒略曆。原先羅馬曆。以現在的陽曆三月爲歲首。以現在之十二月 December 爲十月。十一月 November 爲九月。十月 October 爲八月。九月 September 爲七月。所以到如今西文的名稱這四個月還是名實相矛盾的。現在的七月原名五月 Quintilis。該撤把他換了自己的名字稱爲 July 儒略。該撤死後沃古斯都繼位又把現在八月原名六月 Sextilis 的名稱改成沃古斯都 August。而且原來八月本卅天。把二月減少一天。把八月增加到卅一天。到如今陽曆月份大小參差名實不符完全由于歷史上的原因。

這儒略曆在西洋通行到十六世紀又發生了破綻。因爲儒略曆每年三五五又四分之一天與實際地球繞太陽一周三六五·二四二二一六天每年要差十一分。即每四百年要差三天。積至十六世紀時已差十餘天那時羅馬教皇格里閣萊第十三乃從天文家克勞維的建議。于西曆一千五百八十二年修改儒略曆。每四年一閏但每世紀之終須以四百除盡者始爲閏年。如此則四百年中可以減少三個閏年。正所以抵儒略曆的差誤。這格里閣萊曆即目前世界各國通行的陽曆。

格里閣萊曆要比儒略曆精密。平均每年三六五·二四二二五天和實際地球繞太陽一周的週期只多廿六秒。積到四

千年才差一天。但儒略曆的周期三六五·二五天和格里閣萊周期三六五·二四二五天。在中國曆法史上應用統比西洋來得早。儒略曆之周期即中國古代所謂四分曆。係東漢和帝時蔡邕所創。在四分曆以前漢武帝時代太初曆亦用此周期。太初曆係漢武帝時鄧平所創造。爲公元前一〇四年。比儒略曆之應用約早六十年。西漢以後六朝的祖冲之。唐的一行。元的郭守敬。于曆法均有貢獻。郭守敬授時曆所依據之陽曆年爲三六五·二四二五天。與格里閣萊曆周期相同。時爲公元一二八四年。比歐洲人用格里閣萊曆早幾三百年。

最後我們要講到現行陽曆即格里閣萊曆的缺點。和改良方案。現行陽曆的缺點第一是年月與星期不能配合。一年有五十二個星期多一天。閏年就多二天。這樣很不方便。譬如去年的元旦是星期三今年的元旦改成星期四。明年的元旦又變星期六。第二是十二個月長短的不整齊。譬如一月有卅一天二月只廿八天。七月以前大小月相間七八兩月又連大兩月。這樣無規則很應該加以整理。第三月份和四季的不能配合。陽曆元旦之所以成爲歲首是由于西曆紀元前四十五年儒略撤改曆時冬至後第一個朔日正落在那一天便成了正月初一。這完全是偶然的事。毫無科學的根據。到如今氣象學家把北半球溫帶上各地的三、四、五月作爲春天。六、七、八月作爲夏天。九、十、十一月作爲秋天。十二月和翌年一、二月

作爲冬天。如此四季分成兩截要搭到兩個年頭很不方便。

改良的方案不外三種。第一種主張改爲一年十三個月一個月四星期。這樣星期就能和年月配合了。每月的一日八日十五日廿二日一定是星期日。十三個月共計三百五十四天。平年尙多一日。閏年多兩日。如此星期和月份配合得當了。但是「十三」的數不能用二或四來除盡。在溫帶裏四季就不易分。而且有一二天的餘數。是很不方便的。此法西洋教會反對最烈。因爲多餘一天。算不到星期裏去。把西洋有史以來星期日的連續性中斷了。第二種辦法是西曆一八八七年亞美林 Armetin 提議的一種改良曆。把一年分爲春夏秋冬四季。每季三個月。前二月爲小月。卅天。後一月爲大月卅一天。每季九十一天十三個星期。一年中三、六、九、十二月大其餘月小。年終平年仍多一天閏年多兩天。平年所多一天。稱和平日。閏年所多一天稱閏日。閏日放在除夕之後和平日放在六七月之交。這辦法已經有很多天文學家同意。而且提出過幾次的國際會議。但是行起來還是有困難他的困難仍在多餘的和平日和閏日編不進星期裏去。第三種改良曆個人認爲最科學。是我國北宋沈括所提倡。而最近英人蕭訥伯 Tycho Brahe 所主張。蕭氏主張把元旦放在十一月六日。即是中國立冬節。因爲那個時候爲北溫帶葉落秋高收穫已畢農民閑暇時期。從十一月六日起。

一年分爲四季 1 冬（十一月六日至二月四日）2 春（二月五日至五月六日）3 夏（五月七日至八月五日）4 秋（八月六日至十一月四日）。每季皆九十一天。十三個禮拜。如此則春以春分爲中心。夏以夏至爲中心。秋以秋分爲中心。冬以冬至爲中心。平年多餘一日閏年多餘兩日。放在元旦之前。爲休息日。此主張可說和九百多年前沈括夢溪筆談裏的主張不約而同。沈括在夢溪補筆談卷二裏說道：「用十二氣爲一年。更不用十二月。直以立春之日爲孟春之一日。驚蟄之日爲仲春之一日……永無閏餘。十二月常一大一小相間了。縱有兩小相併一歲不過一次」云云。兩人主張所差別的。蕭訥伯要以立冬爲元旦。沈括則以立春爲元旦。這樣的改良曆。可稱爲澈底的陽曆。事事以太陽運行的週期爲主。較之現行的陽曆以一月一日爲歲首。尙是傳統的朔日。與月亮有關者。更爲合理。惟有一點須說明者即是地球繞太陽並非作正圓形。而是橢圓形。換言之。地球離太陽之距離有時遠有時近。地球一年中離太陽最近的時候軌道上這一點。叫近日點。離太陽最遠這一點。叫遠日點。現時地球到近日點正值一日一月。當北半球的冬天。到遠日點七月三日當北半球的夏天。離太陽最近的時候地球走得快。離太陽遠的時候地球走得慢。因此冬夏兩季的時間並不相等。冬季短而夏季長。從春分到秋分有一百八十五天。而從秋分到春分却只一百七十九天有餘。所

以如照沈括的辦法。冬季六個月每月只廿九天或卅天。而夏季六個月每月統有卅一天了。

新舊曆之異同

見國民曆

地球繞日一周。歷三百六十五日六時九分九秒。但自春分點回至春分點須三百六十五日五時四十八分四十六秒是謂歲實。蓋春分點逐漸西移。故以歲實爲一年之長。實際上較地球繞日一周之時刻爲短。其相差是二十分二十三秒。謂之歲差。惟因一年之內不能有奇零時數。故以三百六十五日爲一年。其所餘五時四十八分四十六秒積至四年。得二十三時十五分四秒約滿一日。故每過三年加增一日爲閏年。然仍不足四十六分五十六秒。積至二十五閏約不足四分日之三。故每滿百年廢一閏。至第四百年則又加一閏。如是則每四年置一閏。每四百年中減三閏。平均計算每百年得三百六十五日五時四十九分十二秒。積三千年始有一日之差也。至置閏之法。則用西曆紀元計算。凡西曆年數之可以四除盡者。悉爲閏年。惟世紀年則不閏。世紀年之世紀數可以四除盡者。則仍爲閏年。例如一千九百十二年。一千九百十六年。一千九百三十二年等皆爲閏年。一千八百年。一千九百年則不閏。一千六百年。二千年則仍爲閏年。其餘仿此。至每年十二月中之日數分配皆有一定。即除二月外。

魏頌 唐農 曆

七月以前單月皆三十一日。雙月皆三十日。八月以後。雙月皆三十一日。單月皆三十日。二月則平年二十八日。閏年二十九日。若夫年之首日。即依閏法推算定之。舊曆之月。以日月合朔之日爲月之首日。凡日月合朔十二次。得十二月爲一年。惟因兩次合朔相距約二十九日有半。故每月之日數或爲二十九。或爲三十且以干支中十二地支分配十二月而建寅之月。則爲歲首之正月。計一年十二月得三百五十四日。以之與新曆相較。約差十一日。積至三年。可差三十三日。故每三年須置一閏月。再積二年。又差二十五日。亦可置一閏。平均計算。十九年置七閏月。以之與新曆置閏相較。其精密度。自不可同日而說也。

以二十四節氣。分配於十二月。新舊曆皆同。即一月之內通例有一節一氣。但每一節氣之日數。平均約三十日又十分日之四。故在新曆內節氣之日期約略一定。而在舊曆。因每月爲二十九日半。故每曆三三年必遇一月。其內僅有節無氣即以之爲閏月也。

歷法革命四則

【沈存中說】曆法見於經者唯堯典。言以閏月定四時成歲。置閏之法自堯時始。閏法先聖王所遺。固不當議。然事固有古人所未至而俟後世者。如歲差之類方出於近

一五五

世。此固無古今之嫌也。凡日一出沒謂之一日。月一盈虧謂之一月。以日月紀天雖定名。然月行二十九日有奇復與日會。歲十二會而尚有餘日。積三十二月復餘一會。氣與朔漸相遠。中氣不在本月。名實相乖。加一月謂之閏。閏生於不得已猶構舍之用禳禪也。自此氣朔交爭歲年錯亂。四時失位算數繁猥。凡積月以爲時四時以成歲。陰陽消長。萬物生殺變化之節皆主於氣而已。但記月之盈虧都不繫歲事之舒慘。今乃專以朔定十二月而氣反不得主本月之政。時已謂之春矣而猶行肅殺之政。則朔在氣前者是也。徒謂之乙歲之春而實甲歲之冬也。時尙謂之冬也。而已行發生之令。則朔在氣後者是也。徒謂之甲歲之冬。乃實乙歲之春也。是空名之正二三四反爲實。而生殺之實反爲寓。而又生閏月之贅疣。此殆古人未之思也。今爲術莫若用十二氣爲一年。更不用十二月。直以立春之日爲孟春之一日。驚蟄爲仲春之一日。大盡三十日歲歲齊盡。永無閏餘。十二月常一大一小相間。縱有兩小相併一歲不過一次。如此則四時之氣常正。歲政不相陵奪。日月五星亦自從之。不須改舊法。唯月之盈虧事雖有繫之者。如海胎育之類。不預歲時。寒暑之節宣之歷間可也。借以元祐元年爲法。當孟春小一日。壬寅三日望。十九日朔。仲春大一日。壬申三日望。十八日朔。如此曆術豈不簡易。端平上符天運。無補綴之勞。予先驗天百刻有餘有不足。人已疑其

說。又謂十二次斗建當隨歲差遷徙。人愈駭之。今此曆論尤當取怪怒攻罵。然異時必有用予之說者。

【德采說】紀律化的新陽曆。一年仍分四季。每季三個月。全年十二個月。十二個月中。六個單月。一三五七九十一等月。六個雙月。二四六八十二等月。單月每月三十一日（單月單數）大月。雙月每月三十日（雙月雙數）小月。

標準年。全年三百六十六天（標準年其實即現稱之閏年）尋常年則於正月減少一天。標準年的元旦謂之標準日。每年的七月一日。適處上下半年的正中心。得謂之中心日。一年四季的名稱。仍爲春夏秋冬。惟將現在的月份提前一個月。二月改作一月。餘類推。如此則春爲一月二月三月。夏爲四月五月六月。秋爲七月八月九月。冬爲十月十一月十二月。

標準年的標準日適又達到星期一者。每二十八年中輪值四次。但能與星期輪值表配合者。祇有一年。這一年又得謂之統一年。

將現行曆法。如此修改。既遷就現實。易於記憶。現在姑名之爲紀律化的新陽曆。

【吾修說】一年分爲四季。每季三個月。每月三週。每週十日。一年本是三百六十五天零幾小時又若干分鐘。上面的十二個月祇佔了三百六十天。還剩餘的五天有零。不屬於任何一個月。這樣安排。以四天分別排在四季

之首。定名爲「春季日」。「夏季日」。「秋季日」。「冬季日」。還有一天有零。放在年末。定名爲「年終日」。

這個「新曆法」的理由與優點簡述如后。

第一。固定。容易計算。

第二。每一季與每年終。都有一個空的日子。可用來作爲檢討與清算過去一階段。計劃與預算將來一階段。毫不牽連常日。

第三。七天一次休息的星期日。改成十天在「週末日」休息一次。新年因爲有一個「週末日」一個「年終日」和一個「春季日」三天例假日連在一起。也不必另放年假了。

【王明旭說】把立春那一日定爲元月一日。立夏那一日定爲四月一日。三個月爲一季。一年分爲春夏秋冬四季。一年四季確定了。再決定月份的大小如下。一月三十一日。二月三十日。三月三十日。四月三十一日。五月三十日。六月三十一日。七月三十一日。八月三十日。九月三十日。十月三十一日。十一月三十日。十二月三十日。以上共計三百六十五日。

一週年本是三百六十五天又零幾小時若干分鐘。積了四年。約有一天。這一天可加在十二月月中。就是每四年置一閏年。遇閏年之年。十二月爲三十一日。譬如陽曆。亦每四年置一閏年。遇閏年之年。二月爲二十九日。是

一樣的例子。

按上列一四七十等四個月爲三十一日。表示爲每季之首月。此外惟六月是三十一日。表示是上下半年之隔離日。遇閏年之年。十二月應加上一日。表示閏年之隔離日。我中國以農立國。當以農爲主。這個曆法。就是二十四個節氣。都可以不要記了。於農民工作上是很適合的

中國天氣與中國氣候

盧溫甫

中國氣候以大陸性及季風型著於世。其特色爲季變顯而迅急。此在溫度與雨量爲尤然。冬季盛行於十一至三月間。是一時期。舉國一道同風。黃河以北多西北風。以南則以北風及東北風爲類。以其來自高緯內陸。故天氣寒冷乾燥。冬季風之吹襲。時有間歇。每於間歇之後。作猛烈之發爆。當其北而南。橫馳而下。所經之地。每狂飈突起。晝夜不息。一日之內。溫度可直瀉下降十五度（攝氏）之多。在長江流域以北。地面乾燥。時有風沙蔽天之象。至江南偶與海洋氣流相遇。常可見少量之雨雪。迨寒潮中心既過。始復轉晴。盛夏七八兩月。爲夏季風控制大陸之時期。其勢微弱無定。大體長江以南多東南風。以北多西南風。因其源自低緯海洋。溫度高而濕度大。各地天氣頗感溽暑。且以氣流不競。變動較

小。長夏炎矣。單調異常。僅於午後。偶或有雷雨興作。暑意始可暫殺耳。惟在沿海一帶。以海洋颶風時襲。破壞之力雖強。然天氣則稍多變化。春秋二季。為冬夏季風更迭之時期。二者消長進退。無時或已。故天氣之變化特劇。春季因地面增暖。大氣序不穩。尤多暴風及雷陣。此所以俗有「春天三變臉」之諺也。

以溫度言。中國年溫之低與年差之大。實冠於世界。此益冬季嚴寒與夏季潺暑有以致之也。溫度適以七月為最高。一月為最低。最冷與最熱月平均溫度之差華南約達十五度。長江流域在二十度左右。華北為三十度。至東北九省則不下四十度。其變幻範圍之鉅。可以想見。春秋二季和煦宜人為全年最佳之季節。華東一帶。秋季常在高氣壓中心附近。已涼未寒。晴朗燥爽。尤堪留戀。惟至西南山地。秋日天氣陰沉。且時或冷雨霏霏。連綿不開。濕氣侵人。殊足病垢耳。中國各區溫度。自下表（「中國各地溫度表」）可見一斑。

中國各地溫度（攝氏）表

地名	正月	四月	七月	十月	全年	極端高 度	極端低 度
廣州	二三·二	二七·六	三三·九	三一·八	二八·四	負〇·三	
昆明	九·五	一七·三	二〇·九	一五·七	一五·九	負五·一	
重慶	七·八	一八·八	一九·九	一八·七	一四·〇	負一·七	
漢口	三·九	一六·四	二六·八	一八·五	一六·九	負四·二	負〇·八

上海	二〇·二	二八·二	一八·二	一五·五	四〇·二	負三·一	
蘭州	負六·八	一·五	三三·七	九·九	九·四	負九·七	
青島	負一·四	一〇·一	三三·六	一五·八	三〇·三	負六·四	
北平	負四·六	一三·六	二六·一	一三·七	二八·四	負〇·五	
哈爾濱	負二·四	五·七	三三·二	五·三	三〇·九	負四〇·〇	

自上表可見中國冬季溫度南北之差遠視夏季為大。夏季廣州哈爾濱二地之差不過五、四度。冬季則達三三、六度。如行旅自南而北。四季服裝。勢須咸備。以待更易矣。設以五日候溫在零度以下為寒冷期起訖之標準。則長江以南無寒季。淮河流域寒季長約一月。華北二月有半。蒙古新疆及東九省則達四—五月之久。炎熱期候溫平均超出三〇度者以內陸諸盆地為最長。新疆吐魯番炎熱期凡三個月。四川盆地及長江中流一帶。亦至一月以上。中國各地除沿海及高地外。夏季極端最高溫度均可達四〇度左右。吐魯番西安及安慶。且有四五度以上之紀錄。冬季極端最低溫度。則華南亦可達零度附近。故地居熱帶。偶仍可見霜雪。長江流域常至零下十度。華北零下二〇度至蒙古新疆及東九省。甚且低至負四〇度以下。

中國雨量集中夏季諸月。冬雪固隨處可見。但為量殊微。罕達全年降水總值之一。華南雨季長約五個月（五月至九月）。華中四月（六月至九月）。華北及東北九省僅二月（七月至八月）而已。蒙古與新疆氣候終年乾

燥。無雨季之可言。冬季大致言之。均爲燥季。惟四川貴州及南嶺山地則多微雨。然其量亦甚少耳。夏季雨量十之七八均得自鋒與氣旋之活動。餘則溯源於對流性雷雨及入侵之颱風。雨期之長以長江流域初夏爲最。約自六月中旬以至七月上旬。是爲梅雨。此時華中天氣陰雨連綿。潤濕逾恆。迨夏季風轉勁而後已。中國雨量之分佈大體自東南向西北遞減。五百耗等雨綫約沿大興嶺西坡。燕山南坡。太行東坡西南走至秦嶺北坡再沿大雪山山南行復折而西與外喜馬拉雅山平行。此線西北。雨量不足百耗。多乾草原及沙漠。以東以南。雨量急增。氣候潤濕。人口稠密。農業發達。乃中國精華之所在。大戈壁及塔里木盆地。僻處歐亞大陸腹心。全年雨量不足一百耗。誠所謂不毛之地也。中國本部雨量分佈可注意之點有四。(一)南勝於北。秦嶺橫亘東西。阻絕南北。爲一顯著之氣候分水嶺。其南雨量平均在一〇〇〇耗至一五〇〇耗間。以北則僅五〇〇耗至七五〇耗。(二)山地多雨。境內山地及高原之迎風面。均爲多雨之中心。川西。對東及南嶺一帶全年雨量每在二〇〇〇耗以上。(三)雷欽沿岸。地雖平坦。然雨亦豐。此蓋以颱風常襲所致。(四)各月雨量分佈。二顯著多雨帶。其一。冬季見於南嶺山地。但夏漸北移而至華北及東九省南部。其二。六月見於東南沿海。晚夏最盛。此後即趨消滅。前者爲氣旋雨帶。而後者則颱風雨帶。

中國各地之雨量耗

地名	正月	七月	全年
廣州	一〇	二二三	一〇三九
昆明	五	二九一	一二八四
重慶	一九	一三八	一〇九六
漢口	四六	一八四	一二六七
上海	五〇	一四五	一二二八
蘭州	一	六三	三〇八
青島	一一	一四三	六四六
北平	四	二四九	六三〇
哈爾濱	四	一四九	五四八

自衛生觀點言之。長江以南。溫高雨豐。殊於人類健康有礙。而濕度之高影響尤劣。此區平均溼度高至百分之八十。秦嶺以北。黃河流域及東北九省則僅在百分之六十左右。西北一帶。且不足百分之五十。雲量分佈。大致與濕度相似。長江以南。平均雲量達百分之六十以上。以北至華北及東九省減至百分之四十至五十。西北一帶則低至百分三十。全國最多雲之地帶。爲川西及黔東。年平均高至百分之八十。此外南嶺山地亦不下百分之七十。日照比率之分佈與濕度及雲量適相反。南嶺於北。山地少於平原。華北及東九省日照率約爲百分六十。西北且高達百分六十五。長江中流川黔湘三省日照日最少。平均不過百分之三十而已。「蜀犬吠日」。誠非虛語。

近年以來。航空事業。日益發達。故能見度的大小關係甚重。而霧縷之流行。尤足為飛行之阻礙。內陸各地霧日常不及二十日。惟至沿海。則顯見增加。沿海地帶霧日多在五十日以上。山東。江蘇及浙江沿海。平均且達一百日以上。沿海霧與內陸霧季節分配完全異致。前者為平流霧。多集中於春夏。後者屬輻霧。以秋冬為頻。秦嶺以北。因氣候乾燥。霧甚稀見。但春季沙濤時興。亦海空航行之大敵也。

中國版圖遼闊。其氣候雖大致均以冬寒夏熱。冬乾夏雨為特色。然「大同」之中，各地仍多「小異」。約可彙而為八區。

(一) 東北區 年雨量在三百耗以上。為典型之雪林氣候。夏季炎熱多雨。盛產大豆小麥及高粱。有中國穀倉的稱。冬令嚴寒。正月平均溫度概低於負三度。春季風沙流行。常遮蔽天日。不辨昏晝。惟秋季晴和少風最稱優勝。惜為時甚短耳。本區又可分四副區。

燕山山地 正月溫度不及負三度。但高於負六度。冬麥尚可種植。夏季作物以小麥及高粱為主。

關東平原 正月溫度不及負六度。冬季不能耕作。土凍河泳。可達三月之久。夏熱多陣雨。七月溫度在二二度以上。主要作物為春小麥。大豆及高粱。

長白山地 夏季涼爽。七月溫度亦不及二二度。雨量較平原為豐。南部年均一〇〇〇耗。北部亦在五〇〇耗左

右。八月多雨。低谷可種水稻，山地多針葉林。興安山地 是區為中國之寒極。冬季酷寒而長。土壤終年凍結。夏季消融。僅限表層。夏涼而短。七月溫度罕及二二度。全年平均溫度在十度以上之月份不足四月。生季短促。農事困難。高地多雪林。低地游牧為主。全年雨量平均在三〇〇耗左右。

(二) 蒙古草原區 年雨量多不足三百耗。正月溫度在負六度以下。可分三副區。

內蒙草原 夏熱有雨。尚可從事旱農。七月溫度在十八度以上。

青甘草原 冬稍溫和。夏季涼爽。人民多以游牧為生。外蒙草原 夏季極稱涼爽。七月溫度僅在十七度左右。為游牧區域。

(三) 西北山地區 其氣候之垂直分佈。略如左表：

一〇〇〇公尺以下 乾草原或沙漠
一〇〇〇—三〇〇〇 寒冷雪林
三〇〇〇—三五〇〇 苔原
三五〇〇以上 凍漠

(四) 蒙新沙漠區 年雨量罕及一〇〇耗。甚且不足五〇耗。夏熱如火。冬寒似冰。春季風沙流行。

(五) 華北區 年雨量在三〇〇至七五〇耗間。氣候帶半乾燥性。夏熱多雨。冬寒多晴。春季風沙流行。冬季可種小麥。夏季作物以高粱及棉花為大宗。有二副區：

黃土高原與海河平原 與蒙古同屬草原氣候。惟雨量較多。冬溫稍高耳。雨量集中七八兩月。逐年變動甚大。水旱時聞。

山東邱陵與淮河平原 爲北部半乾燥與南部溫溼氣候之過渡型。夏季雨量豐沛。且較可恃。

(六) 華中區 年雨量在七五〇耗以上。七月溫度高於二二度。正月平均溫度在六度以下。惟高於零度。本區氣候以初夏梅雨爲特色。夏季溽暑單調。但其他各季則溫和而多變。秋季天高氣爽。最爲可愛。

江南區 年雨量在一二五〇耗以上。冬季溫和。陰沉而多微雨。偶見風雪。雨量全年分佈勻和。然以六月爲最多。八月次之。

江北區 年雨量不足一二五〇耗。冬季較晴朗。夏季雨量集中。七月多雨。春季亦較豐沛。

黔鄂山地 年雨量約一〇〇〇耗。冬寒多雲。但雨雪爲量甚少。全年有二多雨期。一在初夏。一在初秋。而夜雨之多。與四川盆地同爲中國氣候上之特殊現象。夏季涼爽。舒適宜人。

四川盆地 年雨量不及一〇〇〇耗。集中夏季半年。雨量之分配略同前區。惟夏季炎熱。冬季溫和。則與黔鄂山地有異。本區積雪稀見。爲長江流域最暖之區域。亦可歸入第七區內。

漢水上流 氣候情形酷似四川盆地。但雨量較少。且益

見集中。初秋雨量不多。而冬季正月溫度亦不足六度。

(七) 華南區 正月溫度在六度至十八度間。生季全年。霜雪稀見。夏季溫度雖不甚高。但溫度甚大。頗有溽暑之感。雨量全年約一五〇〇耗至二〇〇〇耗。晚夏初秋颶風頻襲。常致鉅災。

西江上流七八兩月溽暑多雨。冬季溫暖。瘴癘流行。粵南嶺山地全年雨量分配勻和。以六月及八月爲最豐。冬季陰沉而多微雨。

(八) 海南區 是乃我國唯一之真正熱帶氣候區。正月溫度亦在十八度以上。霜雪絕跡。夏季溫度並不過高。但濕熱難當。雨量集中夏季。每當雷雨過境或颶風來襲之時。常有暴雨傾瀉之象。

(九) 華西區 本區地形複雜。故氣候亦不簡單。垂直差異極顯。往往山足竹林蒼蔚。仰視山嶺。則積雪皚皚。背風谷地時且有乾燥氣候之景象。惟亦有一共同特色。則夏涼而冬季頗稱溫和也。除迎風坡地外雨量當稱適中。大致在五〇〇耗至一〇〇〇耗左右。

雲南高原以溫度論。是區迨爲我國氣候最優勝之區域。夏無酷暑。冬無嚴寒。有四時如春之妙。特氣候少變動。不免較少刺激耳。冬季溫暖晴朗。夏季涼爽多雨。然雨多陣性。故陽光仍甚豐富。西藏東南部西藏東南谷地。氣候之溫和。不亞雲南高原。正月溫度最低。然平均亦尚在零度左右。惟以高原空

氣澄朗。夜間地面放熱迅劇。霜季則長達七閱月。雨季始於五月。終於九月。以雷雨爲多。夏季溫度常在十五度左右。約與江南春季相當。

西康山地雨量分配頗似四川盆地。但夏季涼爽。冬季溫和。溫度情形。則又與雲南高原近似。

秦嶺山地雨量集中夏季。以八月爲多。冬季嚴寒。夏季涼爽宜人。

(十) 西藏高原區 除南部谷地及東部邊區外。此一高原。其氣候頗屬凍漠。各月溫度罕有在十度以上者。即盛夏亦僅在五度左右。因降水稀少。蒸發旺盛。平地積雪不多。雪綫平均高達六〇〇〇公尺。而空氣稀薄。風勢猛烈。使人類生存不易。實爲世界上最荒涼之區域。

中國氣候概況

見國民曆

一月 西伯利亞高壓。蔓延至中國。冬季時令風甚強。多北風及西北風。各地氣溫底降。緯度四十度以上尤寒。黃河揚子江流域。三十五度以上較冷。以下較溫。沿海較溫和。各地天氣多晴。雨雪期多在下半年。雨量均不多。

二月 各地氣溫增高。北方各地尤增多。沿海一帶所增微。雨量有一二處較一月少。其餘均增多。

三月 冬季時令風。已漸中止。多數地點。風多轉向。

各地氣溫均增。陸地之增較海岸爲速爲大。各地雨量均增。惟北方仍頗乾燥。

四月 本月爲多夏季時令風交換之期。氣溫繼續增高。大陸仍比海洋爲速。雨量則大多數地點增加。最多在南海岸及揚子江西江流域。

五月 本月爲夏季氣候變化開始期。風向無定。東風較多。氣溫繼續增高。大陸仍較海洋爲大。平均溫度均不甚高。雨量增加。南海沿岸爲最多。沿海岸漸多濃海霧。

六月 各地風向。已入夏季時令風時期。溫度增高。但尙未達最高度。各地之較不大。雨量增多。有達最大量者。已入霪雨之期。且多驟雨。

七月 本月之風。爲完全夏季時令風。氣溫增高。大陸各地均達最高。沿海岸亦增暖。雨量增多。大多數地點。達最大量。

八月 各地仍多南風。但偏東偏西無定。各地氣溫降低。但海岸各地氣溫。以此月爲最高。各地雨量各有增減。大概大陸多減。沿海及海洋。因雷雨故多增。

九月 夏季時令風。已近消滅。氣溫有顯著變化。北方大陸降低頗大。南方及沿海較小。雨量。南方各地仍多。

十月 北方風向多北及西北。東海南海揚子江流域多東北。氣溫降低。北方大陸減小。漸向南漸小。雨量大。

形減少。

十一月 冬季時令風已開始。各地氣溫低降。均在七八度左右。最高最低之區。其差甚大。雨量減少。且有達最小量者。

十二月 冬季時令風。已完全造成。風力亦較強。北方各地。已至嚴寒。氣溫低降大約十餘度。南方大約五六度。雨量均小。且有全月無雨之地。

美國司徒測候法

見農業常識

預測氣候。對於農業關係極為重要。故現在從事農業者必須研究氣象學。但學理有時不能施於實用上。而經驗中有時自含有學理。即如美國司徒測候法。據其經驗所得。頗可作為參考。

附美國司徒測候（美國氣候與我國大致相同）

春分……………陽曆三月二十三日。

夏至……………陽曆六月二十二日。

秋分……………陽曆九月二十二日。

冬至……………陽曆十二月二十二日。

每一節氣為三個月。以節後起算。就十日甚至十四日之氣候可以推測三個月中天氣如何。如係西北風天必涼爽或冷。如係南風天必溫暖或乾燥。如係東北風天必陰雨或大雪。此項觀測聞已屢試屢驗云。

魏頌唐農曆

紙測天時法

見農事錄

以銹絲一兩。食鹽半兩。鈣絲一錢。鉅奴士亞二錢五分。共溶化入重約三兩之水。然後以墨與水紙浸入。出晒乾移置陰處。即能報天時乾濕之兆。落雨時紙現玫瑰紅色。天將雨現淡紅色。天氣乾濕得中則紅帶藍。更乾變為藍帶微紅。極乾則變為深藍。

通俗天氣預測法

蘇振聲

氣象關係於農家之耕作。極為重要。然農家歲入極微。欲置備多種天氣測量計。勢所不能。但農家由多年經驗。得種種之豫告。即由動物植物雲形風向等之動靜而測定者也。今概述如左。

一、雨蛙上樹而鳴。日內即當降雨。

二、蛇匍樹上為大雨或洪水之兆。

三、鷄於夜晚覓食。犬以爪搔地。翌日即當降雨。

四、池沼中之魚蛙。浮游水面時為將雨之兆。

五、鷄鳴於高處。則雨將霽。

六、蝙蝠於天昏時紛飛。翌日天晴。

七、雲雀高啼時。為雨將晴之兆。

八、蟻防穴。即當霖雨或風。

九、螻蟻作巢於低處。為多風之兆。

十、貓飲水則晴。食青草則雨。犬飲水則雨。食青草則晴。

十一、山鼠集多數之食料。是年當大風或大雪。又鼠不居之地。當有洪水。

十二、夜鳥悲鳴異常。為天氣變動之兆。

十三、熊出深山。為大雪之兆。

十四、烏鴉作巢於樹頂。是年當有大雨。或洪水。低時當有大風。

十五、鶴鷄鳴日。當降雨。

十六、物多狂花。凶年之兆。

十七、竹生實。凶年之兆。

十八、玉蜀黍之根。多生於地上之節間時。是年當大風。

十九、南瓜多莖時。是年亦當大風。

二十、柏樹之莖桿或根濕潤時。即當降雨。

二十一、雙顏（午時花）之花盛開。或至午後不凋萎者。降雨之兆。

二十二、梅花開時向下。當有晚霜之害。

二十三、虹現於東方（晚上）示晴。現於西方（早晨）示雨。

二十四、夕陽帶黃色時。翌日多晴天。帶黑色時。概為天氣變惡之兆。

二十五、朝霧與晚霧主晴。夕霧主雨。

二十六、星月閃爍不定。翌日當有大風。

二十七、亂霧出現。雨天之兆。黃雲佈天空。有光輝。為風之兆。

二十八、風向不定。天氣變惡之兆。

二十九、食鹽潮解。降雨之兆。

三十、炊烟繞環室中。或飛舞於低處時。降雨之兆。

三十一、鶯雀鳴噪。天氣變惡之兆。

三十二、鐘聲。汽笛聲。流水聲。及火車之軌道聲等清晰時。降雨之兆。

三十三、遠山之色。清朗主晴。昏暗主雨。

三十四、鼠咬稻麥苗。凶年之兆。

三十五、黎明天色紅暈。風雲之兆。灰色。晴天之徵。

三十六、天空現橙色或銅色。為風帶雨之兆。

三十七、天色昏暗。蒼蠅紛飛。將雨之兆。

三十八、日沒時天現黑雲。將雨之兆。

論九穀風土及種時時月

見農桑輯要

穀之為品不一。風土各有所宜。種藝之時早晚又各不同。案書禹貢。冀州厥土惟白壤。厥田惟中中。兗州厥土黑墳。厥田惟中下。青州厥土白墳。厥田惟上下。徐州厥土赤墳。厥田惟上中。揚州厥土惟塗泥。厥田惟下

下。荊州厥土惟塗泥。厥田惟下中。豫州厥土惟壤下土墳埴。厥田惟中上。梁州厥土青黎。厥田惟下上。雍州厥土惟黃壤。厥田惟上上。又周禮職方氏揚州荊州其穀宜稻。豫州其穀宜五種。(鄭注黍稷菽麥稻)青州其穀宜稻麥。兗州其穀宜四種。(鄭注黍稷稻麥)雍州其穀宜黍稷。幽州其穀宜三種。(鄭注黍稷稻)冀州其穀宜黍稷。并州其穀宜五種。(鄭注同前)合二經觀之。雖幽并徐梁互闕所載。而九州風土之宜。其大凡可見矣。然一州之內。風土又各有所不同。但條目繁多。書不盡言耳。觸類而求之。苟塗泥所在。厥田中下。稻即可種。不必拘以荆揚。土壤黃白。厥田上中。黍稷菽菽即可種。不必限於雅冀。墳埴黏埴田雜三品麥即可種。又不必以并背兗豫爲定也。若夫時之早晚。案齊民要術有上中下三時。大率以洛陽土中爲準。此亦舉一隅之義爾。以周公土圭之法推之。洛南千里。其地多暑。洛北千里。其地多寒。暑既多矣。種藝之時。不得不加早。寒既多矣。種藝之時。不得不加遲。又山川高下之不一。原隰廣隘之不齊。雖南乎洛。其間山原高曠。景象濼清。與北方同寒者有焉。雖北乎洛。山隈掩抱。風日和煦。與南方同暑者有焉。東西以是爲差。苟比而同之。殆類夫膠柱而鼓瑟矣。記勝之書有言。種無期。因地爲時。此不刊之論也。表而出之。庶覽者有所折衷焉。

農雅論紀候

案古來紀候之書始於夏小正。而文字簡略。至詩訓解始有七十二候之名。小戴記月令。全用其文。然疑時訓解僞書也。月令春三月十八候。東風解凍。蟄蟲始振。魚上冰。獺祭魚。鴻雁來。始雨水。桃始華。倉庚鳴。鷹化爲鳩。元鳥至。雷乃發聲。始電。蟄蟲咸動。桐始華。田鼠化爲鴽。虹始見。萍始生。鳴鳩拂其羽。戴勝降於桑。(二句一候)夏三月十八候。螻蟈鳴。蚯蚓出。王瓜生。苦菜秀。靡草死。麥秋至。小暑至。蟻螂生。購始鳴。反舌無聲。靡角解。蟬始鳴。半夏生。木蓂榮。溫風始至。蟋蟀居壁。鷹乃學習。腐草爲螢。秋三月十八候。涼風至。白露降。寒蟬鳴。鷹乃祭鳥。用始行戮。(二句一候)首風至。鴻雁來。元鳥歸。羣鳥養羞。雷始收聲。蟄蟲坯戶。水始涸。鴻雁來賓。爵入大水爲蛤。鞠有黃華。豺乃祭獸獫狁。霜始降。草木黃落。蟄蟲咸俯。冬三月十八候。水始冰。地始凍。雉入大水爲蜃。虹藏不見。冰益壯。地始圻。(二句一候)鷓且不同。虎始交。芸始生。荔挺出。蚯蚓結。麋角解。水泉動。雁北鄉。鶉始巢。雉鳩。雞乳。征鳥厲疾。冰方盛。水澤腹堅。(二句一候)蓋上候於風雷電虹之變。下候於水泉冰解之殊。中候於草木鳥獸蟲魚之應。故謂之

候。若孟春之草木萌動。季春之土潤溽暑。大雨時行。孟秋之天地始肅。孟冬之天氣上騰。地氣下降。閉塞而成冬。非紀候語也。又天地之氣。陰陽互根。有前候之氣未畢。而後候之氣已動者。故月令四仲月紀候之語多。孟季月紀候之語少。不必截然分一月爲六候也。今撰僞書者。但據月令爲粉本。而復泥於一氣三候。於是於紀候之多者。則遺之。如始雨水。麥秋至。木草榮。芸始生是也。於紀候之少者。則別採以足之。如草木萌動。土潤溽暑。大雨時行。天地始肅。禾乃登。天氣上騰。地氣下降。閉塞而成冬是也。其尤謬者。小暑節則六月。候則五月。而以爲四月中。小滿之候。天氣上騰下降。義無先後。而分二候。且於孟春仍未據天氣下降。地氣上騰爲候。自相抵牾。其爲僞書信矣。然自後魏始載七十二候於曆書。歷代因之。蓋時訓解雖僞。而月令乃呂不韋所修。其來有自。固不可廢也。

又案三代以上。鶯蟄在雨水前。至漢始先雨水。後鶯蟄。及考太元經後附太初曆法。諛誓。初立春。中鶯蟄。(注云今日雨水)降蜚初雨水(注云今日鶯蟄)中春分。知太初曆猶先鶯蟄。後雨水。故邢昺謂始於劉歆三統曆也。至顧氏炎武又據蔡邕月令問答謂三統曆未嘗改雨水在鶯蟄之先。改之者四分曆耳。然淮南之書。作於未有大初曆之先。不知何以已先雨水後鶯蟄。豈漢初已然。至武帝時。造太初曆。復改從古耶。穀雨古在清明前。

。至新舊唐書。始先清明後穀雨。

中秋月

竺可楨

今天我所講的題目。是「中秋月」。中秋是一個很有詩意的佳節。同時也富有西洋人所謂 Romantic, 傳奇性的味兒。我國歷代的文人學士。每到中秋。常賦詩以度佳節。杭州在宋代繁盛甲於全國。當時的仕女們。每至陰曆八月十三十四直至十七十八。到江邊觀潮。十五。十六。遊西湖賞月。這是八百年以前的事了。

(甲)何日是中秋。南宋吳自牧著夢梁錄有云：「八月十五日中秋節。此日三秋恰半。謂之中秋。月色倍明。一從科學上看來。中秋可有兩個定義。天文學上以秋分到冬至爲秋季。所以中秋應在立冬。即是陽曆十一月五號或是六號。氣象學上以陽曆九月十月十一月爲秋季。所以中秋應在陽曆十月十五十六左右。這兩個日期。統和陰曆八月半相距甚遠。可是西洋天文學春夏秋冬四季習慣上起自春分。夏至。秋分。冬至。實在不甚合理。倒不如中國天文學向例以立春。立夏。立秋。立冬爲起點之合乎邏輯。若用中國天文學家的方法分四季。則中秋應在秋分。和陰曆八月半相距不遠。秋分是

陽曆九月廿三日。去年八月半在秋分後六天。今年八月半在秋分前六天。下面將要講到秋分前後月望時有一種特別可以留戀的地方。所以我很主張保留這中秋節。

(乙)月到中秋分外明 吳白牧夢梁錄說道。「中秋之夕。月色倍明。」這完全是詩人文士的幻想了。這種幻想到目前報紙上還是到處可見。如去年中秋節。在上海大公報的大公函副刊上。登載着一篇描寫中秋月的文章。大意說「在我國各種歲時令節中。最富詩情畫意的。要算中秋節了。平常的月亮够美麗了。中秋夜的明月。尤其大而圓。集合溫柔。神秘。明媚。幽豔之大成……平日的月亮。上昇很早。甚至黃昏時分。已懸掛在空中。但是一年中。以中秋的月出來最遲。大約要八、九點鐘。才從天邊露出嬌容來。似乎在月宮中刻意打扮。精心裝飾。然後出來才和人們相見。」這段話。完全是傳統文學家的口吻。與實際事情大不符合了。

月亮究竟亮到如何程度。要曉得這一點。我們要以地球上所能看到最明亮的東西。即是太陽為標準。來作一個比賽。太陽在天頂時。在每方吋平面上有六十萬支燭光的亮度。普通用的洋油燈每方吋有四支到八支燭光。洋燭每方吋三支到五支燭光。而月亮在天頂時。她的光度每方吋只有一又三分之一燭光。月亮雖可普照半個地球。但在一定面積上光度甚小。所以我們在月光下看書

是模糊不清的。月亮離開天頂愈遠。她的光亦愈弱。這有兩種原因在內。一、是太陽或是月亮。離天頂愈遠。則其離地平的角度愈小。而地面上每一單位平面所受到日月光的多少。是和離地平角度的正弦成正比的。二、是在天頂時。日月光線經地面空氣的厚度來得少。到了天邊時。日月光線要透地面。經過空氣之層次要厚得多了。假使在天頂時。月光到透地面所經空氣厚度當作一。那麼到月亮離開地平三十度時所經空氣層就要兩倍。到十度時五倍半。到離地平線四度時。所經過空氣層厚度就要達十二倍了。所經過空氣層愈厚。被空氣所吸收和反射的光線亦愈多。到遠地面的月光自然愈少。而中秋的月亮。除非在熱帶中地方決不會到天頂的。

古人說。「冬日可愛。夏日可畏。」最重要原因。就是冬天太陽離地平綫低而夏天高。相反的。月望時月亮離地平的角度是以冬至附近為最高。夏至附近為最低。滿月最亮之時。實在冬至前後(即陰曆十一月十五日左右)一年幾見月當頭。這就月當頭的時候。今年中秋月的高度。即離地平線的角度為五十四度五十七分。而陰曆十一月十五日。月的高度為八十七度四十五分。若是空氣一樣透明。則十一月中的月亮一定比八月中明亮。一年之中。每逢望月。在秋分前後。月的高度適中。夏至前後。其高度較低。冬至前後。其高度最大。這由於赤道與赤道成二十三度二十七分的角度。當月望時。月

亮與太陽位置正相對稱。太陽在冬至。高度最低的時候。正是月亮最高的時候。月亮的軌道。古稱白道。和黃道相交只五度九分的角度。此差數甚小。可以增減月亮的高度。但不會變更上述的原則。即從氣候上看來。我國各地在仲冬的時候也比中秋前後來得明爽。以杭州為例。雲量和溼度有下列的比較。根據民十七年至二十二年的記錄。杭州雲量在陽曆九月為百分六十九。十二月為百分六十五。杭州絕對溼度。陽曆九月為一六、八。十二月為八、九。

(丙)一年明月今宵多。這句詩也是指中秋而言。但是實際上。若以明月照地上的時間來算。一年中仍以冬至前後的月望普照地面時間為最久。好像以太陽論。夏至晝最長。冬至晝最短。滿月正與此相反。冬至前後月照時間最長。夏至最短。中秋適介其間。大概中秋之夕。從月出到月落。不過十二小時。而在北京的緯度。冬至月當頭時。從月出到月落。可到十五小時之久。總之。「月到中秋分外明」這句話。要改成月到中冬分外明。才比較合乎事實。

若以月亮之大小而論。肉眼是不可靠的。列子卷五。有這樣一段故事說：「孔子東游。見兩小兒辯鬥。問其故。一兒曰。我以日始出時去人近。而日中時遠也。一兒曰。日初出遠。而日中時近也。一兒曰。日初出大如車蓋。及日中大如盤盂。此不為遠者小而近者大乎。一兒曰

。日初出滄滄涼涼。及其日中如探湯。此不為近者熱。而遠者涼乎。孔子不能決也。」月亮離地球距離平均廿三萬八千哩。月亮在天邊時。離地面要比在天頂時遠四千哩。所以無疑的。月亮在天邊。要比天頂時稍小一點。直徑可差六十分之一。但是眼睛看來。月初上時。好像要大得多。這完全是一種錯覺。天文學家對於這問題。不比孔夫子高明。一向沒有良好的答案。有人說。在天邊有房屋。山川。人物。可資比較。所以見得甚大。到了天頂。一輪明月。懸掛空中。反覺其小。這解答未能滿意。因在海洋中月出時。水天相接。別無一物。可資比較。亦看得大些。到了近來哈佛大學的心理學教授波林 Borisy。研究這錯覺。才知道與我們視覺神經有關。凡看物直看看得大。下看或上看看得小。假使一人橫臥在地上。就覺得天頂月亮大。天邊月亮小了。至於八月半的月亮。是否比他月月望時大。這要看月亮繞地在近地點 *Perigee*。還在遠地點 *Apogee* 月亮離地心。頂遠可到廿五萬七千哩。頂近不過廿二萬一千哩。大約為十九與十七之比。每廿七天又百分之五十五天為一周期。今年中秋節。月亮適在遠地點左右。所以中秋的月亮。祇會看得小。不會看得大。除非特別鍾情於中秋月的人。那就是所謂情人眼裏出西施。又作別論了。(丁)中秋月何以特別受人注意。照上面講來。中秋月既非分外光明。也非特別圓大。更不照臨長久。那麼為

什麼受我國千餘年頂禮崇拜呢。而且懷念留戀中秋月的。不祇是中國人。即是西洋人。也特別看重中秋月。名之爲收穫月。這其中自有一個道理。去年中秋大公園的文藝說中秋月出時珊瑚來遲。有裝模作態的樣子。這未免把中秋月看得貴族化了。實際上。中秋月是最平民化的。無論貴賤貧富雅俗均可共賞的。所以中秋月的特點。不在其出山遲。却相反地因中秋以後的月亮特別出來早。

假使我們把今年杭州（北緯三十度）中秋前後數天月亮出山的時間來比較一下。就可看出中秋月的特點了。

第一表。民三十七年杭州上元節和中秋節月出時間表（地方時）正月十五。下午五點五十分。正月十六。七點正。正月十七。八點零八分。正月十八。九點十三分。八月十五。下午五點五十四分。八月十六。六點二十分。八月十七。六點四十七分。八月十八。七點十三分。（註：依天文曆今年陰曆正月和八月。月望統不在十五而在十六。）

從上表可以看出來上元前後晚間月亮出來。每晚相隔時間要一小時以上。而中秋前後月亮出來。每日相差只消廿六七分鐘。從中秋到八月十八這四天。夜夜月上來離黃昏統不遠。這是中秋月和旁的月望時不同的一點。也是中秋月優越的一點。中秋月有這特點的原因。可以這樣解釋。在溫帶裏。日月行到春分點時。黃道和地平相

交的角度最小。而日月的赤緯天天在增加。所以日月出來每天要提早。在春分時候。每天旭日東升。要比前一天早半分鐘。到中秋時月亮走近春分點。所以月亮出來的時間也要天天提早。一年中平均而論。月亮出來要延遲五十分三十二秒。但是中秋前後只消延遲廿六七分就行了。中秋時節正值農民開始收穫的時候。這時晝漸短而夜漸長。將近黃昏。有了月亮。可以幫助農民延長在田間多做幾十分鐘的工作。這於民生不無裨益。所以西洋人稱中秋月爲收穫月。 Harvest moon 我們的民族向來以農立國。四時伏節如驚蟄。清明。穀雨。芒種。統和農民有關。中秋月之所以被崇拜着。留戀着。想來和農民收穫有關。既沒有傳奇式的什麼神祕。也沒有詩人所想像千呼萬喚不出來嬌滴滴貴婦人那麼姿態。而是有一個極平民化的來源。就是幫助農民在黃昏時候做點手胼足胝的工作。所以中秋月是值得我們留戀的。而中秋節也值得我們保留的。

論立春爲農事上最重要之時節

語云：「一日之計在於寅。一年之計在於春」蓋寅爲一日之始。春爲四時之首。春風和煦。萬物有欣欣向榮之象。而立春尤爲春季所自始。從立春起至雨水節末日止。謂之孟春之月。魯傳「冬寒無事。並入室處。春事既起。丁壯就功」。管子言「地氣發。戒春事」。黃庭堅

詩「田園恰值春耕忙」。謂方春農耕時也。故立農爲農事上最重要之時節。月令「孟春之月。天子以元日祈穀於上帝。乃擇元辰。親載耒耜。帥三公九卿。諸侯大夫。躬耕帝籍。命田司善相邱陵阪險。土地所宜。五穀所殖。以教導民。田事既飭。先定準宜。農乃不惑。」此言農以春耕爲先務。而授時之政。所由始也。後世因之。每屆立春。自天子以至地方官。皆有赴東郊迎春之舉。於農畢也。有司以土牛分貽居民。此等重視立春之歷史。直至有清末季。相沿勿替。無他。中國以農立國。農者五穀所賴以長成者也。苟無農。何有民。苟無民。何有國。建國之本在乎民。生民之本在乎農。國家對於立春之重要性。已可概見。

自民國改用陽曆。廢止陰曆。於是向在陰曆而存在之立春等二十四節氣名稱。亦在若有若無之間。其在與鄉間農事毫無關係之人。且以不談陰曆。不言節氣爲議論之得體。於是自然之節氣。隨人爲之正朔同歸廢棄。此皆吾國向用陰曆。並社會習慣。將陰曆與立春等二十四節氣。并爲一談之結果。而在農民方面。則又因耕種上之需要。對於原有二十四節氣。依舊保持。而轉視率令適用之陽曆。爲與已身事業並無重要關係。不予以留意。於是坊間出版之舊曆通書。仍有銷售機會。其點者。且將陰曆陽曆合爲一本。期於國家政令。社會需要。兩不相妨。此項舊曆。有名之爲陰曆者。亦有名

之爲農曆者。又在鄉間老於田事之農民。雖其家中並無曆書。而舊曆之節氣月日。仍歷歷在其心日間。結果政府廢止陰曆之命令。雖儼然存在。然試問以此項政令。究竟是否實行。即政府當局。亦必瞠目而莫能答。入情於痛癢無關之事件。雖迭經介紹。終覺貌合神離。至對於本身生活所需。應奉爲標準之事件。雖以政府力量。令其消滅無形。而在需要方面。仍是多方保留。理有必至。事有固然。無足怪者。嗚呼。陰曆之廢除。迄今已三十有四年矣。而其潛勢力之存在。迄未稍有減少。實以二十四節氣不可廢除之一點。爲之梗也。

然則將保留陰曆。以保留二十四節氣乎？是又不然。陰曆自爲陰曆。節氣自爲節氣。各不相謀。本無牽掛。所牽掛者。爲其以陰曆月日計算節氣也。蓋世俗但知陰曆可以計算節氣。而不知陽曆亦可以計算節氣。但知以陰曆計算節氣之便利。而不知以陽曆計算節氣之更爲便利而準確。保持節氣。即須保持陰曆。而陰曆遂隨節氣而俱存。今試以陰曆計算節氣。與陽曆計算節氣相較。則立春日期。在陽曆每年爲二月五日。以最近陰曆數年立春節月日爲比。在三十二年則爲甲申正月十二日。三十四年則爲乙酉十二月廿二日。本年則爲丙戌正月初三日。彼此難以對照。既有年內立春。年外立春之不同。且乙酉今年。無立春日。在甲申又復爲一年兩頭春。參互錯綜。殊不一致。若在陽曆。則節氣之起訖月日。較爲

劃一。考之頌唐所編農曆一書。甚爲明瞭。可知從前以陰曆與農曆併爲一談。事屬錯誤。轉不若以陽曆爲農曆。較有事實之根據。農業與節氣之關係如彼。節氣與陽曆之關係又如此。然則所謂農曆者。直陽曆耳。非陰曆也。

今政府已於每年二月五日。（即立春日）定爲農民節。並舉行紀念會。擴充宣傳矣。其用意固甚周至。然較之從前所謂迎春辦法。則其給予民衆所得之印象。尙未普遍澈底。茲爲糾正歷來錯誤。貫徹以農立國本旨起見。擬請政府與社會人士注意左列各端：

一、改過年習慣爲迎春。政府長官。及各級地方行政長官。於每年立春日。即農民節。舉行迎春。依照古代舊制。率領同地各級官吏。赴東郊實行祀天典禮。爲民祈年。

二、政府應將社會。有春牛圖。酌予改良。並說明農曆即陽曆意義。每年於立春節前以圖樣頒行京外各地方。依式印刷。交由各保挨戶分發。

三、全國人民。發起左列運動：

甲、一般方面。廢除陰曆正月初一過年。改爲立春日。即農民節過年。

屬於各家單獨行動者。如祀神。祭祖。掛紅等事。均於是時舉行。

屬於民衆互相行動者。如賀年還債等事。亦均於是時舉

行。

乙、農民方面。農會應將本年應行注意農事。如選擇播秧。育苗植樹。以及除蟲施肥等。編印淺說。分給農家。各農家於此時亦應舉行農具檢查。及農產品競賽。

丙、商工方面。坊間印售曆本。應以陽曆爲起訖。註明節氣。不得再以陰曆爲起訖。各商家工廠。對於銀行錢莊。及私人款項出入。一律以陽曆爲結束時期。不得沿用舊曆結賬辦法。其他店員工友分紅。店員工友雇用契約。一併照此辦理。

丁、學校方面。移舊曆過年假期。及陽曆過年假期。於此時舉行。並於放假時。對學生詳切指示立春節之重要。令其於家庭親友間。注意宣傳。

戊、鄉保方面。由鄉長保長負責將改用立春日過年之事實。於每年立春節前五日。在本鄉本保內詳切講解。並約請地方有聲望之士紳。參加演講。

頌唐吾兄。大著重視立春。弟甚同意。

現在一般人士（不僅農工及工商界）猶誤

以陰曆爲農曆。而不先即氣是也。地球

繞。運行而未停。又信條乃文章

表件也。

歸田運動 張其昀

中國自古有耕讀傳家之說。讀書人是農村裏的中堅分子。自從新教育興起以後。知識分子聚集城中。造成了鄉村空虛的現象。都市裏人浮於事。政治風氣的惡濁。社會遊資的充斥。主要病源實在於此。古人有云。「田園荒蕪不歸。」歸田運動。的確是今後至極泰來的第一要義。時代的變遷。今日的歸田和昔日的耕讀。在方法技術上自然是迥不相同。我們必須充分利用科學研究的成績。田間實驗的報告。適應於本國各地的環境。以益求進步。庶使鄉村景色煥然改觀。民生國力突飛猛進。作者最近瀏覽美國農部出版「農作裏的科學」一書。(原名 The Yearbook of Agriculture, 1943—1947, Science in Farming) 執筆者一百三十六人。都是與農學有關各部門的專家。把第二次大戰以來美國農業上嶄新的發明和發現。納於一編。燠而觀之。誠有塞草怒生波濤騰湧之勝概。科學技術。原是全世界的公物。我國果能盡量吸收進來。對於農村復興。一定會有極重大的貢獻。現在略舉書中要點。以資介紹。這一部九百四十餘頁的鉅著。實在值得國人細心探討。

美國農業研究局 (Agriculture Research Administration) 成立於一九四一年。其任務為指導和調整農部

系統下多方面的研究工作。總局之下設有七個研究所。一曰農業與工業化學。二曰牧畜業。三曰牛乳業。四曰病蟲害。五曰營養與家庭經濟。六曰植物。土壤與農業機械。七曰農事試驗與管理。各所的職務研究工作外。並根據研究結果負責進行推廣工作。大部分工作與各省農事試驗場以合作方式行之。自從農業研究局成立以後。新成績新發明源源而來。舉其荦犖大者。如雞生蛋之數。已比數年前加倍。大麻之稈從前用以燒火。現在則用以造紙。小麥燕麥之新種。可以抵抗病害。作物蔬菜果樹等經過混種接枝以後。產量均較過去為多。新式曳引機能兼做掘洞修路起重打掃等工作。土壤的神秘性已經洩露。化學肥料一面可以殺害莠草。一面又可增加田園裏的產量。牛羊家新種。產肉產毛之量均較前為多。且使牲畜免於疫病。更為強壯。有了殺蟲劑。使房屋倉庫合於衛生。更加舒適。農產品製造和包裝方法均有進步。並可用飛機運至市場。故能保持新鮮而富於滋養。這些都是農業研究的結果。不但造福於農民。即對於都市居民也有無窮利益。我們的目標是喂飽了自己。喂飽了鄰人。把農產品充工業上各種用途。以期物盡其用。讓我們自動自由地做生意。給我們好生活好日子過。使每一家庭都更加富足。不但要維護全國人民完全就業。並且要與外國人和好合作。要為後代子孫好好地保護地方。

近來美國因營養學的研究。對於國民膳食習慣。妥為計劃。多所改進。某種食物減少。別種食物增加。於是農田菜圃果園牧場。有均衡發展的趨勢。就穀類言。第二次大戰以後（一九四一至一九四八年平均）比第一次大戰以前（一九〇九至一九一三平均）減少三分之一。即每人每年糧食消費減少一百磅。馬鈴薯之消費亦減少四分之一。牛乳却增加了百分之四十五。即每人每年多飲牛乳九十夸爾。（Quart。等於九五公升）現在美國人通常每天飲牛乳三杯。番茄橘子亦大為增加。一九〇九年每人消費兩者四十五磅。一九四五年增至一百十六磅。尤其橘子汁和柚子汁因供應豐富。價值低廉。成為美國人日常的飲料。罐頭番茄汁亦極為普遍。蔬菜消費亦有增加。從前每人平均七十四磅。現已增至一百二十一磅。即兩次大戰的前後增加了百分之六十五。蔬菜富於維他命。營養學家都主張多吃。豆類與花生。從前每人平均吃十二磅。現增至二十磅。美國人喜歡吃糖。戰時受有限制。但一九四五年每人平均吃糖仍達九十一磅。包括糖果冰淇淋及飲料中的糖分。戰後自然消費更多。又一九四五年美國人吃雞蛋平均三十一打。綜合觀之。上述膳食變遷。就營養價值說來。顯然是勝過從前。營養和農作互為因果。多吃斯多種。多種斯多吃。以橘柚為例。一九三三年與一九四三年比較。美國橘子生產增加三倍。柚子生產增加二倍。

美國近年鑒於肉類蛋白質有缺乏之虞。從事於植物蛋白質營養價值的研究。大豆花生椰子麥芽之類。均為富於蛋白質之植物。成熟之乾豆含蛋白質之分量自百分之三十至四十五不等。用途尤為廣大。美國試種大豆在一九二四年以後。現在產額已居世界第二位。僅次於我國之東北。大豆與棉花玉蜀黍生長於同一區域。從前美國實行小麥首種玉蜀黍燕麥四年一週的輪種法。現以大豆代替燕麥。大豆生長時期僅一百至一百二十天。著於適應環境。具有耐旱耐溼及抵抗病蟲害各種特性。大豆幼苗有抵抗晚霜之能力。美國以大豆製成下列食品：（一）培養脆嫩可口的豆芽菜。製成罐頭。（二）大豆粉色帶淡黃。味類杏仁。麵包筒麵餅乾等。參和豆粉二成。香腸碎肉類參和豆粉三成。非但味美。且極滋養。冰淇淋可糖現均摻有豆粉。有多至五成者。（三）磨製豆乳。其品質無異於真正牛奶。亦可製成奶油與乾酪等。但美國大豆最大用途。還在榨取豆油以供工業原料。一曰油漆工業。豆油可以代替桐油。為目前最大的消耗。二曰肥皂工業。可代替椰子油橄欖油等。三曰油紙與油布業。榨油業副產品豆粕。亦有種種用途。（一）家畜及家禽之飼料。（二）塑膠原料。質輕耐久。具抗火抗水及抗爛能力。近年美國許多汽車零星用具。多以此物製成。（三）酪精（Casein）的代用品。充各種紙張的黏料。此外大豆之莖與葉可充最好的綠肥與飼料。第二次大戰促進美

國大豆之生產。大量豆粉運至海外。供軍隊之需要及租借法案之用。如英國即需要大量豆油以供食用。現在大豆與小麥棉花玉米烟草。合稱為美國五大農作物。

最近美國農業研究。又發現麥芽與玉米芽所含之蛋白質較大豆尤高。而堪與肉類乳類不分軒輊。目前美國生產麥芽三千萬至五千萬磅。如果儘量生產可達五億磅之多。麥芽含蛋白質百分之三十。可代替奶粉。並可久藏。在市場上已有大量供應。玉米芽含蛋白質百分之二十。花生仁含蛋白質百分之二十八至三十五。棉子亦極有用。可補充穀類蛋白質之不足。現在美國麵包點心已參用棉子粉。實為極有價值之貢獻。自從法國巴斯德(Pasteur)發明細菌為食品變壞的原因。罐頭食品即利用此原理。加熱殺菌以後。防止細菌之侵入。美國家庭多自製罐頭(或瓶裝)食品。一九四三年為數達四千億罐之多。即等於全國消費罐頭菜蔬的半數。罐頭水果三分之一。美國罐頭食品之市場價值為十億美元。但許多家庭自製者。久藏則變壞。目前即在研究改善之方。就保存食物風味而言。冰鮮自較罐頭更好。自從鄉村電化。農家均可裝置大型電氣冰箱。以擴充儲藏量。一面復有飛機運輸新鮮食品。農民生活狀況益見進步。

美國農民在一九〇〇年尚以馬拖犁。平均每一農民的生產僅足供四人消費。一九二〇年以後。農民已普遍使用曳引機。每人平均產量可供十人消費。生產力增加了百

分之一百五十。現在農業設備更加現代化。每人平均產量可供十四人之消費。生產力又增加百分之四十。自從以機械代替獸力。於是農家畜養驢馬之數逐漸減少。計自第一次大戰以後迄今。已減少三分之二。從前用以種植芻秣以養驢馬的良田五千五百萬英畝。現在可以改種其他農產品。二十五年以前。人民尚多利用人力畜力從事於播種耕耘及收穫。那時候遇到惡劣氣候。人民不及趕做。損失極大。自改用機械後。可以發揮高度效率。完成上項工作。不受天氣的影響。此亦為對農業增產一大助力。據美國農部宣稱。一九四八年的農產品將較去年增產百分之八。又創空前紀錄。

美國大農場已開始以飛機播種稻米。機器耕種每天可耕田六十英畝。飛機播種先行灌田。然後以每小時五十英畝之速率播種。滅除害蟲一事亦可由飛機任之。機器可以節省時間。農民可從事於他種有益之工作。美國在西經九十二度以西有二千萬英畝之地需要灌溉。各種作物在不同之土壤不同之氣候。其所需要之水量亦隨之而不同。故需具備詳細之氣候圖土壤圖以供應用。機械灌溉宜使作物有充足之水分。但不宜太多。隨灌溉而起者為排水問題。高地施行灌溉。結果則低地鹽分積聚。歷史上沃洲肥田。其後歸於荒廢者。考其原因。往往由於土壤因濡溼而鹼化。以致不適於作物之生長。乾燥區域之農業。一面須有適度之灌溉。一面又須防止因水分

過多而致鹼化。故水量之控制。為旱田區域重大問題。就育種而言。過去十年有五十種改良的小麥分配於美國農民。此類小麥有抗旱抗病抗蟲等特性。可以減少旱災與病蟲害之損失。稻田已有五分之四調換較新較好之品種。改良畜牧亦以選擇優秀品種。作為下一代之血統。為其重要方法之一。雞生蛋之數在上一代美國人。每年平均八十六個。現已增至一百十八個。甚至有倍於此數者。尤可注重者。為人工懷孕法。(Artificial insemination) 從前一頭公牛。每年可與三十至五十頭牝牛相交配。自從發明人工懷孕法。一頭公牛每年可使五百至一千頭牝牛懷孕。是為牧業極有價值之發展。因此法可以防止某種獸病之蔓延。最近幾年美國農產之長足進步。誠足驚人。當然還有許多問題需要解決。如家畜之疾病。每年使農家收入減少四五千萬元。家禽因疾病而損失者四倍於此數。美國農民與獸醫。目前正對着此事而作激烈奮鬥。

植樹本來甚費時間。在幾英畝之地。工資佔了成本十分之九。現在有了種種機器。每小時可栽樹苗一千株。林場可使農民冬季有事可做。果能營為經營。種樹每年收入不亞於穀類與棉花。每畝林地。可能生產之纖維素。(Cellulose) 甚至比每畝棉田所產者為多。四十英畝之林地。每年生產總值可達六百美元。且可隨主人之方便

。今年不用。可以留待來年。木材之新用途。常在發現中。主要研究為如何利用木材以製造鋼鋸機皮等之代用品。

近年農產製造的進步。誠可謂化朽腐為神奇。穀類之稈與葉。過去往往拋棄。現在研究如何供給造紙原料之用。已經成功。問題為如何減輕成本。俾適於大量製造。大麻莖稈所造之紙最薄而韌。現在美國紙烟用紙。全以此物為之。複寫紙航空信紙亦以此為原料。印鈔票用紙。百分之八十為麻縷。百分之二十為棉花。上述大豆種植為美國國民經濟之新發展。豆油貯藏過多。易於變質。不適於烹飪調味。最近數年之研究。即為解決此項缺點。豆油用於油漆工業者有不能快乾不易堅牢之弊。現用化學方法改進。可縮短其乾燥時期。而無損於其品質。人造絲供衣料之用。從前所注重者為其光彩。現在人造絲新的用途大為推廣。可供汽車飛機之輪胎原料。科學研究使自然增加其生產力。使人們過較好的生活。使土地養活了更多的人口。

因各區域地形氣候土壤之不同。作物亦因之而有參差。各地農業。務須適合於當地之環境與經濟狀況。是即所謂地理分工之原則。一九三九年美國農部會刊布「美國農區之型式」一書。(Types Of Farming Areas in The U.S.) 分為五百餘個小區域。說明各區域農業經營之方式。於農民至有裨益。中國農業小區域之劃分。為今

後中國地理研究重大課題。民治非可一蹴而就。自由一辭非抽象之玄談。實隨時代而異其涵義。每一時代均須重下定義。奮力追求而獲得之。民生主義爲今日建國之首要。現代政治必須以國民經濟爲其基礎。歸田運動之目的。爲農業的科學化。興工廠於田間。惟有這樣才是建設中華民國之真正基礎。

備荒瑣語

甘藷（音諸）甘藷一名朱藷。一名番藷。大者名玉枕藷。形圓而長。本末皆銳。肉紫皮白。質理膩潤。氣味甘平。無毒。補虛乏。益氣力。健脾胃。強腎陰。與薯蕷同功。久食益人。與芋及薯蕷。（按薯蕷同藷類）自是各種。巨者如杯如拳。亦有大如甌者。氣香。生時似桂花。熟者如蜜薇露。攢地傳生。一壘蔓延至數十百壘。節節生根。一畝種數十石。勝種穀二十倍。閩廣人以當米穀。有謂性冷者非。三二月及七八月俱可種。但卵有大小耳。卵八九月始生。冬至乃止。始生便可食。若未須者。勿頓掘令居土中日漸大。到冬至須盡掘出。不則敗爛。徐玄扈云。昔人謂薯蕷有六利。柿有七絕。予謂甘藷有十二勝。收入多。一也。色白味甘。諸土種中特爲最絕。二也。益人與薯蕷同功。三也。偏地傳生。剪壘作種。今歲一壘。次年便可種數十畝。四也。枝葉附

地。隨節生根。風雨不能侵損。五也。可當米穀。凶年不能荒。六也。可充饑實。七也。可釀酒。八也。乾久收藏。屑之旋作餅餌。（按餅音耳糕餅屬）勝用錫蜜。九也。生熟皆可食。十也。用地少。易於灌溉。十一也。春夏種。初冬收入。枝葉極盛。草穢不容。但須壘土。不用鋤耘。不妨農工。十二也。

種藷宜高地沙地。起脊尺餘。種在脊上。遇旱可汲井灌漑。即遇澇年。若水退。在七月中氣候。既不及蘆五穀。即可剪藤種藷。至於蝗蝻爲害。草木蕩盡。惟藷根在地。荐食不及。縱令壘葉皆盡。尙能發生。若蝗信到時。愈令人發土彌漑。蝗去之後。滋生更易。是天災物害。皆不能爲之損。人家凡有隙地。但只數尺。仰天見日。便可種得石許。此救荒第一藷也。須歲前深耕以大糞壘之。沤分後下種。若非砂土。先用柴灰或牛馬糞和土中。使土脈散緩與砂土同。庶可生根。重耕。起壘極深。將藷根每段截三四寸長。覆土深半寸許。每株相去。縱七八尺。橫二三尺。俟蔓生既盛。苗長一丈。留二尺作老根。餘剪三葉爲一段。插入土中。每栽苗相去一尺。大約二分入土。一分在外。即又生藷。隨長隨剪。隨種。年。蔓延與原種者不異。凡栽須順栽。倒栽則不生。節在土上即生枝。在土下即生卵。約各節生根。即從其連綴處斷之。令各成根苗。每節可得卵三五枚。用途。可生食。可蒸食。可煮食。可煨食。可切米團乾

。收作粥飯。可晒乾磨粉。作餅餌。但忌與醋同用。
藏種。九月十月間。掘諸卵。揀近根先生者。勿令損傷。
。用軟草包裹。掛通風處陰乾。一法於八月。揀近根
老藤剪七八寸長。每七八寸作一小束。耕地作畦。將藤
束栽畦內。如栽菲法。過月餘。每條下生小卵如蒜頭狀。
。冬月畏寒。稍用草蓋覆。至來春分種。若老條原卵在
土中。無不墮爛。一法七八月取老藤種盆桶中。至霜降
前置草簾中。以稻糠襯置向陽近火處。至春分後依前法
種。

取莖。枝節已遍地不能容者。即爲游條。宜剪去之。及
掘根時。捲去籐莖。俱可飼牛羊豬。或晒乾冬月喂。皆
能令肥腴。

菱 菱本作菱一名菱。果類植物生水澤間。處處有之。
竇端出葉略成三角形。浮於水面。柄上具浮囊。夏月開
小白花。四瓣色白。實有四角三角兩角故謂之菱角。但
亦有無角者。其色或青或紅或紫不等。生熟皆可食。大
別之種��塘者爲家菱。葉實俱大。自生湖中者爲野菱。
葉實俱小。其角堅直刺人。性甘平能清暑泄熱解毒滋補
安中不飢。凡江河池沼之區多產之。每當新秋。或深淺
紅。或慘碧。漂浮水面。鄉間婦女往往泛以菱桶。往來
採摘。盪漾水中。頗饒風趣。唐儲光羲詩云。濁水菱葉
肥。清水菱葉鮮。又宋梅堯臣詩云。紫角菱實肥。青銅
菱葉老。處暑前後。菱蔴始旺。即可從事採摘。植菱利

益甚大。鮮者甘涼。析醒清熱。熟者甘平。充飢代穀。
根莖可充蔬菜。殼蒂又可入藥。老而堅黑之菱殼。燒灰
香油調敷。能治頭面黃水瘡無名腫毒。如以菱實搗浸澄
出之粉即爲菱粉。食之補脾胃強腳膝。益氣耐飢。健力
行水。去暑解毒。以菱粉和米製成之粥能益腸胃解內熱。
。鄉人常將菱實蒸煑曝乾剝米爲飴爲糕爲果。貯之代糧。
。其種法秋間取熟黑老菱撒池中。春來自生。甚爲簡易
。且無須多大資本。俗云無力買田聊種水者。即指種菱
而言。故種菱對於救荒。亦大有補助。

荊州勸農規條

見荊州府志

一 耨子曰。民生在勤。勤則不匱。凡爾農夫婦子宜以勤
爲本。昧且則起。日暮始息。春夏秋冬四季。各有其
事。不可緩而失其時。亦不可太速先其時而害其事。
須預爲籌畫。始獲其勤之益。不然必致徒勞。
一 荊州所屬之田。大都肥瘦相半。要必多其耨耨不失水
澤。其禾乃茂。其實乃精。
一 土必四季去草。使日暴之至乾。就其地焚之。久之其
種自絕。亦少蟲害。且能使土沃。
一 爲農者器械不可不備。又必隨時修理方可濟事。
一 播種以糞爲本。周制勸農曰。糞多者上農。
一 耨土必使其深。耨土必使其細。又必普通水道而後可

以播種。

一 夏耘之草。必積於一處。無使徧諸其地。致生昆蟲以爲禾苗之害。

一 沃土不可爲園。宜以種五穀。須用狹窄瘠瘦者種菜。

一 縱使不茂可用糞膏。始爲得計。然地廣者亦不妨。

一 農人宜善畜牛。凡水草必均。寒暑必護。又必時飼以糞肥腴而強壯。其力自然足用。

一 農人宜善用力。力所不能任者不可強負。卽能任亦必審。又不可於能任而不任。徒愛其力亦爲惰農。

一 凡宅之前後左右宜種桑。桑葉衆足以多養蠶。此自然之利也。而利尤重於者雞豚。且當不費財力。

一 農夫於左右鄰居宜和。和則力可通用。穀可守望。牛馬可彼此相牧。水澤可相濟度。於鄉黨亦不可不以和爲貴。

一 爲農不可相呼遊戲。時邀飲酒賭博。不惟廢時失事。且多恣爭端致犯國法。

一 爲農宜講究禮信。內而家庭則有父子兄弟。外而鄉黨則有朋友親戚。宜分別親疏尊卑。爲父則有爲父之道。爲子則有爲子之道。爲兄弟則有爲兄弟之道。爲親戚朋友則有爲親戚朋友之道。然要不外禮信二字。

一 爲農宜尙節儉。不可奢華浪用致乖風俗。至於飢寒。蓋富者儉則能長保富有。然亦必惟禮是視。貧者能儉庶衣不致空乏。然亦必安命辛勤。

一 農家於穀將熟之際。宜謹心看護。旣熟矣亦宜善於收穫善於斂藏。

一 種稻以水爲貴。旣穫以後。宜修補田埤。整其溝洫以預水利。

一 爲農者暇時必演武備。遇強暴竊掠來時。一呼衆從而後有以禦之。此爲古人出入相友守望相助之義。

一 宜多種植桑木。又須善於培養。尤不可非時妄伐。非用妄取。自然樹木不可勝用。

一 鄉黨閭里。非親即戚。非結交卽鄰朋。務宜水火相禦。患難相救。昭仁篤信。常相化導。

于清端公農範

種田深耕易耨。勤得一分。多得一分之利。仍要積聚糞灰。地壯則苗盛。雖遇豐年。所獲雖多。不可浪費。少留儲蓄。以備凶荒。田有隙地。必種瓜菜之類。以補不足。

朱柏廬格言

勤儉 勤與儉。治生之道也。不動則寡入。不儉則妄費。寡入而妄費則財賤。財賤則苟取。愚者爲寡廉鮮取之事。智者入行險微倖之途。生平行止於此而喪。祖宗家聲於此而墜。生理絕矣。又况一家之中。有妻有子。不能以勤儉表率。而使相趨於貪惰。則自絕其生理而又絕

妻子之生理矣。勤之爲道。第一要深思遠計。事宜早爲物宜早辦者必須預先經理。若待臨時。倉忙失措。鮮不耗費。第二要安眠早起。侵晨而起夜分而臥。則一日而復得半日之功。若早眠安起。則一日僅得半日之功。無論天道必酬勤而罰惰。卽人事誠誦。亦已懸殊。第三要耐煩吃苦。若不耐煩吃苦。一處不周密。一處便有損失。事須親自爲者必親自爲之。須一日爲者必一日爲之。人皆以身習勞苦爲自戕其生。而不知是乃所以求生也。儉之爲道。第一要平心忍氣。一朝之忿。不自度量與人口角鬥力。搆訟經官。事過之後。不唯破家。或且辱身。第二要量力舉事。土木之功。婚嫁之事。賓客酒席之費。切不可好高求勝。一時興會。所費不支。後來補苴。或行稱貸。償則無力。遭則喪德。第三要節衣縮食。綺羅之美。不過供人之歡美而已。若燬其軀體。布素與綺羅何異。肥甘之美。不過口舌間片刻之適而已。若自啖而下。藜藿與肥甘何異。人皆以薄於自奉爲不愛其生。而不知是乃所以養生也。故家子弟。不勤不儉。約有二病。一則執袴成習。素所不諳。一則自負高雅。無心瑣屑。乃至遊閑放蕩。博奕酣飲。以有用之精神。而肆行無忌。以已竭之金錢。而益喜浪擲。又不待苟取之爲害而已自絕其生理矣。孔子曰。謹身節用。以養父母。可知孝弟之道。禮義之事。惟治生者能之。奈何不惟勤儉之爲尙也。

魏 頌 唐 農 曆

一粥一飯當思來處不易半絲半縷恆念物力維艱 此教人惜衣食也。人不可一日無衣食。卽不可一日不惜衣食。一粥一飯。半絲半縷。舉其至細者言之。而大者可知。然區區微物。所值幾何。苟非飢寒交迫之人。必不十分珍重。何論富家大戶。惟一念來處之艱難。雖欲棄擲而不敢。故男耕女織。爲天下衣食之來處。謀衣謀食。爲我身衣食之來處。爲天下不謀而得衣食者什一。謀而得衣食者什九。辛苦求之。泥沙視之。不惜物力。獨不惜身之力乎。又何論暴殄天物必受飢寒也。特是惜物宜儉而不可吝。每見豐裕之家。食有餘不以分人。日久而不可食。衣已敝不以給人。歲久而不可衣。其罪亦與暴殄者等。至輕棄五穀。莫甚於富家大戶及衙署店舖之廚房。爲主人者當申嚴禁。並宜屬老人常常查核。若毀毀綢綾。則婦女之製衣爲甚。重重鑲嵌。費料費工。穿未幾時。又嫌樣舊。遂爾棄置。凡物太趨時。必難久用。不獨衣飾爲然。爲家長者。尤當開導禁止。

農村三戒

改進農村。首尙勤儉。並須力戒菸酒賭博。故戒菸戒酒戒賭。應定爲農村三戒。蓋菸草有毒。能使人胃脾腎以及目力神經。皆受損傷。凡吸食者於德育體育均不發達。大有礙於衛生。不止耗財而已。酒爲狂藥。一切淫亂之原。多起於酒。世人嗜酒無厭。遂至形骸顛倒。

馬座臥街。凌親犯上。喪心墮志。甚則損肺傷腸。患生不測。又甚則敗國亡家。遺恨千古。范魯公詩云。能移讓厚性。化作兜頭顛。又曹月川詩云。養性勿貪昏性水。成家宜戒破家湯。其為害之烈如此。至於賭者之蓄心。皆在損人利己。於道德最有妨害。夫人生斯世。有所得必有所報。故得一分財產。須盡一分勞力。而賭博則為倖得而不償。賭敗者計無所之。小則鼠偷狗竊。大則貪贓納賄。廢時失業。傾家蕩產。莫此為甚。吾國習俗。常以菸酒賭博消閑。官吏四民。無人不會。男女皆然。全國幾成菸酒賭博社會。最為地方之害。亟宜將戒菸戒酒戒賭三項。嚴密規定。雷厲風行。掃蕩靡清。以期氣象一新。

田家二十四節氣歌

周 鎬

(自注)二十四節氣見於周書時訓解。時憲書之權輿也。余幼習農。深知稼穡之艱難。而又酷愛田家之風味。乃為短章以勸勞之。不取遠而取近。土風也。不從典而從俗。田歌也。

三陽交泰。天地和同。鸞輅夙駕。我臬勸農。我臬農勸。農夫之喜。春日如傷。春宵如醉。(立春)
 雨水雨水。百穀之乳。土鼓逢逢。迓我田祖。雨水雨水。爾來維時。偃我麥田。農夫其咨。(雨水)
 (自注)豆麥最忌春陰多雨。故諺曰九九不通光。小

麥沒籬裝。

殷其雷。在南山之陽。笑言嘒嘒。(入聲)盤開其房。殷其雷。在南山之側。盤開其房。笑言嘒嘒。(聲聲)東村桃花。西村李花。春社初散。醉翁還家。倉庚戰鳴。元鳥載翔。之子于歸。子孫其昌。(春分)
 爾耜維何。松花蒸菌。爾耜維何。竹根抽筍。棠梨在墓。楊柳在門。綏我祖考。利我子孫。(清明)
 鶉鴝啼。戴勝飛。桑葉青。茶葉肥。我桑欲燥。我茶欲焙。(葉平)。其雨其雨。姑徐徐來。(穀雨)
 四月維夏。螻蟪既鳴。爰濱我種。稂莠不生。四月維夏。蚯蚓既出。爰濱我種。蝗螟不啜。(立夏)
 (自注)吾鄉以是日浸種。

南山有花。厥名鬧陽。池塘水滿。新綠浮秧。苔菜方秀。蕨草先枯。化草肥田。桃菜供廚。(小滿)
 秧針漸長。來牟漸黃。是刈是穫。炊飯流香。炊飯流香。農夫之食。貽我來牟。莫非爾極。(芒種)
 逢王立極。半陰半晴。東蒔黃茂。西播香杭。先民有言。分秧宜早。今日何日。稼穡維寶。(夏至)
 (自注)。吾鄉以是日開秧。夏至十五日謂之三時。頭時七日。中時五日。三時三日。高低田畝。總於時內插齊。三時無雨。即成災歉。
 小暑已暑。亦孔之苦。終日踏車。不如逢雨。好雨既足。揮扇乘涼。蛙聲鬧鬧。水聲泠泠。(小暑)

大暑酷暑。火鑊金流。當午耘苗。稻葉齊頭。稻葉齊頭。

耘苗亦喜。剖得西瓜。紅瓢黑子。(大暑)

梧桐葉落。星河在天。老農無事。夜坐談僊。古有僊人。

田舍牛郎。娶彼織女。幾時還鄉。(立秋)

處暑處暑。歸我新涼。促織蕭蕭。厥聲何忙。農夫早起。

農婦早起。促織蕭蕭。厥聲不已。(處暑)

零露漙漙。沃我早稻。雨苦露甘。不如露好。零露泥泥。

膏我晚禾。雨苦露甘。不如露多。(白露)

(自注) 諺云白露雨苦。恐損稻花故也。

離離華黍。玉液成漿。賽我方社。豐年穰穰。昏且既平。

中秋月明。東家采蓮。西家采菱。(秋分)

(自注) 諺云秋分稻秀齊。

燕子北歸雁向東。稻有雁來黃。黍有雁來紅。今夜寒露。

微微欲結。築我場圃。縫我衣裳。(寒露)

天降霜。維禾其穫之。謂予不信。維霜其落之。天降霜。

維麥其種之。謂予不信。維霜其凍之。(霜降)

(自注) 諺云霜降無青稻。老嫩一齊倒。

我稼既同。村村夜春。春出新米。唱歌捧鬯。鸞聲孔揚。

歌聲孔滅。女慕貞潔。男效才良。(立冬)

(自注) 吾俗臘米時則唱山歌。好事者編入千家詩千

字文等句。甚可聽也。

白酒初熟。黃雞正肥。對此小雪。云胡不宜。小雪如霜。

見晚日消。潤我麥根。養我豆苗。(小雪)

魏頌唐農曆

大雪下三寸。蝗子伏三尺。所以種樹畜。豐年兆三白。

來年米價平。晦晦包五石。(大雪)

(自注) 包五石稻名也。

短至日漸長。其長亦甚微。美人呵玉手。添線縫春衣。

縫衣復添線。繡作雙鴛鴦。明年賀新且。持以奉姑嫜。

(冬季)

冬日可愛。負暄瞻根。獻曝無路。不忘君恩。母雞乳子。

三雌三雄。五荒六熟。來歲其豐。(小寒)

農事既成。農心載寧。入此室處。同我太平。人生行樂。

不如力田。同我太平。天子萬年。(大寒)

節氣歌

見中國農諺

一

改用陽曆真方便。三六五日作一年。四六九十一是小。

其餘七個月為大。惟有二月廿八日。每屆四年加一天。

若算二十四節氣。亦用陽曆最相宜。上半年來六廿一。

下半年來八廿三。每月二節日期定。年年如此不改變。

一月小寒接大寒。攢臘冬作初步完。全年農業預先計。

閉時還把副業算。二月初開是立春。田裏中耕要均勻。

雨水好將桃李接。果樹整枝要認真。三月驚蟄又春分。

種栽樹木灌水勤。蠶室蠶具先消毒。牛羊分曉鷄成羣。

清明穀雨四月過。早稻浸種無蹉跎。油菜摘蕊蠶收蠟。

花果施肥產量多。五月立夏小滿來。坵坵田裏種稻栽。

麥子糜子好收穫。蠶寶上山做絲來。芒種夏至六月終。蜀黍大豆播土中。夏蠶收蟻勤飼養。稻棉田裏除害蟲。七月小暑大暑臨。稻動灌水棉摘芯。西瓜甜瓜街上賣。鷄舍要防羽虱侵。八月立秋天將涼。早種稻棉初上場。桃李摘盡處暑至。秋蠶飼養上山忙。九月白露又秋分。收穫稻棉要殷勤。鷄將換羽蠶收繭。棉稻收起再耕耘。十月寒露日秋深。田裏稻麥要當心。霜降已到油菜種。幹點副業費思尋。十一月到立冬節。鋤耘空地施多耕。小雪防寒早設備。桑條壓土綠肥生。十二月莫是寒天。農產製造莫遲延。大雪過後又冬至。把酒圍爐過新年。

二

一月大寒隨小寒。若種早稻須耕田。立春雨水二月到。小麥地裏草除完。三月鶯鶯又春分。稻田再耕八寸深。清明穀雨四月過。油菜花黃麥穗青。五月立夏望小滿。割麥鋤禾莫要緩。芒種夏至六月到。黃蠶雨中難睜眼。七月大暑接小暑。紅日如火鋤草苦。立秋處暑八月到。新穀已黃動鎌刀。九月白露又秋分。收稻再把麥田耕。十月寒露霜降來。黃豆白薯多收清。十一立冬又小雪。臘種冬作莫閑歇。十二大雪冬至到。四季生產不辭勞。

三

立春陽氣轉。雨水沿河邊。鶯鶯烏鴉叫。春分滴水乾。清明忙種粟。穀雨種大田。立夏鷄毛住。小滿雀來前。芒種大家樂。夏至不着棉。小暑不算熱。大暑在伏天。

立秋忙打靛。處暑動刀鎌。白露奔剝地。秋分無生田。寒露不算冷。霜降變了天。立冬先封地。小雪河封嚴。大雪冬儲到。冬至不行船。小寒風凜烈。大寒雪飛天。

栽樹歌

見中國農諺

農家有山地。栽樹最有利。屋旁有隙地。栽樹即生計。樹木長大了。夏季乘涼避暑氣。講到衛生亦適宜。冬天樹木多。砍伐當柴火。我勸大家快栽樹。栽樹好處無其數。春天萬象開。就好把樹栽。樹苗可掘野小樹。抑或購自林場來。栽樹先要掘一坑。根如長今坑要深。樹苗放在土坑裏。姿勢排得如生成。泥土須蓋緊。不要露了根。栽樹時候天氣乾。早晚澆水須耐煩。我們年年栽了樹。務必當心去保護。不去動搖樹根部。發芽滋長靠得住。

種棉歌

見中國農諺

今年我們要種棉。先要將田耕一遍。耕了還要注意耙。耙勻細土成平面。春霜不來已半月。穀雨時候好時節。這個時候不逾限。種棉之利獲上上。種棉法子有三個。最好就是用條播。條播出苗可望多。留強去弱都在我。棉花種子如不多。種棉只好用點播。撒播費工多費種。此法種棉殊不可。棉子到了溝裏去。濕土不宜蓋太厚。中棉株體小。行間距離二尺好。洋棉株體大。二尺距離猶嫌少。中棉株距五六寸。洋棉還是大些好。棉苗出了

土。有草就要鋤。地面常鋤鬆。發育可繁榮。棉苗兩株生一起。要將弱的快除去。倘有異種生棉田。也應一律齊拋棄。棉種既能選好種。播種又不失時期。每年肥料下均勻。棉田管理又得宜。照此棉歌做下去。管教收入是豐年。

插秧歌

陸游

浸種二月初。插秧四月中。小舟載秧把。往來疾于鴻。吳鹽雪花白。村酒粥面濃。長歌相贈答。宛轉含幽風。日暮飛漿歸。小市鼓繁繁。起居間尊老。勤儉教兒童。何人采此語。爲我告相公。不必賜民租。但願年屢豐。

秧田歌

金天翹

秧針刺水綠短短。芒種未來正小滿。先時浸穀播稻灰。七寸秧苗攏頭展。桔槔鳴。田水盈。前村後村布穀聲。塘頭移苗水中活。分得新秧兩指撥。架襖纏身膝上搭。脚浸波心寒到骨。雨中各唱分秧歌。頭頂簞笠如蓋荷。與郎戲水同雙鶩。郎種二畝妾種一畝多。小姑來餉耕。肩頭担飯羅。秧田樂。樂如何。

種稗歌

方回

農田種秧秧綠時。稻中有稗農未知。稻苗欲秀稗先出。

魏頌唐農曆

拔稗飼牛惟恐遲。今年瀾西田沒水。卻問瀾東種稗子。一斗稗子價幾何。已值去年三斗米。天災使然實勝真。焉得世間無稗人。

題耕織圖

耕圖 樓鑄

浸種

谿頭夜雨足。門外春水生。筠籃浸淺碧。嘉穀抽新萌。西嘯將有事。耒耜隨晨興。隻雞祭句芒。再拜祈秋成。

耕

東臯一犁雨。布穀初催耕。綠野暗春晚。烏犍苦肩頰。我樹勸農字。杖策東郊行。永懷歷山下。法事關望情。

把耨

雨笠冒宿霧。風囊擁春寒。破塊得甘霖。蠶蔭浸微瀾。泥深四蹄重。日莫兩股酸。謂彼牛後人。著鞭無作難。

抄

脫袴下田中。盎漿着膝尾。巡行徧畦畔。扶抄均泥滓。遲遲春日斜。稍稍樵歌起。薄莫佩牛歸。浴浴前谿水。

碌碡

力田巧機事。利器由心匠。翩翩轉圓樞。袞袞鳴翠浪。三春欲盡頭。萬頃平如掌。漸暄牛已喘。長懷丙丞相。

布秧

舊穀發新穎。梅黃雨生肥。下田初播種。卻行手耨。明朝望平疇。綠錢刺風漪。審此一寸根。行作合穗期。

淤蔴

殺草開吳兒。灑灰傳自祖。田田皆沃壤。法法流膏乳。塍頭烏啄泥。谷口鳩喚雨。眇望稼如雲。工夫蓋如許。

拔秧

新秧初出水。渺渺翠珠齊。清晨且拔擢。父子爭提攜。既沐青滿握。再櫛根無泥。及時趁芒種。散著畦東西。

插秧

晨雨麥秋潤。午風槐夏涼。谿南與谿北。嘯歌插新秧。拋擲不停手。左右無亂行。我將教秧馬。代勞民莫忘。

一耘

時雨既已降。良苗日懷新。去草如去惡。務令盡陳根。泥蟠任轅鼻。鄰行生浪紋。脊惟聖天子。儻亦思烏耘。

二耘

解衣日炙背。戴笠汗濡首。敢辭胃炎蒸。但欲去糞莠。壺漿與箪食。亭午來餉婦。嬰兒知稼穡。豈曰事搆幼。

三耘

農田亦甚劬。三復事耘籽。經年苦艱食。喜見苗穰穰。老農念一飽。對此出饑水。願天均雨暘。滿野如雲委。

灌溉

握苗鄙宋人。抱甕慙豪莊。何如銜尾鴉。倒流竭池塘。穰穰舞翠浪。遶條生葦涼。斜陽耿衰柳。笑歌聞女郎。

收刈

田家刈穫時。腰鎌斃倉卒。霜澁手龜坼。日永身聲折。兒童行拾穗。風色凌短褐。歡呼荷擔歸。望望屏山月。

登場

禾黍已登場。稍覺農事優。黃雲滿高架。白水空西疇。用此可卒歲。願言免防秋。太平本無象。村舍炊烟浮。

持穗

霜時天氣佳。風勁木葉脫。持穗及此時。連枷聲亂發。黃雞啄遺粒。烏鳥喜聒聒。歸家抖塵埃。夜屋燒槽糶。

簸揚

臨風細揚簸。糠粃零風前。何澆雨聲碎。把甌玉粒圓。短筲箕帚婦。收拾亦已專。豈圖較斗升。未敢忘凶年。

壘

推挽人摩肩。展轉石礪齒。股肱作春雷。旋風落雲子。有如布山川。部婁勢相峙。前時斗量珠。滿眼俄有此。

春碓

娟娟月過牆。寂寂風吹葉。田家當此時。隔村聲相答。行閒炊玉香。會見流匙滑。更須水轉輪。地確勞躡蹻。

籬

茅橙開杵臼。竹屋細籬籬。照人珠珙光。奮臂風雨過。計功初不淺。飽食良自賀。西鄰垂屋兒。醉飽正高臥。

入倉

天寒牛在牢。歲莫粟入庾。田父有餘樂。炙背臥檐廡。

却愁催賦租。胥吏來旁午。輸官王事了。素飯兒叫怒。

織圖 棋 瑞

浴蠶

農桑將有事。時節過禁烟。輕風歸燕日。小雨浴蠶天。春衫卷綺袂。盆池弄清泉。深宮想齋戒。躬桑率民先。

下蠶

穀雨無幾日。谿山暖風高。高華蠶初設。落紙細于毛。柔桑摘蠶翼。殺殺才容刀。茅檐紙窗明。未覺眼力勞。

繅蠶

蠶兒初飯時。桑葉如錢許。板條摘蠶黃。藉紙觀蟻聚。屋頭草木長。窗下兒女語。日長人懶閒。鍼線隨縫補。

一眠

蠶眠白日靜。鳥語青春長。抱甕聊假寐。孰能事梳妝。水邊多麗人。羅衣蹋春陽。春陽無限思。豈知問農桑。

二眠

吳蠶一再眠。竹屋下簾幕。拍手弄嬰兒。一笑姑不惡。風來麥秀寒。雨過桑沃若。日高蠶未起。谷鳥鳴百箔。

三眠

屋裏蠶三眠。門前春過半。桑麻綠陰合。風雨長繁暗。葉底蠶絲繁。臥作字畫短。偷閒一枕眩。夢與楊花亂。

分箔

魏 頌 唐 農 曆

三眠三起餘。飽葉蠶局促。衆多旋分箔。晝晚噉滿屋。郊原過新雨。桑柘添濃綠。竹閒快活吟。漸媿麥飽熟。

採桑

吳兒歌採桑。桑下青春深。鄰里講歡好。漚畔無欺侵。筠籃各自攜。筠梯高倍尋。黃鸝飽紫葢。啞啞鳴綠陰。

大起

盈箱大起時。食桑聲似雨。春風老不知。蠶婦忙如許。呼兒刈青麥。朝飯已過午。妖歌得綾羅。不易青帶女。

捉蠶

麥黃雨初足。蠶老人愈忙。辛勤減眠食。顛倒着衣裳。絲腸映綠葉。練練金色光。松明照夜屋。杜宇啼東岡。

上簇

采采綠葉空。剪剪白茅短。撒簇輕放手。蠶老絲腸嫵。山市浮晴嵐。風日作妍煥。會看繭如甍。爨了光眩眼。

炙箔

峨峨蒸薪炭。重重下簾幕。初出蠶結網。遯若雪滿箔。老翁不勝勤。候火珠汗落。得閒兒女子。困臥呼不覺。

下簇

晴明開雪屋。門巷排銀山。一年蠶事辦。下簇春向闌。鄰里兩相賀。翁媪一笑歡。后妃應獻繭。喜色開天顏。

擇繭

大繭至八蠶。小繭止獨蛹。繭衣纒指柔。收拾擬何用。冬來作繅絲。與兒製寒凍。衣帛非不能。債多租稅重。

賽繭

盤中水晶鹹。井上梧桐葉。陶器固封泥。賽繭過旬淡。

門前春水生。布穀催春鋤。明朝蹋蝶車。車輪纏白氈。

繅絲

連村放繭香。解事誰家娘。盈盈意媚窈。拍拍手探湯。

上盆顏色好。轉軸頭緒長。脫來得少休。女伴語隔牆。

蠶蛾

蛾初脫纏縛。如蝶栩栩然。得偶粉翅光。散子金粟圓。

歲月判悠悠。種嗣期綿綿。送蛾臨遠水。蚤歸屬明年。

祝謝

春前作蠶事。盛事傳西蜀。此邦享先蠶。再拜絲滿目。

馬革裹玉肌。能神不為辱。雖云事渺茫。解與民為福。

絡絲

兒夫督機絲。輸官趁時節。向來催租癩。正為坐踰越。

朝來棹窳動。寧復辭腕脫。辛勤夜未眠。敗屋燈明滅。

經

素絲頭緒多。羨君好安排。背鞵不動塵。緩步交去來。

眠眠意欲亂。斧斧首重回。王言正如絲。亦付經綸才。

織

浸緯供織作。寒女兩髻了。縵縵一縷絲。成就百種花。

弄水春筍筍。卷輪蟾影斜。人閒小阿香。晴空轉借車。

織

青燈映幃幙。絡緯鳴井欄。軋軋揮素手。風露淒已寒。

辛勤度幾梭。始復成一端。寄言羅綺伴。當念麻苧單。

漿花

時態尚新巧。女工慕精勤。心手暗相應。照眼花紛紜。

殷勤挑錦字。曲折讀回文。更將無限思。織作膺背雲。

繭帛

低眉事機杼。細意把刀尺。盈盈彼美人。翦翦其束帛。

輸官給選用。辛苦何足惜。大勝漢練綾。粉腕不再著。

耕圖

趙孟頫

田家重元日。置酒會鄰里。小大易新衣。相戒未明起。

老翁年已邁。含笑弄孫子。老嫗惠且慈。白髮被兩耳。

杯盤且羅列。飲食致甘旨。相呼團欒坐。聊慰衰暮齒。

田疇藉人力。糞壤要鋤理。新歲不敢閒。農事自茲始。

(正月)

東風吹原野。地凍亦已消。早覺農事動。荷鋤過相招。

遲遲朝日上。炊烟出林梢。土膏脈既起。良耜利若刀。

高低徧翻壅。宿草不待燒。幼婦頗能家。井臼常自操。

散灰緣舊俗。門逕環周遭。所冀歲有成。殷勤在今朝。

(二月)

良農知土性。肥瘠有不同。時至萬物生。芽孽由地中。

乘耒向畎畝。忽徧西與東。舉家往于田。勞瘁在兩農。

春雨及時降。被野河濛濛。乘茲各布種。庶望西成功。

培根利秋實。仰天望年豐。但使陰陽和。自然倉廩充。

(三月)

孟夏土加潤。苗生無近遠。漫漫冒淺陂。芄芄被長阪。嘉穀雖已殖。惡草亦滋蔓。君子與小人。並處必爲患。朝朝荷鋤往。孳孳忘疲倦。且隨鳥雀起。歸與牛羊晚。有婦念將飢。過午可無飯。一飽不易得。念此獨長嘆。

(四月)

仲夏苦雨乾。二麥先後熟。南風吹隴畝。惠氣散清淑。是爲農夫慶。所望實其腹。酷酒醉比鄰。語笑弊滿屋。紛然收穫罷。高廩起相屬。有周成王業。后稷播百穀。皇天貽來牟。長世自茲下。願言仍歲稔。四海盡蒙福。

(五月)

當農耘水田。農夫亦良苦。赤日背欲裂。白汗灑如雨。匍匐行水中。泥淖及腰膂。新苗抽利劍。割膚何痛楚。夫耘婦當筐。奔走及亭午。無時暫休息。不得避炎暑。誰憐萬民食。粒粒非易取。願陳知稼穡。無逸傳自古。

(六月)

大火既西流。涼風日淒厲。古人重稼穡。力田在匪懈。郊行省農事。禾黍何旆旆。碾以他山石。玉粒使人愛。大祀須黍盛。一一稽古制。是爲五穀長。異彼稗與稗。炊之香且美。可用享上帝。豈惟足食人。一飽有所待。

(七月)

白露下百草。望葉日紛萎。是時禾黍登。充積徧都鄙。在郊旣千廩。入邑復萬軌。人言田家樂。此樂誰可比。

魏頌唐農曆

和賦以輸官。所餘足備時。不然風雪至。凍餒及妻子。優游茅檐下。庶可以卒歲。太平元有象。治世乃如此。

(八月)

大家燒米麴。何啻百室盈。縱復人力多。春磨常不停。激水轉大輪。磴碾亦易成。古人有機智。用之可厚生。朝出運百車。莫入還滿庭。勾稽數多寡。必假布算精。小人好爭利。晝夜心營營。君子貴知足。知足萬慮輕。

(九月)

孟冬農事畢。穀粟既已藏。彌望四野空。藁秸亦在場。朝廷政方理。庶事和陰陽。所以頻歲登。不憂旱與蝗。置酒燕鄉里。尊老列上行。肴羞不厭多。無恙復烹羊。縱欲窮日夕。爲樂殊未央。禮天祝聖人。萬年長壽昌。

(十月)

農家值豐年。樂事日熙熙。黑黍可釀酒。在牢羊豕肥。東鄰有一女。西鄰有一兒。兒年十五六。女大不可笄。財禮不求備。多少取隨宜。冬前與冬後。婚嫁利此時。但願子孫多。門戶可扶持。女當力蠶桑。男當力耘耔。

(十一月)

一日不力作。一日食不足。慘澹說云暮。風雪入破屋。老農氣力衰。僂僂腰背曲。索陶民事急。晝夜互相續。飯牛欲牛肥。突爨亦預蓄。寒飈雖劣弱。挽車致百斛。農家極勞苦。歲豈恆稔熟。能知稼穡艱。天下自蒙福。

(十二月)

一八七

織圖 趙孟頫

正月新獻歲。最先理農器。女工並時興。蠶室臨期治。初陽力未勝。早春尙寒氣。窗戶當與密。勿使風雨至。田疇耕耨動。形不修耒耜。經冬牛力弱。相戒勤飯飼。萬事非預備。倉卒恐不易。田家亦良苦。舍此復何計。

(正月)

仲春凍初解。陽氣方滿盈。旭日照原野。萬物皆欣榮。是時可種桑。插地易抽萌。列樹徧阡陌。東西各縱橫。豈惟籬落間。採桑憚遠行。大哉皇元化。四海無交兵。種桑日已廣。彌望綠雲平。匪惟錦綺謀。祇以厚民生。

(二月)

三月蠶始生。織細如牛毛。嬾變閨中女。素手握金刀。切葉以飼之。擁之散周遭。庭樹鳴黃鳥。發聲和且嬌。蠶飢當採桑。何暇事遊遨。田時人力少。丈夫方種苗。相將挽長條。盈筐不終朝。數日望無寒。敢辭終歲勞。

(三月)

四月夏氣清。蠶大已屬眠。高首何昂昂。蛾眉復娟娟。不憂桑葉少。徧野如綠烟。相呼攜筐去。迢遞立遠阡。梯空伐條枝。葉上露未乾。蠶飢當早歸。秉心辭以專。筋躬修婦事。催勉當盛年。救忙多女伴。笑語方喧然。

(四月)

五月夏以半。谷鶯先弄晨。老蠶成雪繭。吐絲亂紛紜。

伐桑作蠶曲。束縛齊榛榛。黃者黃如金。白者白如雪。爛然滿筐筐。愛此顏色新。欣欣舉家喜。稍慰經時動。有客過相問。笑聲聞四鄰。論功何所歸。再拜謝蠶神。

(五月)

釜下燒桑柴。取繭投釜中。織織女兒手。抽絲疾如風。田家五六月。綠樹陰相蒙。但聞親車響。遠接村西東。旬日可經絹。弗憂杼柚空。婦人能蠶桑。家道當不窮。更望時雨足。二麥亦稍豐。醅酒田家飲。醉倒媪與翁。

(六月)

七月暑尙熾。長日弄機杼。頭蓬不暇梳。揮手汗如雨。嚶嚶時鳥鳴。灼灼紅榴吐。何心娛耳目。往來忘徧倦。織爲機中素。老幼要緝袖。青燈照夜核。蟬蟋窗外語。辛勤亦何有。身體衣幾縷。嫁爲田家婦。終歲服勞苦。

(七月)

池水何洋洋。漚麻水中央。數日庶可取。引過兩手長。織絹能幾時。織布已復忙。依依小兒女。歲晚嘆無裳。布襦不掩脛。念之熱中腸。朝耕滿一筐。暮緝滿一筐。行看機中布。計日漸可量。我衣苟已成。不憂天早霜。

(八月)

季秋霜降露。凜凜寒氣生。是月當授衣。有布織未成。天寒催刀尺。機杼可無聲。教女學紡績。舉足疾且輕。舍南與舍北。嘒嘒聞車聲。通都富豪家。華屋貯娉婷。被服雜羅綺。五色相間明。聽說貧家女。惻然當動情。

(九月)

豐年禾黍登。農心稍逸樂。小兒漸長大。終歲荷鋤耨。目不識一字。每念心作惡。東鄰方迎師。收拾令上學。後月日南至。相賀因舊俗。為女裁新衣。修短可量度。龜手事牽向。庶禦北風虐。人生真可歎。至老長力作。

(十月)

冬至陽來復。草木潛滋萌。君子重其然。吾道自此亨。父母坐堂上。子孫列前榮。再拜稱上壽。所願百福并。人生屬明時。四海見太平。民無札瘥者。厚澤敷羣情。衣食苟給足。禮義自此生。願共興學校。庶幾教化成。

(十一月)

忽忽歲將近。人事可稍休。寒風吹桑林。日夕擊颼颼。牆南地不凍。犁掘為坑溝。斫桑埋其中。明年芽早抽。是月浴蠶種。自古相傳流。蠶出易脫殼。絲纈亦倍收。及時不努力。知有來歲不。手凍不足惜。冀免號寒憂。

(十二月)

耕圖

玄 輝

暄和節候巖農功。自此勤勞處處同。早辨東田種稔種。糞糞涉水浸筠籬。(浸種)
土膏初動正春晴。野老支筇早課耕。辛苦田家惟務事。隴邊時聽叱牛聲。(耕)
每當吁食念民依。南畝三時願不違。已見深耕還易耨。

魏 頌 唐 農 曆

綠糞青笠雨霏霏。(耙耨)

東阡西陌水潏潏。扶耜泥塗未得閒。為念糞殮由力作。矜辭竭蹶向田間。(抄)

老農力穡慮偏周。早夜扶犁未肯休。更駕烏犍施碌礮。好教春水滿平疇。(碌礮)

農家布種避春寒。甲折初萌最可觀。自昔虞書傳播穀。民間莫作等閒看。(布秧)

一年農事在春深。無限田家望歲心。最愛清和天氣好。綠囷千頃露秧鍼。(初秧)

從來土沃精農勤。豐歉皆由用力分。雜草灑灰滋地利。心期千畝稼如雲。(淤蔭)

青蔥刺水滿平川。移植西疇更勃然。節序驚心芒種迫。分秧須及夏初天。(拔秧)

千畦水澤正瀾瀾。競插新秧恐後時。亞旅同心欣力作。月明歸去莫嫌遲。(插秧)

豐苗翼翼出清波。莠稗叢生可若何。非種自應芟雜蠹。莫教稂莠敗嘉禾。(耘)

會為耘苗結隊行。更要宿草去還生。隴間餽饋頻來往。勞勩田家婦子情。(二耘)

糞糞盈畦日正長。復勤糞糞下方塘。堪憐曝背炎蒸下。惟冀青疇發紫芒。(三耘)

隴田六月水泉微。引溜通渠迅若飛。轉壟桔槔筋力瘁。斜陽西下未言歸。(灌溉)

滿目黃雲曉露歸。腰鎌穫稻喜晴暉。兒童處處收遺穗。
村舍家家荷擔歸。(收刈)
年穀豐穰萬寶成。築場納稼積如京。迴思望杏瞻蒲日。
多少辛勤感倍生。(登場)
南畝秋來慶早成。糶糶未釋老農情。霜天曉起呼鄰里。
遍聽村村打稻聲。(持穗)
秋林蒨屋晚風吹。杵臼相相近短籬。比舍春聲如和答。
家家篝火夜深時。(春碓)
謾言嘉穀可登盤。秕穢還憂欲去難。粒粒皆從辛苦得。
農家眞作雨珠看。(篩)
作苦三時用力深。簾揚偏愛近風林。須知白粲流匙滑。
費盡農夫百種心。(簸揚)
經營阡陌苦胼胝。艱食山來念阻饑。且喜稼成登石磴。
從茲鼓腹樂雍熙。(憩)
倉箱頓滿各欣然。補葺牛牢雨雪天。盼到蓋藏休暇日。
從前拮据已經年。(入倉)
東疇舉趾祝年豐。喜見盈寧百室同。粒我蒸民遺澤遠。
吹爾擊鼓報難窮。(祭神)

織 圖

玄 杼

春蠶新長再眠時。(二眠)
紅女勤劬日駸陽。鳴鳩拂羽恰條桑。只因三臥蠶將老。
蕪爛頻看夜未央。(三眠)
春深處處掩蒨堂。滿架吳蠶婦子忙。料得今年收繭倍。
冰絲雪縷可盈筐。(大起)
運宵食葉正紛紛。風雨聲喧隔戶聞。喜見新蠶登似玉。
燈前檢點最辛勤。(捉繭)
愛逢晴日映疎簾。新綠如雲葉漸添。天氣晴和蠶事廣。
移筐分箔徧茅簷。(分箔)
桑田雨足葉蕃滋。恰是春蠶大起時。負筐攜筐紛笑語。
戴簷飛上最高枝。(採桑)
頻執繭筐不厭疲。久忘臂汗與調饑。今朝士女歡顏色。
看我冰蠶作繭時。(上簇)
蠶性由來苦畏寒。深垂簾幕夜將闌。蠶頭更惹松明火。
老嫗殷勤日探看。(灸箔)
自昔蠶繅重婦功。曾聞獻繭在深宮。披圖喜見蠶纒滿。
蒨屋清光積雪同。(下簇)
冰滿方塘作素紈。重綿亦藉禦深寒。就中自有因材法。
揀取筐間次第觀。(擇繭)
一年蠶事已成功。歷數從前屬女紅。閒說及時還寄繭。
荷鋤又向綠陰中。(寄繭)
炊烟處處繞柴籬。翠釜香生煮繭時。無限經綸從此出。
盆頭喜色動雙眉。(練絲)

錢兒布子如金粟。水際分飛任所之。莫令繭絲遺利盡。來年留作役衣資。(蠶娥)

勞勞拜簇祭神桑。喜得絲成願已償。自是西陵功德盛。萬年衣被澤無疆。(祀謝)

綠陰揜映野人家。每到蠶時靜不譁。一自夏初成繭後。籬邊新聽響繰車。(緯)

從來蠶績女工多。常念勤勞惜綺羅。織婦絲絲經手作。夜寒猶自未停梭。(織)

無衣卒歲早關情。寒氣催人蟋蟀聲。茅屋疎籬秋夜永。短檠相對絡絲成。(絡絲)

織紵精勤有季蘭。牽絲分理製羅紈。鳴機來往桑陰裏。已作吳綉匹練看。(經)

擬管比潔絡新絲。傳得仙方色陸離。一代文明資質飾。須教五采備彰施。(染色)

巧樣爭傳濯錦紋。堪憐織女最殷勤。雲章霞彩娛人意。自着尋常縞布裙。(攀花)

手把齊紈冰雪清。秋衣欲製重含情。逡巡莫漫施刀尺。萬縷千絲織得成。(剪帛)

已成束帛又縫紉。始得衣裳可庇身。自昔宮庭多澣濯。總憐蠶織重勞人。(成衣)

田家

再夷中

父耕原上田。子勸山下荒。六月禾未秀。官家已修倉。二月賣新絲。五月糶新穀。醫得眼前瘡。剗却心頭肉。

魏 頌 唐 農 曆

我願君王心。化作光明燭。不照綺羅筵。只照逃亡屋。

杜陵叟

白居易

杜陵叟。杜陵叟。歲種薄田一頃餘。三月無雨旱風起。苗麥不秀多黃死。九月降霜秋早寒。禾穗未熟皆青乾。長吏明知不申破。急斂暴徵求考課。典桑賣地納官租。明年衣食將如何。剗我身上帛。奪我口中粟。虐人害物即豺狼。何必鉤爪鋸牙食人肉。不知何人奏皇帝。帝心惻隱知人弊。白麻紙上書德音。京畿盡放今年稅。昨日里胥方到門。手持尺牒榜鄉村。十家租稅九家畢。虛受吾君蠲免恩。

苦旱行

張綱孫

田中無水騎馬過。苗葉半黃蟲咬破。五月不雨至六月。農夫仰天淚交墮。去年曠歲頻下雪。父老俱言水應大。如何三伏無片雲。米價騰貴人飢餓。大河之湄風揚沙。枯槁無用袖手坐。林木焦殺鳥開口。魴魚苦乾溝底臥。人人氣喘面皮黑。十個熱病死九個。安得昊天降霖雨。童兒歡笑父老賀。高田低田薄有收。比里稍可完國課。不然官吏猛如虎。終朝鞭朴疇能那。

陸放翁感事詩

見養正遺規

人生讀書本餘事。惟要閉門修孝弟。畜豚種菜養父兄。此風乃可傳百世。我聞長安官道旁。至今人指魏公莊。北方俗厚終可意。一字不識勤耕桑。

一九一

農事成語

【一世】三十年爲一世。見論語集注。

【二月】正月謂之一月。書泰誓序。一月戊午。渡師孟津。

【周天】曆法以三百六十度爲周天。言已周歷天度也。天球地圓。分爲三百六十度。周天者。卽繞天圓一周之謂。

【節分】卽立春前之一日。此日以前。萬物受冬寒負陰氣。此日以後。陽氣復來。萬象回春。故謂爲節氣之分界可也。

【入梅】太陽越赤道而北。至未達回歸線十度之處。自斯以後。我國多陰濕之氣候。細雨連綿。相繼不已。百物易腐。適當六月中旬。至七月上旬之間。是曰梅雨期。故當其始。名之曰入梅。但入梅。卽對太陽之經度。指八十度處而言。與氣象全無關係。若謂梅雨必自此日始則誤矣。不過示以標準耳。

【土用】立春爲春之始日。嗣後太陽行至黃經七十二度之間。是爲真春。再後至立夏十八度之間。稱爲春土用。其他立夏。立冬。各爲夏。秋。冬之始日。各由九十度。減真季之七十二度。所餘十八度之日數。各作夏。秋。冬。之土用。與春季無異。故土用每年有四回。每回各有十八九日。立春。立夏。立秋。

。立冬。之前一日。卽其各回之終日也。

【彼岸】以春分秋分爲中心。合其前後之三日。共七日間。稱爲春及秋之彼岸。春分與秋分。名之曰彼岸之中日。彼岸中日。太陽在赤道上。自正東出。正西沒。地球各地。晝夜皆相等。春分以後至夏至之間。晝時遞長。自夏至至秋分之間。晝時固遞短。然尙比夜間爲長。太陽之出沒點。稍偏於北。秋分以後。至冬至之間。夜間遞長。自冬至至春分之間。夜間固遞短。然尙比晝時爲長。太陽之出沒點。稍偏於南。

【忙月】小滿前後。爲農家最忙之季節。俗稱忙月。農諺云。小滿動三車。謂絲車油車水車也。此時。蠶婦糞繭。治車線絲。晝夜操作。郊外菜花。亦皆結實。取其子至車坊磨油。插秧之人。又各帶土分科。設遇梅雨泛濫。則集桔槔以救之。早則用運車。運引溪河之水。傳厚入田。人力少者。俱須僱工幫忙。名曰忙工。江南各屬。大率類此。至黃河流域。方忙於收麥打場。粵江流域。播種秋稻。東北則正值棉花小麥及大豆下種之期。高粱初長。須刈蕪草。剪除劣苗。亦農忙之候也。又霜降時節。薹麥豆。栽桑築場。亦謂之忙月。

【一本】植物一株之稱。孟子使之一本

【九穀】周禮三農生九穀。蓋謂稻。稷。黍。苽。麻。大小麥。大小豆也。

【中夏】謂夏季之中。卽夏至前後。此時氣最清和。日子又長。唐明皇詩。有端午臨中夏。時清日復長之句。

【中氣】用二十四氣分配十二月。以當月之首爲節氣。以當月之中爲中氣。如立春爲正月節。雨水爲正月中之類。惟節氣以太陽周天而言。與陰曆紀月不能適合。故舊曆法皆以無中氣之月置閏。

【三時】春夏秋農功之時也。左傳謂其三時不害而民和年豐也。農圃六書。夏至後半月爲三時。頭時三日。中時五日。三時七日。

【水土】水與土之併稱。三國志。不習水土。必生疾病。其故因寒暑燥濕。各地異宜。今人初至異地而覺身體不適者。謂之不服水土本此。

【四季】謂四時也。分一年爲春夏秋冬四時。每時三月。其第三月爲季月。故亦稱四時爲四季。因至季則須改時也。

【分陰】言極短之時間也。晉書陶侃傳。大禹聖者。乃惜寸陰。至於衆人。當惜分陰。

【月半】謂月之十五日也。日月相對曰望。故月半又稱望日。月中分謂之弦。弦者半月也。

【服田】有事於田。謂農夫也。書若農服田力穡。乃亦有秋。

【本業】謂農業也。鹽鉄論。方今之務。在趨本業。養

桑麻。蠶地力也。

【東作】謂春時耕作之事也。書平秩東作。

【副業】因業務上之方便。或利用閒暇時間。於主業以外附帶經營之其他事業。謂之副業。例如農家兼事育蠶。

【勞農】勞農有二義。一猶言勸勉農夫也。禮月令勞農勸民。二指勞動者與農民。

【二麥】大麥小麥也。范成大夏日田園詩。二麥俱秋斗百錢。田家喚作小豐年。

【唐園】謂蔬圃也。管子北郭者。盡羅縷之疋也。以唐園爲本利。

【出產】謂地方產生之物。唐彥謙索蝦詩。出產在四時極美宜於秋。

【力田】致力農事也。漢書惠帝紀。舉民孝弟力田者復其身。

【共耕】農業制度之一種。卽土地爲一村落或一團體所共有。按期分給居民耕種。或由居民共同耕作而獲得利益權是。

【農時】農以知時爲上。又農之所重惟時。說文。辰者農之時也。故農字從辰。田候也。

【傭耕】謂爲人耕種也。史記陳涉世家。嘗與人傭耕。

【烈暑】盛暑也。唐書李確傳。確性恪敏。所居官雖祿寒烈暑無懈容。

【春牛】東京叢華錄。立春前一日。開封府進春牛入禁中鞭春。李滄刊誤。月令出土牛以示農耕早晚此其遺也。

【中耕】農學名詞。行於萌發後之淺耕也。其作用有三。一、能使根部保持水分。蔓延自如。二、能使土壤鬆軟。吸收雨水。以增土中之營養而調和其溫度。三、能絕雜草之發育。

【上下午】上午謂清晨至正午以前之時間也。自夜半一時至正午十二時。皆稱上午。下午自正午以後至晚之時間也。自正午十二時以後至夜間十二時以前。皆稱下午。

【近日點】天文學名詞。地球行於橢圓軌道上距日最近之處也。亦名最卑點。距日最遠處曰遠日點。亦名最高點。地球行至軌道最高點時。在夏至後十日。行至軌道最卑點時。在冬至後十日。

【盤中餐】謂盤內食物也。農諺云。耘田日正午。汗滴禾下土。誰知盤中餐。粒粒皆辛苦。

【七件事】夢梁錄云。人家每日不可缺者柴米油鹽醬醋茶。按今去酒一事謂之開門七件。元人有早晨起來七件事。柴米油鹽醬醋茶句。

【半夏生】太陽自北半球之回歸綫。向赤道僅行十度之時。適當七月一日。二日。斯時半夏生嫩根故名。土地有陰毒。食慾淫慾之發現盛。當謹慎之時期也。又

梅雨期適於是日告終。故亦名出梅。

【桃花米】米之粗者。略如今之紅米。

【人間春】喻孝友之家。一門歡樂。和煦如春也。我國農家春聯常用和平天下福。孝友人間春二語。一般農民心理。愛好和平。於此可見。

【暴風雨】驟來猛烈之風曰暴風。爾雅日出而風曰暴。暴雨雨勢之猛迅者。禮。疾風暴雨總至。

【和事草】謂葱也。取能調和諧味之意。清異錄葱名和事草。

【序五種】芴子相高下。視瘠肥。序五種。君子不如農人。

【十年樹木】管子權修一年之計莫如樹穀。十年之計莫如樹木。終身之計莫如樹人。一樹一穫者穀也。一樹十穫者木也。一樹百穫者人也。

【時和歲豐】詩小序華黍。時和歲豐。宜黍稷也。

【五風十雨】謂得氣候之和也。王充論衡。太平之世。五日一風。十日一雨。風不鳴枝。雨不破塊。

【淒風苦雨】左傳昭四年。春無淒風。秋無苦雨。今於淒涼悲慘之境。多以淒風苦雨狀之。

【桃三李四】稗雅謔曰。桃三李四。梅子十二。言桃生三歲。便放花果。早於桃李。

【分工合作】謂各人分力任事。又互相聯絡。以完全成共同之目的也。

【勞動對象】 勞動對象。亦稱生產對象。指從事生產時之原料或自然物。如紡紗時之棉花鋸木時之木材是。

【刀耕火耨】 謂林木焚之成灰以便耕耨也。唐書嚴震傳。梁漢間刀耕火耨。民來相爲食。

【半青半黃】 喻未達成熟之境也。朱子全書。學。今既要理會。也須理會取透。莫要半青半黃。下稍都不濟事。

【青天白日】 喻清明也。韓愈文。青天白日。奴隸亦知其清明。

【風調雨順】 蘇軾詩。雨順風調百穀登。

【米珠薪桂】 國策。楚國之食貴於玉。薪貴於桂。今言物價昂貴。義當本此。

【務農貴粟】 漢書食貨志。使民務農。在於貴粟。

【深耕溉種】 史記齊悼王世家。章曰。深耕溉種。立苗欲疏。非其種者。鋤而去之。

【異畝同穎】 書序周公得命禾。旅天子命作嘉禾。異畝同穎。天下和同之象。

【庶草蕃蕪】 書洪範。曰雨。曰暘。曰燠。曰寒。曰風。曰時。五者來備。各以其序。庶草蕃蕪。蓋雨以潤物。暘以乾物。燠以長物。寒以成物。風以動物。此之謂五時。

【寒耕熟耘】 管子。善爲國者。使民寒耕而熟耘。陸游詩。暑耘日炙背。寒耕泥沒脚。

魏 頌 唐 農 曆

【煮豆燃箕】 魏史。文帝嘗令東阿王植七步中作詩。不成者應大法。應聲曰。煮豆燃豆箕。豆在釜中泣。本是同根生。相煎何太急。

【擊井耕田】 史記五帝本紀。堯時有老人擊壤而歌曰。吾日出而作。日入而息。擊井而飲。耕田而食。帝何力於我哉。

【芟蕪蘊崇】 芟蕪。刪除也。蘊崇。積聚也。左傳。如農夫之務去草也。芟蕪蘊崇之。絕其根本。勿使能殖。

【晨種薄糞】 呂氏春秋。得時之黍。芒蠶而撒下。糞芒以長。搏米而薄糞。春之易而食之不環而香。

【分至啓閉】 分春秋分也。至夏冬至也。啓立春立夏。閉立秋立冬。汲古叢話。分至啓閉順四時而成八節。以其得陰陽之中謂之分。以其當寒暑之極謂之至。以其生長謂之啓。以其收藏謂之閉。

【五穀貴稻】 程榮三柳軒雜識。五穀以稻爲貴。

【火耕水耨】 史記平準書。江南火耕水耨。令飢民得流就食江淮間。按燒草下水種稻。草與稻並生。高七八寸因悉芟去。復下水灌之。草死獨稻長。所謂火耕水耨也。

【田家作苦】 漢書楊惲傳。田家作苦。歲時伏臘。烹羊包糕。斗酒自勞。

【出作入息】 莊子。春耕種。秋收斂。日出而作。日入

而息。

【玉枕甘薯】清異錄。嶺外有玉枕甘薯。

【耒耜之利】易繫辭。庖犧氏沒。神農氏作。斲木爲耜

。揉木爲耒。耒耜之利。以教天下。蓋取諸益。

【多聚升粟】墨子農夫之所以蚤出暮入。強乎耕稼樹藝

。多聚升粟而不敢怠倦者何也。曰彼以爲強必富。不強必貧。強必飽。不強必飢。故不敢怠倦。

【先知備豫】陳旉農書。天時之宜備。故農事以先知備

豫爲善。

勘誤表

頁	行	字	誤	正
一八	一五	二八	一	二
二二	四	末	日	月
八一	下三	五	准	淮
九一	下三	一〇	碗	踴
九一	下一七	一三	青	菁
九一	下末	二二	學	齊
九四	上一六	七	晒	晒
九七	下一	二二	蜜	密
一〇〇	八	六	虫	病
一〇二	上七	五	撲	撲
一〇七	下八	九	江	缸
一〇九	上二〇	一六、一七	春。	。春
一一二	上五	三	綿	棉
一二二	上十四	一	細	紐

魏 胡 唐 農 潘

勤 觀 妾

頁	行	字	誤	正
一一四	上二一	二三字下	漏「器」字	正
一一四	上三二	二二	席	席
一一四	下二	一一	人	入
一一四	下三	一七	侯	候
一一四	下八	四	之	之
一一四	下八	七、八、九	。生芽	。生芽
一一四	下八	一九	於	施
一一四	下二二	三	去	生
一一四	下三三	六	使	便
一一四	下三三	一一	宜	副去
一一八	下一	二	【	（
一一〇	下二〇	四	籊	籊
一二四	上一	四	栗	粟
一二六	上三	一〇	時	日
一二六	上四	一〇	代	伐
一二八	上九	九	比	此
一二八	下一	八	筋	筋

一

一七二	一四六	一四一	一三五	一三〇	頁
下二二	上二〇	下二一	上六	下二三	行
二〇	一七	八	一三	一五	字
又	又	性	隄	本	魏 頌 唐 農 厝 誤
又	又	生	隄	木	正 勘 誤 表

一八四	一八一	一八〇	一八〇	一八〇	頁
上二六	下六	下四	下四	上一八	行
九	三	一一	末	末二字	字
汗	季	桃	鳴	農勤	二 誤
汗	至	挑	鳴	勸農	正

魏頌唐衢北耕山墾荒記

浙省衢縣北鄉蓮花鎮耕山涼亭一帶地方自渣季洪楊之役遭遇兵燹受災特重元氣至今未復是以荒地面積達一萬餘畝其地交通情形距衢江及安仁汽車火車站均不過十里而荒地之廣大乃竟有如此之多亦可見當年戰事影響爲禍慘烈矣民國三十年秋間三衢墾牧公司爲增加生產起見就耕山涼亭一帶荒地發起新農村建設測量調查疏浚而經理俞丹屏先生去世同人以余承其乏該處原爲丘陵地距水源較遠若欲利用溪流灌溉勢所不能必須開鑿水池以備旱荒當經規定水池範圍分十畝五畝二種視地形需要分別設置揀低窪處所改造水田每畝約需墾工十工其地勢較高者先墾成地種植雜糧每畝約需墾工五工至不能墾作水田及旱地者酌量土宜分栽柑橘桃梨等果樹又不能栽植松杉油桐洋槐多膏等樹復另闢一部份荒地辦理畜牧其辦事處地點即就耕山寺廢址修理應用靠路藍縷以啓山林正在着手施工乃倭賊突犯金華不數日衢亦淪陷寇氛遍地所至蕩然損失之鉅不可勝計勝利以後屢謀復業卒以地面遼闊人力物力兩皆缺乏不獲如願此項荒地丘陵宛延水利雖屬不足若能因地制宜善爲利用生產未可限量實有組織合作農場之必要也

魏頌唐三門灣新農村建設計劃

浙省三門灣土壤瘠薄，農產最爲希望之區域，祇以人力財力兩感缺乏，以致棄利於地，殊屬可惜。值此糧食問題極度嚴重之時，自應盡力開發，以期增加生產，爲督促便利計，亟宜專設領導機關，以資策進。其辦法先就灣內可墾之地，詳細調查，相度土質肥瘠，與面積大小，將何者宜於稻麥，何者宜於棉豆，何者宜於森林，以及果樹園藝、漁鹽畜牧之利，如何推進。一加以設計繪圖，點說廣爲招徠，一面擇定適當地點，成立新村，從事耕作，依據現行保甲編制，將管教養衛各項應辦事宜集中實驗，以示模範，俟有成效，再行逐漸推廣。茲將進行計劃列舉如左：

甲、領導機關

前項組織擬定名爲浙江省三門灣建設協會農村建設辦事處，內分調查設計業務三組，辦事設主任一人，綜理全處事務，各組設總幹事一人，幹事若干人，分任本組應辦事務。

乙、新村組織

(一) 區域 擬設新村以三門灣地方爲範圍，每村面積定一千畝爲標準。

(二) 保甲編制 保甲採用六進制，以六戶爲一甲，六甲爲一保。先行招足三十六戶，成立一村，逐漸達到十五戶爲一甲，十五甲爲一保。

(三) 新村基地 建設村民住宅，平均每戶三間，以三十六戶計算，共須建築住宅一百零八間。另加保甲長辦公處、國民學校校舍、合作社辦事處、國民兵隊隊部及其他如農倉等公用房屋，合成一百五十間。

(四) 土地分配 村民耕地平均每戶二十畝，以三十六戶計算，共分配耕地七百二十畝。除以一百畝作爲保田，又加以一百八十畝作爲村基，與果樹園、蔬菜園及牧場公共運動場等之用。

(五) 禁殖制度 以(一)合作(二)私營(三)自耕爲原則。禁民初來時，關於耕地、耕牛、農具、種子、肥料、糧食及住宅設備，並治裝川旅等費，均由領導機關代辦，作爲繳款。按戶分配，應用分三年或五年，將貸款全數收回。

(六) 耕作方法 盡量推行良種良法，注重農產製造，由領導機關訂定獎懲規則，派員隨時督導，並勵行生產技術競賽，以期達到地無遺利，人無遊民爲目的。

丙、實驗步驟

新村地點先就南田各島新漲塗地劃區試辦，最爲相宜。對於禁殖制度，以合作私營及自耕爲原則。故由社直接經營者，限於示範場及試驗場，其餘均以招集同志參加合作。凡佃農努力生產，始終不懈者，經過相當期間後，可將其所耕之地，備價置爲己有，以符耕者有其田之主旨。